

bizhub PRO

951

ユーザーズガイド コピー編



もくじ

1 はじめに

1.1	ご挨拶.....	1-2
1.1.1	マニュアル体系について	1-2
1.1.2	ユーザズガイドについて	1-3
1.2	ページの見かた	1-4
1.2.1	本文中の記号について	1-4
1.2.2	原稿と用紙の表示について	1-5
1.2.3	ポートレート原稿とランドスケープ原稿	1-6

2 ご使用いただく前に

2.1	各部の名称とはたらき	2-2
2.1.1	本体外部.....	2-2
2.1.2	本体内部.....	2-4
2.1.3	操作パネル	2-6
2.1.4	ADF（自動原稿送り装置）.....	2-8
2.1.5	オプション構成	2-10
2.1.6	ペーパーフィーダーユニット PF-706.....	2-11
2.1.7	大容量給紙ユニット LU-409 / LU-410.....	2-13
2.1.8	Z 折りユニット ZU-608	2-14
2.1.9	フィニッシャー FS-532（パンチキット PK-522 + 中とじ機 SD-510 + ポストインサーター PI-502）...	2-15
2.1.10	リムーバブルハードディスクキット RH-101	2-20
2.1.11	認証装置（IC カード認証タイプ） AU-201.....	2-21
2.2	電源を入れる、切る	2-22
2.2.1	電源を入れる	2-22
2.2.2	電源を切る	2-24
2.2.3	主電源スイッチを自動的に OFF にする	2-25
2.2.4	翌日継続.....	2-25
2.3	自動的に初期設定にもどる（オートリセット）.....	2-29
2.4	手動で任意設定にもどる（リセット）	2-30
2.5	パワーセーブランプが点灯する.....	2-31
2.5.1	機械を使用するための操作	2-31
2.5.2	自動的に節電状態になる（オートローパワー）.....	2-31
2.5.3	自動的に節電状態になる（オートシャットオフ）.....	2-32
2.5.4	手動で節電状態にする	2-32
2.5.5	使用時間を制限する（ウィークリータイマー）.....	2-32
2.6	ユーザー認証、部門認証を求められたとき	2-34
2.6.1	ユーザーパスワード／部門パスワードの入力による認証	2-34
2.6.2	IC カードによるユーザー認証	2-36
2.6.3	外部サーバーによるユーザー認証	2-39
2.7	操作および補給／廃棄方法の画面を表示する：ヘルプメッセージ	2-41
2.8	キーやボタンの応答時間を調整する：キー応答	2-43

3 用紙、原稿について

3.1	用紙について	3-2
3.1.1	使用できる用紙の質量	3-2
3.1.2	セット、排出できる用紙の枚数	3-3
3.1.3	セット、搬送、排出できる用紙サイズ	3-6
3.1.4	オートトレイスイッチ（ATS）機能	3-8
3.1.5	用紙の保管	3-9



3.2	原稿について	3-10
3.2.1	ADF にセットする原稿について	3-10
3.2.2	原稿ガラスにセットする原稿について	3-11

4 基本的なコピーのしかた

4.1	機械状態画面	4-2
4.1.1	機械状態画面の概要	4-2
4.1.2	機械状態画面での設定	4-4
4.2	コピー画面	4-8
4.3	基本的なコピーの流れ	4-11
4.4	原稿をセットする	4-15
4.4.1	ADF に原稿をセットする	4-15
4.4.2	原稿ガラスに原稿をセットする	4-17
4.5	設定部数を入力する	4-18
4.5.1	設定部数を入力する	4-18
4.5.2	入力した設定部数を変更する	4-18
4.6	ウォームアップ中にコピーする	4-19
4.7	現在読み込み中／出力中のジョブを停止する	4-21

5 補給、廃棄部材、出力紙の処理

5.1	ヘルプメッセージの表示のしかた	5-4
5.2	トナーを補給する	5-6
5.3	用紙を補給する	5-8
5.3.1	セットする用紙をチェックする	5-9
5.3.2	本体トレイ（トレイ 1、トレイ 2）に用紙を補給する	5-11
5.3.3	大容量給紙ユニット LU-409/LU-410（トレイ 3）に用紙を補給する	5-12
5.3.4	ペーパーフィーダーユニット PF-706（トレイ 3～トレイ 5）に用紙を補給する	5-16
5.3.5	ペーパーフィーダーユニット PF-706（トレイ 3～トレイ 5）に小サイズ用紙を補給する	5-18
5.3.6	ポストインサーター PI-502 に用紙をセットする	5-20
5.4	インデックス紙を補給する	5-21
5.4.1	本体トレイ（トレイ 1、トレイ 2）にインデックス紙をセットする	5-21
5.4.2	大容量給紙ユニット LU-409/LU-410 にインデックス紙をセットする	5-22
5.4.3	ペーパーフィーダーユニット PF-706 にインデックス紙をセットする	5-23
5.5	ステープル針を補給する	5-25
5.5.1	フィニッシャー FS-532 に平とじステープル針を補給する	5-25
5.5.2	フィニッシャー FS-532 に中とじステープル針を補給する	5-26
5.6	廃棄トナーボックスを交換する	5-29
5.7	平とじステープル針くずを処理する	5-31
5.8	パンチくずを処理する	5-33
5.8.1	フィニッシャー FS-532 のパンチくずを処理する	5-33
5.8.2	Z 折りユニット ZU-608 のパンチくずを処理する	5-34
5.9	フィニッシャー FS-532 のトレイから用紙を取出す	5-36
5.9.1	自動的に停止したメイントレイから用紙を取出す	5-36
5.9.2	出力を一時停止する	5-37
5.9.3	自動的に停止したサブトレイから用紙を取出す	5-38
5.9.4	自動的に停止した折りトレイから用紙を取出す	5-39
5.9.5	停止した出力を中止する	5-40

6 基本設定

6.1	原稿設定	6-2
6.1.1	原稿のセット方向を設定する：原稿セット方向	6-2
6.1.2	両面原稿のとじ方向を選択する：両面とじ方向	6-3
6.1.3	サイズが異なる原稿をコピーする：混載原稿	6-6
6.1.4	Z 折れ原稿をコピーする：Z 折れ原稿	6-7

6.1.5	ADF に原稿を 1 枚セットしてコピーする：1 枚送り	6-8
6.1.6	不定形サイズ of 原稿をコピーする：不定形サイズ	6-11
6.1.7	インデックス原稿をコピーする：インデックス紙サイズ	6-14
6.2	連続読みモード	6-16
6.3	画質設定	6-19
6.3.1	コピー濃度を調整する：濃度設定	6-19
6.3.2	下地を調整する：下地調整	6-20
6.3.3	原稿画質に合わせてコピーする：原稿画質	6-21
6.3.4	画像の輪郭を調整する：シャープネス	6-23
6.3.5	画像判別を調整する：文字／写真判別	6-24
6.4	倍率設定	6-26
6.4.1	等倍でコピーする	6-26
6.4.2	倍率を変更してコピーする	6-26
6.4.3	コピー画面の [－] [＋] で倍率を変更する	6-29
6.4.4	コピー画面の登録倍率ボタンで倍率を変更する	6-29
6.4.5	自動的に倍率を選択する：自動倍率	6-30
6.5	片面／両面	6-31
6.5.1	ADF を使って両面コピーをとる	6-31
6.5.2	原稿ガラスを使って両面コピーをとる	6-33
6.5.3	両面原稿から片面コピーをとる	6-35
6.6	用紙予約設定	6-37
6.6.1	用紙設定の概要	6-37
6.6.2	用紙予約設定の概要	6-37
6.6.3	用紙予約設定の操作概要	6-40
6.6.4	用紙サイズの設定変更：定形サイズ	6-42
6.6.5	用紙サイズの設定：不定形サイズ	6-43
6.6.6	用紙サイズの設定：ワイド紙	6-44
6.6.7	用紙サイズの設定：インデックス紙	6-45
6.6.8	用紙サイズの設定：はがき	6-46
6.6.9	用紙条件の変更：設定呼出し	6-47
6.6.10	用紙条件の設定：設定変更	6-48
6.7	自動用紙	6-52
6.8	自動画像回転	6-53
6.9	コピー予約	6-55

7 応用設定

7.1	応用機能を設定するには	7-2
7.1.1	応用設定の概要	7-2
7.1.2	コピー画面 [応用設定] 下の表示	7-3
7.1.3	しおり機能	7-4
7.2	表紙／挿入紙をつける：インターシート	7-5
7.3	章の先頭ページを必ずオモテにコピーする：章分け	7-13
7.4	複数枚の原稿を 1 ページにコピーする：集約	7-16
7.5	製本仕立てにコピーする：小冊子	7-20
7.6	別の原稿を指定したページに差込む：差込みページ	7-23
7.7	見開き原稿を左右 1 ページずつ分けてコピーする：ブック連写	7-26
7.8	複数のジョブを一括出力する：プログラムジョブ	7-30
7.9	原稿以外の部分を消去してコピーする：原稿外消去	7-33
7.10	白黒を反転してコピーする：ネガポジ反転	7-35
7.11	1 枚の用紙に 1 つの画像を繰返してコピーする：リピート	7-36
7.11.1	リピート回数を自動で設定する	7-36
7.11.2	リピート回数を指定する：定形リピート	7-39
7.12	本の周囲や綴じ部分の黒い影を消す：枠／折り目消し	7-43
7.13	画像を用紙の中央にコピーする：センタリング	7-46
7.14	用紙いっぱい大きさにコピーする：全面画像	7-48

7.15	コピー画像の位置を調整する：とじしろ（シフト）.....	7-50
7.16	画像欠けを起こさずにとじしろをつける：とじしろ（縮小シフト）.....	7-55
7.17	原稿にない情報を印字してコピーする：スタンプ.....	7-58
7.17.1	定型のスタンプを印字する：定型スタンプ.....	7-60
7.17.2	管理用の通し番号を印字する：ナンバリング.....	7-61
7.17.3	ページ番号を印字する：ページ.....	7-63
7.17.4	日付や時刻を印字する：日付／時刻.....	7-64
7.17.5	定型のウォーターマークを印字する：ウォーターマーク.....	7-66
7.17.6	ウォーターマークで管理用の通し番号を印字する：ナンバリング.....	7-68
7.17.7	全体に文字やパターンをプリントする：コピープロテクト.....	7-69
7.17.8	スタンプの詳細設定.....	7-71
7.18	コピーに文字列、日時、通し番号を印刷する：任意スタンプ.....	7-75
7.19	画像を重ねてコピーする：オーバーレイ.....	7-79
7.20	重ねる画像を登録してからコピーする：登録オーバーレイ.....	7-81

8 出力設定

8.1	出力機能を設定するには.....	8-2
8.1.1	出力設定の概要.....	8-2
8.1.2	排紙トレイを選択する.....	8-3
8.1.3	コピー画面〔出力設定〕下の表示.....	8-4
8.2	両面コピーのとじ方向を設定する.....	8-6
8.3	フィニッシャー FS-532 を使用する.....	8-9
8.3.1	用紙を仕分ける：ソート／グループ／仕分けソート／仕分けグループ.....	8-10
8.3.2	サブトレイへ用紙を仕分ける：ソート／グループ.....	8-12
8.3.3	コーナー／2点ステープルする：ステープル.....	8-12
8.3.4	二つ折り小冊子をつくる：中とじ／重ね中折り.....	8-14
8.3.5	三つ折りにする：重ね三つ折り.....	8-16
8.3.6	用紙にパンチ穴をあける：パンチ.....	8-17
8.3.7	手動でフィニッシャー FS-532 を使用する.....	8-19
8.3.8	折りトレイから出力紙を取出す.....	8-21
8.4	Z 折りユニット ZU-608 を使用する.....	8-23
8.4.1	用紙に Z 折りをつける：Z 折り.....	8-23
8.4.2	用紙にパンチ穴をあける：パンチ.....	8-24
8.5	2 台の機械で同じジョブを同時に出力する：タンデム出力.....	8-26
8.5.1	タンデム出力の概要.....	8-26
8.5.2	タンデム出力の操作.....	8-26
8.5.3	タンデム接続／出力の中断.....	8-29
8.5.4	相手機だけのタンデム出力を中断する.....	8-30
8.5.5	タンデム接続／出力中のトラブルの処置.....	8-31

9 ジョブリスト

9.1	ジョブリスト画面の概要.....	9-2
9.2	ジョブ動作中／保留中リスト画面.....	9-4
9.2.1	ジョブ動作中／保留中リスト画面の概要.....	9-4
9.2.2	ジョブの詳細を表示する.....	9-5
9.2.3	優先出力する.....	9-6
9.2.4	出力順を変更する.....	9-7
9.2.5	動作中リストのジョブを保留中リストに移動する.....	9-8
9.2.6	動作中リストのジョブを 1 つずつ削除する.....	9-9
9.2.7	動作中リストのジョブを一括削除する.....	9-10
9.2.8	保留ジョブをチケット編集する.....	9-11
9.2.9	保留ジョブを解除する.....	9-13
9.3	スケジュール.....	9-15
9.3.1	スケジュール画面の概要.....	9-15

9.3.2	[単位切替]、[-]、[+] を操作する	9-18
9.3.3	操作ダイアログで用紙設定ダイアログを操作する	9-19
9.3.4	予約ジョブの出力順を変更する	9-20
9.3.5	トレイ設定を変更する	9-21
9.3.6	[該当用紙なし] ジョブを出力する	9-23
9.3.7	用紙サイズ不一致のジョブを出力する	9-26
9.3.8	予約ジョブを保留ジョブにする	9-26
9.3.9	予約ジョブを削除する	9-27
9.4	出力、送信、未出力の履歴の確認	9-29
9.4.1	出力履歴を確認する	9-29
9.4.2	送信履歴を確認する	9-31
9.4.3	未出力履歴を確認する	9-33
9.5	展開中のジョブの操作	9-35
9.5.1	展開中のジョブを操作する	9-35

10 コピー操作補助機能

10.1	1部出力して設定条件を確認する：確認コピー	10-2
10.2	出力する前に設定内容を確認する：設定内容	10-4
10.3	出力中にサンプルを出力して画像の品質を確認する：サンプル排紙	10-7
10.4	割込んでコピーする：割込み	10-9
10.5	設定を登録して、呼出す：プログラム	10-11
10.5.1	設定を登録する	10-11
10.5.2	設定を呼出す	10-13
10.6	ワンタッチでコピー条件を呼出す：ファンクションキー	10-15
10.7	最後に出力したコピー条件でコピーする	10-16
10.8	ブラウザーで本機を操作／監視する	10-17
10.8.1	ブラウザーで本機を操作する：リモートパネル	10-18
10.8.2	ブラウザーで本機を監視する：リモートモニター	10-20
10.8.3	ブラウザーで複数の機械を監視する：マルチモニター	10-21

11 トラブルの処置

11.1	[サービスに連絡して下さい C-####] と表示されたら：サービスコール	11-2
11.1.1	サービスコール画面表示時の操作	11-2
11.1.2	限定使用	11-3
11.2	[紙づまりです] と表示されたら	11-4
11.2.1	紙づまりを処理するときの留意点	11-5
11.2.2	ジャム位置画面とジャム処理画面の操作	11-8
11.2.3	ジャム位置画面のジャム番号	11-8
11.3	[機械状態] タブがオレンジ色に点滅したら	11-10
11.3.1	紙づまり	11-10
11.3.2	コピー中の用紙なし停止	11-11
11.3.3	プリント中の用紙なし停止	11-13
11.3.4	プリント中の紙サイズ不一致停止	11-15
11.4	[メモリーオーバーフローです] と表示されたら	11-17
11.4.1	最初のジョブでのメモリーオーバーフロー	11-17
11.4.2	出力予約中のメモリーオーバーフロー	11-17
11.5	[電源を入れ直して下さい] と表示されたら	11-18
11.6	[コントローラーを認識できません] と表示されたら	11-19
11.7	簡単なトラブルの処置	11-20

12 日頃の管理

12.1	清掃する	12-2
12.1.1	ADF 原稿読み込みガラスの清掃	12-2
12.1.2	原稿ガラスの清掃	12-2



12.1.3	ADF ガイドカバーの清掃	12-2
12.1.4	機械外装の清掃	12-3
12.1.5	操作パネルの清掃	12-3
12.2	コピー枚数カウントを確認する	12-4
12.3	〔定期点検です〕と表示されたら	12-6
12.4	保守サービス	12-7
12.4.1	チャージシステム	12-7
12.4.2	補修用性能部品の保有期間	12-7
12.4.3	主な同梱品	12-7

13 仕様

13.1	本体仕様	13-2
13.1.1	本体	13-2
13.1.2	ADF（自動原稿送り装置）DF-616	13-4
13.2	オプション仕様	13-5
13.2.1	大容量給紙ユニット LU-409（トレイ 3）	13-5
13.2.2	大容量給紙ユニット LU-410（トレイ 3）	13-5
13.2.3	ペーパーフィーダーユニット PF-706（トレイ 3～トレイ 5）	13-6
13.2.4	フィニッシャー FS-532	13-7
13.2.5	中とじ機 SD-510（フィニッシャー FS-532 に装着）	13-8
13.2.6	パンチキット PK-522（フィニッシャー FS-532 に装着）	13-9
13.2.7	Z 折りユニット ZU-608（フィニッシャー FS-532 に装着）	13-10
13.2.8	ポストインサーター PI-502（取り付けキット MK-732）（フィニッシャー FS-532 に装着）	13-10
13.2.9	リムーバブルハードディスクキット RH-101（ハードディスクインナーケースキット HD-511）	13-11
13.2.10	その他のオプション	13-11
13.3	併用できないコピー条件	13-12
13.3.1	基本設定、画質設定、原稿設定と併用できないコピー条件	13-12
13.3.2	出力設定と併用できないコピー条件	13-17
13.3.3	応用設定と併用できないコピー条件	13-22

14 付録

14.1	文字を入力するには	14-2
14.1.1	文字入力画面のキーについて	14-2
14.1.2	文字入力について	14-3
14.2	テストページ	14-6

15 索引

15.1	項目別索引	15-2
15.2	キー索引	15-4



はじめに

1 はじめに

1.1 ご挨拶

このたびは弊社製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、本機の機能と操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処理方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをごらんください。

1.1.1 マニュアル体系について

印刷物のマニュアル	概要
[ユーザーズガイド セキュリティー編]	セキュリティー機能について記載しています。セキュリティー強化機能の使い方、セキュリティー強化機能使用時の機械の操作について知りたい場合は、このユーザーズガイドをお読みください。
[オペレーションクイックガイド]	使用頻度の高い機能について、操作手順を中心に記載しています。本機の特長を理解したい場合は、このガイドをお読みください。
[安全にお使いいただくために]	本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。製品のご使用前に必ずお読みください。
ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	概要
[ユーザーズガイド コピー編]	機械の概要やコピー機能について記載しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本体、オプションの概要および仕様 ・ 電源の入れ方、切り方 ・ 使用する用紙の仕様 ・ 基本コピーのとり方および設定方法 ・ 給紙、廃棄部材、出力紙の処理 ・ 応用設定、出力設定、ジョブリスト ・ トラブルの対処方法
[ユーザーズガイド POD 管理者編]	日頃の使い方に合わせて機械をカスタマイズしたり、機械を管理したりする方法について記載しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ トレイ設定 ・ 表裏調整 ・ コントローラー設定 ・ 調整、設定メニュー画面 ・ ネットワーク設定 ・ PageScope Web Connection 設定 ・ Web Utilities 設定
[ユーザーズガイド プリンター編]	プリンタードライバおよびユーティリティツールの設定について記載しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ PCL ドライバ ・ PS Plug-in ドライバ ・ PS PPD ドライバ ・ PageScope Web Connection 設定
[ユーザーズガイド ネットワークスキャナー編]	ネットワークスキャナー機能の操作について記載しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本体用ハードディスクに保存／出力 ・ メールで送信 ・ コントローラー用ハードディスクに保存 ・ FTP サーバーに送信 ・ SMB サーバーに送信 ・ グループに送信
[商標／ライセンス]	商標およびライセンスについて記載しています。製品のご使用前に必ずごらんください。

1.1.2 ユーザーズガイドについて

このユーザーズガイドは、本機をはじめてご利用になるお客様から本機を管理する管理者までを対象としています。

本機の基本的な操作方法、より便利にお使いいただくための機能、メンテナンス方法、簡単なトラブルの対処方法、その他本機のさまざまな設定方法について説明しています。

なお、メンテナンスやトラブルの対処には、製品についての基本的な技術知識が必要です。メンテナンスやトラブルの対処は、本書で説明している範囲内で行ってください。

お困りの際には、サービス実施店にお問い合わせください。

1.2 ページの見かた

1.2.1 本文中の記号について

本書は、さまざまな情報を記号で記載しています。

ここでは、製品を正しく安全にお使いいただくために、本書で使用している記号について説明します。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

重要

本機や原稿に損害をあたえる可能性が想定される内容を示しています。物的損害を避けるために指示に従ってください。

手順文について

- ✓ このチェック記号は、手順文の前提条件や、手順を実行する前にあらかじめ知っておいたほうがよい情報を示しています。

- このスタイルの1は、最初の手順を表します。
- このスタイルの番号は、連続する手順の順番を表します。
→ この記号は、手順文の補足的な説明を表します。

手順の動作を
イラストで
表しています。

- この記号は、目的のメニューにアクセスする操作パネルの遷移を表します。



目的の画面を表示しています。



参照先を表しています。

必要に応じてご覧ください。

キー記号について

[]

タッチパネル上のキー名称、コンピューター画面上のキー名称、ユーザズガイド名称などを表します。

文中の太字

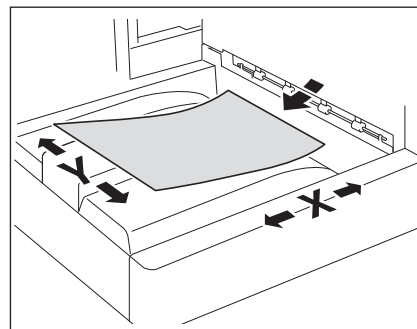
操作パネル上のキー名称、部品名称、製品名、オプション名などを表します。

1.2.2 原稿と用紙の表示について

用紙の大きさ

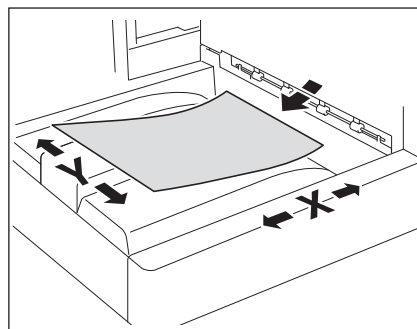
本文中に出てくる原稿と用紙の表示について説明します。

原稿と用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅、X 辺を長さと呼びます。

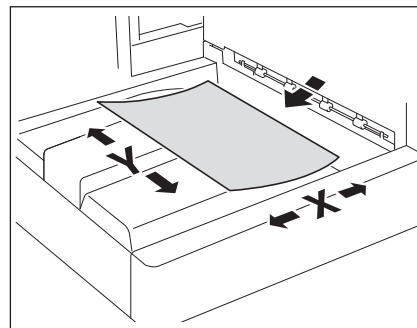


用紙の表示

幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが大きいものを □ と表示します。



幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが小さいものを ▢ と表示します。




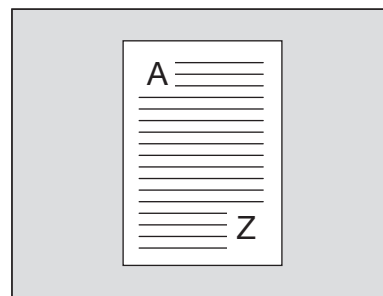
インデックス紙


インデックス紙は、画面では原稿、用紙とも □、▢ と表示されますが、本文中は、T ▢、T ▢ と表示します。

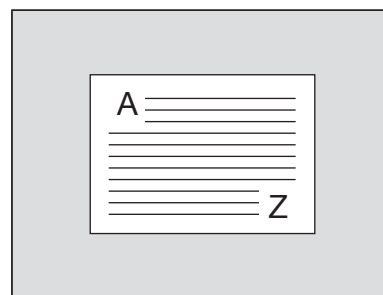
(例) A4 □ → A4T ▢、A4 ▢ → A4T ▢

1.2.3 ポートレート原稿とランドスケープ原稿

原稿の天を上にするとう横送り  になる原稿をポートレート原稿と表現します。



原稿の天を上にするとう縦送り  になる原稿をランドスケープ原稿と表現します。



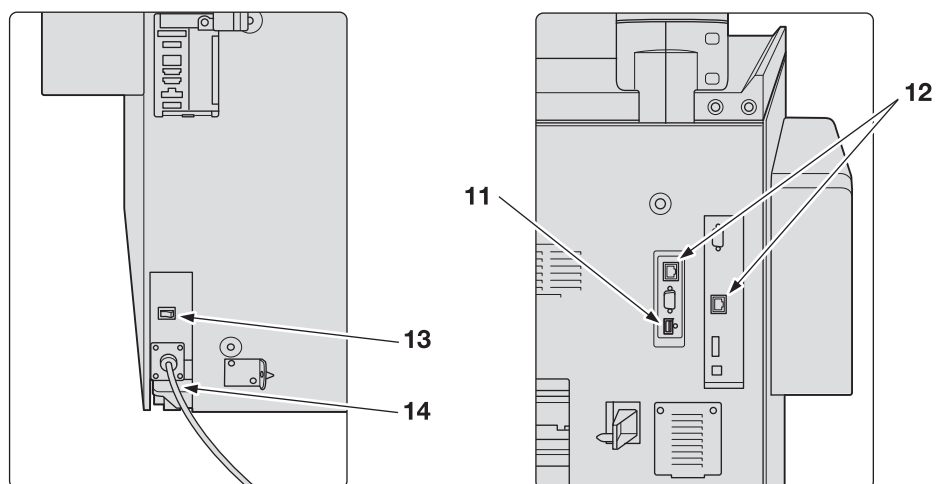
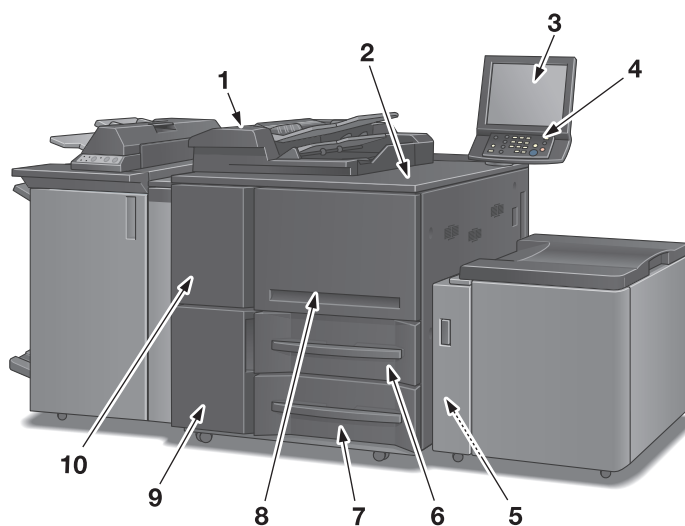


ご使用いただく前に

2 ご使用いただく前に

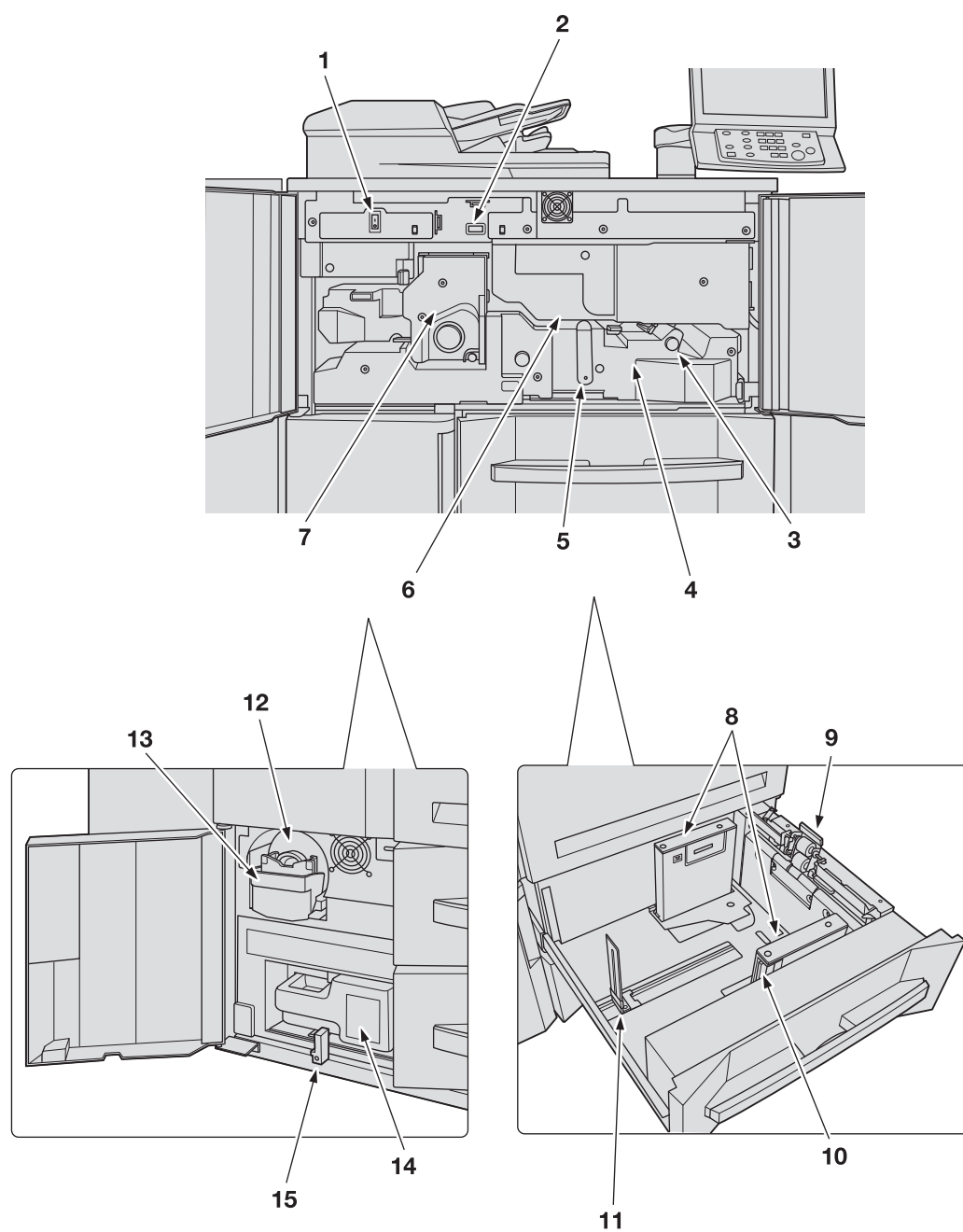
2.1 各部の名称とはたらき

2.1.1 本体外部



番号	名称	説明
1	ADF(自動原稿送り装置) DF-616	複数の原稿を自動的に1枚ずつ原稿ガラスに送り、原稿画像をスキャンします。
2	副電源スイッチ	本体の電源を ON/OFF します。
3	タッチパネル	機械状態画面などの画面を表示して、各操作および設定をします。また、操作のしかたやトラブルの処理方法を表示します。
4	操作パネル	各操作および設定時に押します。
5	本体右扉	紙づまりのとき、右に開いて処理します。 大容量給紙ユニット LU-409/LU-410 やペーパーフィーダーユニット PF-706 を装着しているときは、それらのトレイ左扉を開いてから処理します。
6	トレイ 1	用紙を 1,600 枚 (64 g/m ² 紙) 収納します。
7	トレイ 2	用紙を 1,600 枚 (64 g/m ² 紙) 収納します。
8	本体前扉	紙づまりのとき開けて処理します。
9	トナー補給扉	トナーを補給するときや、廃棄トナーボックスを交換するとき、開いて処理します。
10	本体左扉	紙づまりのときや、主電源スイッチを OFF/ON するとき、本体右扉といっしょに開けます。
11	接続ポート (タイプ A) USB 2.0/1.1 相当	バックアップ用ドライバー、操作用キーボード、マウスなどを接続するときに使用します。 この接続ポートはローパワーデバイスだけに対応しています。大きな電源容量を必要とするデバイスは、外部から電源を供給してください。
12	ネットワーク用ポート (10 Base-T、100 Base-TX、1000 Base-T)	イーサネットケーブルを接続して本機を操作したり、ネットワークプリンター/スキャナーとして使用したりします。
13	除湿ヒータースイッチ	本機の除湿ヒーターを ON/OFF します。
14	本体電源コード	本体に電源を供給します。

2.1.2 本体内部



番号	名称	説明
1	主電源スイッチ	OFF/ON の切替えは、サービスエンジニアが行います。通常は OFF にしないでください
2	トータルカウンター	出力された総画像枚数を表示します。
3	ツマミ [M2]	紙づまりのとき、左に回して処理します。
4	定着搬送ユニット	紙づまりのとき、引出して処理します。定着搬送ユニットの各レバーやツマミについては、紙づまり時に表示される画面をごらんください。
5	レバー [M4]	紙づまりのとき、右に倒して定着搬送ユニットを引出します。
6	ドラム部	画像を形成する部分です。
7	定着部	形成された画像を用紙に定着させる部分です。
8	側面ガイド	セットした用紙の両側面に沿わせます。
9	給紙ローラー	用紙を 1 枚ずつプリント装置に送込みます。
10	ロック解除レバー	側面ガイドを動かすとき、奥側に押してロックを解除します。
11	後端ガイド	セットした用紙の後端面に沿わせます。
12	トナーボトル	本体にトナーを供給します。
13	トナーユニットレバー	トナーボトルを交換するため、トナーユニットを引出すときに手前に引きます。
14	廃棄トナーボックス	廃トナーを回収します。
15	ロックレバー	廃棄トナーボックスを交換するとき、廃棄トナーボックスを押しながら左に倒して、ロックを解除します。

⚠ 警告

使用済みの廃棄トナーボックスを絶対に火中に投じないでください！

- 廃トナーでいっぱいになった廃棄トナーボックスを火中に投じると、粉塵爆発のおそれがあり、とても危険です。

⚠ 注意

定着部に手を触れないでください！

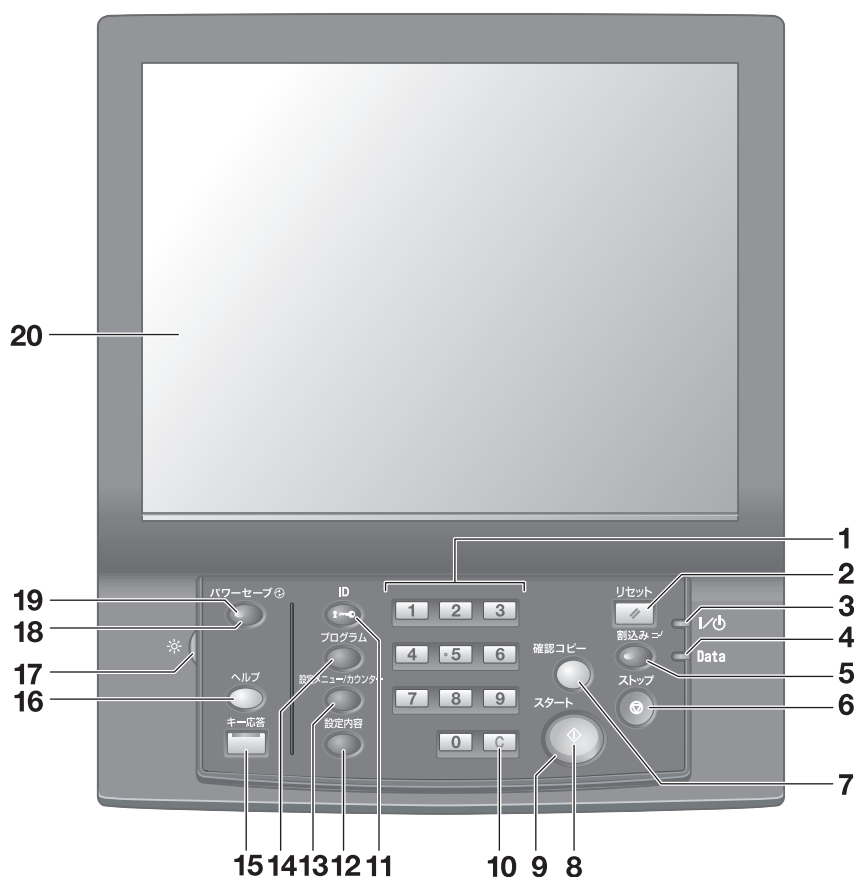
- やけどをするおそれがあります。定着搬送ユニットを引出したときは、特にご注意ください。

⚠ 注意

本体と定着搬送ユニットとのすき間に、手や腕を入れないでください！

- 定着搬送ユニットの裏側には電気部品の接続端子などがあり、触れると故障の原因になります。また、本体と定着搬送ユニットとのすき間に手や腕を入れると、思わぬ事故になることがあります。無理な作業はしないで、サービス実施店にご連絡ください。

2.1.3 操作パネル



番号	名称	説明
1	テンキー	数値などを入力するときに押します。
2	リセット	コピー条件を初期状態にもどすときに押します。
3	電源ランプ	主電源スイッチを入れると赤色に点灯し、副電源スイッチを入れると緑色に変わります。
4	データランプ	プリントデータの受信中に点滅します。
5	割込み	コピー、プリンター、スキャナー作業中、他のコピー条件でコピーしたいときに押します。
6	ストップ	出力を一時停止したり、機械の動作を中断したりするときに押します。
7	確認コピー	設定したコピー条件を確認するため、1部をプリント、または先頭1ページをプリントするときに押します。
8	スタート	各機能を開始するときに押します。
9	スタートランプ	動作を開始できるとき、青色になります。動作を開始できないときはオレンジ色になります。
10	C (枚数クリア)	入力した数値を変更するときに押します。
11	ID	ユーザー認証／部門管理が設定されている場合、認証を得て機械を使用した後、次のユーザーが再び認証を得てから機械を使用できるようにするときに押します。
12	設定内容	現在設定されているコピー条件を確認するため、設定確認画面を表示するときに押します。

番号	名称	説明
13	設定メニュー／カウンター	設定メニュー画面や各種カウンターを表示するときに押します。
14	プログラム	任意のコピー条件を登録したり、登録したコピー条件や直前のコピー条件を呼出したりするときに押します。
15	キー応答	タッチパネルのボタンや操作パネルのキーを押したときの応答時間を調整するときに押します。
16	ヘルプ	現在タッチパネルに表示されている画面の操作方法を説明するヘルプ画面を表示するときに押します。機械状態画面を表示しているときに押すと、各種補給方法や廃棄方法を表示します。
17	輝度調整つまみ	タッチパネルの輝度を調整するときに回します。
18	パワーセーブ	パワーセーブランプが点灯して、パワーセーブの状態にある機械を使用するときに押します。また、手動でパワーセーブにするときに押します。
19	パワーセーブランプ	機械がシャットオフ／ローパワーなどのパワーセーブの状態にあるときや、ウィークリータイマーが動いて OFF の状態にあるときに点灯します。
20	タッチパネル	機能を設定するための各種画面を表示します。

⚠ 注意

操作パネルのタッチパネルに、硬いものや先の尖ったものをあてないでください！

- 傷がついたり割れたりしてけがをすることがあります。タッチパネルは、指を使って操作してください。

⚠ 注意

サービスコール画面が表示され、コピーできなくなった場合は、ただちに操作を中止してください！

- 思わぬ事故になるおそれがあります。メッセージ 2 行目のレポートコードを書留めてから、副電源スイッチ、主電源スイッチの順に OFF にして、本体の電源プラグを抜きます。その後、サービス実施店に連絡して、書留めたレポートコードをお知らせください。

重要

主電源スイッチは、通常 ON の状態を維持します。普段は、主電源を OFF/ON しないでください。

副電源スイッチを OFF にする前に、主電源スイッチを OFF にしないでください。

副電源スイッチを OFF にした後、下記のメッセージが表示されている間は、主電源スイッチを OFF にしないでください。

[冷却中です 冷却後に自動的に電源が切れます]

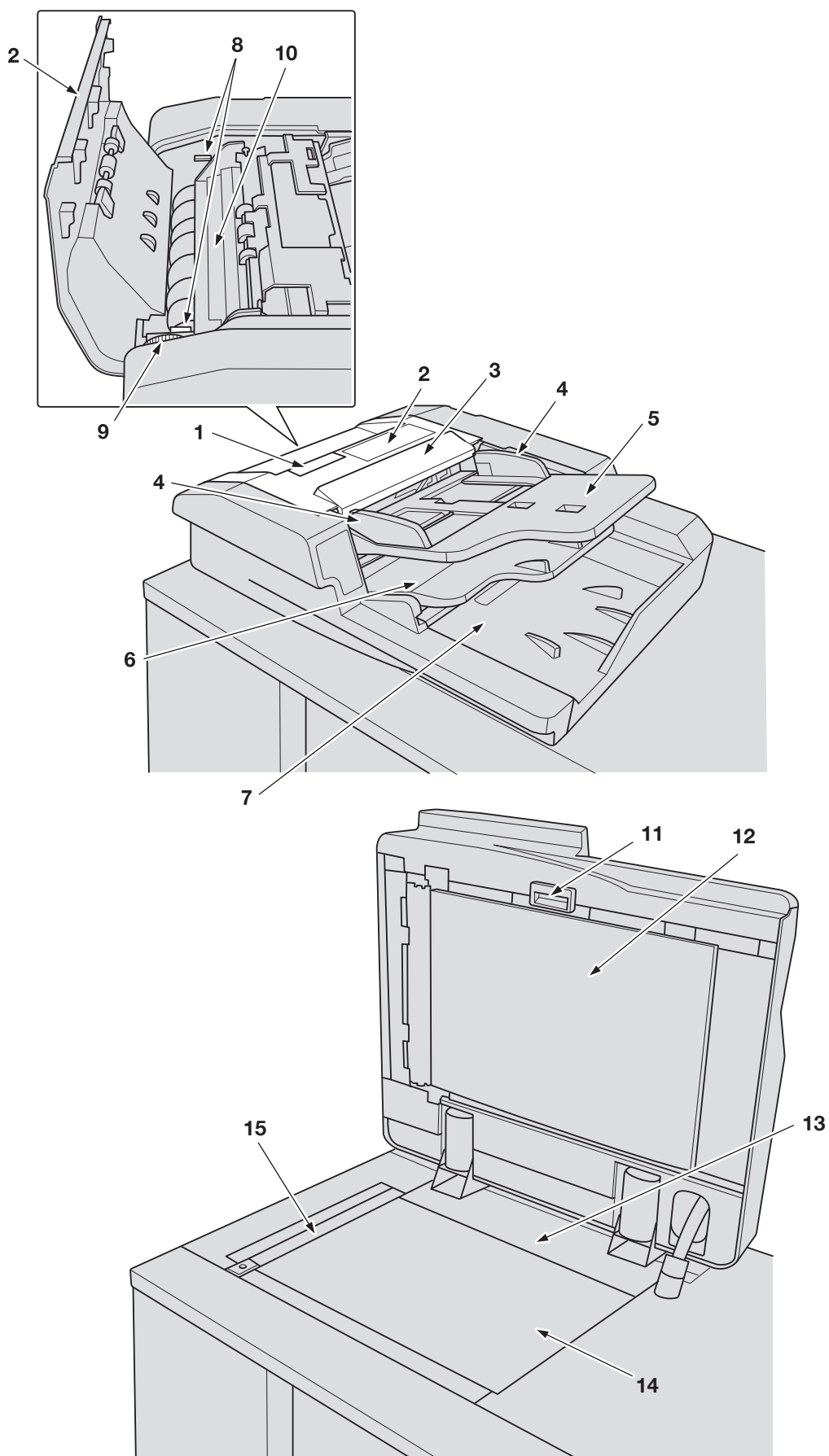
[電源 OFF 処理中です 主電源を切らないで下さい]

これらのメッセージが表示されているときに主電源スイッチを OFF にすると、機械の中でトナー固着などの致命的なトラブルが発生するおそれがあります。

**参照**

電源の切り方については、2-24 ページをごらんください。

2.1.4 ADF（自動原稿送り装置）



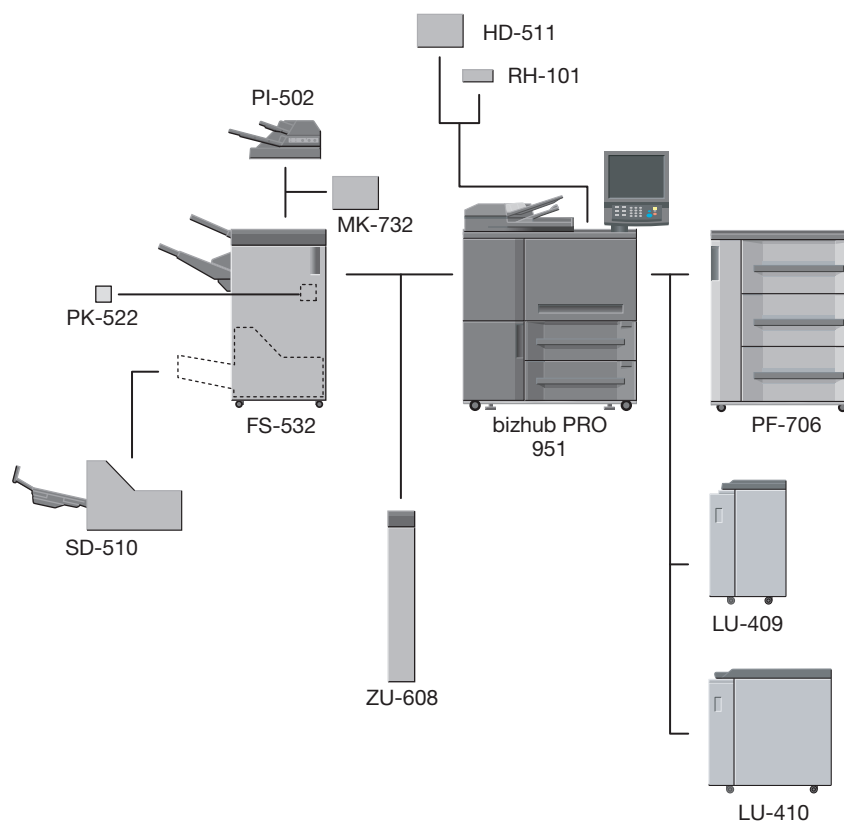
番号	名称	説明
1	原稿搬送カバー解除取手	原稿搬送カバーを開くとき、上に引きます。
2	原稿搬送カバー	原稿がつまったとき、左に開いて処理します。
3	ADF 原稿スケール	セットできる原稿のサイズ、セットする原稿面、およびセットしてはいけない原稿の種類を表記しています。
4	原稿ガイド	セットした原稿の両側面に沿わせます。
5	原稿給紙トレイ	スキャンする原稿をセットします。100 枚までセットできます。また、原稿がつまったとき、上に開いて処理します。
6	一時原稿出力トレイ	原稿のウラ面をスキャンするため、反転した原稿を一時的に受けます。また、原稿がつまったとき、上に開いて処理します。
7	原稿排紙トレイ	スキャンした原稿を積載します。
8	反転搬送カバーレバー	反転搬送カバーを開くとき、上に引きます。
9	原稿搬送ツマミ	つまった原稿を送出するときに回します。
10	反転搬送カバー	原稿がつまったとき、右に開いて処理します。
11	ADF ガイドカバー取手	ADF ガイドカバーを開くとき、持って処理します。
12	ADF ガイドカバー	原稿を原稿ガラスにセットしたとき、閉じてカバーします。また、原稿がつまったとき、下を開いて処理します。
13	水平方向原稿サイズ指標	水平方向の原稿サイズを計測します。
14	原稿ガラス	ADF では送れない原稿をセットして、原稿画像を読み込みます。
15	垂直方向原稿サイズ指標	垂直方向の原稿サイズを計測します。

⚠ 注意

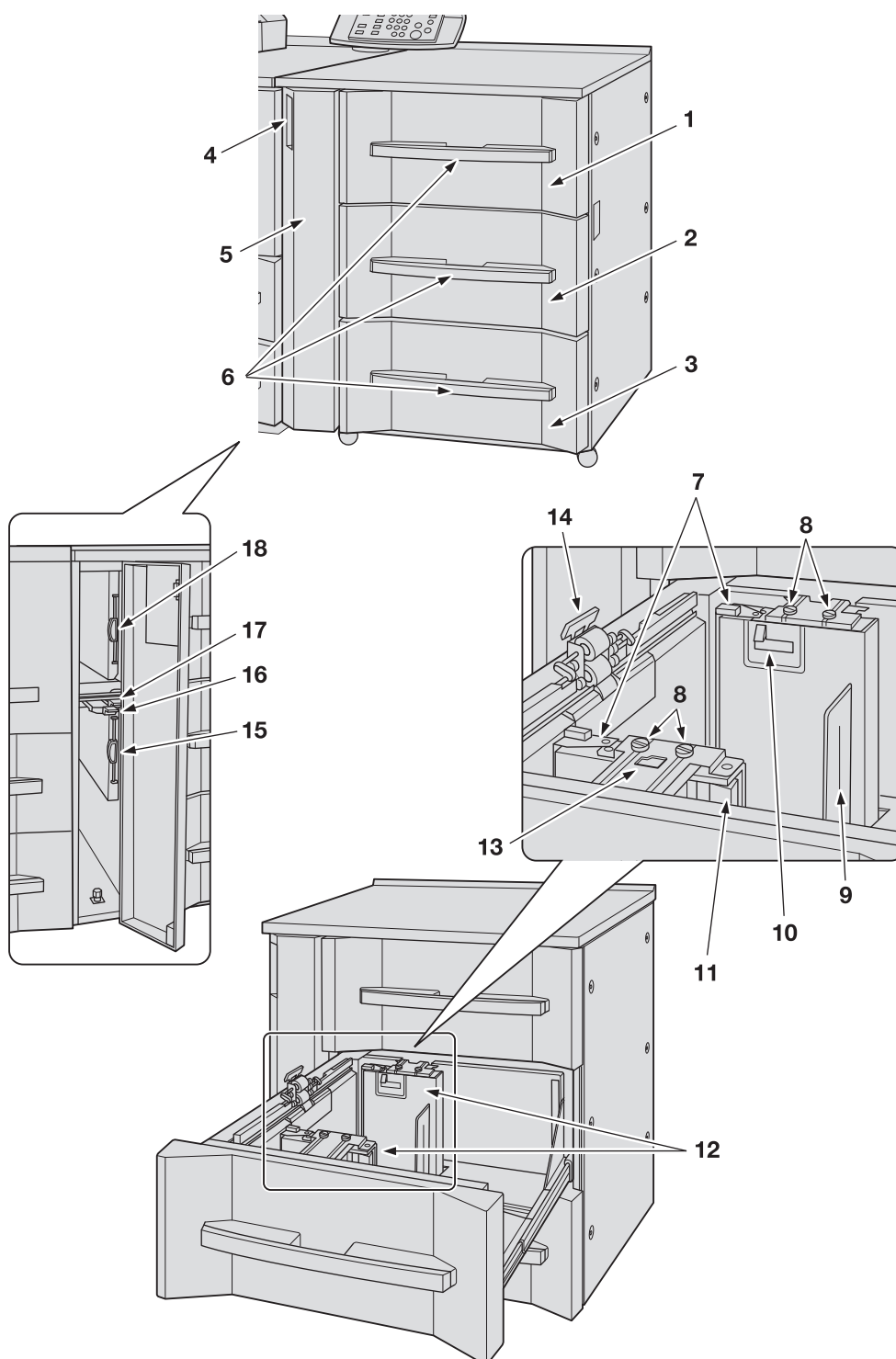
ADF ヒンジ部（2 箇所）に指を入れないでください！

- はさまれてけがをすることがあります。ADF を開け閉めするときは、ご注意ください。

2.1.5 オプション構成

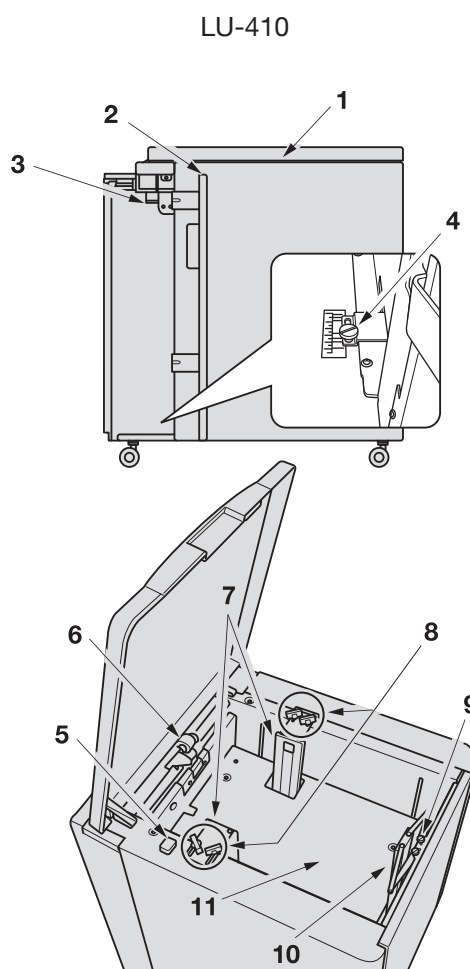
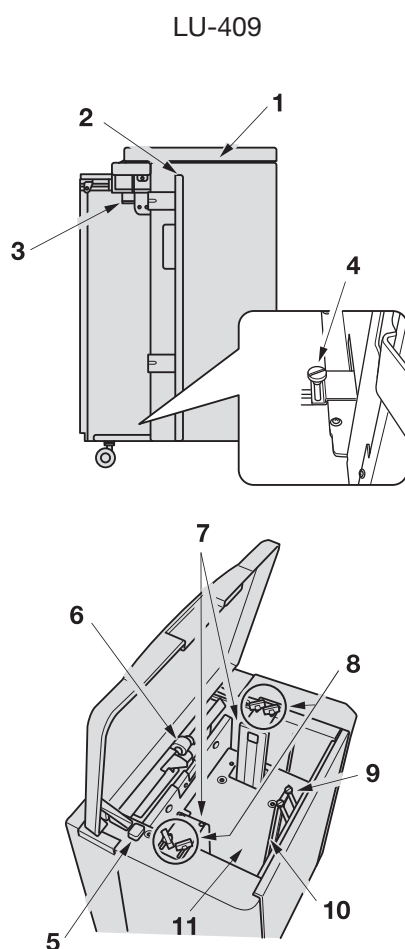


2.1.6 ペーパーフィーダーユニット PF-706



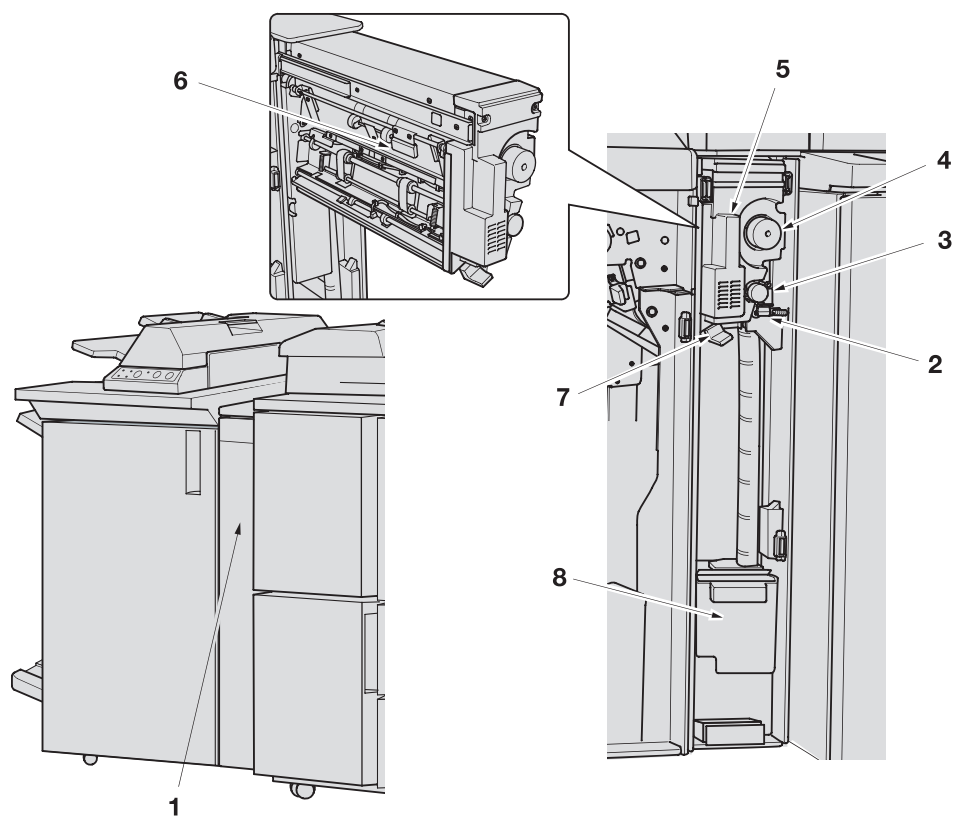
番号	名称	説明
1	上段トレイ (トレイ 3)	定形サイズ、不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙の用紙を 2,000 枚 (80 g/m ² 紙) 収納します。坪量 40 g/m ² ~ 300 g/m ² の用紙をセットします。
2	中段トレイ (トレイ 4)	定形サイズ、不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙の用紙を 2,000 枚 (80 g/m ² 紙) 収納します。坪量 40 g/m ² ~ 350 g/m ² の用紙をセットします。
3	下段トレイ (トレイ 5)	定形サイズ、不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙の用紙を 2,000 枚 (80 g/m ² 紙) 収納します。坪量 40 g/m ² ~ 300 g/m ² の用紙をセットします。
4	トレイ左扉取手	トレイ左扉を開くとき、持って開きます。
5	トレイ左扉	本体右扉を開いて紙づまり処理をするときや、ペーパーフィーダーユニットトレイの紙づまりを処理するとき、開きます。
6	トレイ取手	トレイを引出すとき、持って引出します。
7	小サイズガイド (2 箇所)	用紙幅が 182 mm 未満の用紙をセットするとき、両側を内側に開きます。
8	ガイド固定ツマミ (4 箇所)	側面ガイドを動かしたり、固定したりするときに回します。
9	後端ガイド	セットした用紙の後端側に沿わせます。
10	エアー吹き出し口	用紙の重送を防ぐため、用紙を浮上させるエアーを吹出します。
11	側面ガイドロック解除レバー	側面ガイドを動かすとき、奥側に押してロックを解除します。
12	側面ガイド (2 箇所)	セットした用紙の両側面に沿わせます。
13	サイズ指標	側面ガイドの位置をスケールで確認します。
14	給紙ローラー	本体に用紙を 1 枚ずつ送ります。
15	下段トレイ縦搬送扉	紙づまりのとき、左に開いて処理します。
16	レバー PF1	紙づまりのとき、下に開いて処理します。
17	レバー PF2	紙づまりのとき、下に開いて処理します。
18	上段トレイ縦搬送扉	紙づまりのとき、左に開いて処理します。

2.1.7 大容量給紙ユニット LU-409 / LU-410



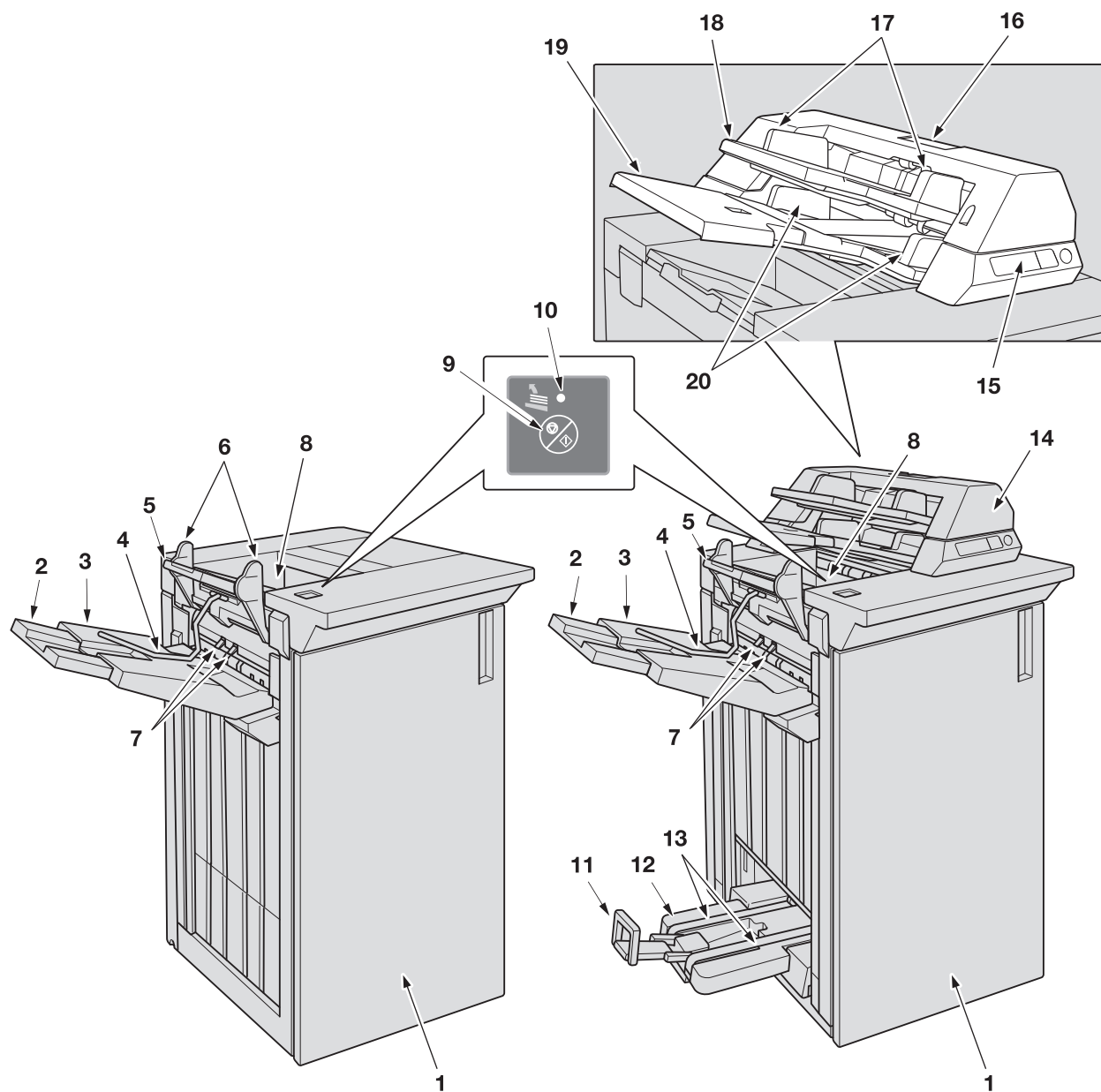
番号	名称	説明
1	トレイ上扉	用紙の補給または紙づまりのとき、開いて処理します。
2	トレイ左扉	紙づまりのとき、開いて処理します。
3	レバー [LC2]	紙づまりのとき、下に開いて処理します。
4	側面ガイドツマミ (下)	側面ガイドを動かしたり、固定したりするときに回します。
5	トレイ底板下降ボタン	用紙を補給して押すと、トレイ底板が下降します。
6	給紙ローラー	本体に用紙を送ります。
7	側面ガイド	セットする用紙の側面部を固定します。
8	側面ガイドツマミ (上)	側面ガイドを動かしたり、固定したりするときに回します。
9	後端ガイドツマミ	後端ガイド板を動かしたり、固定したりするときに回します。
10	後端ガイド	セットする用紙の後端を固定します。
11	トレイ底板	用紙が使われるごとに、上に上がります。トレイ底板下降ボタンを押すと下降します。

2.1.8 Z 折りユニット ZU-608



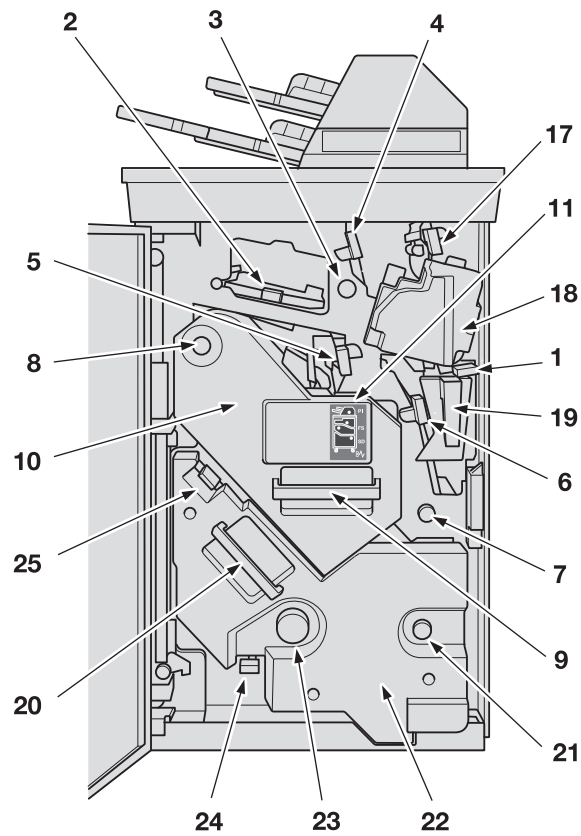
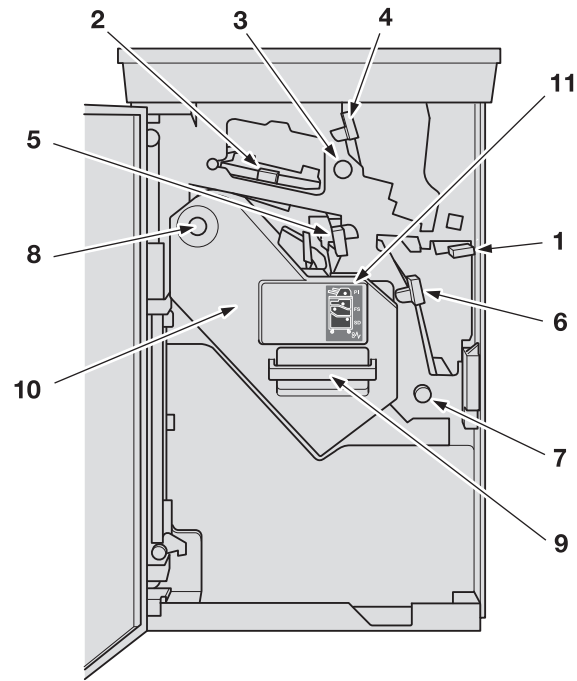
番号	名称	説明
1	Z 折りユニット前扉	紙づまりやパンチくずを処理するときに開きます。
2	入口レバー [FN1]	紙づまりのとき、開いて処理します。
3	ツマミ [FN4]	紙づまりのとき、回して処理します。
4	ツマミ [FN5]	紙づまりのとき、回して処理します。
5	取手 [FN2]	紙づまりのとき、持ってユニットを引出します。
6	レバー [FN6]	紙づまりのとき、開いて処理します。
7	出口レバー [FN8]	紙づまりのとき、開いて処理します。
8	パンチくず箱	パンチくずを捨てるとき、引出します。

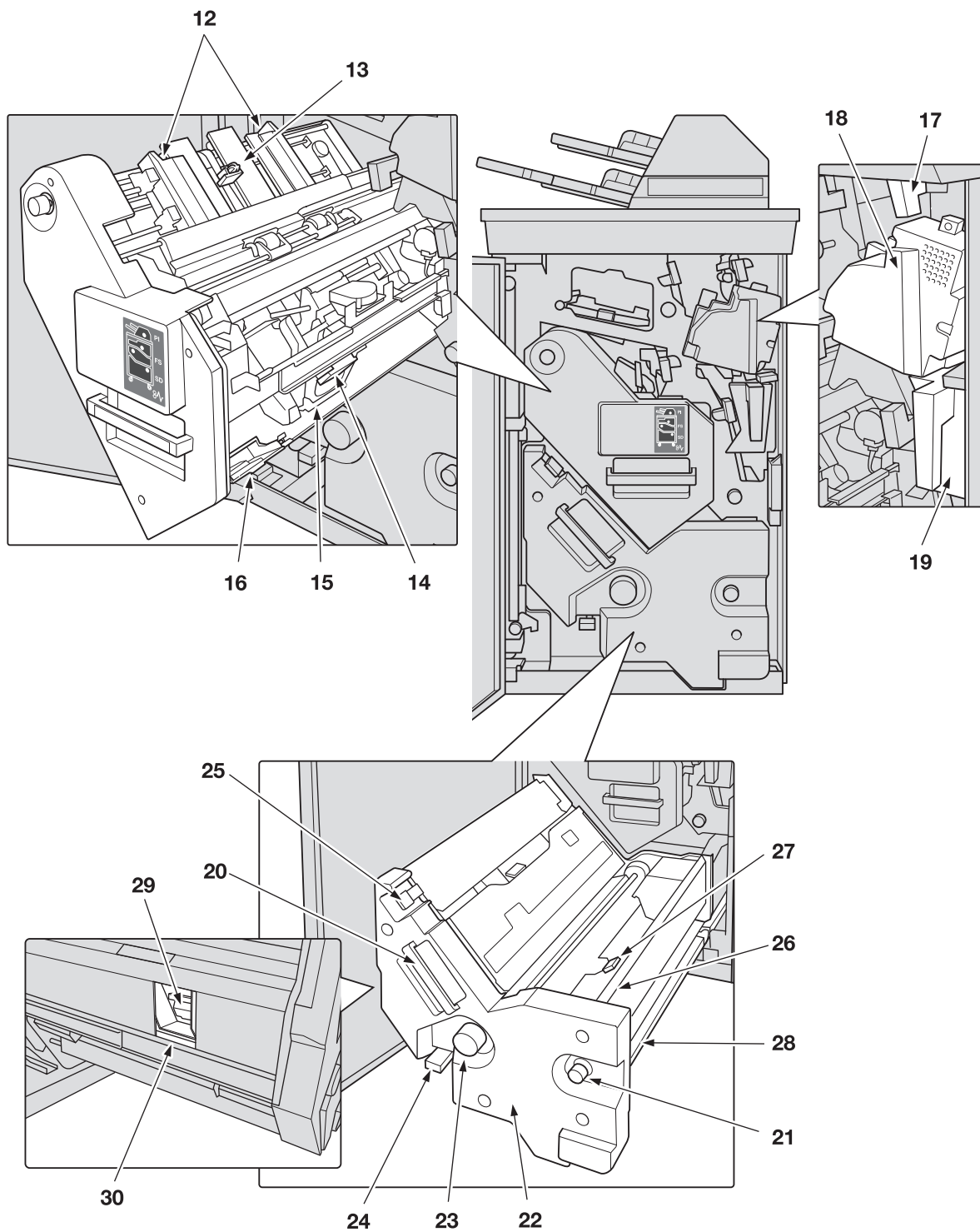
2.1.9 フィニッシャー FS-532 (パンチキット PK-522 + 中とじ機 SD-510 + ポストインサーター PI-502)



フィニッシャー FS-532 外部

番号	名称	説明
1	フィニッシャー前扉	平とじステープル針を補給するときや、紙づまりを処理するときを開きます。パンチキット PK-522 を装着しているときは、パンチくずを処理するときを開きます。中とじ機 SD-510 を装着しているときは、中とじステープル針を補給するときや、中とじ機の紙づまりを処理するときを開きます。
2	メイントレイ拡張トレイ	サイズの大きい用紙をメイントレイに排紙するとき、引出します。
3	メイントレイ	仕分け処理をしない用紙、またはシフト処理／平とじステープル処理をする用紙を積載します。
4	用紙ホルダー	メイントレイに排紙された薄紙やカールした用紙を保持します。
5	サブトレイ拡張トレイ	サイズの大きい用紙をサブトレイに排紙するとき、引出します。
6	排紙ガイド	メイントレイに排紙された用紙の用紙送り交差位置を整えます。
7	グリッパー	メイントレイに排紙された用紙の用紙送り方向の位置を整えます。
8	サブトレイ	仕分け処理をしない用紙を積載します。
9	一時停止／再スタートボタン	トレイに出力中のジョブを一時停止するとき、1 秒間以上押します。 また、出力を再開するとき、1 秒間押します。操作パネルのスタートを押しても、同様に出力を再開します。
10	一時停止ランプ	一時停止／再スタートボタンを押して、トレイへの出力を一時停止したとき、点滅します。再スタートしたり、一時停止のジョブを削除したりすると、消灯します。
11	用紙送出し取手	中とじ／重ね中折り／重ね三つ折りするとき左に開きます。そして、折りトレイに積載された用紙を外に送出すとき、上に持ち上げます。
12	折りトレイ	中とじ／重ね中折り／重ね三つ折りした用紙を積載します。
13	用紙送出しベルト	折りトレイに積載された用紙を外に送出します。
14	ポストインサーター PI-502（オプション）	カバー紙を用紙に挿入して出力したり、フィニッシャー FS-532 を手動で操作したりします。
15	ポストインサーター操作パネル	フィニッシャー FS-532 を手動で操作するとき 사용합니다。
16	上ユニット解除レバー	紙づまりのとき、上に上げます。開いたポストインサーター PI-502 の上ユニットを左にスライドして、つまった紙を取除きます。
17	上段トレイガイド	セットしたカバー紙に沿わせます。
18	上段トレイ	カバー紙をセットします。
19	下段トレイ	カバー紙をセットします。
20	下段トレイガイド	セットしたカバー紙に沿わせます。



**重要**

スタッカーを引出そうとしても、ロックがかかって引出せないときがあります。また、引出されたスタッカーを元の位置に押しもどそうとしても、ロックがかかって押しもどせないときがあります。

ロックがかかっているときに無理に操作すると、スタッカーにあるタテ整合板の故障の原因になります。

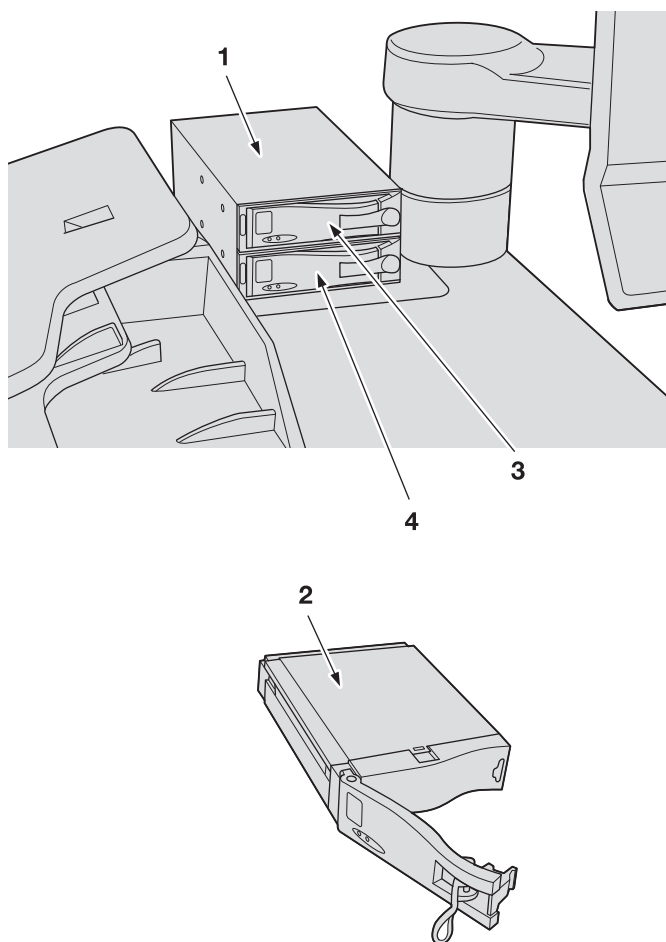
いずれの場合も、スタッカーのツマミ〔FS8〕を回してください。ロックが解除されて操作できるようになります。

フィニッシャー FS-532 内部

番号	名称	説明
1	レバー [FS1]	紙づまりのとき、下に開いて処理します。パンチキット PK-522 を装着しているときは、パンチくず箱を引出してから開きます。
2	レバー [FS2]	紙づまりのとき、上に開いて処理します。
3	ツマミ [FS3]	紙づまりのとき、回して処理します。
4	レバー [FS4]	紙づまりのとき、右に開いて処理します。
5	レバー [FS5]	紙づまりのとき、左下に開いて処理します。
6	レバー [FS6]	紙づまりのとき、右に開いて処理します。パンチキット PK-522 を装着しているときは、パンチくず箱を引出してから開きます。
7	ツマミ [FS7]	紙づまりのとき、回して処理します。
8	ツマミ [FS8]	スタッカーの紙づまりのとき、スタッカーを引出してから回して、つまった紙を送出します。スタッカーがロックされて引出せないときは、回してから引出します。引出されたスタッカーがロックされて元の位置にもどせないときは、回してからもどします。
9	取手 [FS9]	スタッカーの紙づまりのとき、持って引出します。
10	スタッカー	平とじステープルするため、出力した用紙をスタックして整合します。
11	紙づまり位置表示パネル	紙づまりの位置を、LED の点灯で表示します。
12	ヨコ整合板	平とじステープルする用紙の通紙交差方向の位置を整えます。
13	タテ整合板	平とじステープルする用紙の通紙方向の位置を整えます。タテ整合板の停止位置によって、引出しや押し込み時にスタッカーがロックされることがあります。
14	ステーブラー	ステープル針を補給するとき、ステープルユニットから取外してステープルカートリッジを交換します。
15	ステープルユニット	用紙に平とじステープルします。
16	針くず箱	カットした針くずがためられます。
17	レバー [PI1]	ポストインサーター PI-502 の紙づまりのとき、左に開いて処理します。
18	パンチキット PK-522 (オプション)	用紙にパンチ穴を開けます。
19	パンチくず箱	パンチくずがためられます。
20	取手 [SD1]	中とじ機 SD-510 の中とじステープル針を補給するときや、紙づまりを処理するとき、持って引出します。
21	ツマミ [SD3]	紙づまりのとき、サドルユニットを引出してから、回して処理します。
22	サドルユニット (中とじ機 SD-510) (オプション)	中とじ、重ね中折り、重ね三つ折りをします。
23	ツマミ [SD5]	紙づまりのとき、サドルユニットを引出してから、回して処理します。
24	レバー [SD8]	紙づまりのとき、サドルユニットを引出してから、下に開いて処理します。
25	レバー [SD7]	紙づまりのとき、サドルユニットを引出してから、上に開いて処理します。
26	レバー [SD2]	紙づまりのとき、サドルユニットを引出してから、右に開いて処理します。
27	レバー [SD4]	紙づまりのとき、サドルユニットを引出してから、上に開いて処理します。

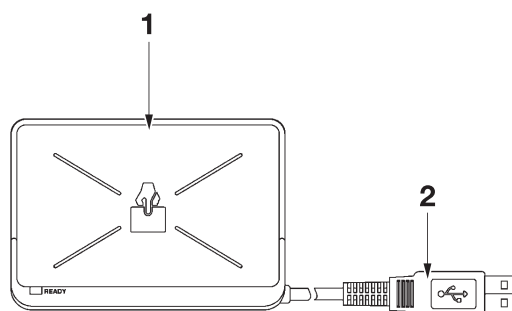
番号	名称	説明
28	レバー [SD6]	紙づまりのとき、サドルユニットを引出してから、右に開いて処理します。
29	ステープラー	ステープル針を補給するとき、サドルユニットから取外してステープルカートリッジを交換します。
30	ステープラー出し入れ口	ステープル針を補給するとき、ステープラーを出し入れします。

2.1.10 リムーバブルハードディスクキット RH-101



番号	名称	説明
1	リムーバブルハードディスクキット RH-101	HDD を装着したハードディスクインナーケースキットを 2 個取付け持ち運び可能にします。
2	ハードディスクインナーケースキット (HD-511 付属)	本体用 HDD とイメージコントローラー用 HDD を外付けにします。
3	イメージコントローラー用 HDD	イメージコントローラー用の外付け HDD です。
4	本体用 HDD	本体用の外付け HDD です。

2.1.11 認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201



番号	名称	説明
1	カード読取り部	IC カードを登録したり、認証を得たりするとき、IC カードをかざします。
2	USB ケーブル	本体の接続ポートに接続します。

重要

認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 は、オプション製品です。すべて現行のままで販売、または利用許諾されるものです。

弊社は、本ユーザーズガイドに従わない使用はもとより、製品または製品の使用から生じたいかなる損害（逸失利益、その他の間接損害を含む）についても責任を負いません。

本製品は、一般事務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途に使用しないでください。

高信頼性を必要とする用途例：化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御など

他の認証装置との使用については、動作保証していません。

本製品の仕様は、改良のため、変更することがあります。

IC カードは、カード読取り部から 40 mm 以内に近づけたまま放置しないでください。

2.2 電源を入れる、切る

本機には、主電源スイッチと副電源スイッチの2つの電源スイッチがあります。

2.2.1 電源を入れる

1 主電源スイッチを ON にします。

主電源スイッチは、本体内部にあります。

本体前扉を開いてから、本体左扉を開きます。

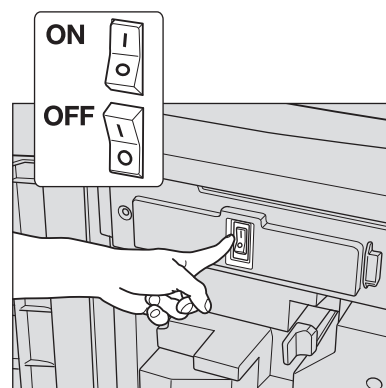
主電源スイッチを ON にすると、操作パネルの電源ランプが赤に点灯します。

重要

主電源スイッチは、通常 ON の状態を維持します。普段は、主電源を OFF/ON しないでください。

ただし、管理者設定の [ErP 設定] で移行時間を選択したり、[主電源自動 OFF 設定] を ON にしたりすると、主電源スイッチは自動的に OFF になります。その場合は、主電源スイッチを手動で ON にしてください。

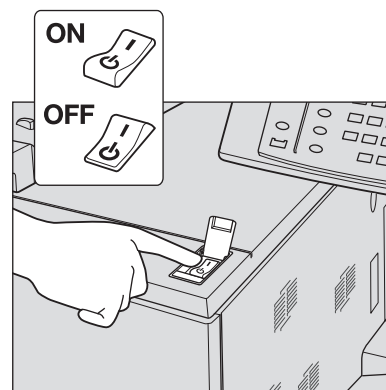
[ErP 設定] および [主電源自動 OFF 設定] については、POD 管理編の 7 章をごらんください。



2 副電源スイッチを ON にします。

副電源スイッチは本体の前面にあります。

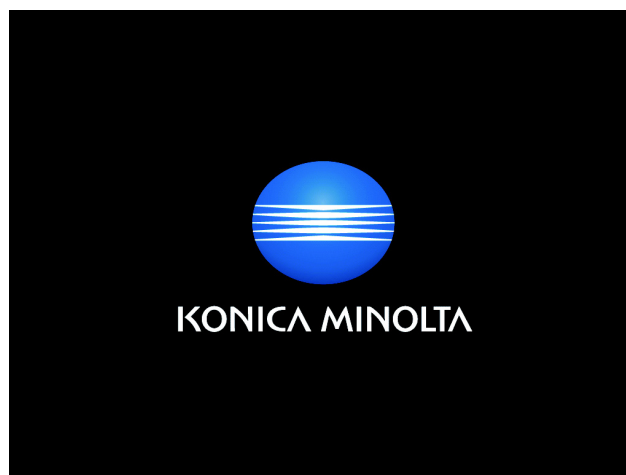
副電源スイッチを ON にすると、操作パネルの電源ランプが緑色に点灯します。



3 ウェイクアップ画面とウォームアップ画面とが表示されます。

ウェイクアップ画面につき、ウォームアップ表示している機械状態画面が表示されます。

ウォームアップに約 6 分 30 秒かかります。





- ウォームアップ表示中に画面の「コピー」タブを押すと、コピー画面に変わります。コピー画面に「コピー予約できます」と表示されると、ウォームアップ中に原稿をスキャンしておき、コピー可能になったときすぐに出力できます。



- 4 プリント可能になると、「プリントできます」と表示されます。
→ キーカウンターやコピーカードの挿入が必要な場合は、その指示に従って操作してください。



2.2.2 電源を切る

重要

主電源スイッチは、通常 ON の状態を維持します。普段は、主電源を OFF/ON しないでください。

副電源スイッチを OFF にする前に、主電源スイッチを OFF にしないでください。

副電源スイッチを OFF にした後、下記のメッセージが表示されている間は、主電源スイッチを OFF にしないでください。

[冷却中です 冷却後に自動的に電源が切れます]

[電源 OFF 処理中です 主電源を切らないで下さい]

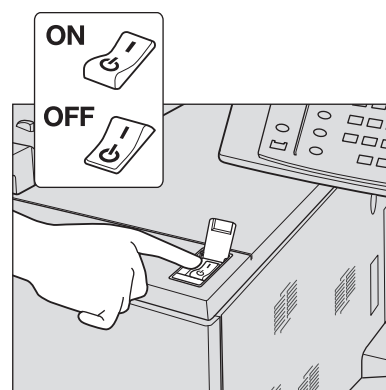
これらのメッセージが表示されているときに主電源スイッチを OFF にすると、機械の中でトナー固着などの致命的なトラブルが発生するおそれがあります。

主電源スイッチを OFF にしてすぐに ON にする場合は、主電源スイッチを OFF にして必ず 10 秒以上経過してから ON にしてください。10 秒以内に主電源スイッチを ON にすると、正常に動作しないことがあります。

1 副電源スイッチを OFF にします。

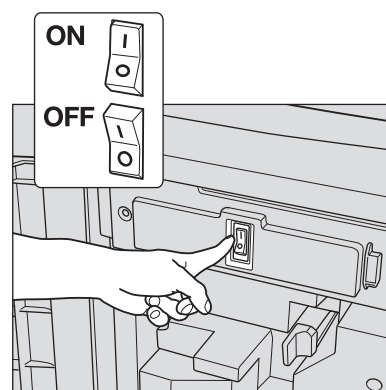
副電源スイッチは本体の前面にあります。タッチパネルの表示、および電源ランプ以外の操作パネルのランプはすべて消灯し、電源ランプが緑から赤にかかります。

→ ウィークリータイマーを設定している場合は、副電源スイッチを OFF にしないでください。副電源スイッチを OFF にすると、ウィークリータイマーは機能しなくなります。



2 主電源スイッチを OFF にします。

主電源スイッチは、本体内部にあります。
本体前扉を開いてから、本体左扉を開きます。



2.2.3 主電源スイッチを自動的に OFF にする

本機は、主電源スイッチを自動的に OFF できます。次の 2 種類の設定があります。

これらの設定は、管理者が設定メニューで行います。どのタイミングで主電源スイッチが OFF になるかは、管理者にお問い合わせください。



参照

設定の詳細は、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

選択項目	説明
主電源自動 OFF 設定	副電源スイッチを OFF にして、本体の冷却が完了すると、主電源スイッチを自動的に OFF にします。
ErP 設定	主電源スイッチが ON の状態で、下記の状態が一定時間経過したとき、主電源スイッチを自動的に OFF にします。 ・ 副電源スイッチが OFF の状態 ・ オートシャットオフが機能した状態 ・ オートローパワーが機能した状態 主電源スイッチが OFF になる時間は、移行しない、12 時間、24 時間、36 時間、48 時間、60 時間、72 時間のいずれか 1 つが選択されています。

自動的に OFF になった機械の主電源スイッチを ON にする方法は、通常の操作と同じです。



参照

主電源スイッチを ON にする方法は、2-22 ページをごらんください。

2.2.4 翌日継続

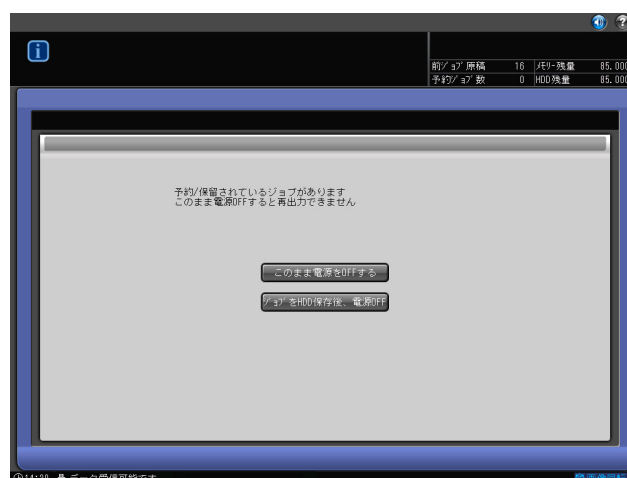
出力中のジョブや、予約／保留中のジョブがある状態で副電源スイッチを OFF にすると、2 種類のメッセージが表示されます。

- 翌日継続できる場合：[予約／保留されているジョブがあります このまま電源 OFF すると再出力できません]
- 翌日継続できない場合：[この状態では翌日継続できません ジョブをこのまま出力する場合には、再度電源を ON して下さい]

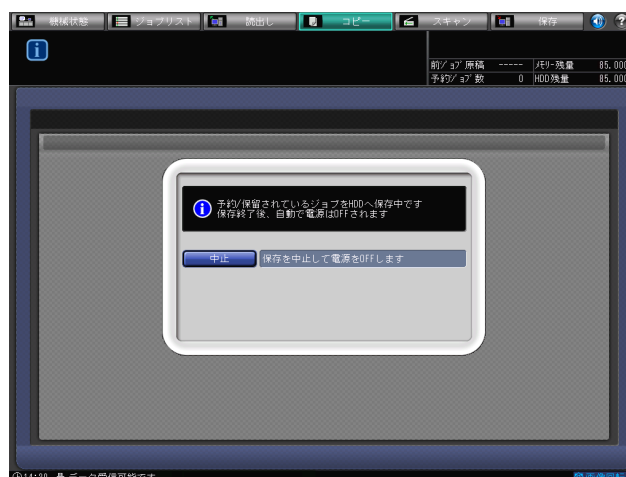
それぞれのメッセージに対応して操作してください。

翌日継続できる場合で、翌日継続するとき

- 1 予約／保留ジョブを本体 HDD に保存するため、[ジョブを HDD 保存後、電源 OFF] を押します。



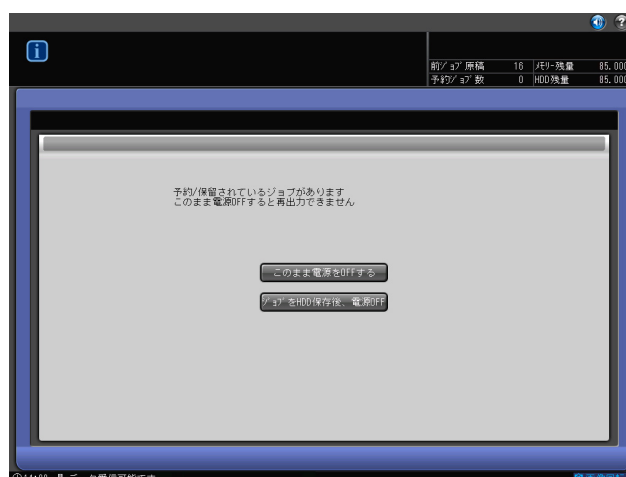
- 2 データ保存後、自動的に副電源スイッチを OFF にします。
再び副電源スイッチを ON にしたとき、HDD からデータを読み出して再出力できます。



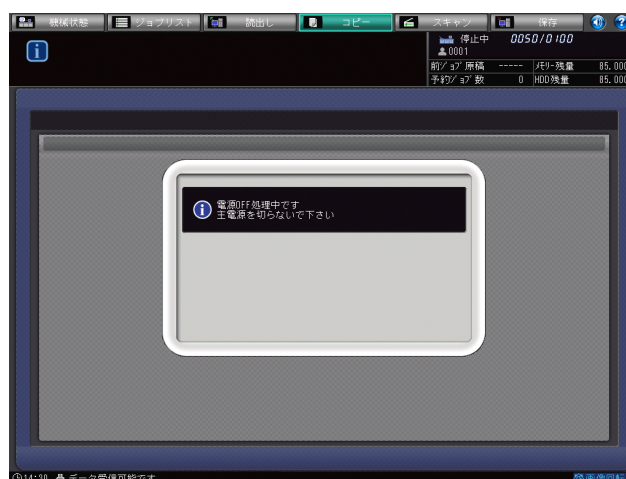
- データを保存しないで副電源を OFF にする場合は、画面の [中止] を押します。HDD へのデータ保存を中断して、副電源を OFF にします。再出力はできなくなります。

翌日継続できる場合で、翌日継続しないとき

- 1 「このまま電源を OFF する」を押します。



- 2 データを保存しないで、自動的に副電源を OFF にします。



翌日継続できない場合で、そのまま出力を続けるとき

- 1 副電源スイッチを ON にして、出力を続けます。



- 2 ジョブ完了後、再び副電源スイッチを OFF にします。

翌日継続できない場合でも、翌日継続したいとき

翌日継続できないメッセージが表示され、出力を続けなければならない場合でも、ジョブの出力データを保存して翌日継続できることがあります。

- 1 出力中、操作パネルのストップを押して表示されたダイアログに「一部出力」のボタンがある場合は、そのボタンを押します。



部数区切りまで出力して停止した後、ダイアログから「一部出力」のボタンが消えます。



- 2 副電源スイッチを OFF にします。
- 3 以降の手順は、「翌日継続できる場合で、翌日継続するとき」をごらんください。

2.3 自動的に初期設定にもどる（オートリセット）

本機を操作しなくなってから一定時間が経過すると、デフォルト画面として選択した画面にもどります。この機能をオートリセットといいます。

オートリセット機能が働くと、デフォルト画面にもどるだけではなく、コピー条件がイニシャルのコピー条件にもどります。

時間の選択

出荷時設定では、1 分を経過するとオートリセットが機能します。オートリセットが機能する時間は、設定メニューで選択できます。また、機能しないように設定できます。

デフォルト画面の選択

出荷時設定では、機械状態画面が選択されます。デフォルト画面は機械状態画面、ジョブリスト画面の予約／保留リスト画面、ジョブリスト画面のジョブスケジュール画面、コピー画面から選択します。



参照

イニシャルのコピー条件は、設定メニューのコピー初期設定画面で設定します。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

オートリセットが機能する時間やデフォルト画面の選択については、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

2.4 手動で任意設定にもどる（リセット）

操作パネルのリセットを押したとき、設定したコピー条件を取消して、任意設定にもどります。これをリセット機能といいます。

任意設定として、フルオート、イニシャル、コピープログラム [30] に登録したコピー条件のうち、いずれかを選択します。出荷時設定では、イニシャルが選択されてます。

フルオートのコピー条件

フルオートの設定は変更できませんが、出力設定だけ任意に変更できます。

- 原稿設定：標準
- 画質調整：標準
- 倍率設定：1.000
- 片面／両面：片面 -> 片面
- 応用設定：なし
- 出力設定：設定メニューで変更可能
- 自動用紙：ON
- 自動画像回転：ON

イニシャルのコピー条件

設定メニューのコピー初期設定画面で設定したコピー条件です。

コピープログラム [30] に登録したコピー条件

操作パネルのプログラムを押して、登録するコピー条件です。



参照

イニシャルのコピー条件については、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

フルオートのコピー条件、および 3 つの任意設定で共通のコピー条件の設定については、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

コピープログラムの登録については、10-11 ページをごらんください。

2.5 パワーセーブランプが点灯する

パワーセーブランプが点灯しているときは、パワーセーブが機能しているか、ウィークリータイマーが機能しています。いずれも、そのままでは機械を使用できません。



2.5.1 機械を使用するための操作

- ➔ 操作パネルのいずれかのキーを押します。
- ➔ 操作パネルのいずれかのキーを押しても反応がない場合は、パワーセーブを押します。

パワーセーブが機能していた場合は、プリント可能状態にもどります。

ウィークリータイマーが機能していると、機械状態画面が表示され、メッセージ表示部に「一時的にウィークリータイマーを解除します
パスワードを入力して下さい」と表示されます。パスワードを設定することで、時間外に機械を使用できます。



参照

パワーセーブには、オートローパワーおよびオートシャットオフの2つのモードがあります。詳しくは、以下をごらんください。

手でパワーセーブを機能させることができます。詳しくは、2-32 ページをごらんください。

2.5.2 自動的に節電状態になる（オートローパワー）

オートローパワーは、機械の消費電力を節約するための機能です。

プリント可能な状態のまま、プリントしないで一定時間（出荷時設定は1分）が経過すると、パワーセーブランプが点灯して、タッチパネルが消え、操作パネルではスタートランプ以外のすべてのランプが消灯します。スタートランプは赤色に変わりますが、電源ランプは緑色に点灯しつづけます。

オートローパワーとオートシャットオフの設定時間が同じ場合、シャットオフが機能します。ジャム位置画面や両面プリント中の画面が表示されているときは、タッチパネルは消えません。



参照

設定メニューでオートローパワーの設定時間を変更できます（1分、3分、5分、10分、15分、30分、60分、90分、120分、240分）。詳しくは、POD 管理者編の7章をごらんください。

ローパワーモードの解除のしかた

- ➔ タッチパネルのボタン、または操作パネルのキーのいずれかを押します。プリント可能な状態にもどります。

2.5.3 自動的に節電状態になる（オートシャットオフ）

オートシャットオフは、オートローパワーよりもさらに消費電力を節約するための機能です。

プリント可能な状態のまま、プリントしないで一定時間（出荷時設定は 15 分）が経過すると、パワーセーブランプが点灯し、タッチパネルおよび操作パネルのすべてのランプは消灯します。

電源ランプは緑色に点灯しつづけます。



参照

設定メニューでオートシャットオフの機能を OFF にしたり、設定時間を変更したりできます（-- 分（OFF）、1 分、3 分、5 分、15 分、30 分、60 分、90 分、120 分、240 分）。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

シャットオフモードの解除のしかた

→ 操作パネルのパワーセーブを押します。プリント可能な状態にもどります。



2.5.4 手動で節電状態にする

パワーセーブ（ローパワー、シャットオフ）の機能を手動で設定します。

1 操作パネルのパワーセーブを 1 秒間以上押し続けます。

下記のメッセージが表示されます。

シャットオフの場合：

[10 秒後にシャットオフモードへ移行します 操作キーで解除できます]

ローパワーの場合：

[10 秒後にローパワーモードへ移行します 操作キーで解除できます]

2 パワーセーブが機能します。

パワーセーブランプが点灯し、タッチパネルが消えます。

操作パネルのパワーセーブを押す時間が 1 秒未満の場合、下記のメッセージが表示され、パワーセーブは動きません。

[オートシャットオフを実行するには [パワーセーブ] を 1 秒間以上押して下さい]

[オートローパワーを実行するには [パワーセーブ] を 1 秒間以上押して下さい]



参照

初期設定では、手動で設定できるのはシャットオフです。設定メニューで、ローパワーを手動で設定できるように変更できます。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

2.5.5 使用時間を制限する（ウィークリータイマー）

ウィークリータイマーは、管理者が立てたスケジュールに従って機械の ON/OFF を設定することで、使用を制限する機能です。

ウィークリータイマーが設定されていて、機械が OFF の状態の場合、パワーセーブランプが点灯して、機械は使用できなくなっています。

**参照**

ウィークリータイマーの設定は、設定メニューの管理者設定で行います。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をご覧ください。

機械を使用できるようにする

下記の操作を行うと、機械は使用できるようになります（時間外使用）。

- 1 **操作パネルのパワーセーブを押します。**
機械状態画面に、下記のメッセージが表示されます。
[一時的にウィークリータイマーを解除します パスワードを入力して下さい]
→ [使用時間を指定して下さい 0時間05分] と表示された場合は、3 項に進みます。
→ この状態で 5 分経過すると、自動的に電源が切れます。
- 2 時間外パスワードを入力して、**操作パネルのスタート**を押します。
操作パネルのテンキーを使って、半角数字 4 桁の時間外パスワードを入力してから、**スタート**を押します。
[一時的にウィークリータイマーを解除します パスワードを入力して下さい****]
→ 時間外パスワードは、設定メニューの管理者設定で設定します。設定した時間外パスワードは管理者にお問い合わせください。
→ 入力を間違えたときは、引続き正しい半角数字 4 桁のパスワードを入力します。
- 3 時間を設定して、**操作パネルのスタート**を押します。
操作パネルのテンキーを使って時間を入力してから（0 ～ 9 時間）、**スタート**を押します。
[使用時間を指定して下さい 3時間05分]
- 4 分を設定して、**操作パネルのスタート**を押します。
操作パネルのテンキーを使って分を入力してから（0 ～ 59 分）、**スタート**を押します。
[使用時間を指定して下さい 3時間30分]
画面に [プリントできます] と表示されて、設定した時間内は通常どおり機械を使用できます。
→ 1 桁の数字を設定する場合は、最初に [0] を入力します。ただし、5 分未満の設定はできません。入力しても 5 分に設定されます。また、60 分以上の設定はできません。
- 5 設定時間内に作業が終了したら、**操作パネルのパワーセーブ**を 1 秒以上押しつづけます。
再び、機械の電源は OFF 状態になります。

2.6 ユーザー認証、部門認証を求められたとき

本機は、管理者が設定したユーザー認証項目（ユーザー名、ユーザーパスワード）や部門認証項目（部門名、部門パスワード）を、単独または組合わせて入力して、下記の機能が使用できるように設定できます。

また、認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 に IC カードをかざすだけでユーザー認証を得るように設定できます。

重要

タンデム機能を使用するとき、ユーザー認証・部門認証は機能しません。

名称	説明
コピー操作	〔コピー〕 タブを押して使用する機能
スキャン操作	〔スキャン〕 タブを押して使用する機能
プリンター印字	プリント出力する機能
読出し操作	〔読出し〕 タブおよび〔保存〕 タブを押して使用する機能

ユーザーパスワード／部門パスワードを入力してユーザー認証／部門認証を得る操作、および IC カードでユーザー認証を得る操作を説明します。



参照

ユーザー認証／部門管理の設定については、POD 管理者編の 7 章をごらんください。



参照

IC カードによるユーザー認証については、2-36 ページをごらんください。また、認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201 の利用については、サービス実施店にお問い合わせください。

2.6.1 ユーザーパスワード／部門パスワードの入力による認証

ユーザー名とユーザーパスワードを入力してユーザー認証を得る方法、および部門名と部門パスワードを入力して部門認証を得る方法を説明します。

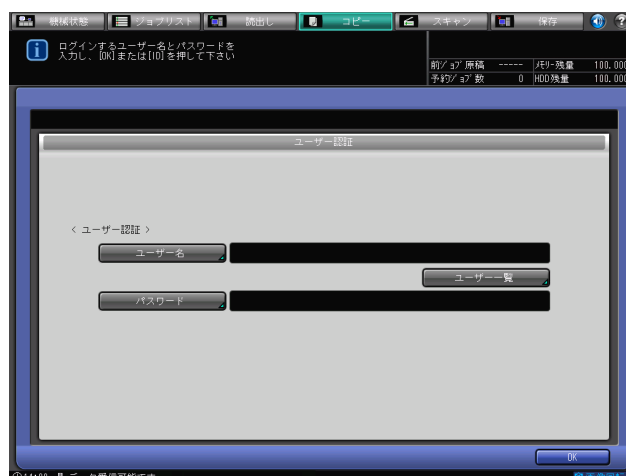
- ✓ ユーザー名やユーザーパスワードが割当てられたユーザーは、管理者が設定した機能および出力の上限値の範囲内で機械を使用します。
- ✓ 部門名や部門パスワードが割当てられたユーザーは、管理者が設定した機能および出力の上限値の範囲内で機械を使用します。
- ✓ 管理者の設定によって、ユーザー認証または部門認証だけで認証を得られたり、両方の認証が必要になったりします。
- ✓ パブリックユーザーの使用が許可されている機械は、認証画面の右上部に表示される〔パブリックユーザー〕を押すと、パブリックユーザーとして使用できます。パブリックユーザーとして使用できる機能および出力の上限値は管理者が設定します。
- ✓ 〔ユーザー一覧〕が表示されている画面は、登録したユーザー名を一覧表示します。
- ✓ 〔部門一覧〕が表示されている画面は、登録した部門名を一覧表示します。
- ✓ 認証を得て表示した画面は、リセットが機能したり、操作パネルの ID を押したりすると、認証画面にもどります。
- ✓ セキュリティ強化モードを ON にしている機械は、認証が必要な機能を使用するとき、必ず認証画面を表示します。このとき、半角英数字や記号で 8 文字以上の文字数に設定していないパスワードでは、認証されなくなります。また、認証時に入力を間違えたときは、5 秒間、再入力できません。〔ユーザー一覧〕や〔部門一覧〕は表示されなくなります。
- ✓ ユーザー名は半角英数字や記号を 64 文字以内、ユーザーパスワードは半角英数字を 64 文字以内、部門名、部門パスワードは半角英数字を 8 文字以内で入力します。

1

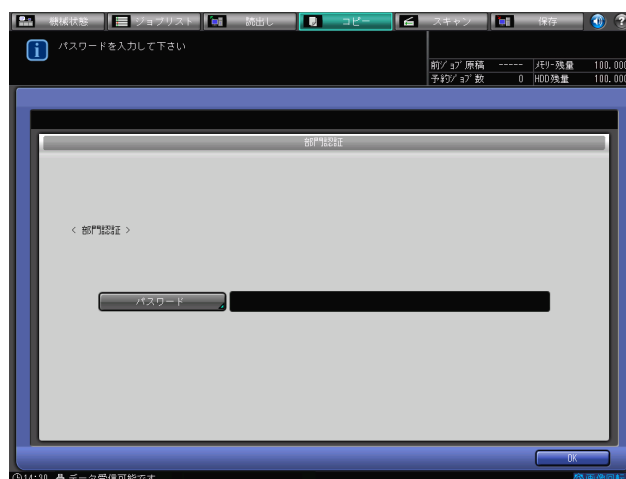
要求されたユーザー名、ユーザーパスワード、部門名、部門パスワードを入力します。下記のいずれかの画面が表示されます。それぞれの説明に従って入力してください。

- 下記の画面が表示されたら、ユーザー名とユーザーパスワードを入力します。
- 〔ユーザー一覧〕が表示されているときは、そのボタンを押してユーザー一覧を表示します。任意のボタンを選択して〔OK〕を押すと、ユーザー認証画面の〔ユーザー名〕右に選択したユーザー名が表示されます。
- ユーザーパスワードが設定されていないユーザー名は、ユーザー名だけの入力でも認証が得られます。

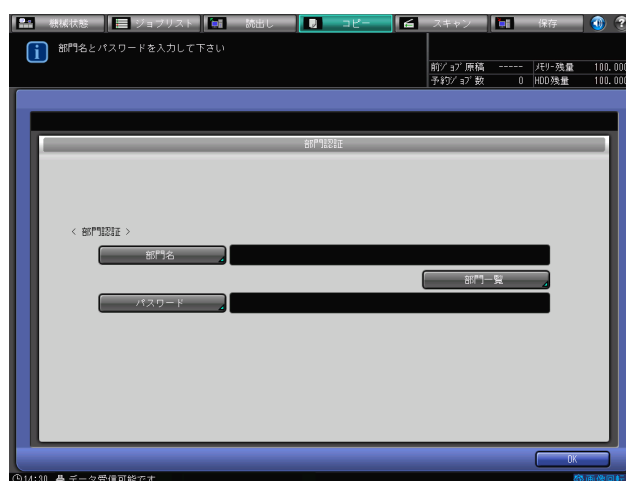
- 管理者が、[ユーザー／部門認証連動] という機能を設定している場合、ユーザー登録で、あらかじめ所属部門の設定をしていないと、ユーザー名とユーザーパスワードを入力しても認証されません。



- 下記の画面が表示されたら、部門名に設定された部門パスワードを入力します。



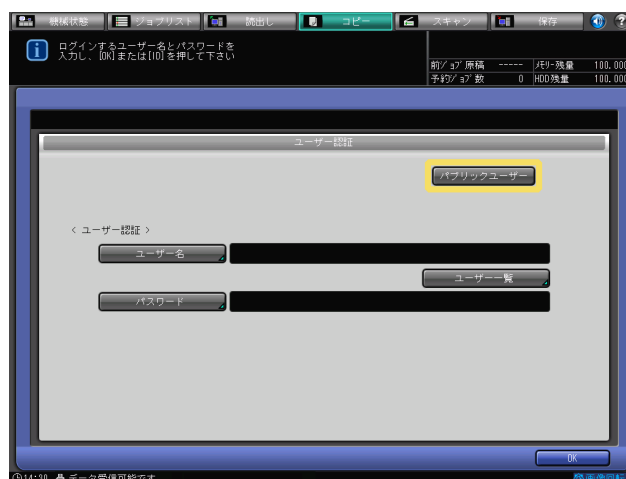
- 下記の画面が表示されたら、部門名とその部門名に設定された部門パスワードを入力します。
→ [部門一覧] が表示されているときは、そのボタンを押して部門一覧を表示します。任意のボタンを選択して [OK] を押すと、部門認証画面の [部門名] 右に選択した部門名が表示されます。



- 下記の画面が表示されたら、ユーザー名とユーザーパスワード、および部門名と部門パスワードを入力します。



- 下記の画面のように、画面右上に「パブリックユーザー」が表示されていたら、そのボタンを押します。認証に必要な入力やICカードを使用しなくても、機械を使用できます。



- 2 [OK]、または操作パネルのIDを押します。
アクセスした画面が表示されます。
→ [リミットをオーバーしました] と表示されて、使用できないことがあります。管理者にお問い合わせください。
→ 認証されても、[コピー操作]、[スキャン操作]、[プリンター印字]、[読出し操作] のうち、管理者の設定で使用できない機能があることがあります。管理者にお問い合わせください。
- 3 作業を開始します。
通常の操作ができます。
→ リセット機能が働くと、機械状態画面にかわります。認証が必要な画面を操作するときは、改めて認証を得てください。
- 4 作業終了後、操作パネルのIDを押します。
認証画面が表示されて、操作できなくなります。

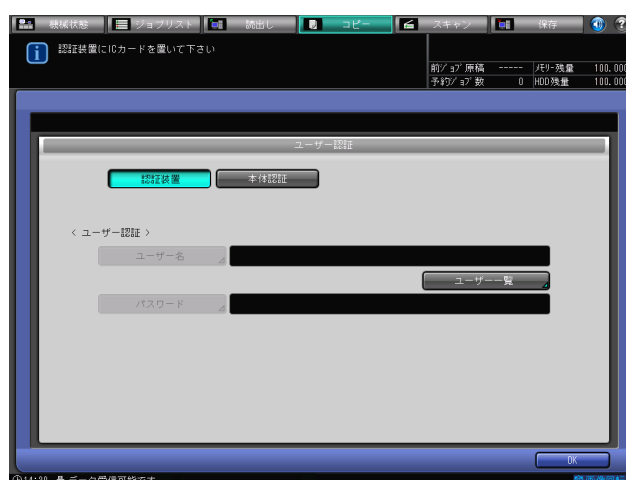
2.6.2 ICカードによるユーザー認証

ICカードを使ってユーザー認証を得る操作について説明します。

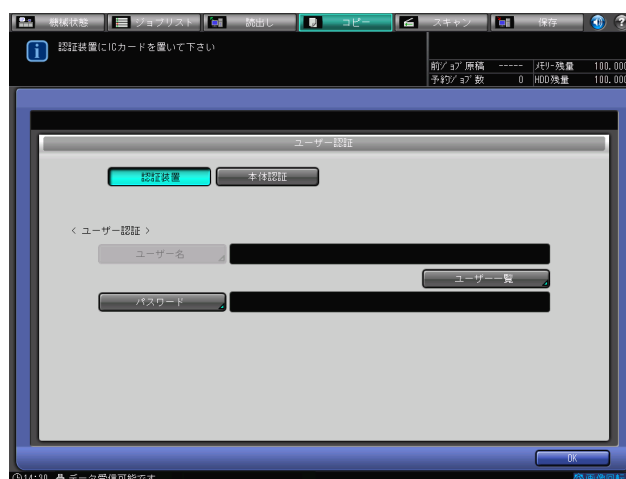
- ✓ ICカードを認証装置 (ICカード認証タイプ) AU-201にかざしてユーザー認証が得るように設定します。このとき、ユーザーパスワードを入力しなければ認証が得られないように設定されていることがあります。

- ✓ パブリックユーザーの使用が許可されている機械は、認証画面の右上部に表示される「パブリックユーザー」を押すと、パブリックユーザーとして使用できます。パブリックユーザーとして使用できる機能および出力の上限値は管理者が設定します。
- ✓ ICカードでユーザー認証を得るように設定すると、部門認証は機能なくなります。
- ✓ 認証データ登録中に**認証装置 (ICカード認証タイプ) AU-201**のUSBを本体から引抜くと、認証画面の「認証装置」のボタンがグレーアウトして、使用できなくなります。**認証装置 (ICカード認証タイプ) AU-201**のUSBケーブルを本体のUSB接続ポートに接続すると、本認証装置は自動的に認識され、使用できるようになります。
- ✓ ICカード登録は1ユーザーに対して1つです。1ユーザーに複数のICカードを登録できません。すでにユーザーに登録されているICカードを新しくする場合は、新しくICカード情報を上書きします。
- ✓ ICカードは、FeliCa、TypeA、SSFC、FCF、FCF（キャンパス）の5種類を使用できますが、登録して使用できるのは、1種類だけです。管理者が、使用するICカードの種類を変更すると、今まで使用していたICカードは使用できなくなります。
- ✓ 異なるユーザーに同じICカードを重複して登録できません。
- ✓ ICカードに登録したカード情報を削除できます。

1 「認証装置」を選択します。

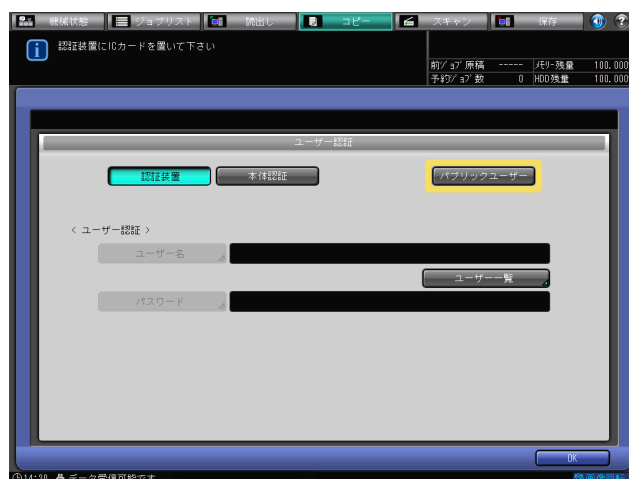


→ 「パスワード」がグレーアウトしないときは、「パスワード」を押して、パスワードを入力します。





- 下記の画面のように、画面右上に「パブリックユーザー」が表示されていたら、そのボタンを押します。認証に必要な入力やICカードを使用しなくても、機械を使用できます。

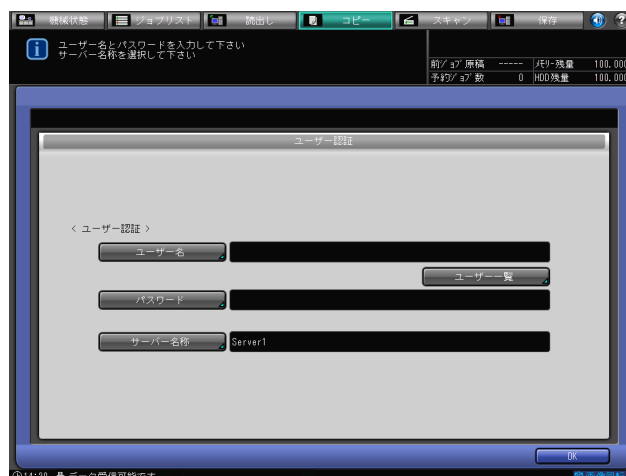


- 2 [OK]、または操作パネルのIDを押します。
アクセスした画面が表示されます。
→ [リミットをオーバーしました] と表示されて、使用できないことがあります。管理者にお問い合わせください。
→ 認証されても、[コピー操作]、[スキャン操作]、[プリンター印字]、[読出し操作] のうち、管理者の設定で使用できない機能があることがあります。管理者にお問い合わせください。
- 3 作業を開始します。
通常の操作ができます。
→ リセット機能が働くと、機械状態画面にかわります。認証が必要な画面を操作するときは、改めて認証を得てください。
- 4 作業終了後、操作パネルのIDを押します。
認証画面が表示されて、操作できなくなります。

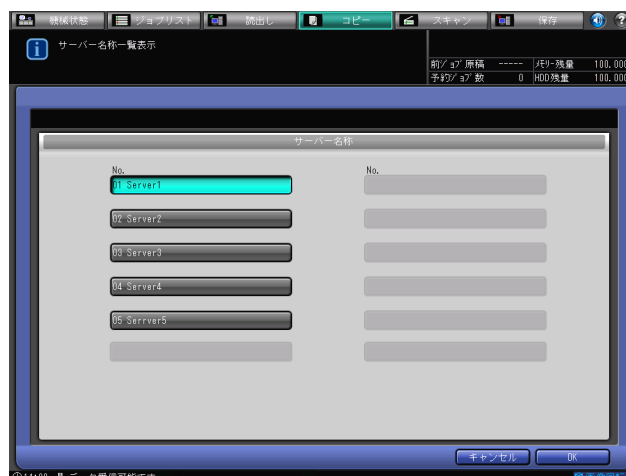
2.6.3 外部サーバーによるユーザー認証

外部サーバーを使用してユーザー認証を得る操作について説明します。

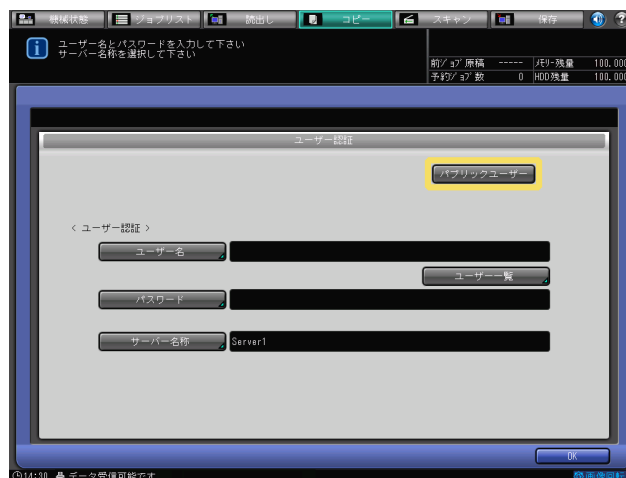
- ✓ パブリックユーザーの使用が許可されている機械は、認証画面の右上部に表示される「パブリックユーザー」を押すと、パブリックユーザーとして使用できます。パブリックユーザーとして使用できる機能および出力の上限値は管理者が設定します。
 - ✓ アクセスする外部サーバーの設定は、管理者が行います。詳しくは、管理者にお問い合わせください。
 - ✓ ICカードでの外部サーバー認証はできません。
- 1 [サーバー名称] 右の外部サーバー名称を確認し、アクセスするサーバーでない場合は、[サーバー名称] を押します。



- 2 任意の外部サーバーボタンを選択して、[OK] を押します。



- 3 ユーザー名、ユーザーパスワードを入力します。
- 下記の画面のように、画面右上に「パブリックユーザー」が表示されていたら、そのボタンを押します。認証に必要な入力をしなくても、外部サーバーにアクセスできます。




- 4 [OK]、または**操作パネルの ID** を押します。
- アクセスした画面が表示されます。
- [リミットをオーバーしました] と表示されて、使用できないことがあります。管理者にお問い合わせください。
- 認証されても、[コピー操作]、[スキャン操作]、[プリンター印字]、[読出し操作] のうち、管理者の設定で使用できない機能があることがあります。管理者にお問い合わせください。
- 5 作業を開始します。
- 通常の操作ができます。
- リセット機能が働くと、機械状態画面にかわります。認証が必要な画面を操作するときは、改めて認証を得てください。
- 6 作業終了後、**操作パネルの ID** を押します。
- 認証画面が表示されて、操作できなくなります。

2.7 操作および補給／廃棄方法の画面を表示する：ヘルプメッセージ

表示されている画面の操作方法やコメントを、メッセージ表示部に表示します。

機械状態画面を表示しているときは、トナー補給、廃棄トナーボックスの交換、用紙補給、平とじ針の補給、平とじ針くず処理、パンチくず処理の各方法を表示します。

操作方法のヘルプメッセージ



- 1 任意の画面を表示します。
- 2 画面右上の「」または操作パネルのヘルプを押します。




画面上部にヘルプメッセージが表示されます。

- 3 現在表示されている画面の操作方法やコメントを確認します。



→ 現在表示されている画面の解説がない場合は、画面右上の「」はグレイアウトしています。このとき、画面の「」や操作パネルのヘルプを押しても、ヘルプメッセージは表示されません。

- 4 そのまま次の操作に進みます。

→ ヘルプメッセージを表示したまま、次の操作に進んで構いません。
→ ヘルプメッセージを消したいときは、画面の「」または操作パネルのヘルプを押します。

補給／廃棄方法のヘルプメッセージ

- 1 「機械状態」タブを押して、機械状態画面を表示します。

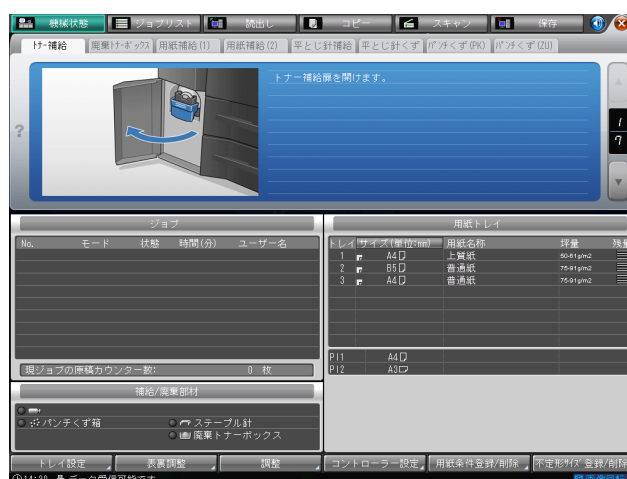
- 2 機械状態画面の[?]または操作パネルのヘルプを押します。



- 3 ヘルプメッセージ右下の「補給／廃棄方法」を押します。



- 4 任意のタブを押して、補給／廃棄方法を確認します。



→ 各補給／廃棄方法については、別に説明しています。詳しくは、5章をごらんください。

- 5 そのまま次の操作に進みます。

→ ヘルプメッセージを表示したまま、次の操作に進んで構いません。
→ ヘルプメッセージを消したいときは、画面の[✕]または操作パネルのヘルプを押します。

2.8 キーやボタンの応答時間を調整する：キー応答

本機では、タッチパネルのボタンを押してから機械が反応するまでの時間を、あらかじめ設定しています。操作パネルのキー応答を押すと、タッチパネルのボタンを一定時間押しつづけることによって、機械が反応するように設定できます。

手の不自由な方が、押したいボタンの周りにあるボタンに触ってうまく操作できないときにご利用ください。



参照

キー応答の時間設定は、設定メニュー画面で行います。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

✓ 応答時間は、通常／0.5 秒／1 秒／2 秒／3 秒のいずれかが設定されています。

1 操作パネルのキー応答を押します。

キー応答のグリーンのランプが点灯し、設定されている応答時間で反応するようになります。

→ 応答時間が「通常」に設定されていると、キー応答のランプが点灯していても、通常どおり操作できます。



2 OFF にするときは、操作パネルのキー応答を 1 秒間以上押しつづけます。

キー応答のランプが消えて、通常のボタン操作にもどります。



用紙、原稿について

3 用紙、原稿について

3.1 用紙について

用紙をセットする装置には下記のものがあります。

- 本体トレイ（トレイ 1、トレイ 2）
- 大容量給紙ユニット LU-409（トレイ 3）
- 大容量給紙ユニット LU-410（トレイ 3）
- ペーパーフィーダーユニット PF-706（トレイ 3～トレイ 5）
- ポストインサーター PI-502（取付けキット MK-732）（フィニッシャー FS-532 にオプション装備）

用紙を搬送／処理／排出する装置には下記のものがあります。

- ADU（自動両面コピーユニット）（本体に標準装備）
- フィニッシャー FS-532
- パンチキット PK-522（フィニッシャー FS-532 にオプション装着）
- 中とじ機 SD-510（フィニッシャー FS-532 にオプション装着）
- Z 折りユニット ZU-608（フィニッシャー FS-532 にオプション装着）

3.1.1 使用できる用紙の質量

用紙をセットする装置	坪量
本体トレイ（トレイ 1、トレイ 2）	40 g/m ² ～ 300 g/m ² （245 g/m ² ～ 300 g/m ² は、紙種に指定あり） 上記範囲内の紙であっても、紙種によっては、通紙や印刷の性能が仕様を満たさない場合があります。
大容量給紙ユニット LU-409（トレイ 3）	40 g/m ² ～ 300 g/m ²
大容量給紙ユニット LU-410（トレイ 3）	40 g/m ² ～ 300 g/m ²
ペーパーフィーダーユニット PF-706（トレイ 3、トレイ 5）	40 g/m ² ～ 300 g/m ²
ペーパーフィーダーユニット PF-706（トレイ 4）	40 g/m ² ～ 350 g/m ²
ポストインサーター PI-502（取付けキット MK-732）（フィニッシャー FS-532 にオプション装備）	50 g/m ² ～ 200 g/m ²

各給紙トレイにセットする用紙坪量の設定や登録／削除は、機械状態画面のトレイ設定で行います。詳しくは、POD 管理者編の 3 章をごらんください。

重要

給紙トレイに設定した坪量の用紙以外の用紙をセットしないでください。画像品質が落ちたり、トラブルの原因になったりします。

重要

トレイ設定以外の用紙設定で一時的にコピーする場合は、コピー画面の用紙予約設定で設定を変更します。

用紙を搬送／処理／排出する装置		坪量
ADU		50 g/m ² ～ 300 g/m ²
フィニッシャー FS-532	サブトレイ	40 g/m ² ～ 350 g/m ²
	メイントレイ	40 g/m ² ～ 350 g/m ² 平綴じステーブル：50 g/m ² ～ 300 g/m ²
パンチキット PK-522		60 g/m ² ～ 300 g/m ²

用紙を搬送／処理／排出する装置		坪量
中とじ機 SD-510	折りトレイ	・ 中とじ 本身：50 g/m ² ～ 216 g/m ² 表紙：50 g/m ² ～ 300 g/m ² ・ 重ね中折り 本身：50 g/m ² ～ 216 g/m ² 表紙：50 g/m ² ～ 300 g/m ² ・ 重ね三つ折り 本身：50 g/m ² ～ 105 g/m ² (表紙なし)
	Z 折りユニット ZU-608	60 g/m ² ～ 91 g/m ²

3.1.2 セット、排出できる用紙の枚数

用紙をセットする装置	セットできる枚数
本体トレイ (トレイ 1、トレイ 2)	各 1,600 枚 (64 g/m ²) 各 1,500 枚 (80 g/m ²)
大容量給紙ユニット LU-409 (トレイ 3)	5,000 枚 (64 g/m ²) 4,500 枚 (80 g/m ²)
大容量給紙ユニット LU-410 (トレイ 3)	4,500 枚 (64 g/m ²) 4,000 枚 (80 g/m ²)
ペーパーフィーダーユニット PF-706 (トレイ 3 ～ トレイ 5)	各 2,000 枚 (80 g/m ² 紙、積載高さ 217 mm)
ポストインサーター PI-502 (取付けキット MK-732) (フィニッシャー FS-532 にオプション装備)	上段トレイ／下段トレイ各 200 枚 (80 g/m ² 、積載高さ 30 mm 以内)

用紙を搬送／処理／排出する装置		搬送／処理／排出できる枚数
ADU		制限なし
フィニッシャー FS-532	サブトレイ (ソート／グループ)	300 枚 (80 g/m ²) Z 折り：20 枚 (80 g/m ²) 中折り：40 枚 (80 g/m ²)
	メイントレイ (ソート／グループ)	紙の坪量とサイズに対する収容枚数の目安は、3-4 ページの表をごらんください。 ・ SD-510 装着時／未装着時 Z 折り：50 枚 (130 g/m ²) 中折り：50 枚 (130 g/m ²)
	メイントレイ (仕分けソート／仕分けグループ)	紙の坪量とサイズに対する収容枚数の目安は、3-4 ページの表をごらんください。 ・ SD-510 装着時／未装着時 Z 折り：50 枚 (130 g/m ²) 中折り：50 枚 (130 g/m ²)
	メイントレイ (ステابل)	2 ～ 9 枚とじ：75 部 (長さが 182 ～ 364 mm の用紙は 150 部) 10 ～ 20 枚とじ：50 部 21 ～ 30 枚とじ：30 部 31 ～ 40 枚とじ：25 部 41 ～ 50 枚とじ：20 部 51 ～ 60 枚とじ：15 部 61 ～ 100 枚とじ：10 部 冊子 1 部の最大平とじ枚数は、3-4 ページの表をごらんください。
パンチキット PK-522		最大 105 ppm (A4 □)
中とじ機 SD-510		紙の坪量とサイズに対する処理枚数については、3-5 ページの表をごらんください。
Z 折りユニット ZU-608		パンチ処理：85 ppm

フィニッシャー FS-532 メイントレイ（通常排紙）の収容枚数目安（72 g/m² ～ 81 g/m² の場合）

・ソート／グループ機能

	大サイズ	小サイズ	特小サイズ
SD-510 未装着時	2000	4200	750
SD-510 装着時	2000	3000	750

・仕分けソート／仕分けグループ機能

	大サイズ	小サイズ	特小サイズ
SD-510 未装着／装着時	1500	1500	750

大サイズ：A3 □、B4 □^{*1}、Foolscap^{*2}、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、SRA3 □、SRA4 □/□、13 × 19 □、ワイド紙^{*3}（最大 324 mm × 460 mm）

小サイズ：A4 □/□、B5 □/□^{*1}、8.5 × 11 □/□、9 × 11 □

特小サイズ：A5 □、5.5 × 8.5 □/□

^{*1}：B 系列用紙は、デフォルトで JIS 規格サイズに設定されています。JIS/ISO の切替えについては、サービス実施店にお問い合わせください。

^{*2}：Foolscap は、8 × 13 □、8.12 × 13.2 □、8.25 × 13 □、8.5 × 13 □ のサイズを指します。

^{*3}：ワイド紙は同じサイズ名称でもサイズは同じではありません。ご使用になるワイド紙のサイズを確認し、その数値を必ず入力してください。詳しくは、6-37 ページをごらんください。

フィニッシャー FS-532 最大平とじ枚数

坪量	ステーブル枚数（カバー紙 1 枚（200 g/m ² ）を含めた枚数）				
	非塗工紙 （上質紙除く）		上質紙		
	長さ 139 mm ～ 399 mm	長さ 400 mm 以上	長さ 139 mm ～ 320 mm	長さ 321 mm ～ 399 mm	長さ 400 mm 以上
40 g/m ² ～ 49 g/m ²	—	—	—	—	—
50 g/m ² ～ 61 g/m ²	100	50	50	20	—
62 g/m ² ～ 74 g/m ²	100	50	50	20	—
75 g/m ² ～ 80 g/m ²	100	50	30	30	30
81 g/m ² ～ 91 g/m ²	60	50	30	30	30
92 g/m ² ～ 105 g/m ²	50	50	30	30	30
106 g/m ² ～ 135 g/m ²	50	50	30	30	30
136 g/m ² ～ 162 (176) g/m ²	40	40	30	30	30
163 (177) g/m ² ～ 216 g/m ²	25	25	25	25	25
217 g/m ² ～ 256 (244) g/m ²	25	25	25	25	25
257 (245) g/m ² ～ 300 g/m ²	10	10	10	10	10
301 g/m ² ～ 350 g/m ²	—	—	—	—	—

最大平とじ枚数は、上記の表の範囲内でも、厚み 23 mm を超えないようにしてください。

中とじ機 SD-510 の処理枚数

・ 中とじ機能

坪量	用紙幅 279.4 mm 以上		用紙幅 279.4 mm 未満	
	上質紙	その他	上質紙	その他
40 g/m ² ~ 49 g/m ²	—	—	—	—
50 g/m ² ~ 61 g/m ²	25	25	—	—
62 g/m ² ~ 74 g/m ²	20	20	—	—
75 g/m ² ~ 91 g/m ²	20	20	10	10
92 g/m ² ~ 135 g/m ²	5	5	5	5
136 g/m ² ~ 162 g/m ²	5	5	5	5
163 g/m ² ~ 216 g/m ²	5	5	5	5
217 g/m ² ~ 244 g/m ²	表紙のみ	表紙のみ	—	—
245 g/m ² ~ 300 g/m ²	表紙のみ	表紙のみ	—	—
301 g/m ² ~ 350 g/m ²	—	—	—	—

・ 重ね中折り機能

坪量	用紙幅 279.4 mm 以上		用紙幅 279.4 mm 未満	
	上質紙	その他	上質紙	その他
40 g/m ² ~ 49 g/m ²	—	—	—	—
50 g/m ² ~ 61 g/m ²	5	5	—	—
62 g/m ² ~ 74 g/m ²	5	5	—	—
75 g/m ² ~ 91 g/m ²	5	5	5	5
92 g/m ² ~ 135 g/m ²	5	5	5	5
136 g/m ² ~ 162 g/m ²	5	5	5	5
163 g/m ² ~ 216 g/m ²	5	5	5	5
217 g/m ² ~ 244 g/m ²	1	1	1	1
245 g/m ² ~ 300 g/m ²	1	1	1	1
301 g/m ² ~ 350 g/m ²	—	—	—	—

・ 重ね三つ折り機能

坪量	上質紙	その他
40 g/m ² ~ 49 g/m ²	—	—
50 g/m ² ~ 61 g/m ²	3	3
62 g/m ² ~ 74 g/m ²	3	3
75 g/m ² ~ 91 g/m ²	3	3
92 g/m ² ~ 135 g/m ²	1	1
136 g/m ² ~ 162 g/m ²	—	—
163 g/m ² ~ 216 g/m ²	—	—
217 g/m ² ~ 244 g/m ²	—	—
245 g/m ² ~ 300 g/m ²	—	—
301 g/m ² ~ 350 g/m ²	—	—

3.1.3 セット、搬送、排出できる用紙サイズ

用紙をセットする装置	セットできるサイズ
本体トレイ (トレイ 1、トレイ 2)	<p>定形サイズ： SRA3 □、A3 □、B4 □^{*1}、A4 □/□、SRA4 □、 B5 □/□^{*1}、A5 □、郵政はがき[*]、12 × 18 □、 11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □/□、9 × 11 □、 Foolscap^{*2}、5.5 × 8.5 □</p> <p>不定形サイズ： 最小タテ 182 mm × ヨコ 139 mm ～最大タテ 324 mm × ヨコ 463 mm</p> <p>ワイド紙^{*3}： A3W □、B4W □、A4W □/□、B5W □/□、A5W □、 12 × 18W □、11 × 17W □、8.5 × 11W □/□、 5.5 × 8.5W □</p> <p>インデックス紙： A3T □、B4T □、A4T □/□、B5T □/□、11 × 17T □、 8.5 × 11T □/□、5.5 × 8.5T □</p> <p>以下の定形サイズと切替えて検知できます。 A5 □のかわりに 5.5 × 8.5 □、SRA3 □のかわりに 12 × 18、8.5 × 14 □のかわりに 8 × 13 □、 8.25 × 13 □、8.12 × 13.2、または 8.5 × 13 □</p> <p>[*]：本体トレイ (トレイ 1、トレイ 2) に郵政はがきをセッ トする場合は、ハガキアダプター (オプション) が必要で す。サービス実施店にお問い合わせください。</p>
大容量給紙ユニット LU-409 (トレイ 3)	<p>定形サイズ：A4 □、B5 □^{*1}、8.5 × 11 □、9 × 11 □</p> <p>不定形サイズ：最小タテ 250 mm × ヨコ 176 mm ～最大タ テ 314 mm × 229 mm</p> <p>ワイド紙^{*3}：A4W □、B5W □^{*1}、8.5 × 11W □</p> <p>インデックス紙：B5T □^{*1}、A4T □、8.5 × 11T □</p>
大容量給紙ユニット LU-410 (トレイ 3)	<p>定形サイズ：A3 □、B4 □^{*1}、A4 □/□、SRA4 □、 11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □/□、9 × 11 □、 Foolscap^{*2}</p> <p>不定形サイズ：最小タテ 203 mm × ヨコ 195 mm ～最大タ テ 324 mm × 483 mm</p> <p>ワイド紙^{*3}：A3W □、B4W □^{*1}、A4W □/□、 11 × 17W □、8.5 × 11W □/□、12 × 18W □</p> <p>インデックス紙：A4T □/□、B4T □^{*1}、A3T □、 8.5 × 11T □/□、11 × 17T □</p>
ペーパーフィーダーユニット PF-706 (トレイ 3～トレイ 5)	<p>定形サイズ：SRA3 □、A3 □、B4 □^{*1}、A4 □/□、 SRA4 □、B5 □/□^{*1}、A5 □、郵政はがき □、 12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、 8.5 × 11 □/□、9 × 11 □、Foolscap^{*2}</p> <p>不定形サイズ：最小タテ 182 mm × ヨコ 139 mm ～最大 タテ 324 mm × ヨコ 463 mm</p> <p>小サイズガイド使用時： 最小タテ 95 mm × ヨコ 133 mm ～最大タテ 181 mm × 463 mm</p> <p>ワイド紙^{*3}：A3W □、B4W □^{*1}、A4W □/□、 B5W □/□^{*1}、A5W □、12 × 18W □、11 × 17W □、 8.5 × 11W □、5.5 × 8.5W □</p> <p>最大タテ 324 mm × ヨコ 463 mm</p> <p>インデックス紙：B5T □/□^{*1}、A4T □/□、B4T □^{*1}、 A3T □、8.5 × 11T □/□、11 × 17T □、5.5 × 8.5T □</p> <p>定形サイズの場合、トレイ設定で、トレイごとに自動検知 する用紙サイズを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A5 □、5.5 × 8.5 □ (デフォルトは A5 □) ・SRA3 □、12 × 18 □ (デフォルトは 12 × 18 □) ・8.5 × 14 □、8 × 13 □、8.12 × 13.2 □、 8.25 × 13 □、8.5 × 13 □ (デフォルトは 8.5 × 14 □) <p>[*]：ペーパーフィーダーユニットに郵政はがきをセットする 場合は、小サイズガイドを使用します。詳しくは、5-18 ページをごらんください。</p>

用紙をセットする装置		セットできるサイズ
ポストインサーター PI-502（取り付け キット MK-732） （フィニッシャー FS-532 にオプション 装備）	上段トレイ	定形サイズ：A4 □/□、B5 □/□ ^{*1} 、A5 □、8.5 × 11 □/□、5.5 × 8.5 □、ワイド紙 ^{*3} 不定サイズ：最小タテ 182 mm × ヨコ 139 mm ～最大タテ 216 mm × ヨコ 297 mm
	下段トレイ	定形サイズ：A3 □、B4 □ ^{*1} 、A4 □/□、B5 □/□ ^{*1} 、A5 □、Foolscap ^{*2} 、SRA4 □、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □/□、5.5 × 8.5 □、ワイド紙 ^{*3} 不定サイズ：最小タテ 182 mm × ヨコ 139 mm ～最大タテ 314 mm × ヨコ 458 mm

*1：B 系列用紙は、デフォルトで JIS 規格サイズに設定されています。JIS/ISO の切替えについては、サービス実施店にお問い合わせください。

*2：Foolscap は、8 × 13 □、8.12 × 13.2 □、8.25 × 13 □、8.5 × 13 □ のサイズを指します。

*3：ワイド紙は同じサイズ名称でもサイズは同じではありません。ご使用になるワイド紙のサイズを確認し、その数値を必ず入力してください。詳しくは、6-37 ページをごらんください。

用紙を搬送／処理／排出する装置		搬送／処理／排出できるサイズ
ADU		本体に準拠
フィニッシャー FS-532	サブトレイ (ソート／グループ)	定形サイズ：A3 □、B4 □ ^{*1} 、A4 □/□、B5 □/□ ^{*1} 、A5 □、Foolscap ^{*2} 、SRA3 □、SRA4 □/□、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □/□、5.5 × 8.5 □、9 × 11 □、ワイド紙 ^{*3} 不定形サイズ：最小タテ 95 mm × ヨコ 133 mm ～最大タテ 331 mm × ヨコ 488 mm インデックス紙（排紙時タブ先端側のみ）
	メイントレイ (ソート／グループ)	大サイズ：A3 □、B4 □ ^{*1} 、Foolscap ^{*2} 、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、SRA3 □、SRA4 □/□、13 × 19 □ 小サイズ：A4 □/□、B5 □/□ ^{*1} 、8.5 × 11 □/□、9 × 11 □ 特小サイズ：A5 □、5.5 × 8.5 □ 不定形サイズ：最小タテ 95 mm × ヨコ 133 mm ～最大タテ 331 mm × ヨコ 488 mm ワイド紙：最大タテ 324 mm × ヨコ 460 mm ^{*3} インデックス紙（排紙時タブ先端側のみ） ストレート排紙のみ：13 × 19 □、不定形サイズ（最小タテ 95 mm × ヨコ 133 mm ～最大タテ 331 mm × ヨコ 488 mm）
	メイントレイ (仕分けソート／仕分けグループ)	最小タテ 148 mm × ヨコ 133 mm ～最大タテ 331 mm × ヨコ 488 mm 大サイズ：A3 □、B4 □ ^{*1} 、Foolscap ^{*2} 、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、SRA3 □、SRA4 □/□、13 × 19 □、ワイド紙 ^{*3} （最大タテ 324 mm × ヨコ 460 mm） 小サイズ用紙：A4 □/□、B5 □/□ ^{*1} 、8.5 × 11 □/□、9 × 11 □ 特小サイズ用紙：A5 □、5.5 × 8.5 □ 不定形サイズ：最小タテ 95 mm × ヨコ 133 mm ～最大タテ 331 mm × ヨコ 488 mm インデックス紙（排紙時タブ先端側のみ） ストレート排紙のみ：13 × 19 □、不定形サイズ（最小タテ 95 mm × ヨコ 133 mm ～最大タテ 331 mm × ヨコ 488 mm）

用紙を搬送／処理／排出する装置		搬送／処理／排出できるサイズ
フィニッシャー FS-532	メイントレイ (ステープル)	最小タテ 203 mm × ヨコ 139 mm ～最大タテ 324 mm × ヨコ 463 mm [*] *: 奥コーナー平行打ちは、最大タテ 320 mm です。 定形サイズ: A3 □、B4 □ ^{*1} 、A4 □/□、B5 □ ^{*1} 、A5 □、Foolscap ^{*2} 、SRA3 □、SRA4 □/□、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □/□、5.5 × 8.5 □、9 × 11 □、13 × 19 □ 不定形サイズ: 最小タテ 203 mm × ヨコ 139 mm ～最大タテ 324 mm × ヨコ 463 mm ワイド紙 ^{*3} インデックス紙 (排紙時タブ先端側のみ)
パンチキット PK-522	2 穴	A3 □、B4 □ ^{*1} 、A4 □/□、B5 □/□ ^{*1} 、A5 □/□、Foolscap、SRA4 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □/□、5.5 × 8.5 □/□、9 × 11 □
中とじ機 SD-510	中とじ機能	A3 □、B4 □ ^{*1} 、A4 □、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □ ワイド紙 ^{*3} 不定形サイズ: 最小タテ 120 mm × ヨコ 240 mm ～最大タテ 324 mm × ヨコ 463 mm
	中折り機能	A3 □、B4 □ ^{*1} 、A4 □、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □ ワイド紙 ^{*3} 不定形サイズ: 最小タテ 120 mm × ヨコ 240 mm ～最大タテ 324 mm × ヨコ 463 mm
	三つ折り機能	A4 □、8.5 × 11 □
Z 折りユニット ZU-608	パンチ機能	2 穴 A3 □、B4 □ ^{*1} 、A4 □/□、B5 □/□ ^{*1} 、A5 □/□、Foolscap、SRA4 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □/□、5.5 × 8.5 □/□、9 × 11 □、7.25 × 10.5 □/□
		4 穴 A3 □、B4 □ ^{*1} 、A4 □、11 × 17 □、8.5 × 11 □
	折り機能	A3 □、B4 □ ^{*1}

*1: B 系列用紙は、デフォルトで JIS 規格サイズに設定されています。JIS/ISO の切替えについては、サービス実施店にお問い合わせください。

*2: Foolscap は、8 × 13 □、8.12 × 13.2 □、8.25 × 13 □、8.5 × 13 □ のサイズを指します。

*3: ワイド紙は同じサイズ名称でもサイズは同じではありません。ご使用になるワイド紙のサイズを確認し、その数値を必ず入力してください。詳しくは、6-37 ページをごらんください。

3.1.4 オートトレイスイッチ (ATS) 機能

連続プリント中、選択した給紙トレイの用紙がなくなった場合、以下の条件を満たしたトレイが他にあれば、自動的に給紙トレイを切替えてプリントを続けます。

- 同じサイズの用紙を同じ向きにセット
- 同じ種類の用紙をセット

ATS 機能を使用するには、事前に設定メニューの [02 機能設定] - [01 給紙トレイ設定] で、下記の設定をします。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

- [01 給紙トレイ自動選択] で、自動用紙が機能したときに選択の対象になるトレイを指定します。このとき、切替えるトレイの優先順位を設定できます。
- [02 ATS 許可] で、ATS 機能を ON に設定します。
- [03 ATS 設定] で、ATS が機能して他のトレイから給紙されている状態で、もとのトレイに用紙を補給したとき、現在のまま給紙を維持するか、もとのトレイからの給紙に再び切替えるかを設定します。

3.1.5 用紙の保管

用紙を保管するときは、以下のことにご注意ください。

- 用紙は、湿気の少ない冷暗所に保管してください。
- 用紙が湿気をおびると、紙づまりの原因になります。給紙トレイにセットしきれなかった用紙は、包装紙に包み、包装紙から取出した用紙は、ポリ袋に入れ、湿気の少ない冷暗所に保管してください。
- 用紙は、立てておかずに水平にして保管してください。用紙を立てておくと、用紙にカールが付いて紙づまりの原因になります。
- 幼児や子供の手の届くところには置かないようにしてください。

3.2 原稿について

3.2.1 ADF にセットする原稿について

ADF を使用する場合、4 つのモードがあります。

- 普通原稿モード
- 混載原稿モード
- Z 折れ原稿モード
- 1 枚送りモード

各モードによって給紙できる原稿の厚み、検知できるサイズに制限があります。

普通原稿モード

検知できるサイズを AB 系からインチ系、A 系列だけ、AB 系とインチ系の混合に変更できます。

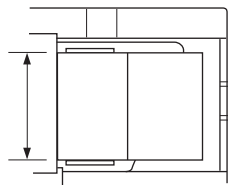
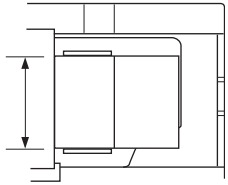
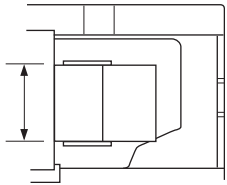
- 給送できる原稿サイズ: 最大タテ 297 mm × ヨコ 431.8 mm ~ 最小タテ 128 mm × ヨコ 139.7 mm
- 検知できる原稿サイズ: A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □
- 原稿の質量: 50 g/m² ~ 130 g/m²
- 原稿カール: 10 mm 以下
- 原稿セット容量: 100 枚 (80 g/m² 紙)
- 同一原稿使用回数: 5 回以内 (片面原稿モード)、3 回以内 (両面原稿モード)

混載原稿モード

混載原稿モードでは、サイズが異なる定形サイズの原稿をセットしてコピーできます。

- 検知・コピーできる原稿サイズ: 混載できる原稿サイズの種類は、ADF ガイド板の開き幅でかわります。
- A3 □、A4 □ の開き幅の場合: A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □、A5 □
- B4 □、B5 □ の開き幅の場合: B4 □、A4 □、B5 □/□、A5 □
- A4 □、A5 □ の開き幅の場合: A4 □、B5 □、A5 □
- 原稿の質量: 50 g/m² ~ 130 g/m²
- 原稿カール: 10 mm 以下
- 原稿セット容量: 100 枚 (80 g/m² 紙)
- 同一原稿使用回数: 5 回以内 (片面原稿モード)、3 回以内 (両面原稿モード)

ADF ガイド板の開き幅とは?

A3 □、A4 □ の開き幅の場合	B4 □、B5 □ の開き幅の場合	A4 □、A5 □ の開き幅の場合
		

Z 折れ原稿モード

Z 折れ原稿モードは、ADF の外部サイズ検知センサーを使わず、スキャンした画像サイズで原稿サイズを検知します。

- 検知できる原稿サイズ: A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □
- 原稿の質量: 50 g/m² ~ 130 g/m²
- 原稿カール: 10 mm 以下
- 原稿セット容量: 100 枚 (80 g/m² 紙)
- 同一原稿使用回数: 5 回以内 (片面原稿モード)、3 回以内 (両面原稿モード)

1 枚送りモード

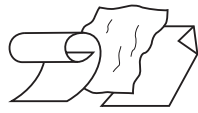
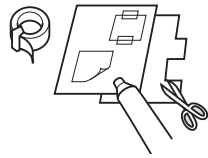
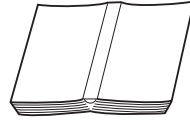
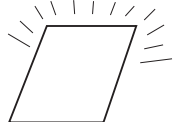
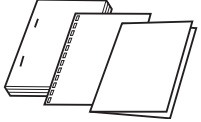

普通原稿モードでは給送できない厚紙原稿や、給送するとトラブルを起こすことのある貼合わせの原稿を ADF を使ってコピーします。

- 給送できる原稿サイズ: 最大タテ 297 mm × ヨコ 431.8 mm ～最小タテ 128 mm × ヨコ 139.7 mm
- 検知できる原稿サイズ: A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □
- 原稿の質量: 片面原稿 50 ～ 200 g/m² 紙、両面原稿 50 ～ 130 g/m² 紙
- 原稿カール: 10mm 以下
- 原稿セット容量: 1 枚ずつセット
- 同一原稿使用回数: 5 回以内 (片面原稿モード)、3 回以内 (両面原稿モード)

3.2.2 原稿ガラスにセットする原稿について

ADF にセットできない原稿をコピーするときや、ADF を使用できないコピー条件でコピーするとき、原稿ガラスに原稿をセットしてコピーします。

ADF にセットできない原稿

カール、しわ、折れ	貼合わせや、切抜きがあるもの	ブックもの
		
OHP フィルム、アート紙、セロハン	二つ折り、たくさん穴があるもの、ステープル針があるもの	簡単に折曲げられないような厚い紙や航空便箋のような薄い紙
		

原稿ガラスにセットする原稿の仕様

検知できる原稿サイズ: A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□*、郵政はがき

*: A5 □ のかわりに B6 □ または 5.5 × 8.5 □、A5 □ のかわりに 5.5 × 8.5 □ に検知サイズを変更できます。

セットできる質量: 6.8 kg 以下

セットできる厚み: 30 mm 以下

⚠ 注意

- 重い原稿はのせないでください。また、厚手の原稿をのせた場合、強く原稿を押さえないでください。原稿ガラスが割れてけがをするおそれがあります。

4

基本的なコピーのしかた


4 基本的なコピーのしかた

4.1 機械状態画面

4.1.1 機械状態画面の概要



番号	名称	説明
1	[機械状態] タブ	機械状態画面を表示するときに押します。
2	[ジョブリスト] タブ	ジョブリスト画面を表示して、ジョブを管理するときに押します。
3	[読出し] タブ	スキャンデータを読み出すときに押します。詳しくは、[ユーザズガイド ネットワークスキャナー編] をご覧ください。
4	スキャナーメッセージ	ADF / 原稿ガラスの原稿スキャンの状態を表示します。
5	[コピー] タブ	コピー画面を表示して、コピー操作をするときに押します。詳しくは、4-8 ページをご覧ください。
6	本体ウォームアップステータスバー	本体ウォームアップ中に現在のウォームアップの状態を表示します。ウォームアップが完了すると、表示は消えます。
7	[スキャン] タブ	スキャン操作の画面を表示するときに押します。詳しくは、[ユーザズガイド ネットワークスキャナー編] をご覧ください。
8	[保存] タブ	スキャンデータの保存先を指定するときに押します。詳しくは、[ユーザズガイド ネットワークスキャナー編] をご覧ください。
9	[報知音/音声 ON/OFF]	すべての報知音および音声を、鳴らすかどうかを選択するときに押します。

番号	名称	説明
10	[ヘルプ]	表示されている画面のヘルプメッセージを表示するときに押します。画面によっては、  がグレースアウトして、選択できないことがあります。機械状態画面を表示しているときに押すと、トナー補給、廃棄トナーボックスの交換、用紙補給、平とじ針の補給、平とじ針くず処理、パンチくず処理の各方法を表示します。
11	出力中情報表示部	現在出力中のジョブの出力部数と設定部数、およびジョブ番号を表示します。
12	機械管理情報表示部	前ジョブの原稿枚数、予約ジョブ数、メモリー残量、HDD 容量残量を表示します。
13	[サンプル排紙]	出力中にサンプル排紙したいときに押します。
14	機械構成表示部	本体およびオプションの構成図を表示します。
15	[サイズ] / [サイズ (単位 :mm)]	不定形サイズ用紙の表示を [不定形] または mm/inch のサイズ表記に切替えます。サイズ表記は、mm がデフォルトです。mm と inch の切替えは、設定メニューで行います。詳しくは、POD 管理者編をごらんください。
16	トレイ情報表示部 (トレイ 1 ~ トレイ 5)	トレイに設定した用紙サイズ、セット方向、用紙名称、坪量、用紙残量を表示します。
17	トレイ情報表示部 (ポストインサーターの上段トレイ/下段トレイ)	フィニッシャー FS-532 にポストインサーター PI-502 が装着されている場合、ポストインサーターの上段トレイ/下段トレイに設定した用紙サイズと用紙残量を表示します。
18	機械状態表示右	[セキュリティ]、[トナー補給]、[定期点検]、[トナー回収]、[モデム異常]、[資材]、[定着ウェブ交換]、[高力バレッジ]、[画像回転]、[タンデム M(S)] を表示します。5 つまではすべて大きく表示されますが、6 つ以上の場合、4 つめまで大アイコン表示、5 つめから小アイコン表示にかわります。
19	[不定形サイズ登録/削除]	不定形サイズを登録/削除するときに押します。
20	[用紙条件登録/削除]	用紙条件を登録/削除するときに押します。
21	[コントローラー設定]	コントローラーの設定をするときに押します。
22	[調整]	本体やオプションの調整をするときに押します。
23	[表裏調整]	各トレイ (トレイ 1 ~ トレイ 5) にセットした用紙のオモテ面、ウラ面にプリントする画像の、倍率や位置を調整するときに押します。チャートによる位置の調整ができます。
24	機械状態表示左	ウィークリータイマーの [オフ時刻] の予告、またはイメージコントローラーの状態を表示します。ウィークリータイマーの [オフ時刻] の予告が優先して表示されます。
25	時刻表示部	現在の時刻を表示します。
26	[トレイ設定]	本体トレイ、ペーパーフィーダーユニット、大容量給紙ユニットの各トレイに、用紙サイズおよび用紙条件を設定するときに押します。また、ポストインサーターの上段トレイ/下段トレイには、用紙サイズを設定します。
27	補給/廃棄部材表示部	トナーの状態を表示します。また、廃棄トナーボックスの交換、装着しているオプションの針補給やくず処理の時期を、赤く点灯して知らせます。
28	現ジョブの原稿カウンター数	現在印刷している原稿の枚数を表示します。
29	ジョブリスト	機械に設定されているジョブの状態を、リアルタイムで表示します。
30	メッセージ表示部	機械の状態や、そのときにしなければならない操作を表示します。

4.1.2 機械状態画面での設定

機械状態画面の下部には「[トレイ設定]」、「[表裏調整]」、「[調整]」、「[コントローラー設定]」、「[用紙条件登録／削除]」、「[不定形サイズ登録／削除]」のボタンがあります。



「[トレイ設定]」

「[トレイ設定]」を押すと、トレイ設定画面が表示されます。



本体トレイ、ペーパーフィーダーユニット、大容量給紙ユニットの各トレイに、用紙サイズおよび用紙条件を設定します。また、フィニッシャーに装着されるポストインサーターの上段トレイ／下段トレイには、用紙サイズを設定します。

「閉じる」を押すと、機械状態画面にもどります。



参照

トレイ設定については、POD 管理者編の3章をごらんください。

〔表裏調整〕

〔表裏調整〕を押すと、表裏調整画面が表示されます。



各トレイ（トレイ1～トレイ5）にセットした用紙のオモテ面、ウラ面にプリントする画像の、倍率や位置が調整できます。

〔OK〕を押すと、設定した内容を確定して、機械状態画面にもどります。

参照

表裏調整については、POD 管理者編の4章をごらんください。

〔調整〕

〔調整〕を押すと、調整メニュー画面が表示されます。



本体の出力に関する調整、およびフィニッシャー FS-532、中とし機 SD-510、パンチキット PK-522、Z 折りユニット ZU-608 を装着している場合は、それぞれの機能の調整ができます。

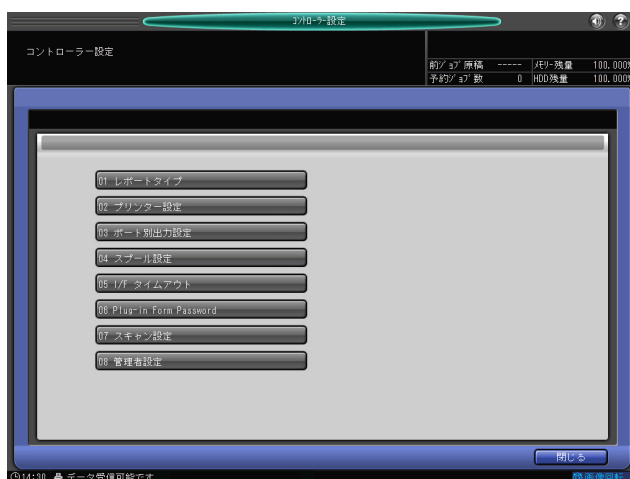
〔終了〕を押すと、機械状態画面にもどります。

参照

調整メニューの各項目については、POD 管理者編の5章をごらんください。

〔コントローラー設定〕

〔コントローラー設定〕を押すと、コントローラー設定メニュー画面が表示されます。



コントローラーの設定ができます。

〔閉じる〕を押すと、機械状態画面にもどります。



参照

コントローラー設定については、POD 管理者編の 6 章をごらんください。

〔用紙条件登録／削除〕

〔用紙条件登録／削除〕を押すと、用紙条件登録／削除画面が表示されます。



用紙条件を登録したり、削除したりできます。

〔OK〕を押すと、設定した内容を確認して、機械状態画面にもどります。



参照

用紙条件登録／削除については、POD 管理者編の 3 章をごらんください。

〔不定形サイズ登録／削除〕

〔不定形サイズ登録／削除〕を押すと、不定形サイズ登録／削除画面が表示されます。



用紙の不定形サイズを登録したり、削除したりできます。

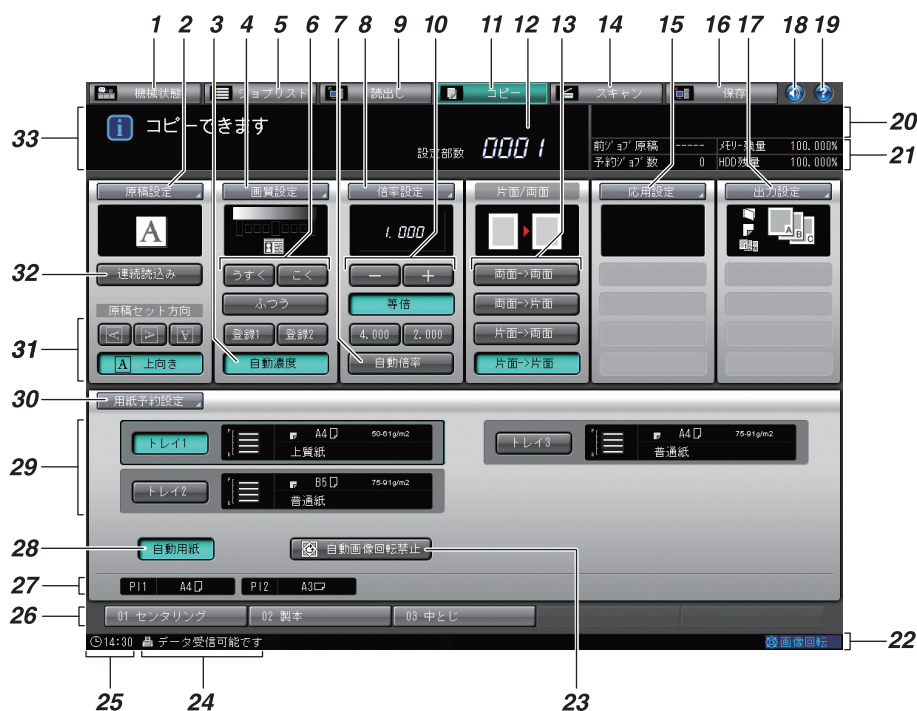
〔OK〕を押すと、設定した内容を確認して、機械状態画面にもどります。

参照




不定形サイズ登録／削除については、POD 管理者編の3章をごらんください。

4.2 コピー画面

コピー画面は、コピーするときに表示します。コピー条件の設定、実行、および動作中のコピー予約をします。



番号	名称	説明
1	〔機械状態〕 タブ	機械状態画面を表示するときを押します。
2	〔原稿設定〕	<p>原稿設定画面を表示して、コピーする原稿の条件を設定するときを押します。原稿設定画面で設定する機能のうち、原稿セット方向は、〔原稿セット方向〕下のボタンでも選択できます。</p> <p>〔原稿設定〕下に下記の表示をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〔原稿セット方向〕で選択したセット方向をアイコンで表示します。 ・〔特殊原稿〕で選択した機能を文字で表示します。 ・〔原稿サイズ〕で〔不定形サイズ〕または〔インデックス紙サイズ〕を選択したとき、選択したサイズを表示します。 ・〔両面とじ方向〕で選択した両面原稿のとじ方向は表示されません。 ・片面/両面で両面原稿を選んだとき、A アイコンのイメージが左右とじ/上とじに合わせて変わります。
3	〔自動濃度〕	自動濃度の機能を使用するときを押します。自動濃度が ON のときは、反転しています。
4	〔画質設定〕	<p>画質設定画面を表示して、出力画質を調整するときを押します。</p> <p>画質設定画面で設定する機能のうち、コピー濃度は下のボタンでも設定できます。</p>
5	〔ジョブリスト〕 タブ	ジョブリスト画面を表示して、ジョブを管理するときを押します。
6	濃度調整ボタン	コピー濃度を調整するときを押します。
7	〔自動倍率〕	自動倍率の機能を使用するときを押します。自動倍率が ON のときは、反転しています。

番号	名称	説明
8	[倍率設定]	倍率設定画面を表示して、コピーする画像の倍率を設定するときに押します。倍率設定画面で設定する機能のうち、タテ/ヨコズーム、登録倍率のうちの2つ、および等倍は、下のボタンでも設定できます。
9	[読出し] タブ	スキャンデータを読み出すときに押します。
10	倍率設定ボタン	[-] [+] ボタンを押して、タテ/ヨコズームの倍率を設定します。等倍でコピーするときは[等倍]を、登録倍率でコピーするときは、任意の倍率が表示されているボタンを押します。
11	[コピー] タブ	コピー画面を表示して、コピー操作をするときに押します。
12	設定部数表示	操作パネルのテンキーで入力した設定部数を表示します。
13	片面/両面選択部	原稿とコピーとの片面、両面の組合わせを選択します。
14	[スキャン] タブ	スキャン操作の画面を表示するときに押します。詳しくは、[ユーザズガイド ネットワークスキャナー編] をごらんください。
15	[応用設定]	応用設定画面を表示して、応用機能を設定するときに押します。[応用設定] 下に、設定した応用機能を最大6つまでアイコン表示します。アイコン表示の下は、よく使用する応用機能のショートカットキーを、最大4つまで表示できます。
16	[保存] タブ	スキャンデータの保存先を指定するときに押します。詳しくは、[ユーザズガイド ネットワークスキャナー編] をごらんください。
17	[出力設定]	出力設定画面を表示して、出力機能を設定するときに押します。[出力設定] 下に、設定した出力機能をアイコン表示します。アイコン表示の下には、よく使用する出力機能のショートカットキーを、最大4つまで表示できます。
18	[ (報知音/音声)]	すべての報知音および音声を、鳴らすかどうかを選択するときに押します。
19	[ (ヘルプ)]	表示されている画面のヘルプメッセージを表示するときに押します。画面によっては、[] がグレースアウトして、選択できないことがあります。機械状態画面を表示しているときに押すと、トナー補給、廃棄トナーボックスの交換、用紙補給、平とじ針の補給、平とじ針くず処理、パンチくず処理の各方法を表示します。
20	出力情報表示部	現在出力中のジョブの出力部数と設定部数、およびジョブ番号を表示します。
21	機械管理情報表示部	前ジョブの原稿枚数、予約ジョブ数、メモリー残量、HDD 容量残量を表示します。
22	機械状態表示右	[セキュリティ]、[トナー補給]、[定期点検]、[トナー回収]、[モデム異常]、[資材]、[定着ウェブ交換]、[高力バレッジ]、[画像回転]、[タンデム M(S)] を表示します。5つまではすべて大きく表示されますが、6つ以上の場合、4つめまで大アイコン表示、5つめから小アイコン表示にかわります。
23	[自動画像回転禁止]	自動画像回転を ON/OFF するときに押します。
24	機械状態表示左	ウィークリータイマーの[オフ時刻]の予告、またはイメージコントローラーの状態を表示します。ウィークリータイマーの[オフ時刻]の予告が優先して表示されます。
25	時刻表示部	現在の時刻を表示します。
26	ファンクションキー表示部	登録されているプログラムを最大5つまで、ファンクションキーとして表示できます。

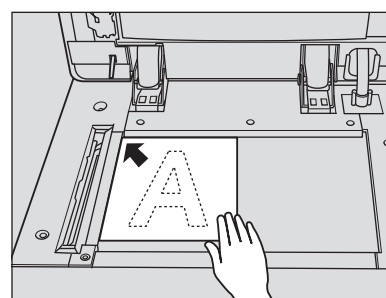
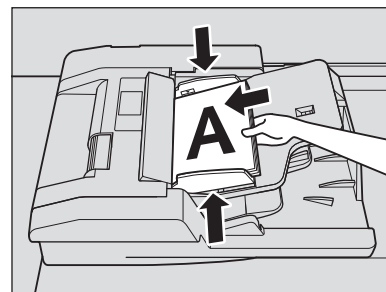
番号	名称	説明
27	ポストインサーターサイズ表示部	フィニッシャーにポストインサーターが装着されている場合、ポストインサーターの上段トレイ/下段トレイにセットされている用紙サイズ、セット方向を表示します。
28	[自動用紙]	自動用紙の機能を使用するときに押します。自動用紙が ON のときは、反転しています。
29	トレイ情報表示部/トレイボタン	トレイ情報表示部： トレイに設定されている用紙サイズ、セット方向、坪量、用紙名称、用紙残量を表示します（トレイ設定）。用紙予約設定で設定を変更すると、その用紙情報が表示されます。リセット機能がはたらくと、トレイ設定の表示にもどります。 トレイボタン： 任意のトレイを使用するときに押します。
30	[用紙予約設定]	トレイに設定されていない条件の用紙にコピーするとき、押して設定します。
31	原稿セット方向ボタン	ADF や原稿ガラスにセットした原稿のセット方向を選択します。
32	[連続読み込み]	スキャンした画像を、メモリー内に一時保存するときに押します。
33	メッセージ表示部	機械の状態や、そのときにしなければならない操作を表示します。

4.3 基本的なコピーの流れ

コピーをとるときの基本的な操作手順を説明します。

- ✓ 以下に説明する操作手順は基本的なもので、設定したコピー条件すべての操作に共通するものではありません。それぞれの操作手順に従ってください。

1 原稿をセットします。



2 コピー画面を表示します。

- 初期設定では、最初に機械状態画面が表示されます。機械状態画面の【コピー】タブを押して、コピー画面を表示します。



- デフォルト画面が、ジョブリスト画面の予約/保留リスト画面、またはジョブリスト画面のジョブスケジュール画面に設定されていることがあります。いずれも【コピー】タブを押して、コピー画面を表示します。
- デフォルト画面がコピー画面に設定されている場合は、初めからコピー画面が表示されます。



3 コピー条件を設定します。

コピー画面から設定できるコピー条件は、下記のとおりです。

- [原稿設定]：6-2 ページをごらんください。
- [連続読み込み]：6-16 ページをごらんください。
- [画質設定]：6-19 ページをごらんください。
- [倍率設定]：6-26 ページをごらんください。
- [片面/両面]：6-31 ページをごらんください。
- [用紙予約設定]：6-37 ページをごらんください。
- [自動用紙]：6-52 ページをごらんください。
- [自動画像回転禁止]：6-53 ページをごらんください。
- [応用設定]：7-2 ページをごらんください。
- [出力設定]：8-2 ページをごらんください。

4 操作パネルのテンキーで設定部数を入力します。



設定部数は、コピー画面に表示されます。



5 操作パネルのスタートを押します。

原稿の読み込みが始まると、コピー画面にダイアログが表示されます。



6 必要に応じて、ダイアログの「はい」または「いいえ」を押します。

- 「はい」を押すと、コピー画面にもどります。
引続き、コピー予約ができます。
- 「いいえ」を押すと、現在設定されているデフォルト画面にもどります。
- デフォルト画面がコピー画面の場合は、ダイアログに「閉じる」ボタンだけが表示されます。押してコピー画面にもどります。



いずれの画面も、右上に設定部数と出力した部数が表示されます。

また、ジョブリスト画面の予約／保留リスト画面の場合は、リストに現在進行中のジョブが表示されます。





参照

電源投入時に表示されるデフォルト画面の選択については、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

ジョブリスト画面では、出力の順番を変更したり、ジョブを削除したりできます。詳しくは、9-2 ページをごらんください。

4.4 原稿をセットする

コピーするときは、原稿を ADF または原稿ガラスにセットします。

4.4.1 ADF に原稿をセットする

ADF は、セットした 100 枚までの原稿を、一番上から 1 枚ずつ原稿ガラスに送ってスキャンします。

通常モードのセット手順



参照

ADF にセットできる原稿のサイズについては、3-10 ページをごらんください。

- 1 原稿を 1 ページ目から順に揃えます。
- 2 コピーする面（両面原稿の場合は 1 ページ目）を上にして、原稿をセットします。
 - 原稿の向きを、コピー画面に表示されている原稿セット方向アイコンにあわせます。

一度に 100 枚の原稿をセットできます。

重要

100 枚以上の、あるいは原稿ガイド板に表示されている高さ制限ラインを超えて原稿をセットした場合、紙づまりを起こして、原稿の破損や機械故障の原因になることがあります。

原稿セット方向を間違えると、希望するコピーができないことがあります。両面コピー、ステープル、中とじ、重ね中折り、小冊子機能を使用するときは、特にご注意ください。

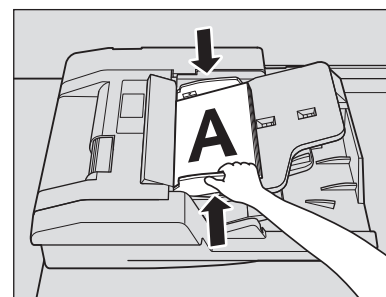
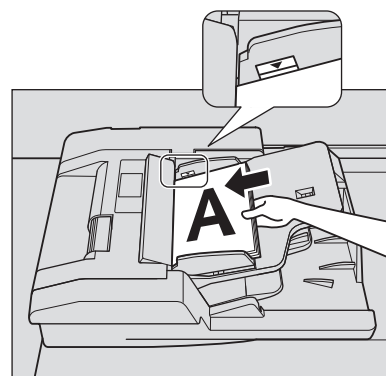
クリップ止めやステープルされている原稿は、絶対にセットしないでください。原稿が汚れたり、破れたりすることがあります。

- 3 原稿ガイド板を原稿に沿わせます。

重要

ADF を使用するときには、途中で ADF を開け閉めしないでください。設定したコピー条件が変わることがあります。

- 両面コピーをとるときは、コピーのとじ方向を設定してください。
- 両面原稿をコピーするときには、原稿のとじ方向をご確認ください。



混載原稿モードのセット手順

サイズが異なる原稿を、自動的に 1 枚ずつスキャンします。



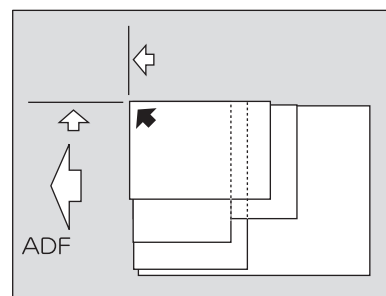
参照

混載原稿の設定方法については、6-6 ページをごらんください。

ADF に混載できる原稿サイズについては、3-10 ページをごらんください。

- 1 原稿を 1 ページ目から順に揃えます。

サイズが異なる原稿は、ADF に対して左側と奥側とを揃えます。



- 2 コピーする面（両面原稿の場合は 1 ページ目）を上にして、原稿をセットします。

すべて左側と奥側とを ADF に突当ててセットします。

一度に 100 枚の原稿をセットできます。

重要

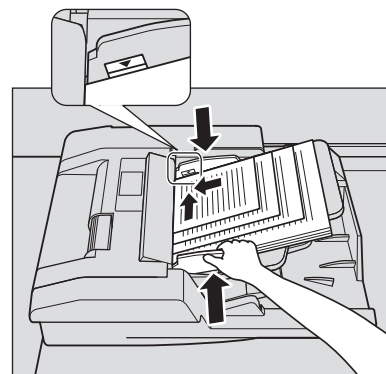
クリップ止めやステープルされている原稿は、絶対にセットしないでください。原稿が汚れたり、破れたりすることがあります。

100 枚以上の、あるいは原稿ガイド板に表示されている高さ制限ラインを超えて原稿をセットした場合、紙づまりを起こして、原稿の破損や機械故障の原因になることがあります。

- 3 原稿ガイド板を原稿に沿わせてます。

重要

ADF を使用するときは、途中で ADF を開け閉めしないでください。設定したコピー条件が変わることがあります。



Z 折れ原稿モードのセット手順

サイズが検知しにくい Z 折れ原稿を自動的に 1 枚ずつ送りながら、確実に原稿サイズを検知します。



参照

Z 折れ原稿の設定方法については、6-7 ページをごらんください。

Z 折れ原稿のサイズについては、3-10 ページをごらんください。

- 1 原稿を 1 ページ目から順に揃えます。
- 2 コピーする面（両面原稿の場合は 1 ページ目）を上にして、原稿をセットします。

一度に 100 枚の原稿をセットできます。

重要

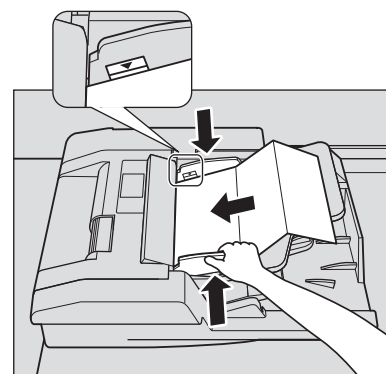
クリップ止めやステープルされている原稿は、絶対にセットしないでください。原稿が汚れたり、破れたりすることがあります。

100 枚以上の、あるいは原稿ガイド板に表示されている高さ制限ラインを超えて原稿をセットした場合、紙づまりを起こして、原稿の破損や機械故障の原因になることがあります。

- 3 原稿ガイド板を原稿に沿わせてます。

重要

ADF を使用するときは、途中で ADF を開け閉めしないでください。設定したコピー条件が変わることがあります。



4.4.2 原稿ガラスに原稿をセットする

サイズの合わない原稿や、折れ、ステープル、破れなど、状態がよくないために ADF にセットできない原稿は、**原稿ガラス**にセットしてコピーします。



参照

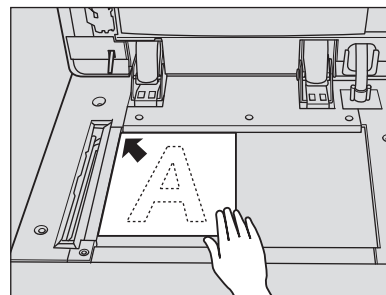
ADF にセットできない原稿については、3-11 ページをご覧ください。

- 1 ADF を開きます。
- 2 コピーする面を下に向け、左奥側につきあわせてセットします。
 - 原稿の向きを、コピー画面に表示されている原稿セット方向アイコンにあわせます。
 - 応用設定のブック連写、原稿外消去、リピートの自動検出モード、センタリングを設定しているときは、ADF を開けたままで原稿をスキャンします。

重要

ADF を使用するときには、途中で ADF を開け閉めしないでください。設定したコピー条件が変わることがあります。

- 3 原稿が動かないように、ADF を静かに閉じます。



4.5 設定部数を入力する

設定部数の入力および変更の手順について説明します。

4.5.1 設定部数を入力する

初期設定では、原稿 1 部に対して、設定した部数分のコピーをソート出力します。

✓ オプション構成や初期設定の変更によって、出力モードは異なります。

➔ 操作パネルのテンキーを押して、設定部数を入力します。

入力した部数は、コピー画面に表示されます。



4.5.2 入力した設定部数を変更する

設定した部数を変更するときは、下記の手順に従って変更します。

- 1 操作パネルの C を押します。
コピー画面の部数表示が「0001」にもどります。



- 2 操作パネルのテンキーを押して、新しい設定部数を入力します。
新しく入力した部数が、コピー画面に表示されます。

4.6 ウォームアップ中にコピーする

電源を ON にしてから出力できるまでのウォームアップ中に、コピー条件を設定して原稿をスキャンしておくと、コピーできるようになったときに自動的に出力できます。



参照

この機能を使用できないように設定できます。サービス実施店にお問い合わせください。

1 副電源スイッチを ON にします。

重要

主電源スイッチは通常 OFF にしないでください。電源の入れ方、切り方については、必ず 2-22 ページでご確認ください。

2 コピー画面を表示して、[コピー予約できます] というメッセージを確認します。

→ ウェイクアップ画面につづき、ウォームアップ表示している機械状態画面が表示されます。機械状態画面の「コピー」タブを押してコピー画面を表示し、「コピー予約できます」というメッセージを確認します。



3 原稿をセットします。

→ コピーする面（両面原稿の場合は 1 ページ目）を上にして、ADF に原稿をセットします。または、コピーする面を下にして、原稿ガラスに原稿をセットします。

4 コピー条件を設定して、設定部数を入力します。

5 操作パネルのスタートを押します。

原稿の読み込みが始まると、コピー画面にダイアログが表示されます。

- 6 必要に応じて、ダイアログの〔はい〕または〔いいえ〕を押します。
- 〔はい〕を押すと、コピー画面にもどります。引続き、コピー予約ができます。
 - 〔いいえ〕を押すと、現在設定されているデフォルト画面にもどります。
 - デフォルト画面がコピー画面の場合は、ダイアログに〔閉じる〕ボタンだけが表示されます。押してコピー画面にもどります。



4.7 現在読み込み中／出力中のジョブを停止する

現在進行中の原稿読み込み、出力、またはその両方を停止したいとき、下記の操作をします。

- ここで停止できるのは、進行中のジョブです。予約して待機状態にあるジョブを削除、保留または順序変更する場合は、ジョブリスト画面で操作します。
- 進行中のジョブによって、表示されるダイアログが違います。それぞれの手順に従ってください。

出力中に次のジョブを読み込んでいる場合：

- 1 操作パネルのストップを押します。
進行中の動作を一時停止して、ダイアログを表示します。
- 2 任意の動作を選択します。
下記の 5 つのボタンが表示されます。
 - [読み込み] を押すと、原稿の読み込みを中止して、出力を続けます。
 - [出力] を押すと、出力を中止して、原稿の読み込みを続けます。
 - [読み込み／出力] を押すと、読み込み、出力の両方のジョブを中止します。
 - [継続] を押すと、両方のジョブを再開（継続）します。
 - [一時停止] を押すと、両方のジョブを一時停止します。



連続読み込みモードで原稿を読み込んでいる場合：

- 1 操作パネルのストップを押します。
進行中の動作を一時停止して、ダイアログを表示します。
- 2 任意の動作を選択します。
下記の 2 つのボタンが表示されます。
 - ジョブを中止するときは、[中止] を押します。途中まで読み込まれたデータは、すべて消去されます。
 - ジョブを続けるときは、[継続] を押します。



原稿を読み込み中、または出力中の場合：

- 1 操作パネルのストップを押します。
進行中の動作を一時停止して、ダイアログを表示します。
- 2 任意の動作を選択します。
下記の3つのボタンが表示されます。
 - ジョブを中止するときは、[中止]を押します。読み込まれたデータは、すべて消去されます。
 - ジョブを続けるときは、[継続]を押します。
 - ジョブを一時停止するときは、[一時停止]を押します。



プログラムジョブで一括出力している場合：

- 1 操作パネルのストップを押します。
進行中の動作を一時停止して、ダイアログを表示します。
- 2 任意の動作を選択します。
下記の4つのボタンが表示されます。
 - ジョブを中止するときは、[中止]を押します。読み込まれたデータは、すべて消去されます。
 - ジョブを続けるときは、[出力]を押します。
 - 部数区切り分を出力してからジョブを中止するときは、[一部出力]を押します。
 - ジョブを一時停止するときは、[一時停止]を押します。



5

補給、廃棄部材、出力紙の処理

5 補給、廃棄部材、出力紙の処理

各処理が必要なときに表示される画面表示、およびその処理方法を説明します。

処理分類	処理対象	処理内容	参照
補給	本体	トナー補給	ヘルプ画面と 5-6 ページをごらんください。
	本体（トレイ 1、トレイ 2）	用紙補給	ヘルプ画面と 5-11 ページをごらんください。
	大容量給紙ユニット LU-409 / LU-410（トレイ 3）	用紙補給	ヘルプ画面と 5-12 ページをごらんください。
	ペーパーフィーダーユニット PF-706（トレイ 3～トレイ 5）	用紙補給	ヘルプ画面と 5-16 ページをごらんください。
		小サイズ用紙の補給	5-18 ページをごらんください。
	ポストインサーター PI-502	用紙補給	5-20 ページをごらんください。
	本体（トレイ 1、トレイ 2）	インデックス紙補給	5-21 ページをごらんください。
	大容量給紙ユニット LU-409 / LU-410（トレイ 3）	インデックス紙補給	5-22 ページをごらんください。
	ペーパーフィーダーユニット PF-706（トレイ 3～トレイ 5）	インデックス紙補給	5-23 ページをごらんください。
	フィニッシャー FS-532	平とじステープル針補給	ヘルプ画面と 5-25 ページをごらんください。
廃棄部材の処理	フィニッシャー FS-532（中とじ機 SD-510 を装着したとき）	中とじステープル針補給	5-26 ページをごらんください。
	本体	廃棄トナーボックスの交換	ヘルプ画面と 5-29 ページをごらんください。
	フィニッシャー FS-532	ステープル針くず処理	ヘルプ画面と 5-31 ページをごらんください。
	フィニッシャー FS-532（パンチキット PK-522 を装着したとき）	パンチくず処理	ヘルプ画面と 5-33 ページをごらんください。
	Z 折りユニット ZU-608（フィニッシャー FS-532 に装着）	パンチくず処理	ヘルプ画面と 5-34 ページをごらんください。

処理分類	処理対象	処理内容	参照
出力紙の処理	フィニッシャー FS-532 メイントレイ	積載制限枚数を超える出力で自動停止したトレイの用紙取出し	5-36 ページをごらんください。
		手動による出力一時停止および再スタート	5-37 ページをごらんください。
		停止したジョブの出力中止	5-40 ページをごらんください。
	フィニッシャー FS-532 サブトレイ	積載制限枚数を超える出力で自動停止したトレイの用紙取出し	5-38 ページをごらんください。
		停止したジョブの出力中止	5-40 ページをごらんください。
	フィニッシャー FS-532 折りトレイ	積載制限枚数を超える出力で自動停止したトレイの用紙取出し	5-39 ページをごらんください。
		停止したジョブの出力中止	5-40 ページをごらんください。

5.1 ヘルプメッセージの表示のしかた

- 1 「機械状態」タブを押して、機械状態画面を表示します。
- 2 画面右上の [?]、または操作パネルのヘルプを押します。
画面上部に、機械状態画面のヘルプメッセージが表示されます。



- 3 ヘルプメッセージ右下の「補給/廃棄方法」を押します。



- 4 確認したい処理のタブを押します。



- 5 [▼] または [▲] を押して、手順を表示しながら処理します。



- 6 処理が終了したら、画面右上の [✕]、または操作パネルのヘルプを押します。ヘルプメッセージが画面から消えます。

5.2 トナーを補給する

本機は、トナーを供給するトナーボトルが空になっても、ただちにプリントできなくなるのを防ぐため、ボトル約1本分のトナーをトナーホッパーに貯蔵しています。

トナーボトルが空になり、トナーホッパー内の残量も少なくなると、画面のメッセージ表示部には「トナーを入れて下さい」というメッセージが、画面右下の機械状態表示部にはトナー補給アイコンが表示されます。トナーホッパー内のトナーもなくなると、「トナーがなくなりました トナーボトルを交換して下さい」というメッセージが表示されます。



また、機械状態画面の補給／廃棄部材表示部には、トナーホッパー内の残量に応じて、「トナーボトル交換できます（ホッパー内残量：3/4）」、「トナーボトルを交換して下さい（ホッパー内残量：1/4）」、「トナーがなくなりました トナーボトルを交換して下さい」と表示されます。



- ✓ トナーボトルを交換するときは、ボトルカバーの前面に表示されているトナータイプナンバーを確認して、必ず同じナンバーのトナーボトルをご使用ください。異なるトナーボトルを使用すると、故障の原因になります。
- ✓ 使用済みのトナーボトルは、新しいトナーボトルについていたカバーをして、梱包箱に入れてください。その後の処理は、サービス実施店にお問い合わせください。

⚠ 警告

トナーやトナーボトル（使用済みのトナーボトルも含めて）は、絶対に火中に投げないでください！トナーやトナーボトルを火中に投げると、トナーが飛散って、やけどをするおそれがあり、とても危険です。

- 使用済みのトナーボトルは、サービス実施店が回収します。

⚠ 注意

トナーボトルの保管や取扱いに注意！

トナーは、大量に吸ったり、目に入ったりすると、健康を害します。

- トナーボトルは、子供の手が届かない所に保管してください。
- 本体の内部、衣服や手をトナーで汚さないように、注意して取扱ってください。
- トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤で洗い流してください。
- トナーが目に入ってしまった場合は、すぐに水で洗い流し、医師の診断を受けてください。

1 機械状態画面のヘルプメッセージを表示して、[補給／廃棄方法] を押します。

2 ヘルプメッセージ上部の [トナー補給] タブを押します。



3 [▼] または [▲] を押して、手順を表示しながら処理します。

📖 参照

ヘルプメッセージの表示のしかたについては、5-4 ページをご覧ください。

5.3 用紙を補給する

機械状態画面およびコピー画面には、各トレイにセットされている用紙の残量が表示されます。残量は、下記の 5 種類のアイコンで表示されます。



用紙がなくなると、「」が表示されます。

コピー画面で「」が表示されているトレイを選択すると、「」は点滅します。



重要

各トレイの設定は、機械状態画面の「**トレイ設定**」を押して行います。一時的に、現在の設定と異なる用紙をセットする場合は、コピー画面の「**用紙予約設定**」を押して、設定を変更します。

いずれの場合も、設定の内容と異なる用紙をセットして出力しないでください。紙づまりの原因になります。



参照

用紙補給のしかたは、機械状態画面に表示されるヘルプメッセージで確認できます。5-4 ページをご覧ください。

5.3.1 セットする用紙をチェックする

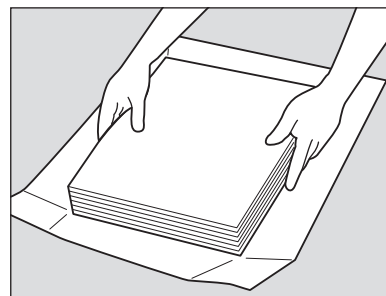
本機は、大量の用紙を高速で処理します。したがって、給紙中に問題が発生すると、大量の用紙が無駄になることがあります。

セットする前に、下記の点に留意してチェックすることで、日頃から用紙を管理することをおすすめします。

- 1 用紙を平らな所に置いて開封します。

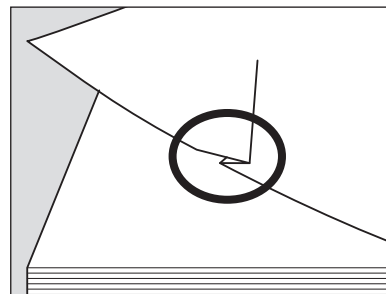
重要

用紙をチェックするとき、用紙に折れやキズをつけないようにしてください。

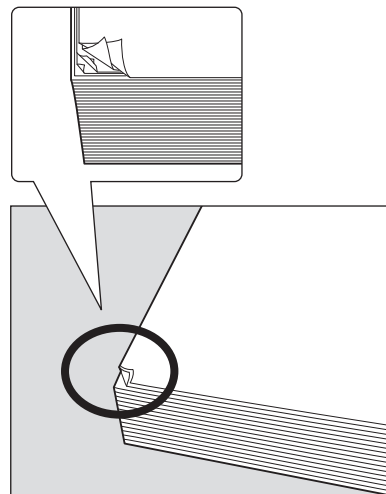


- 2 用紙の折れ、キズの有無を確認して、問題がある用紙を取除きます。

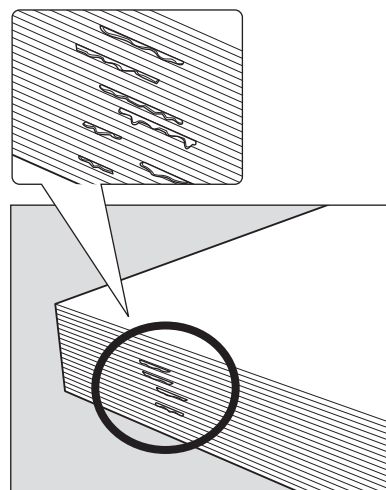
用紙折れ



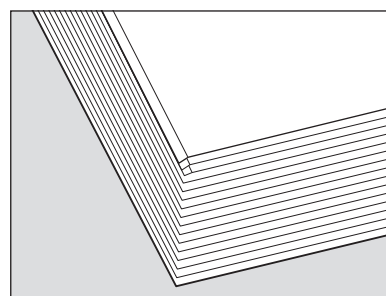
角折れ



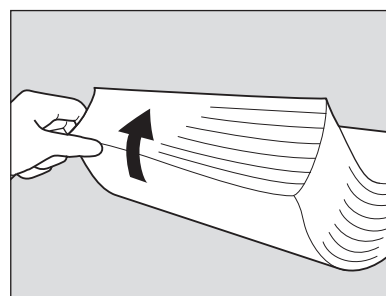
糊の付着



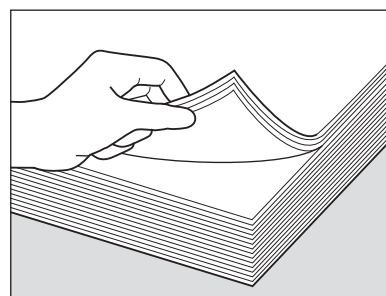
端面に沿った全面の折れ



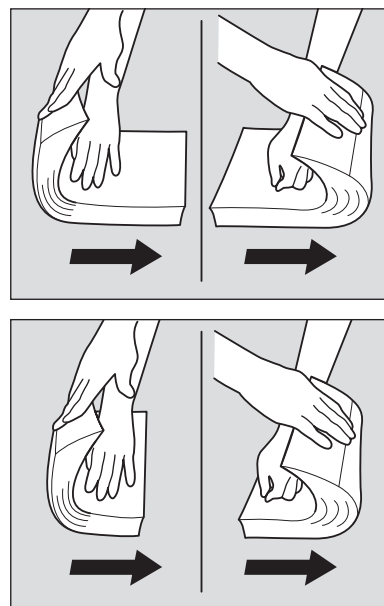
- 3 用紙の開封面とは逆の面も確認します。
- 右図のように、用紙を持上げて確認することをおすすめします。



- 4 用紙同士が静電気で密接していないかどうかを確認します。
- 上部 1 cm くらいをさばいて、パリパリと音がしないかどうかを確認します。
 - 音がする場合は、静電気をおびています。このような用紙は使用しないことをおすすめします。



- 5 セットする前に、用紙をよくさばきます。
- 下図のように手で押さえながら、通紙方向の先端／後端をさばきます。
- 用紙をさばくときは、平らな所に置いてさばきます。持ちあげた状態でさばくと、落として用紙に折れをつくることがあります。
 - 一度に大量の用紙をさばかないようにしてください。



5.3.2 本体トレイ（トレイ 1、トレイ 2）に用紙を補給する

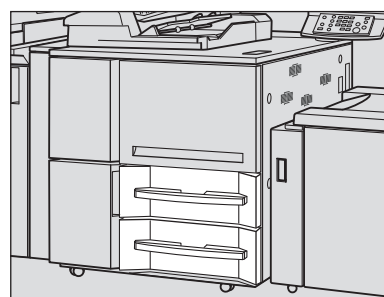
- ✓ 違う仕様の用紙をセットするときは、機械状態画面の〔トレイ設定〕で、そのトレイの設定を変更するか、コピー画面の〔用紙予約設定〕で、一時的に設定を変更します。

- 1 用紙を補給するトレイを引出します。

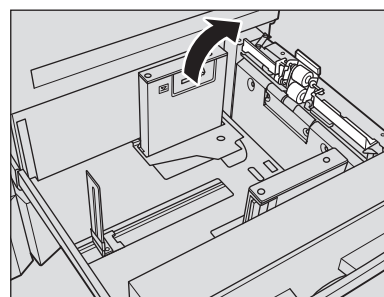
重要

本体の電源が入っていないと、トレイを引出すことができません。副電源スイッチを ON にしてください。

機械の転倒を防止するため、一度に複数のトレイを引出すことはできません。



- 2 給紙ローラーを開きます。

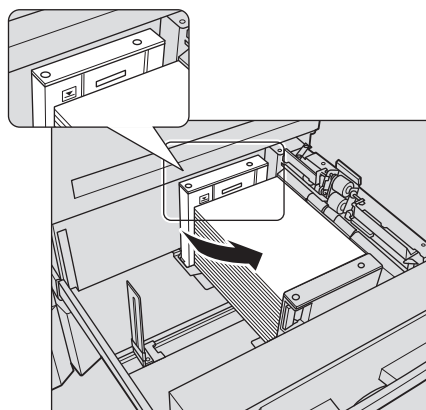


- 3 印刷面を下にして、用紙をセットします。

重要

セットした用紙が、トレイの側面ガイドに表示されている積載制限のラインを超えないようにしてください。

また、エア吹出し口にある紙押さえレバーの下になるように、用紙をセットしてください。

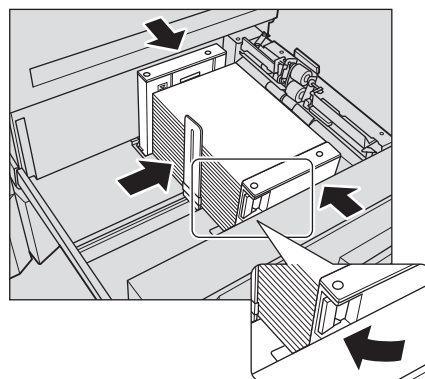


- 4 側面ガイドおよび後端ガイドを、用紙に沿わせます。



→ トレイの給紙ローラー側に、用紙をそろえるようにしてセットします。

重要

側面ガイドおよび後端ガイドは、確実に用紙に突当ててください。ガイドと用紙との間に隙間があると、機械が正確なサイズを検知できず、給送装置が故障する原因になります。



- 5 トレイを奥まで確実に押込みます。

機械状態画面やコピー画面の残量表示は、「」から「」にかわります。

重要

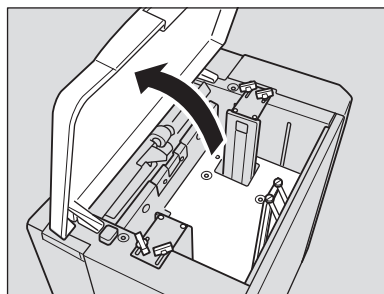
トレイは、必要以上に勢いよくもどさないでください。トレイや紙の重さなどで、機械に思わぬ衝撃が加わり、故障の原因になることがあります。

5.3.3 大容量給紙ユニット LU-409/LU-410（トレイ 3）に用紙を補給する

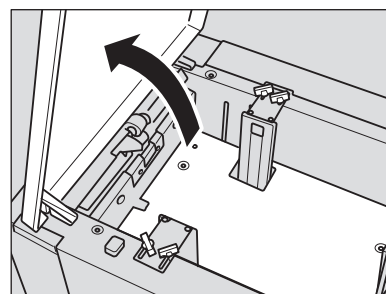
違う仕様の用紙をセットするときは、機械状態画面の「トレイ設定」で、大容量給紙ユニットの設定を変更するか、コピー画面の「用紙予約設定」で、一時的に設定を変更します。

- 1 トレイ上扉を開きます。

LU-409



LU-410



トレイ底板が上昇します。

重要

本体の電源が入っていないと、トレイ底板は上昇しません。副電源スイッチを ON にしてください。

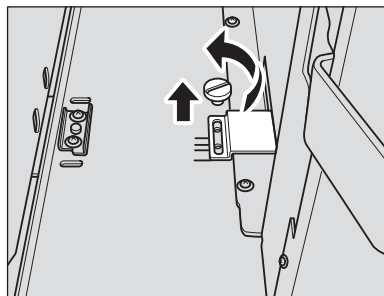
同じサイズの下紙をセットするときは、手順 6 に進みます。

違うサイズの下紙をセットするときは、手順 2 に進みます。

2 側面ガイドツマミ（下）を取外します。

- トレイ左扉を開きます。
- 側面ガイドツマミ（下）を、反時計方向に回してゆるめてから取外します。

LU-409



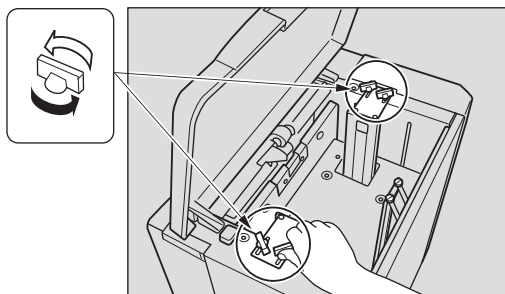
LU-410



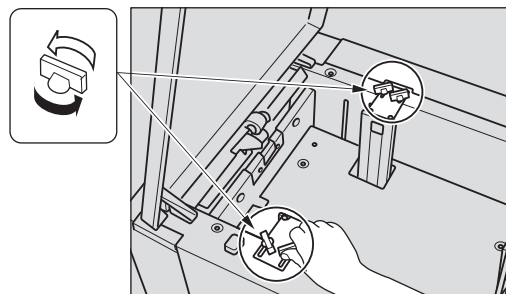
3 側面ガイドの位置を調整します。

- 側面ガイドツマミ（上）（4箇所）を、反時計方向に回してゆるめます。

LU-409

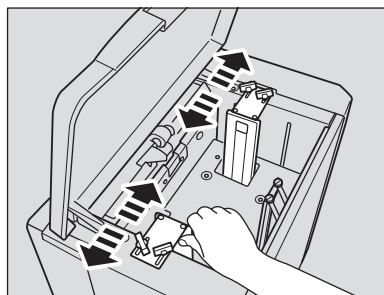


LU-410

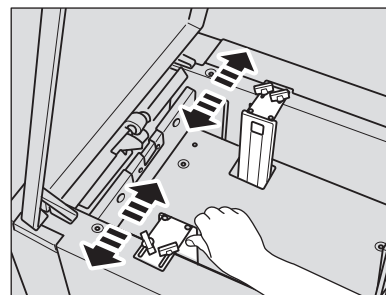


- 2つの側面ガイドを、ガイド板に刻印されているサイズ指標に合わせて動かします。

LU-409



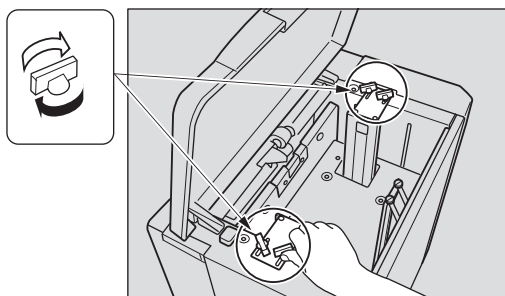
LU-410



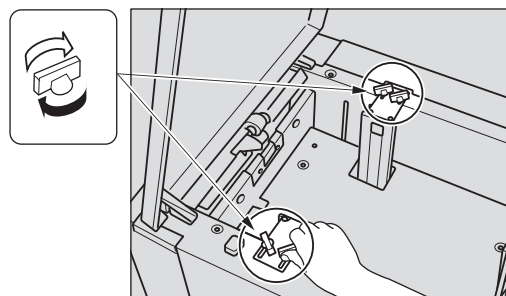
4 側面ガイドを固定します。

- 側面ガイドツマミ（上）（4箇所）を、時計方向に回して固定します。

LU-409



LU-410

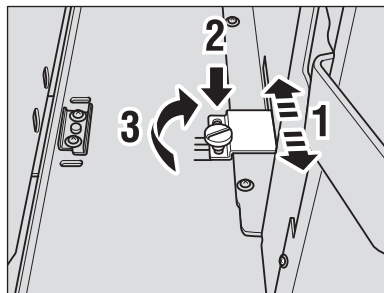


- 側面ガイド底部固定板の手前側エッジ部を、サイズ指標に合わせます。
- 固定ネジ穴に側面ガイドツマミ（下）を取付けてから、時計方向に回して固定します。

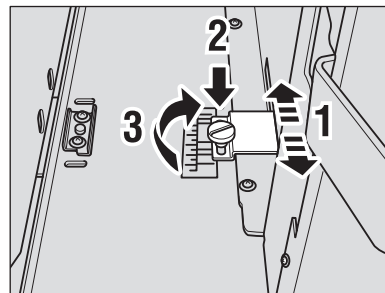
重要

動かした側面ガイドの位置によっては、今まで使用していたネジ穴が使用できないことがあります。使用できるネジ穴を使用して固定してください。

LU-409



LU-410

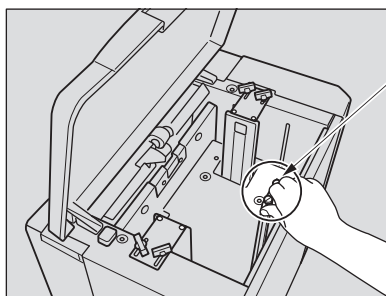


- トレイ左扉を閉じます。

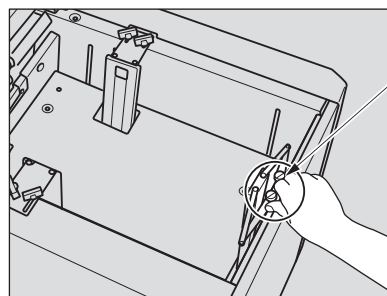
5 後端ガイドの位置を調整してから、固定します。

- 後端ガイドツマミ（2箇所）を、反時計方向に回してゆるめます。

LU-409

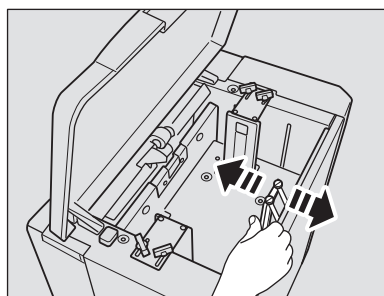


LU-410

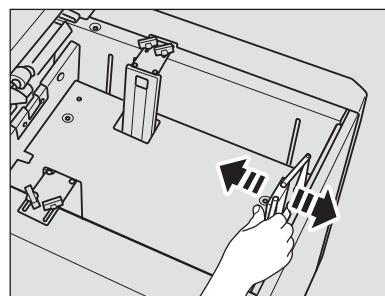


- 後端ガイドをトレイ底板のサイズ指標に合わせて動かします。

LU-409

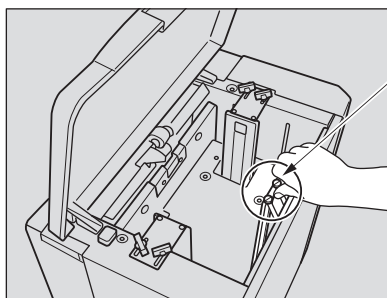


LU-410

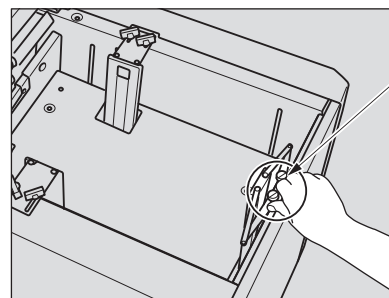


- 後端ガイドツマミ（2箇所）を、時計方向に回して固定します。

LU-409

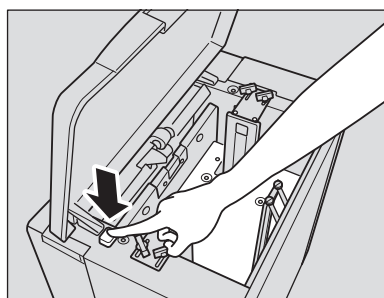


LU-410

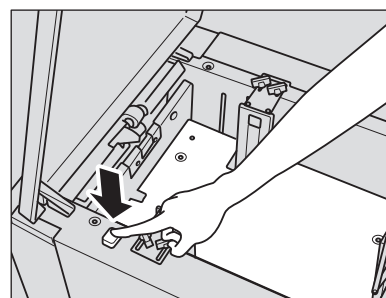


6 トレイ底板下降ボタンを押します。

LU-409

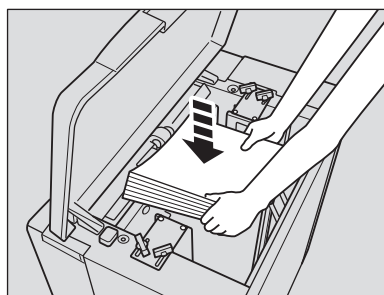


LU-410

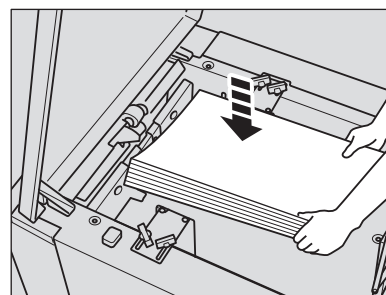


7 用紙をセットします。

LU-409



LU-410



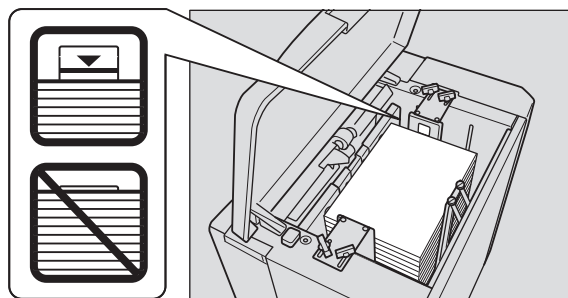
8 手順6、7の作業を、トレイ底板が下降しなくなるまで繰り返します。

重要

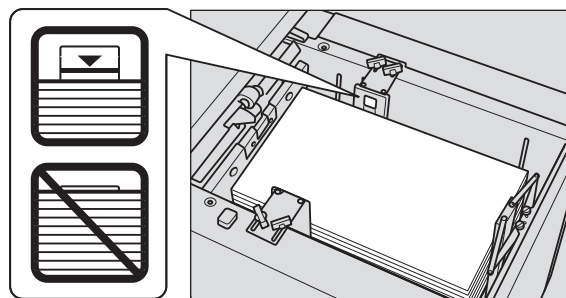
セットした用紙が、トレイの側面ガイドにある紙上限ラベルのラインを超えないようにしてください。

後端ガイドが、セットした用紙のサイズに合っていることを確認してください。後端ガイドと用紙との間に隙間があったり、せまくなりすぎたりすると、紙づまりや故障の原因になります。



LU-409



LU-410



9 トレイ上扉を閉じます。

機械状態画面やコピー画面の残量表示は、「」から「」にかわります。

5.3.4 ペーパーフィーダーユニット PF-706（トレイ 3～トレイ 5）に用紙を補給する

- ✓ 違う仕様の用紙をセットするときは、機械状態画面の「トレイ設定」で、そのトレイの設定を変更するか、コピー画面の「用紙予約設定」で、一時的に設定を変更します。

1 用紙を補給するトレイを引出します。

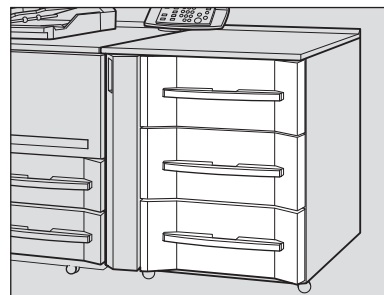
- トレイ3とトレイ5にセットできる用紙の坪量は、 $40 \text{ g/m}^2 \sim 300 \text{ g/m}^2$ です。トレイ4は、 $40 \text{ g/m}^2 \sim 350 \text{ g/m}^2$ の用紙をセットできます。

重要

本体の電源が入っていないと、トレイを引出することができません。副電源スイッチを ON にしてください。

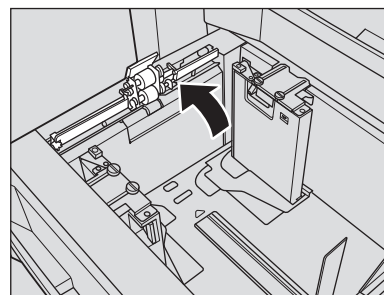
重要

機械の転倒を防止するため、一度に複数のトレイを引出すことはできません。



2 給紙ローラーを開きます。

違うサイズ of 用紙をセットするときは、手順 3 に進みます。
同じサイズの用紙をセットするときは、手順 6 に進みます。

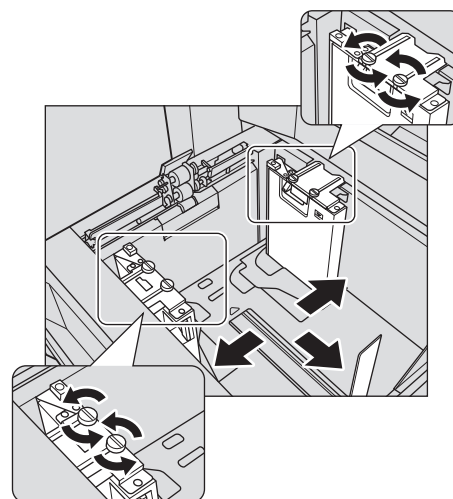


3 側面ガイドおよび後端ガイドを大きく広げます。

- 側面ガイドのガイド固定ツマミ（4箇所）を、反時計方向に回してゆるめます。
→ 側面ガイドおよび後端ガイドのロック解除レバーを押しながら、それぞれ大きく広げます。

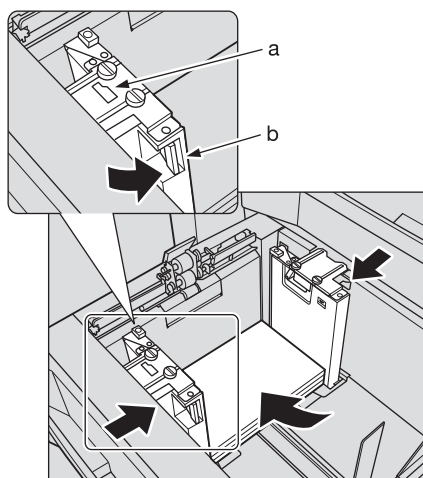
重要

側面ガイドを動かすときは、手前側のロック解除レバーと奥側の取手との両方を持ってください。手前側の側面ガイドだけで動かすと、側面ガイドの位置ズレを起こすことがあります。



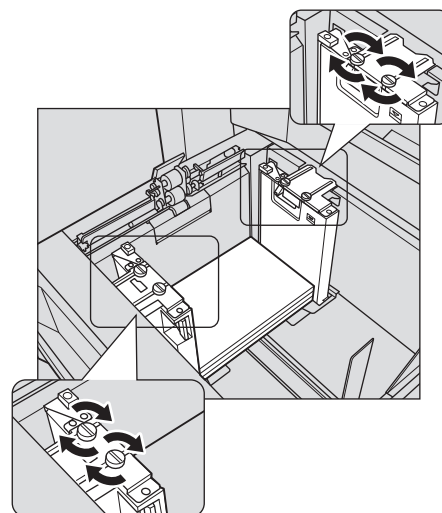
4 側面ガイドの位置を決めます。

→ 100 枚ほどの用紙を、印刷面を上にしてセットして、側面ガイドを用紙に沿わせながら、ガイド支持板上面のサイズ指標に合わせて位置を決めます。



a : サイズ指標
b : ロック解除レバー

5 側面ガイドのガイド固定つまみ（4箇所）を、時計方向に回して固定します。



6 印刷面を上にして、用紙をセットします。

→ トレイの給紙ローラー側に、用紙を揃えるようにしてセットします。

重要

セットした用紙が、トレイの側面ガイドに表示されている積載制限のラインを超えないようにしてください。

また、エア吹き出し口にある紙押さえレバーの下になるように、用紙をセットしてください。

重要

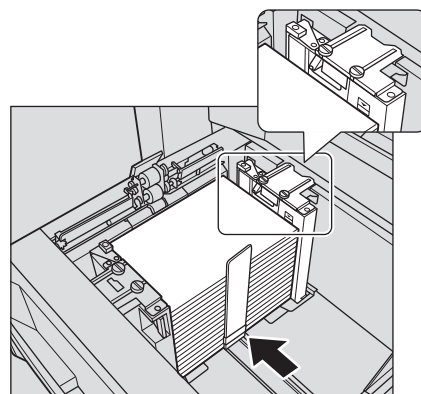
2つの側面ガイドには、小サイズガイドが付いています。用紙幅が 182 mm 未満の用紙をセットするとき以外は開かないでください。

小サイズガイドの使い方については、5-18 ページをごらんください。



- 7 後端ガイドを用紙に沿わせます。
- ロック解除レバーを押しながら、後端ガイドを用紙に突当てます。

重要

後端ガイドは、確実に用紙に突当ててください。後端ガイドと用紙との間に隙間があると、機械が正確なサイズを検知できず、給送装置が故障する原因になります。



- 8 トレーを奥まで確実に押込みます。

機械状態画面やコピー画面の残量表示は、「」から「」にかわります。

重要

トレイは、必要以上に勢いよくもどさないでください。トレイや紙の重さなどで、機械に思わぬ衝撃が加わり、故障の原因になることがあります。

5.3.5 ペーパーフィーダーユニット PF-706（トレイ 3～トレイ 5）に小サイズ用紙を補給する

ペーパーフィーダーユニットの側面ガイドの最小幅は 182 mm です。

小サイズガイドを開くと、最小幅 95 mm までの小サイズ用紙をセットできます。

- ✓ 側面ガイドの最小幅より大きなサイズの下紙をセットするときは、小サイズガイドを開かないでください。
- ✓ 小サイズガイドを使用するときは、両方の小サイズガイドを開いてください。片方だけ開いた状態で用紙をセットしないでください。

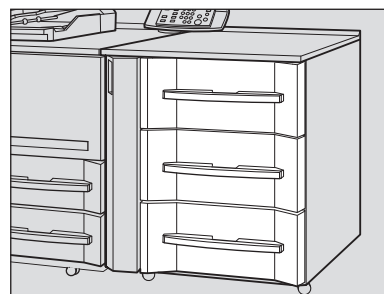
- 1 小サイズ用紙を補給するトレイを引出して、給紙ローラーを開きます。

重要

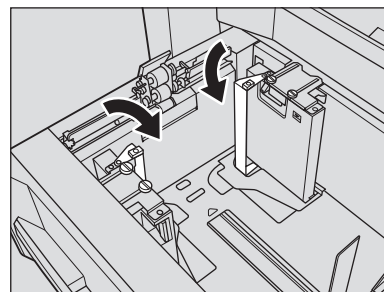
本体の電源が入っていないと、トレイを引出すことができません。副電源スイッチを ON にしてください。

重要

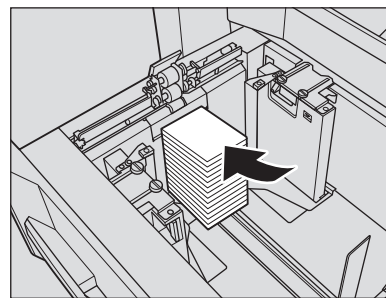
機械の転倒を防止するため、一度に複数のトレイを引出すことはできません。



- 2 手前および奥の側面ガイドの小サイズガイドを、それぞれ内側に開きます。

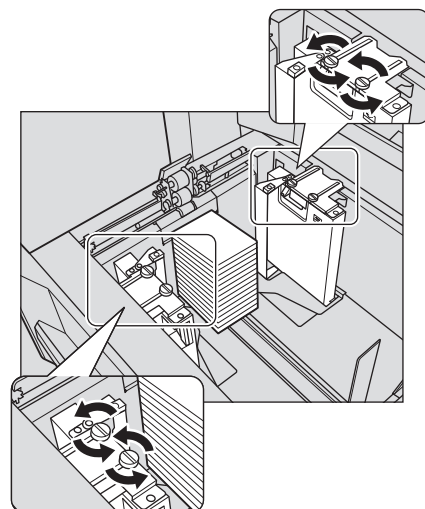


- 3 印刷面を上にして、用紙をセットします。
- トレイの給紙ローラー側に、用紙を揃えるようにしてセットします。

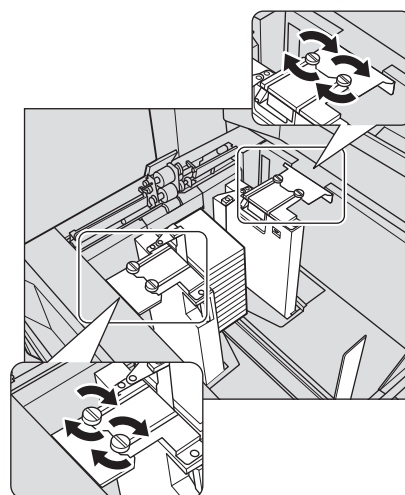
**重要**

セットした用紙が、小サイズガイドに表示されている積載制限のラインを超えないようにしてください。

- 4 側面ガイドを動かして、小サイズガイドを用紙に沿わせます。
- 側面ガイドのガイド固定ツマミを、反時計方向に回してゆるめます。



- 手前の側面ガイドのロック解除レバーを押しながら、小サイズガイドを用紙に沿わせます。
- 側面ガイドのガイド固定ツマミを時計方向に回して、ガイドを固定します。

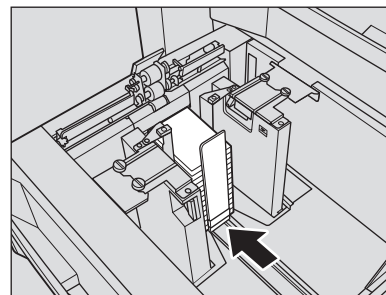


5 後端ガイドを用紙に沿わせます。



ロック解除レバーを押しながら、後端ガイドを用紙に突当てます。

重要

後端ガイドは、確実に用紙に突当ててください。後端ガイドと用紙との間に隙間があると、機械が正確なサイズを検知できず、給送装置が故障する原因になります。



6 トレイを奥まで確実に押込みます。

機械状態画面やコピー画面の残量表示は、「」から「」にかわります。

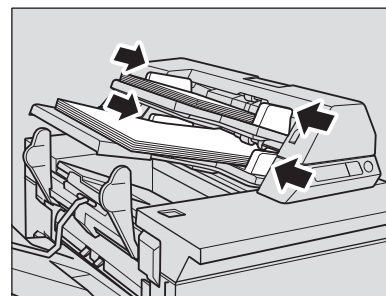
重要

トレイは、必要以上に勢いよくもどさないでください。セットした小サイズ用紙の位置がずれて、コピー画像に影響することがあります。また、トレイや紙の重さなどで、機械に思わぬ衝撃が加わり、故障の原因になることがあります。

5.3.6 ポストインサーター PI-502 に用紙をセットする

ポストインサーター上段トレイ、下段トレイの検知サイズを変更する場合は、機械状態画面の〔トレイ設定〕で検知サイズを変更します。

1 ポストインサーターの上段トレイまたは下段トレイに用紙をセットします。



2 側面ガイドを用紙に突当てます。

重要

上段トレイ／下段トレイとも、200 枚 (80g/m²) または 30 mm 以上用紙をセットしないでください。

5.4 インデックス紙を補給する

インデックス紙は、下記のトレイにセットしてコピーできます。

- 本体トレイ（トレイ 1、トレイ 2）
- 大容量給紙ユニット LU-409/LU-410（トレイ 3）
- ペーパーフィーダーユニット PF-706（トレイ 3 ～トレイ 5）



インデックス紙をセットするときは、機械状態画面の「トレイ設定」またはコピー画面の「用紙予約設定」で、使用するトレイのサイズ設定をインデックス紙に変更します。詳しくは、6-37 ページをごらんください。

トレイにセットした 1 セット分のインデックス紙のうち、プリントされずに残った用紙を自動的に排紙できます。詳しくは、5-24 ページをごらんください。

5.4.1 本体トレイ（トレイ 1、トレイ 2）にインデックス紙をセットする

例：1 部のプリントセットに 3 枚のインデックス紙を挿入

トレイセット方向	インデックス紙の重ね方	プリントセット

例：3 部のプリントセットに各 3 枚（合計 9 枚）のインデックス紙を挿入

トレイセット方向	インデックス紙の重ね方	プリントセット

- 1 本体トレイを引出します。
→ インデックス紙サイズに設定したトレイを引出します。
- 2 給紙ローラーを開きます。
- 3 インデックス紙をセットします。
→ 上図を参考にして、インデックス紙をトレイにセットしてください。

重要

セットした用紙が、トレイの側面ガイドに表示されている積載制限のラインを超えないようにしてください。

また、エア吹出し口にある紙押さえレバーの下になるように、用紙をセットしてください。

- 4 ガイド板をインデックス紙に突当てます。
- トレイの給紙ローラー側に揃えるようにして、インデックス紙をセットします。
 - ロック解除レバーを押しながら、手前の側面ガイドをインデックス紙に突当て、さらに後端ガイドを用紙に突当てます。

重要

側面ガイドおよび後端ガイドは、確実に用紙に突当ててください。ガイドと用紙との間に隙間があると、機械が正確なサイズを検知できず、給送装置が故障する原因になります。

- 5 トレイを奥まで確実に押込みます。

5.4.2 大容量給紙ユニット LU-409/LU-410 にインデックス紙をセットする

例：1部のプリントセットに3枚のインデックス紙を挿入

トレイセット方向	インデックス紙の重ね方	プリントセット

例：3部のプリントセットに各3枚（合計9枚）のインデックス紙を挿入

トレイセット方向	インデックス紙の重ね方	プリントセット

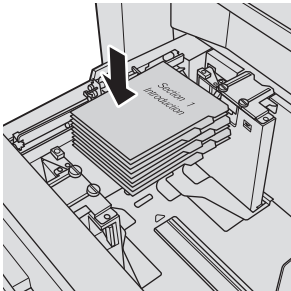
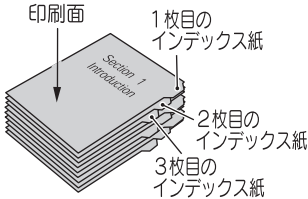
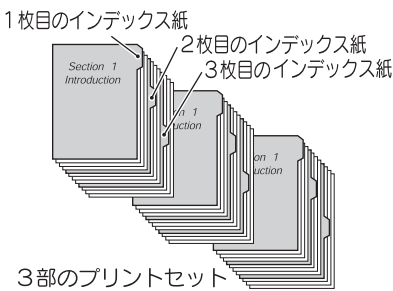
- 1 大容量給紙ユニットのトレイ上扉を開きます。
 - 大容量給紙ユニット（トレイ 3）の用紙サイズは、あらかじめインデックス紙に設定しておきます。
 - 側面ガイドおよび後端ガイドの位置を調整する場合は、5-12 ページをごらんください。
- 2 トレイ底板下降ボタンを押します。
トレイ底板が下降します。
- 3 インデックス紙をセットします。
 - 上図を参考にして、インデックス紙をトレイにセットしてください。

重要
セットした用紙が、トレイの側面ガイドにある紙上限ラベルのラインを超えないようにしてください。

後端ガイドが、セットした用紙のサイズに合っていることを確認してください。後端ガイドと用紙との間に隙間があったり、せまくなりすぎたりすると、紙づまりや故障の原因になります。
- 4 トレイ上扉を閉じます。

5.4.3 ペーパーフィーダーユニット PF-706 にインデックス紙をセットする

例：3 部のプリントセットに各 3 枚（合計 9 枚）のインデックス紙を挿入

トレイセット方向	インデックス紙の重ね方	プリントセット
		

- 1 ペーパーフィーダーユニットトレイを引出して、給紙ローラーを開きます。
 - インデックス紙サイズに設定したトレイを引出します。
- 2 側面ガイドのガイド固定ツマミをゆるめます。
- 3 インデックス紙をセットします。
 - 上図を参考にして、インデックス紙をトレイにセットしてください。

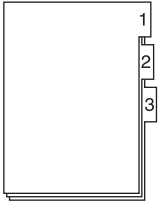
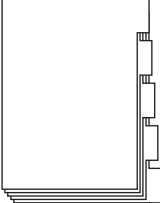
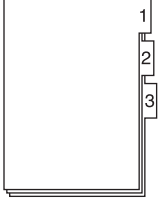
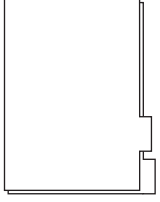
重要
セットした用紙が、トレイの側面ガイドに表示されている積載制限のラインを超えないようにしてください。

また、エア吹出し口にある紙押さえレバーの下になるように、用紙をセットしてください。
- 4 側面ガイドをインデックス紙に沿わせてから、ガイド固定ツマミを回して固定します。
 - 重要**
側面ガイドおよび後端ガイドは、確実にインデックス紙に突当ててください。1 mm 以上の隙間があったり、ガイドをきつく当てすぎてインデックス紙がゆがんだりすると、うまく給送できないことがあります。
- 5 後端ガイドをインデックス紙に沿わせます。
- 6 トレイを奥まで確実に押込みます。

不要インデックス紙排紙

トレイにセットした 1 セット分のインデックス紙のうち、プリントされずに残った用紙を自動的に排紙で
きます。

たとえば、1 セット 5 枚（インデックス部が 5 つ）の用紙をセットして、3 枚だけ使用したときは、下図
のように排紙されます。

原稿	用紙	出力	
		3 枚のインデックス紙 にプリント	4 枚目、5 枚目のイン デックス紙を自動排紙
			

不要インデックス紙排紙機能を使用するかどうかの設定は、設定メニューで行います。詳しくは、POD 管
理者編をごらんください。

不要インデックス紙排紙機能を「あり」に設定している機械が、紙づまりなどでジョブを中断したとき、
給紙トレイにセットされているインデックス紙が 1 枚目から正しくプリントされるようにセットされてい
るかどうか、確認をうながすメッセージが表示されます。

5.5 ステープル針を補給する

フィニッシャー FS-532 には、下記のステープラーが装着されています。

- 平とじステープラー（フィニッシャー FS-532 に標準装備）
- 中とじステープラー（フィニッシャー FS-532 にオプション装備する中とじ機 SD-510）

ステープル針の補給をお知らせする画面表示、およびその補給方法を説明します。

5.5.1 フィニッシャー FS-532 に平とじステープル針を補給する

フィニッシャー FS-532 のスタッカーのステープラーに平とじステープル針がなくなると、画面のメッセージ表示部に下記のメッセージが表示されます。

[平とじ機のスタッカーを引き出し ステープラーに針をセットして下さい]

また、機械状態画面の補給／廃棄部材表示部には、[ステープル針補給] と表示され、ランプが赤色に点灯します。

平とじステープラーにステープル針を補給してください。



- 1 機械状態画面のヘルプメッセージを表示して、[補給／廃棄方法] を押します。
- 2 ヘルプメッセージ上部の [平とじ針補給] タブを押します。



- 3 [▼] または [▲] を押して、手順を表示しながら処理します。



参照

ヘルプメッセージの表示のしかたについては、5-4 ページをごらんください。

5.5.2 フィニッシャー FS-532 に中とじステープル針を補給する

フィニッシャーに中とじ機 SD-510 を装着していて、中とじ機（サドルユニット）のステープラーに中とじステープル針がなくなると、画面のメッセージ表示部に下記のメッセージが表示されます。

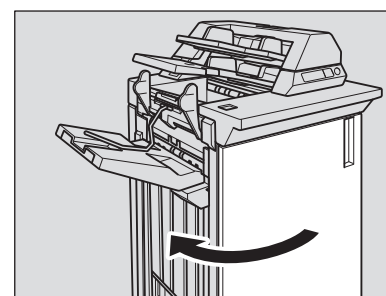
[平とじ機のサドルユニットを引き出し ステープラーに針をセットして下さい]

また、機械状態画面の補給／廃棄部材表示部のステープル針表示が赤く点灯します。

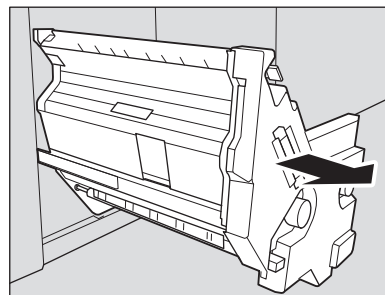
中とじステープラーにステープル針を補給してください。



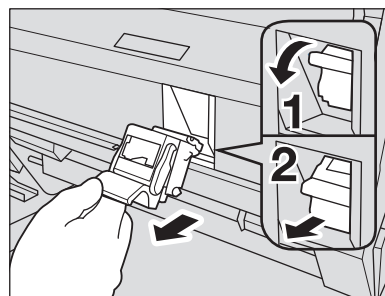
- 1 フィニッシャーの前扉を開きます。



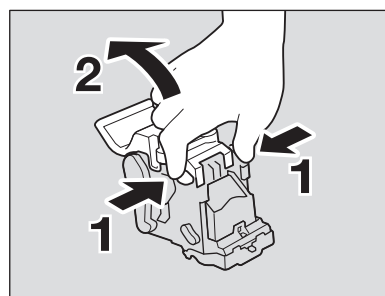
- 2 中とじ機のサドルユニットを引出します。



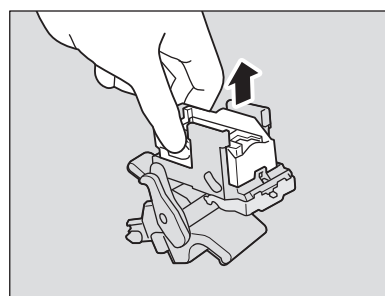
- 3 ステープラー出し入れ口からステープラーを引出します。
→ ステープラーを下に下げてから引出します。



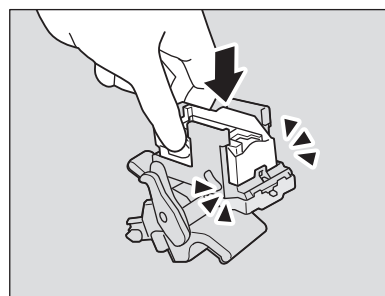
- 4 ステープラー両側のロック解除ボタンを押して、カバーを開きます。



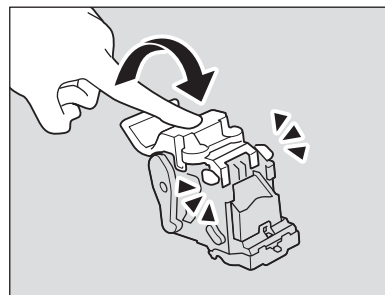
- 5 空のカートリッジを取外します。



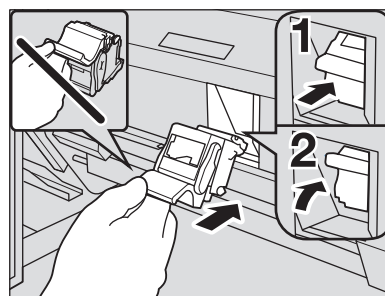
- 6 新しいカートリッジを取付けます。



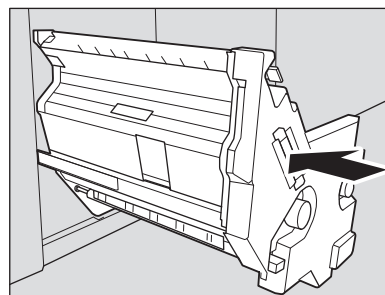
- 7 カバーを元に位置にもどします。
→ カバーは、確実に元の位置にもどしてください。



- 8 ステープラーの取手を持って、ステープラーを元の位置にもどします。
→ ステープラーの取手の持ち方に注意してください。逆に持つと、ステープラーを元の位置にもどせません。
→ ステープラーをステープラー出し入れ口に挿入した後、上に持上げて確実にセットしてください。



- 9 中とじ機のサドルユニットを元の位置にもどし、フィニッシャーの前扉を閉じます。



5.6 廃棄トナーボックスを交換する

廃棄トナーボックスに廃トナーがたまってくると、下記のように表示が替わります。

メッセージ表示部	補給／廃棄部材表示部	機械の状態
<p><機械状態画面> プリントできます 廃棄トナーボックスの交換時期です</p> <p><コピー画面> コピーできます 廃棄トナーボックスの交換時期です</p>	<p>〔廃棄トナーボックスほぼ満杯〕と表示され、ランプが赤色に点灯</p>	<p>廃棄トナーボックスに廃トナーがたまって、交換時期になりました。</p>
<p><機械状態画面> プリントできます 廃棄トナーボックスが満杯です</p> <p><コピー画面> コピーできます 廃棄トナーボックスが満杯です</p>	<p>〔廃棄トナーボックス満杯〕と表示され、ランプが赤色に点灯</p>	<p>廃棄トナーボックスが廃トナーでいっぱいになりました。</p>
<p>廃棄トナーボックスが一杯です 廃棄トナーボックスを交換して下さい</p>	<p>〔廃棄トナーボックス満杯〕と表示され、ランプが赤色に点灯</p>	<p>廃棄トナーボックスが廃トナーでいっぱいになり、出力できなくなりました。</p>



次の手順に従って、廃棄トナーボックスを交換してください。

重要

出力中に廃棄トナーボックスを引出さないでください。故障の原因になることがあります。

⚠ 警告

廃トナーの入った廃棄トナーボックスは、絶対に火中に投じないでください！

廃トナーでいっぱいになった廃棄トナーボックスを火中に投げると、粉塵爆発のおそれがあり、とても危険です。

- 廃トナーが入った使用済みの廃棄トナーボックスの処理については、サービス実施店にお問い合わせください。

- 1 機械状態画面のヘルプメッセージを表示して、[補給／廃棄方法] を押します。
- 2 ヘルプメッセージ上部の「廃棄トナーボックス」タブを押します。



- 3 [▼] または [▲] を押して、手順を表示しながら処理します。

**📖 参照**

ヘルプメッセージの表示のしかたについては、5-4 ページをごらんください。

5.7 平とじステープル針くずを処理する

フィニッシャーの針くず箱がいっぱいになると、画面のメッセージ表示部に下記のメッセージが表示されます。

[平とじ機の針くず箱が一杯です ステープル針くずを捨ててください]

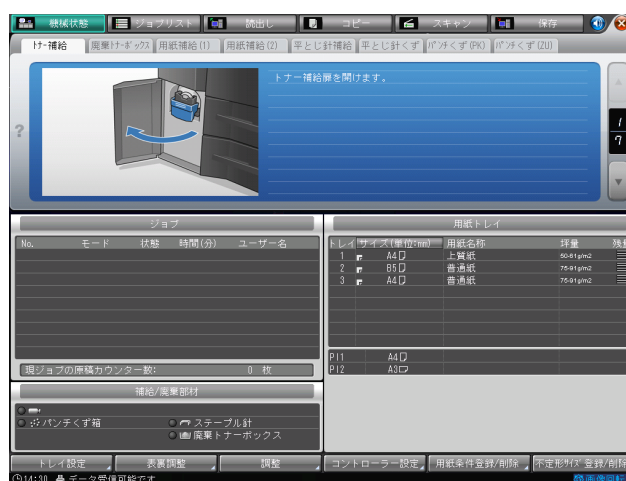
また、機械状態画面の補給／廃棄部材表示部には、[ステープル針くず除去] と表示され、ランプが赤色に点灯します。

下記の手順に従って、針くずを捨ててください。

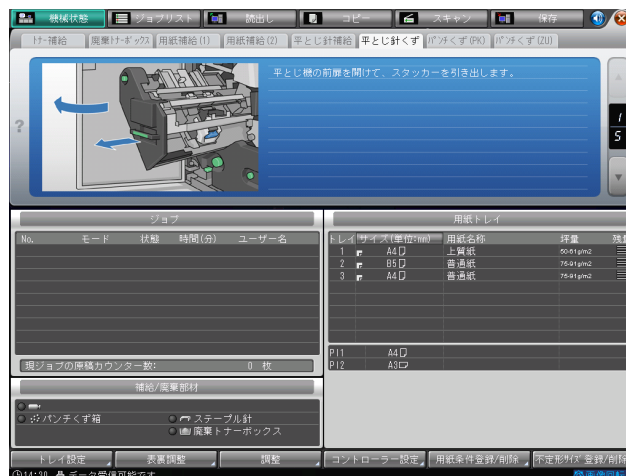


1 機械状態画面のヘルプメッセージを表示して、[補給／廃棄方法] を押します。

2 ヘルプメッセージ上部の [平とじ針くず] タブを押します。



3 [▼] または [▲] を押して、手順を表示しながら処理します。



参照

ヘルプメッセージの表示のしかたについては、5-4 ページをごらんください。

5.8 パンチくずを処理する

下記のオプションには、パンチ装置が装着されています。

- フィニッシャー FS-532（フィニッシャー FS-532 にオプション装備するパンチキット PK-522）
- Z 折りユニット ZU-608

パンチくず処理を知らせる画面表示、およびその処理方法を説明します。

5.8.1 フィニッシャー FS-532 のパンチくずを処理する

フィニッシャー FS-532 にパンチキット PK-522 を装着している場合、パンチキット PK-522 のパンチくず箱がいっぱいになると、画面のメッセージ表示部に下記のメッセージが表示されます。

〔パンチキットのパンチくず箱が一杯です パンチくずを捨ててください〕

また、機械状態画面の補給／廃棄部材表示部には、〔パンチくず箱満杯〕と表示され、ランプが赤色に点灯します。

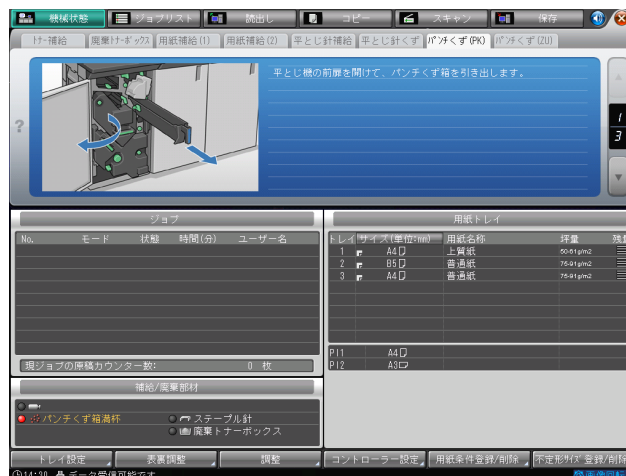


次の手順に従って、パンチくずを捨ててください。

- 1 機械状態画面のヘルプメッセージを表示して、〔補給／廃棄方法〕を押します。
- 2 ヘルプメッセージ上部の〔パンチくず (PK)〕タブを押します。



3 [▼] または [▲] を押して、手順を表示しながら処理します。



参照

ヘルプメッセージの表示のしかたについては、5-4 ページをごらんください。

5.8.2 Z 折りユニット ZU-608 のパンチくずを処理する

Z 折りユニット ZU-608 のパンチくず箱がいっぱいになると、画面のメッセージ表示部に下記のメッセージが表示されます。

[パンチユニットのパンチくずが一杯です パンチくずを捨ててください]

また、機械状態画面の補給/廃棄部材表示部には、[パンチくず箱満杯] と表示され、ランプが赤色に点灯します。

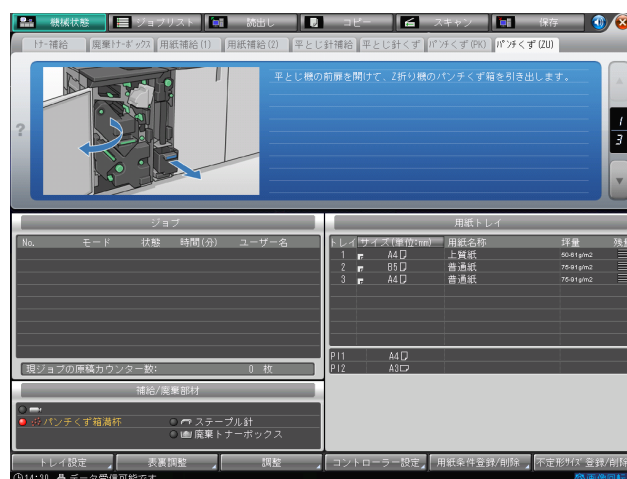


次の手順に従って、パンチくずを捨ててください。

- 1 機械状態画面のヘルプメッセージを表示して、[補給／廃棄方法] を押します。
- 2 ヘルプメッセージ上部の [パンチくず (ZU)] タブを押します。



- 3 [▼] または [▲] を押して、手順を表示しながら処理します。



参照

ヘルプメッセージの表示のしかたについては、5-4 ページをごらんください。

5.9 フィニッシャー FS-532 のトレイから用紙を取出す

フィニッシャー FS-532 のメイントレイ、サブトレイ、および折りトレイには、それぞれ積載枚数に制限があります。

各トレイで積載枚数を超える出力があると、満タン検知センサーがはたらいて、自動的に出力を停止します。

ここでは、自動的に停止したトレイから用紙を取出す方法、停止した出力を中止する方法について説明します。

また、メイントレイの出力中に手動で出力を一時停止し、メイントレイから用紙を取出す方法について説明します。

5.9.1 自動的に停止したメイントレイから用紙を取出す

メイントレイの積載制限枚数を超えると、機械は自動的に出力を停止します。

このとき、画面のメッセージ表示部には、[メイントレイ排紙口から用紙を取り除いて下さい] というメッセージが表示され、スタートボタンのランプがオレンジ色に点灯します。また、スタートボタンを押しても、出力を再開しません。

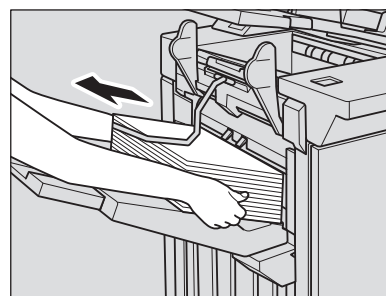


参照

用紙を取出した後、メイントレイの上昇が完了したときに、自動的に出力を再開するように設定できます。また、メイントレイ上昇中に操作パネルのスタートを押すと、上昇が完了したときに自動的に出力を再開するように設定できます。サービス実施店にお問い合わせください。



- 1 メイントレイに積載された出力用紙を、すべて取出します。
メイントレイは自動的に上昇し、[フィニッシャー動作中です] と表示されます。フィニッシャー上面の一時停止ランプは点滅しています。



- 2 メイントレイ上昇の完了を確認します。
メイントレイの上昇が完了すると、「[スタート] で再スタートできます」と表示されます。



- 3 操作パネルのスタートを押します。

出力を再開します。

- 出力を再開するまで、フィニッシャー上面の一時停止ランプは点滅します。点滅中にフィニッシャーの一時停止/再スタートボタンを押しても、出力を再開しません。
- 出力を再開しないで中止する場合は、操作パネルのストップを押します。詳しくは、5-40 ページ「停止した出力を中止する」をご覧ください。



5.9.2 出力を一時停止する

- 1 出力を一時停止するため、1 秒間以上、一時停止/再スタートボタンを押します。

出力は一時停止し、一時停止ランプは点滅します。排紙ガイドは、上に開きます。

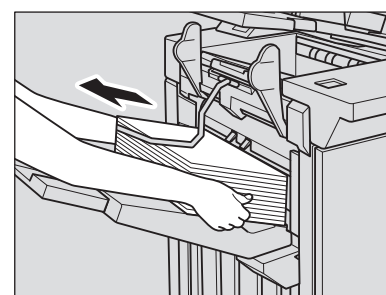
- ボタンから手を離すと、一時停止ランプが点滅します。



- 2 トレイに積載された出力用紙を、すべて取出します。

トレイの用紙を全部取出しても、一時停止ランプは点滅し続けます。

- トレイに用紙を残したまま、出力を再開しても問題ありませんが、トレイ上の用紙を大きく前後左右に移動しないでください。

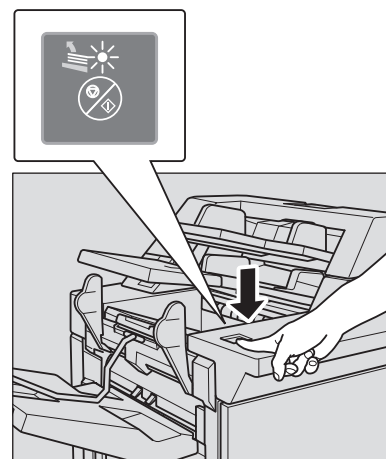


- 3 フィニッシャーの一時停止／再スタートボタンを押します。
一時停止ランプは消灯し、出力を再開します。



参照

出力を再開しないで中止する場合は、操作パネルのストップを押します。詳しくは、5-40 ページをごらんください。



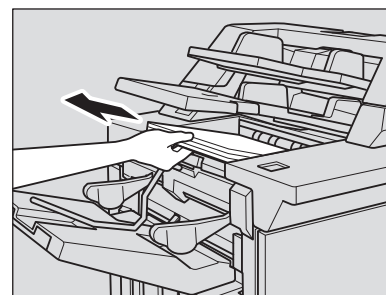
5.9.3 自動的に停止したサブトレイから用紙を取出す

サブトレイの積載制限枚数を超えると、機械は自動的に出力を停止します。

このとき、画面のメッセージ表示部には、[平とじ機のサブトレイが一杯です 用紙を取り除いて下さい]というメッセージが表示され、スタートボタンのランプがオレンジ色に点灯します。スタートボタンを押しても、出力を再開しません。



- 1 サブトレイに積載された出力用紙を、すべて取出します。



2 操作パネルのスタートを押します。

出力を再開します。

→ フィニッシャーの一時停止/再スタートボタンを押しても、出力を再開しません。



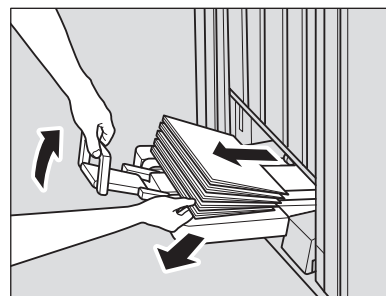
5.9.4 自動的に停止した折りトレイから用紙を取出す

折りトレイの積載制限枚数を超えると、機械は自動的に出力を停止します。

このとき、画面のメッセージ表示部には、[折りトレイが満杯です 用紙を取り除いて下さい] というメッセージが表示され、スタートボタンのランプがオレンジ色に点灯します。スタートボタンを押しても、出力を再開しません。



1 用紙送出手を持上げて、出力紙を送出し、折りトレイからすべて取出します。



2 操作パネルのスタートを押します。

出力を再開します。

→ フィニッシャーの一時停止/再スタートボタンを押しても、出力を再開しません。



5.9.5 停止した出力を中止する

- 1 操作パネルのストップを押します。
一時停止した出力を中止するかどうかを選択するダイアログが表示されます。



- 2 「中止」を押します。





基本設定

6 基本設定

6.1 原稿設定

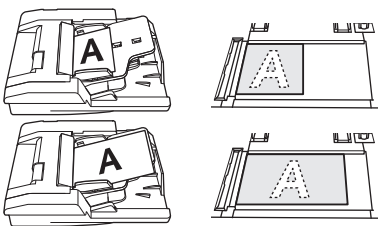

コピーをとる原稿の種類やセット方向を設定する方法を説明します。

6.1.1 原稿のセット方向を設定する：原稿セット方向

ADF や原稿ガラスにセットする原稿の天地方向を設定します。

以下の設定の場合、ADF や原稿ガラスにセットする原稿の天地方向を設定しないと、希望どおりのコピーができないことがあります。

- 両面原稿のコピー
- 両面コピー
- 集約
- 小冊子
- ブック連写
- ステープルなど

原稿セット方向	原稿セット方向ボタン	説明
	 	原稿の天部（上側）を奥側にしてセットしたとき、選択します。出荷時設定では、このボタンが選択されています。
	 	原稿の天部（上側）を左側にして ADF に原稿をセットしたとき、選択します。 原稿の天部（上側）を左側にして原稿ガラスに原稿をセットしたとき、選択します。
	 	原稿の天部（上側）を手前側にセットしたとき、選択します。
	 	原稿の天部（上側）を右側にして ADF に原稿をセットしたとき、選択します。 原稿の天部（上側）を右側にして原稿ガラスに原稿をセットしたとき、選択します。

- 1 原稿をセットします。
→ 原稿セットの詳細は、4-15 ページをごらんください。
- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 [原稿セット方向] 下の、任意のボタンを選択します。



→ 原稿設定画面にある、[原稿セット方向] 下のボタンを押しても選択できます。コピー画面の[原稿設定]を押すと、原稿設定画面が表示されます。



6.1.2 両面原稿のとじ方向を選択する：両面とじ方向

オモテ面とウラ面との天地が逆になっている（上とじ）両面原稿から、天地が同じ（左右とじ）片面コピーや両面コピーをとるときに設定します。


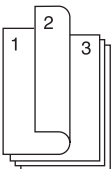
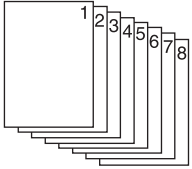
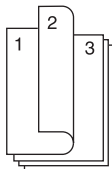
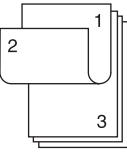
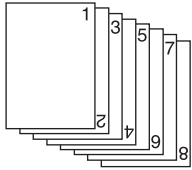
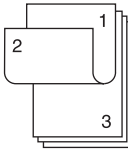

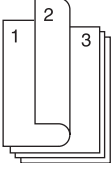
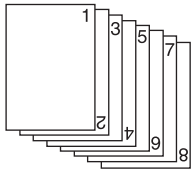
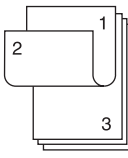
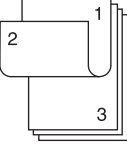
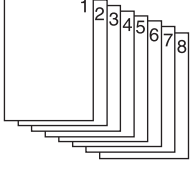
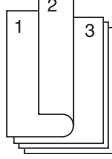
上とじの両面原稿から、左右とじの片面コピーや両面コピーをとるとき、原稿設定の[両面とじ方向]で[上とじ]を選択します。通常のコピーのときは、[左右とじ]を選択します。



参照

左右とじの片面原稿や両面原稿から、上とじの両面コピーをとる場合は、出力設定の[両面とじ方向]で[上とじ]を選択します。

詳しくは、8-6 ページをごらんください。

両面とじ方向ボタン	両面原稿	片面コピー	両面コピー
 左右とじ			
			
 上とじ			
			

- ✓ 原稿は ADF にセットします。
- ✓ 原稿設定の「両面とじ方向」の「上とじ」が機能するのは、「両面 → 両面」または「両面 → 片面」を選択したときだけです。
- ✓ 機械がリセットされると、設定は「左右とじ」にもどります。
- ✓ 原稿設定の「両面とじ方向」と出力設定の「両面とじ方向」とを、自動的に合わせるように設定されています。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

- 1 原稿をセットします。
- 2 「コピー」タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 「両面 → 両面」または「両面 → 片面」を選択します。
- 4 「原稿設定」を押します。
原稿設定画面が表示されます。
- 5 「両面とじ方向」の「上とじ」を選択します。
→ このとき、あらかじめ「両面 → 両面」または「両面 → 片面」を選択していないと、「とじ方向の設定は両面印刷時のみ有効です」と表示されて、上とじの設定は機能しません。



- 6 [OK] を押して、コピー画面にもどります。
- 7 [出力設定] を押します。
出力設定画面が表示されます。
- 8 [両面とし方向] の [左右とし] を選択します。

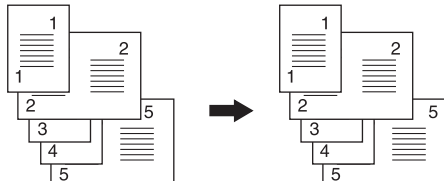
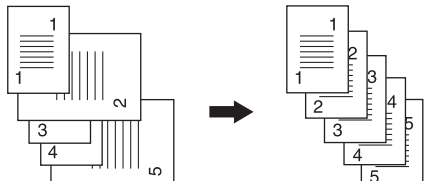


- 9 [OK] を押して、コピー画面にもどります。
→ [標準復帰] を押すと、原稿設定は初期設定状態にもどります。[キャンセル] を押すと、設定前の状態にもどります。
→ コピー画面にもどらないと出力できません。出力するときは、必ずコピー画面を表示してください。



6.1.3 サイズが異なる原稿をコピーする：混載原稿

混載原稿モードでは、自動用紙または自動倍率の機能を併用して、サイズが異なる原稿を適正にコピーします。

選択項目	説明
自動用紙	<p>原稿と同じサイズの下紙にコピー</p> 
自動倍率	<p>原稿ごとに適正倍率を自動設定して、すべて同じサイズの下紙にコピー</p> 

- ✓ 原稿は ADF にセットします。
- ✓ 混載できる原稿サイズの組み合わせは、ADF の原稿ガイド板の開き幅で変わります。詳しくは、3-10 ページをごらんください。
- ✓ 原稿は 100 枚以上セットしないでください。原稿がつまったり、破損したりする原因になります。原稿が 100 枚を超える場合は、原稿を分割して読み込みます。詳しくは、6-16 ページをごらんください。
- ✓ 原稿を原稿ガラスにセットする場合は、連続読みモードを使用します。詳しくは、6-16 ページをごらんください。
- ✓ 混載原稿モードを設定すると、自動用紙が自動的に機能して、それぞれの原稿と同じサイズの下紙にコピーします。すべて同じサイズの下紙にコピーしたい場合は、自動倍率を設定します。

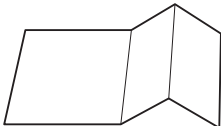
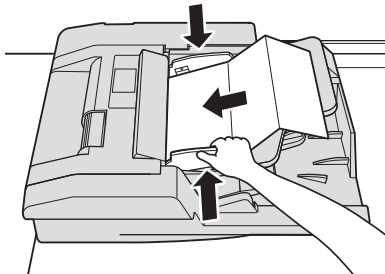
- 1 原稿をセットします。
サイズが異なる原稿は、ADF に対して左側と奥側とを揃えてセットします。
- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 [原稿設定] を押します。
原稿設定画面が表示されます。
- 4 [特殊原稿] 下の [混載原稿] を選択します。



- 5 [OK] を押して、コピー画面にもどります。
- [標準復帰] を押すと、原稿設定は初期設定状態にもどります。[キャンセル] を押すと、設定前の状態にもどります。
 - コピー画面にもどらないと出力できません。出力するときは、必ずコピー画面を表示してください。

6.1.4 Z 折れ原稿をコピーする：Z 折れ原稿

Z 折れ原稿を ADF にセットすると、原稿が浮くことによって、サイズ検知センサーがうまく機能しないことがあります。Z 折れ原稿モードを設定すると、原稿をスキャンしながら、サイズを確実に検知します。

Z 折れ原稿	原稿セット
	

- ✓ 原稿は ADF にセットします。
- ✓ 原稿サイズの検知にスキャン動作が加わるため、通常よりもコピーに時間がかかります。

- 1 ADF に原稿をセットします。
Z 折れ原稿とそのほかの原稿とを一緒にセットしても、問題はありません。
- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 [原稿設定] を押します。
原稿設定画面が表示されます。
- 4 [特殊原稿] 下の [Z 折れ原稿] を選択します。



- 5 [OK] を押して、コピー画面にもどります。
- [標準復帰] を押すと、原稿設定は初期設定状態にもどります。[キャンセル] を押すと、設定前の状態にもどります。
 - コピー画面にもどらないと出力できません。出力するときは、必ずコピー画面を表示してください。

6.1.5 ADF に原稿を 1 枚セットしてコピーする：1 枚送り

通常は ADF から給送できない厚紙原稿や、トラブルを起こす可能性がある貼合わせの原稿を、1 枚だけ ADF にセットしてコピーします。



参照

1 枚送りモードでは、ADF に原稿をセットすると自動的に原稿を給送してスキャンするように設定できます。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

- ➔ 原稿は ADF に 1 枚だけセットします。
- ➔ スタートを押して原稿を給送する場合と、ADF にセットしたと同時に給送する場合とでは、手順が異なります。この設定をするのは管理者です。管理者にご確認ください。

操作パネルのスタートを押して給送する手順

- 1 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 2 [原稿設定] を押します。
原稿設定画面が表示されます。
- 3 [特殊原稿] 下の [1 枚送り] を選択します。



- 4 [OK] を押して、コピー画面にもどります。



- ➔ [標準復帰] を押すと、原稿設定は初期設定状態にもどります。[キャンセル] を押すと、設定前の状態にもどります。

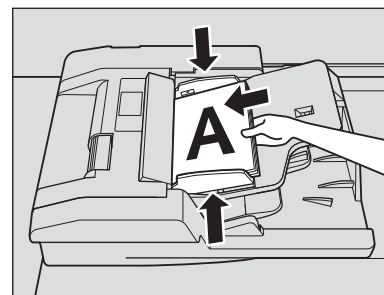
→ コピー画面にもどらないと出力できません。出力するときは、必ずコピー画面を表示してください。

5 原稿をセットします。

→ 原稿を1枚、コピーする面を上にしてADFにセットします。

重要

原稿が複数枚ある場合でも、1枚だけセットしてスタートを押す操作を繰り返してください。[1枚送り]を設定した状態で、ADFに複数枚の原稿をセットすると、重送などのトラブルの原因になります。



6 そのほかのコピー条件を設定して、スタートを押します。

自動的に原稿を給送する手順

- 1 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 2 [原稿設定] を押します。
原稿設定画面が表示されます。
- 3 [特殊原稿] 下の [1枚送り] を選択します。



4 [OK] を押して、コピー画面にもどります。



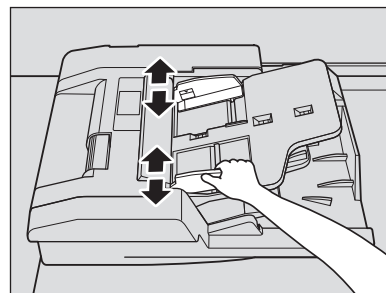
- [標準復帰] を押すと、原稿設定は初期設定状態にもどります。[キャンセル] を押すと、設定前の状態にもどります。
- コピー画面にもどらないと出力できません。出力するときは、必ずコピー画面を表示してください。

5 [連続読み] を押します。

6 そのほかのコピー条件を設定します。

7 ADF の原稿ガイド板を調整します。

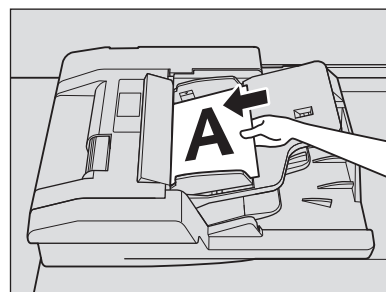
原稿をセットしないで、原稿ガイド板を原稿のサイズに合わせて調整します。



8 原稿をセットします。

- 原稿を 1 枚、コピーする面を上にして ADF にセットします。

原稿を自動的に給送してスキャンします。



9 読み込みが完了すると、ダイアログが表示されます。

引き続き同じコピー条件で読み込むときは、前の手順にもどります。

次に読み込むコピー条件を変更したいときは、[設定変更] を押します。

変更できるコピー条件のボタンだけが機能するコピー画面が表示されます。

設定を変更して、前の手順にもどります。



10 すべての原稿を読み込むまで、手順 7 ～ 8 の操作を繰り返します。

11 原稿の読み込みが終わったら、[読み込み完了] を押します。

12 設定部数を入力して、操作パネルのスタートを押します。
読み込んだデータを一括出力します。

6.1.6 不定形サイズの原稿をコピーする：不定形サイズ

通常、ADF や原稿ガラスにセットした原稿は、そのとき検知されたサイズによって定形サイズの 1 つに振分けられ、機械はその定形サイズの範囲をスキャンしてコピーします（定形サイズモード）。

不定形サイズモードを使用すると、セットした原稿サイズに関係なく、設定した定形サイズの範囲内をスキャンしてコピーします。

また、不定形サイズを 1 mm 単位で設定したり、登録した不定形サイズを読み出したりできます。



参照

不定形サイズの登録ができます。登録した不定形サイズは、原稿サイズや用紙サイズとして読み出すことができます。詳しくは、POD 管理者編の 3 章をごらんください。

- 1 原稿をセットします。
- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 [原稿設定] を押します。
原稿設定画面が表示されます。
- 4 [不定形サイズ] を押します。



不定形サイズ画面が表示されます。

- 5 読み込む原稿サイズを指定します。

→ サイズボタンから選択：

任意の定形サイズボタンを選択します。不定形サイズの原稿を、指定した定形サイズとして読み込みます。



→ [全面] を選択：

白紙でコピーされるような小さい原稿をコピーするときは、[全面] を選択します。



→ [サイズ入力] を選択：

任意の不定形サイズを入力、または登録済みの不定形サイズを読み出して設定するときは、[サイズ入力] を選択します。詳しくは、下記の「任意の不定形サイズを設定する」をごらんください。

6 [OK] を押します。

原稿設定画面にもどります。

7 [OK] を押して、コピー画面にもどります。

→ [標準復帰] を押すと、原稿設定は初期設定状態にもどります。[キャンセル] を押すと、設定前の状態にもどります。

→ コピー画面にもどらないと出力できません。出力するときは、必ずコピー画面を表示してください。

任意の不定形サイズを設定する

1 不定形サイズ画面の [サイズ入力] を押します。



サイズ入力画面が表示されます。

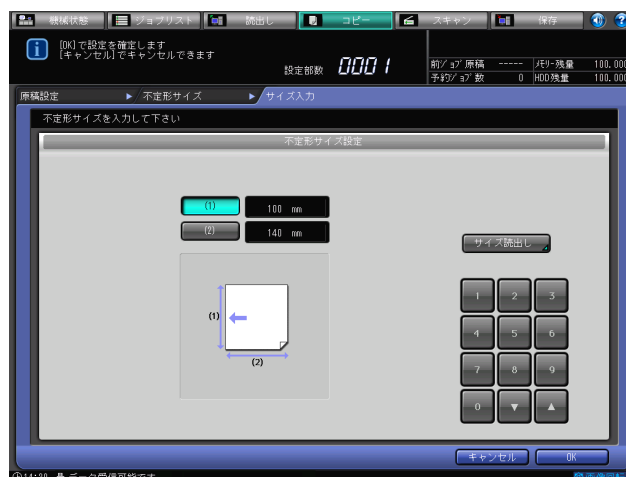
任意のサイズを入力するときは、手順 2 に進みます。

登録済みのサイズを読み出すときは、手順 3 に進みます。

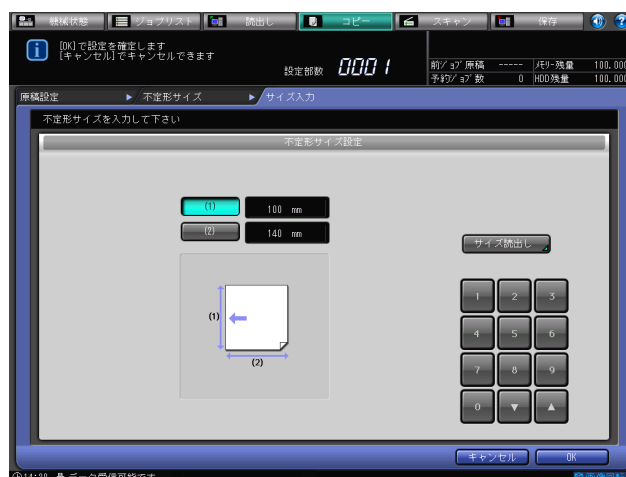
2 原稿サイズのタテ／ヨコの数値を設定します。

→ タテの数値を表示しているボタン [(1)] を押します。画面のテンキー、[▼]、または [▲] を押して、任意の数値を入力します。このとき入力できるのは、タテ 100 mm ～ 297 mm です。

→ ヨコの数値を表示しているボタン [(2)] を押します。画面のテンキー、[▼]、または [▲] を押して、任意の数値を入力します。このとき入力できるのは、ヨコ 140 mm ~ 431 mm です。
手順 5 に進みます。



3 [サイズ読出し] を押します。



サイズ読出し画面が表示されます。

4 任意の登録サイズを選択します。

- [次頁]、[前頁] を押して、任意の登録名ボタンを選択します。
- [OK] を押して、サイズ入力画面にもどります。



サイズ入力画面に、読出した不定形サイズが表示されます。



- 5 [OK] を押します。
不定形サイズ画面にもどります。
設定した不定形サイズが、[サイズ入力] の右側に表示されます。

6.1.7 インデックス原稿をコピーする：インデックス紙サイズ

インデックス紙サイズモードでは、インデックス紙原稿の定形サイズ+インデックス部分の範囲をスキャンしてから、インデックス部分も含めてコピーします。

また、右端にインデックス部分用の印刷がされている定形原稿をインデックス紙サイズモードでコピーすると、自動的に画像を右側に 12.5 mm シフトして、インデックス部分に適正にコピーします（インデックス紙プリント自動シフト）。

参照

インデックス紙を給紙トレイにセットする方法は、5-21 ページをごらんください。

インデックス紙を任意のトレイにセットしたときは、[トレイ設定] または [用紙予約設定] で、用紙サイズをインデックス紙に設定します。詳しくは、6-37 ページをごらんください。

インデックス紙プリント自動シフト機能を使用するかどうかの設定は、設定メニューの [機能設定] で行います。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

インデックス用紙を給紙トレイにセットしてコピーすると、不要インデックス紙排紙機能が働きます。詳しくは、5-24 ページをごらんください。

- ✓ 用紙側のインデックス紙は、不定形サイズやインデックス部分の幅も任意に設定できますが、原稿側のインデックス紙は定形に限ります。また、インデックス部分の幅は最大 12.5 mm です。

- 1 原稿をセットします。
- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 [原稿設定] を押します。
原稿設定画面が表示されます。

- 4 [原稿サイズ] 下の [インデックス紙サイズ] を押します。
インデックス紙サイズ画面が表示されます。



- 5 任意のサイズボタンを押して、[OK] を押します。



原稿設定画面にもどります。

- 6 [OK] を押して、コピー画面にもどります。
- [標準復帰] を押すと、原稿設定は初期設定状態にもどります。[キャンセル] を押すと、設定前の状態にもどります。
 - コピー画面にもどらないと出力できません。出力するときは、必ずコピー画面を表示してください。

6.2 連続読みモード

ADF に一度にセットできる原稿枚数は 100 枚までですが、連続読みモードを使用することにより、100 枚を超える原稿を 1 つのジョブとして扱うことができます。

また、**原稿ガラス**で読込んだ複数枚の原稿を 1 つのジョブとして扱ったり、ADF のジョブと**原稿ガラス**のジョブを組合わせて 1 つのジョブとして扱ったりできます。

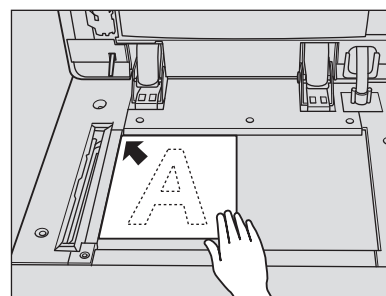
- ✓ **原稿ガラス**を使用して両面コピーをとるときは、連続読みモードが前提です。また、応用機能の差込みページ、ブック連写、プログラムジョブ、登録オーバーレイの画像登録を設定すると、自動的に連続読みモードが設定されます。

重要

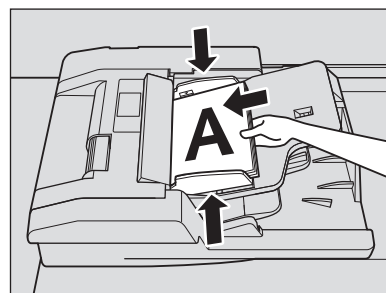
連続読みモードを設定しても、ADF にセットできる原稿の枚数は変わりません。原稿は 100 枚、または積載制限マーク [▼] を超えてセットしないでください。原稿がつまったり、破れたりする原因になります。

- 1 原稿をセットします。

原稿ガラスを使用する場合は最初のページから、コピーする面を下にしてセットします。



ADF を使用する場合は、ページ順にそろえた原稿の 1 ページ目を上にしてセットします。



- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。

- 3 任意のコピー条件を設定して、[連続読み] を選択します。

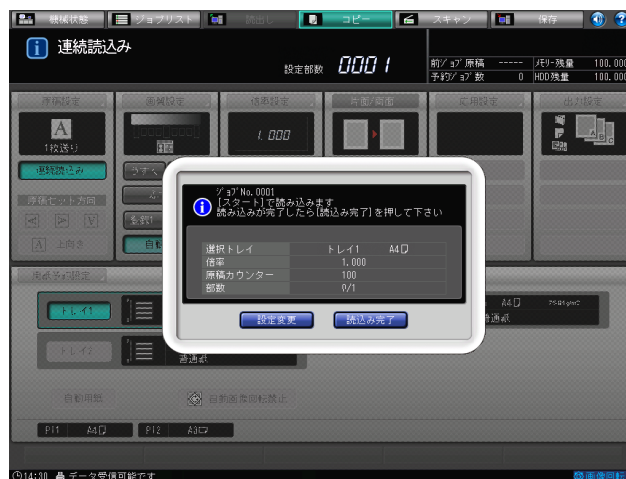
連続読みモードになります。設定したコピー条件によっては、すでに [連続読み] が選択されていることがあります。



- 4 操作パネルのスタートを押します。
読み込みを開始します。



- 5 読み込みが完了すると、ダイアログが表示されます。



- 引き続き同じコピー条件で読み込むときは、このまま次の手順に進みます。
- 次に読み込むコピー条件を変更したいときは、[設定変更]を押します。変更できるコピー条件のボタンだけが機能するコピー画面が表示されます。



- 設定を変更して、次の手順に進みます。

- 6 次の原稿をセットして、操作パネルのスタートを押します。
すべての原稿を読み込むまで、手順 5 ～ 6 の操作を繰り返します。
- 読み込んだ画像データを削除したいときは、操作パネルのストップを押します。
 - コピー画面右上のメモリー残量表示で、読み込み中のメモリー残量を確認できます。

- 7 原稿の読みが終わったら、ダイアログの「読み完了」を押します。



- 8 設定部数を入力して、操作パネルのスタートを押します。
読込んだデータを一括出力します。



参照

出力を停止するときは、操作パネルのストップを押します。詳しくは、4-21 ページをごらんください。

6.3 画質設定

コピー画像の濃度を調整します。また、原稿の画質を設定することによって、コピーの画質を調整します。

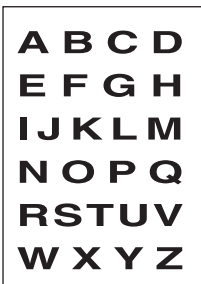
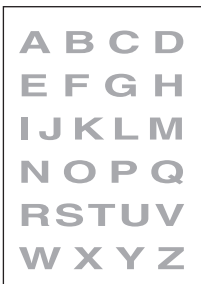

6.3.1 コピー濃度を調整する：濃度設定

本機は、初期設定で「自動濃度」が設定されています。複数枚ある原稿の画像濃度に濃い、うすいがある場合は、スキャン中にそれぞれの濃度レベルを検知して、すべて適正な濃度でコピーします。

原稿の画像濃度より濃く、またはうすくコピーしたいときは、手で濃度を調整します。

さらに、下記の調整ができます。

- 原稿画質の濃度シフト：濃度設定で選択できる9段階の濃度レベルを、濃い方に3段階、うすい方に3段階シフトできます。この濃度シフトは、原稿画質の4つのモードに対して、個別に設定できます。
- 登録濃度設定：原稿画質、濃度設定、および下地調整から、それぞれ任意に選択した組み合わせを、登録濃度として設定します。登録濃度は、2つ設定できます。
- 写真モード濃度選択：原稿画質の写真モードを選択したときの濃度レベルを設定できます。
- 画像濃度選択：濃度設定で調整できる濃度の、最大／最小値の幅を変更することができます。たとえば、全体的に画像を薄くしたいときなど、画質を落とさずにコピーできます。なお、この設定は、原稿画質の濃度シフトにも有効になります。

原稿	出力
	<div>  ...  </div> <div> -4 +4 </div>



参照

4つの濃度調整（原稿画質の濃度シフト、登録濃度設定、写真モード濃度選択、画像濃度選択）は、設定メニューの「機能設定」で行います。詳しくは、POD 管理者編の7章をごらんください。

- 1 原稿をセットします。
- 2 「コピー」タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 「画質設定」下の設定ボタンで、任意の濃度レベルを選択します。



- コピー画像を原稿よりうすくするときには「うすく」、濃くするときには「こく」を押します。
- 標準の濃度にもどすときは、「ふつつ」を押します。

- 登録濃度を設定するときは、[登録 1] または [登録 2] を押します。
- コピー画像の濃度を自動調整するときは、[自動濃度] を押します。
- 画質設定画面にある [濃度設定] 下のボタンを押しても、同様に設定できます。コピー画面の [画質設定] を押すと、画質設定画面が表示されます。


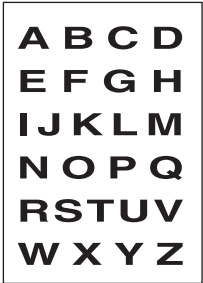



参照

確認コピーをすると、出力画像で調整結果を確認できます。詳しくは、10-7 ページをごらんください。

6.3.2 下地を調整する：下地調整

新聞紙や再生紙など、地肌の白色度が低い原稿をコピーするときは、下地調整を行います。

原稿	出力
	 ... 
	<div>−4</div> <div>+4</div>

- 1 原稿をセットします。
- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 [画質設定] を押します。
画質設定画面が表示されます。
- 4 [下地調整] 下の設定ボタンで、任意の濃度レベルを選択します。
 - 下地の濃度を原稿よりうすくするときは [うすく]、濃くするときは [こく] を押します。
 - 標準の濃度にもどすときは、[ふつう] を押します。



→ 下地調整をした時は、コピー画面の画質設定下に、調整値が表示されます。



5 [OK] を押して、コピー画面にもどります。

- [標準復帰] を押すと、画質設定は初期設定状態にもどります。[キャンセル] を押すと、設定前の状態にもどります。
- コピー画面にもどらないと出力できません。出力するときは、必ずコピー画面を表示してください。



参照

確認コピーをすると、出力画像で調整結果を確認できます。詳しくは、10-7 ページをごらんください。

6.3.3 原稿画質に合わせてコピーする：原稿画質

原稿の画質に合わせて、出力する画質を調整します。



参照

[原稿画質の濃度シフト]：原稿画質のそれぞれのモードに対して、濃度設定で選択できる 9 段階の濃度レベルを濃い方に 3 段階、うすい方に 3 段階シフトできます。この設定は、設定メニューの [機能設定] で行います。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

文字／写真	文字と写真とが混在する原稿をコピーするときに選択します。出荷時設定では、[文字／写真] が選択されています。
薄文字	鉛筆で書かれたような、コントラストのない原稿をコピーするときに選択します。コントラストをつけて、はっきりとした画像にします。
写真	通常モードでは再現できないハーフトーンの写真画像（写真など）を再現するときに選択します。
文字	文字だけで構成された原稿をコピーするときに選択します。コピーする文字のエッジをシャープに再現して、読みやすい画像にします。

原稿	出力	
	<文字／写真>	<写真>
		

原稿	出力	
	<文字／写真> 	<薄文字> 
	<文字／写真> 	<文字> 

- 1 原稿をセットします。
- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 [画質設定] を押します。
画質設定画面が表示されます。
- 4 [原稿画質] 下の、任意のモードキーを選択します。



- 5 [OK] を押して、コピー画面にもどります。
 - [標準復帰] を押すと、画質設定は初期設定状態にもどります。[キャンセル] を押すと、設定前の状態にもどります。
 - コピー画面にもどらないと出力できません。出力するときは、必ずコピー画面を表示してください。
 - 原稿画質を選択した時は、コピー画面の画質設定下に、選択した原稿画質のアイコンが表示されます。

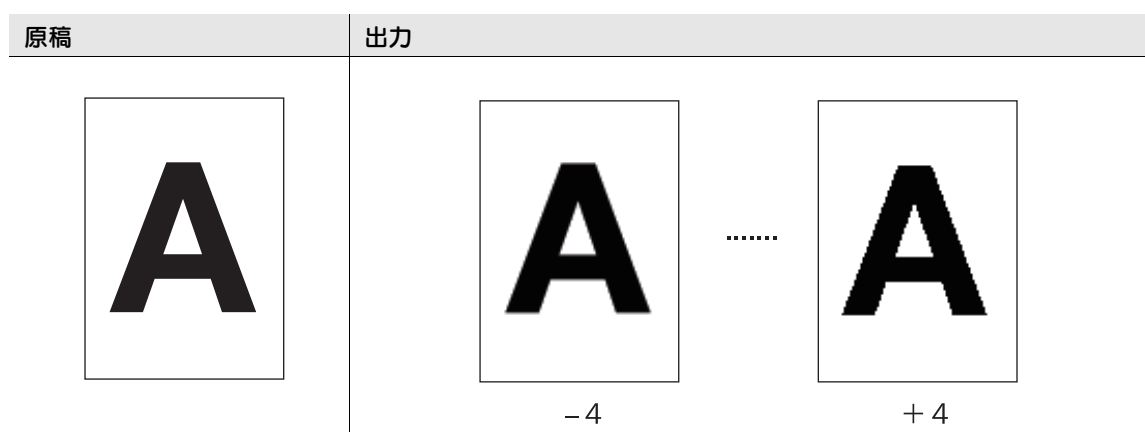


参照

確認コピーをすると、出力画像で調整結果を確認できます。詳しくは、10-7 ページをごらんください。

6.3.4 画像の輪郭を調整する：シャープネス

文字や絵柄の輪郭を調整します。



- 1 原稿をセットします。
- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 [画質設定] を押します。
画質設定画面が表示されます。
- 4 [シャープネス] 下の設定ボタンで、任意のレベルを選択します。
 - コピー画像の文字や絵柄の輪郭をなめらかにするときは [なめらか]、くっきりとするときは [くっきり] を押します。
 - 標準にもどすときは、[ふつう] を押します。



- 5 [OK] を押して、コピー画面にもどります。
- [標準復帰] を押すと、画質設定は初期設定状態にもどります。[キャンセル] を押すと、設定前の状態にもどります。
 - コピー画面にもどらないと出力できません。出力するときは、必ずコピー画面を表示してください。



参照

確認コピーをすると、出力画像で調整結果を確認できます。詳しくは、10-7 ページをごらんください。

6.3.5 画像判別を調整する：文字／写真判別

本機は、画像を 2 種類の方法で描画します。

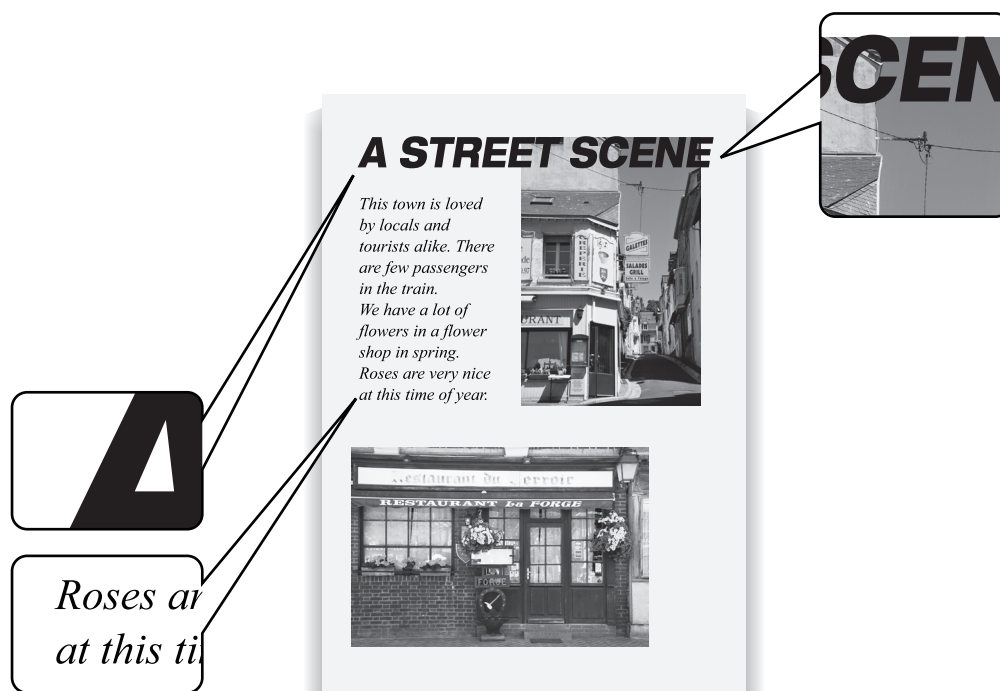
ひとつは誤差拡散という方法で、画像を細かなドット（600dpi）で描画します。

原稿の文字をくっきり描画するのに適しています。

もうひとつはスクリーンという方法で、さらに 2 種類に分かれます。ひとつは、テレビの走査線のように、画像を線の集まりで描画するラインスクリーン、もうひとつは、印刷物の網点のように描画するドットスクリーンです。スクリーンは、階調をきれいに描画する特長があります。しかし、文字を写真と同じように処理するため、くっきり再現できないことがあります。

本機は、原稿をスキャンするときに、文字の部分と写真の部分とを判別することによって、それぞれ適切な方法でコピーします。

ここでは、この判別を写真寄り、または文字寄りに調整します。



- 1 原稿をセットします。
- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 [画質設定] を押します。
画質設定画面が表示されます。
- 4 [文字／写真判別] 下の設定ボタンで、任意のレベルを選択します。
 - 写真部分をより良く再現したいときは [写真寄り]、文字部分をより良く再現したいときは [文字寄り] を押します。
 - 標準にもどすときは、[ふつつ] を押します。



- 5 [OK] を押して、コピー画面にもどります。
 - [標準復帰] を押すと、画質設定は初期設定状態にもどります。[キャンセル] を押すと、設定前の状態にもどります。
 - コピー画面にもどらないと出力できません。出力するときは、必ずコピー画面を表示してください。



参照

確認コピーをすると、出力画像で調整結果を確認できます。詳しくは、10-7 ページをごらんください。

6.4 倍率設定

初期状態では、倍率は「1.000」（等倍）に設定されています。

ここでは、倍率の変更のしかたを説明します。

6.4.1 等倍でコピーする

原稿と同じ大きさにコピーします。

- 1 ADF を確実に閉じて、操作パネルのリセットを押します。
すべての設定が初期状態にもどり、倍率は「1.000」〔等倍〕が自動的に選択されます。



- 2 任意のコピー条件を設定します。
→ 用紙サイズを指定すると、〔自動倍率〕が自動的に選択されます。このとき、必ず等倍でコピーしたい場合は、〔等倍〕を選択します。



参照

初期状態で、〔等倍〕以外の倍率や〔自動倍率〕が選択されていることがあります。この場合は、初期設定が変更されています。設定メニューの〔コピー設定〕で、初期設定を変更できます。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

6.4.2 倍率を変更してコピーする

倍率設定画面を表示して倍率を変更します。

倍率の変更には、下記の 4 つの方法があります。

- タテ／ヨコズーム（タテ／ヨコ比固定）：0.250 ～ 4.000 の倍率を 0.001（0.1%）刻みで設定します。
- タテズーム／ヨコズーム（タテ／ヨコ独立）：0.250 ～ 4.000 の倍率を 0.001（0.1%）刻みで、タテ／ヨコ個別に設定します。
- 拡大／縮小（固定倍率）：使用頻度の高い 8 種類の倍率（0.500、0.707、0.816、0.866、1.154、1.224、1.414、2.000）を、ワンタッチで選択します。
- 登録倍率：あらかじめ登録しておいた 3 種類の倍率を、ワンタッチで選択します。

重要

倍率設定画面で倍率を変更したとき、コピー画面にもどらなくても操作パネルのスタートを押してコピーを開始できます。



参照

倍率設定画面を表示しなくても、タテ／ヨコズーム（タテ／ヨコ比固定）の倍率を変更できます。6-29 ページおよび 6-29 ページをごらんください。



参照

登録倍率の設定は、設定メニューの〔機能設定〕で行います。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

1 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。

2 [倍率設定] を押します。

倍率設定画面が表示されます。

3 任意の倍率を設定します。

タテ/ヨコズーム（タテ/ヨコ比固定）を設定する場合：

[タテ/ヨコズーム] を選択します。画面のテンキー、[▼]、または [▲] を押して、任意の倍率を入力します。入力した倍率は、画面に表示されます。

→ 入力を間違えたときは、引続き正しい数値を入力します。

→ [▼] または [▲] を押しつづけると、最初は 0.001（0.1%）ずつ、後になると 0.010（1%）ずつ変化します。



タテズーム/ヨコズーム（タテ/ヨコ独立）を設定する場合：

[タテズーム] または [ヨコズーム] を選択します。画面のテンキー、[▼]、または [▲] を押して、任意の倍率を入力します。入力した倍率は、タテヨコ個別に表示されます。

→ 入力を間違えたときは、引続き正しい数値を入力します。

→ [▼] または [▲] を押しつづけると、最初は 0.001（0.1%）ずつ、後になると 0.010（1%）ずつ変化します。



→ タテヨコ独立倍率を設定した時は、コピー画面の倍率設定下に、設定した倍率がタテヨコ別々に表示されます。



固定倍率を設定する場合：

〔拡大〕または〔縮小〕下の、任意の倍率ボタンを選択します。



登録倍率を設定する場合：

[登録倍率] 下の、任意の倍率ボタンを選択します。

→ 3つの登録倍率のうち、上の2つはコピー画面で直接選択できます。



4 [OK] を押して、コピー画面にもどります。

→ [キャンセル] を押すと、設定前の状態にもどります。

6.4.3 コピー画面の「-」「+」で倍率を変更する

タテ/ヨコズーム（タテ/ヨコ比固定）は、コピー画面で直接設定できます。

- 1 「コピー」タブを押して、コピー画面を表示します。
- 2 「倍率設定」下の「-」、「+」ボタンで、任意の倍率を設定します。
→ 「-」または「+」を押し続けると、最初は0.001（0.1%）ずつ、後になると0.010（1%）ずつ変化します。



6.4.4 コピー画面の登録倍率ボタンで倍率を変更する

コピー画面の登録倍率ボタンを押して、倍率を変更できます。

重要

コピー画面の「倍率設定」下に表示されている登録ボタンの倍率は、倍率設定画面の「登録倍率」下に表示されている上2つ（登録倍率1、登録倍率2）と同じ倍率です。登録倍率は3つ設定できますが、コピー画面に表示され設定できる登録倍率は、登録倍率1と登録倍率2の2つだけです。



参照

登録倍率の登録は、設定メニューの「機能設定」で行います。詳しくは、POD 管理者編の7章をごらんください。

- 1 「コピー」タブを押して、コピー画面を表示します。
- 2 「倍率設定」下の倍率を表示している2つのボタンから設定したい倍率のボタンを選択します。



6.4.5 自動的に倍率を選択する：自動倍率

任意の用紙サイズが設定されたトレイを選択することで、原稿と用紙とのサイズに合わせた適正倍率を自動的に選択してコピーします。



参照

トレイへの用紙サイズの設定については、6-37 ページをごらんください。

- ✓ 自動倍率と自動用紙との併用はできませんが、自動画像回転との併用はできます。
- ✓ トレイ設定または用紙予約設定で、用紙サイズを「不定形サイズ」に設定したトレイは、自動倍率の対象トレイにはなりません。

1

原稿をセットします。

機械が原稿サイズを検知します。



2

任意の用紙サイズが設定されているトレイボタンを押します。

「倍率設定」下の「自動倍率」が反転して、自動的に選択された固定倍率を表示します。

→ 「不定形サイズ」が設定されているトレイを選択しても、「自動倍率」は反転しません。



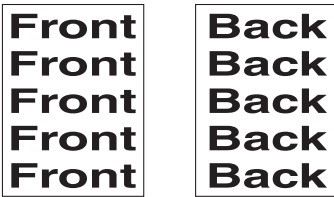
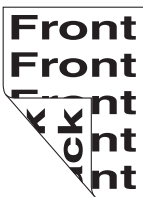
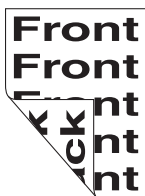
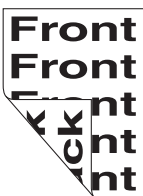
6.5 片面／両面

初期状態では、片面コピー〔片面→片面〕が設定されています。

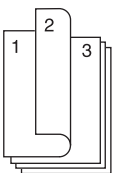
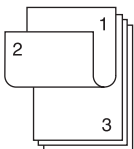
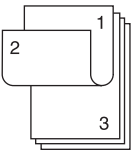
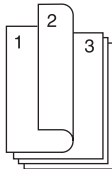
ここでは、ADFまたは原稿ガラスに原稿をセットして両面コピーをとる方法、および両面原稿から片面コピーをとる方法を説明します。

6.5.1 ADF を使って両面コピーをとる

ADF を使用して、片面原稿や両面原稿から両面コピーをとる手順を説明します。

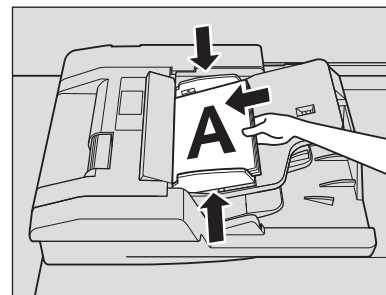
片面原稿	両面コピー
	
両面原稿	両面コピー
	

- 左右とじ（オモテ面とウラ面との天地が同じ）の片面原稿や両面原稿を、上とじ（オモテ面とウラ面との天地が逆）の両面コピーにできます。
- 上とじの両面原稿を、左右とじの両面コピーにできます。

左右とじの片面／両面原稿	上とじの両面コピー
	
上とじの両面原稿	左右とじの両面コピー
	

- ✓ ADF にセットした原稿にあわせて、原稿設定の〔原稿セット方向〕および〔両面とじ方向〕を選択します。
- ✓ 原稿設定の〔両面とじ方向〕に合わせて、出力設定の〔両面とじ方向〕が自動的に設定されるようになっています。左右とじの原稿から上とじのコピーを、あるいは上とじの原稿から左右とじのコピーをとるときは、出力設定の〔両面とじ方向〕で任意に設定します。

- 1 ADF に原稿をセットします。



- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 [片面 -> 両面] または [両面 -> 両面] を選択します。



- 4 原稿のセット方向を選択します。
 - セットした原稿の方向にあわせて、[原稿セット方向] 下のボタンを選択します。
 - [原稿セット方向] については、6-2 ページをごらんください。



- 5 原稿のと同じ方向を選択します。
 - コピー画面の[原稿設定]を押して、原稿設定画面を表示します。
 - 両面原稿が上とじ（オモテ面とウラ面と天地が逆）の場合は、[両面同じ方向] 下の [上とじ] を選択します。
 - [OK] を押して、コピー画面にもどります。
 - [両面同じ方向] については、6-3 ページをごらんください。



- 6 原稿とは違うとじ方向の両面コピーをとるときは、出力設定で両面コピーのとじ方向を選択します。
- コピー画面の［出力設定］を押して、出力設定画面を表示します。
 - ［両面とじ方向］下の、任意のとじ方向ボタンを選択します。
 - ［OK］を押して、コピー画面にもどります。
 - 出力設定の［両面とじ方向］については、8-6 ページをごらんください。



- 7 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。
- 8 操作パネルのスタートを押します。
- コピー画面にもどらないと出力できません。出力するときは、必ずコピー画面を表示してください。

6.5.2 原稿ガラスを使って両面コピーをとる

原稿ガラスに原稿をセットして、両面コピーをとる方法を説明します。

- ✓ 自動的に連続読み込みモードになります。
- ✓ 原稿ガラスにセットした原稿の方向にあわせて、［原稿セット方向］を選択します。
- ✓ 両面コピーを上とじ（オモテ面とウラ面との天地が逆）にできます。

- 1 原稿ガラスに原稿をセットします。
 - ADF を開きます。原稿は最初のページから順に、コピーする面を下にしてセットし、ADF を閉じます。
 - ブック連写、原稿外消去、リピートの自動検出、センタリングの機能を使用するときは、ADF を閉じないでください。
- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 [片面 -> 両面] を選択します。
[連続読み込み] を自動的に選択します。
重要
原稿ガラスにセットした原稿をスキャンできなくなるので、操作パネルのリセットを押さないでください。



- 4 原稿のセット方向を選択します。
 - セットした原稿の方向にあわせて、[原稿セット方向] 下のボタンを選択します。
 - [原稿セット方向] については、6-2 ページをごらんください。
- 5 両面コピーのと同じ方向を選択します。
 - コピー画面の[出力設定]を押して、出力設定画面を表示します。
 - [両面と同じ方向] 下の、任意の同じ方向ボタンを押します。
 - [OK] を押して、コピー画面にもどります。
 - 出力設定の[両面と同じ方向] については、8-6 ページをごらんください。



- 6 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

- 7 操作パネルのスタートを押します。
オモテ面になる原稿をスキャンします。
- 8 ウラ面になる原稿を原稿ガラスにセットして、操作パネルのスタートを押します。
- 9 原稿の読み込みが終わったら、ダイアログの「読み込み完了」を押します。
- 10 操作パネルのスタートを押します。
両面コピーを一括出力します。
→ コピー画面にもどらないと出力できません。出力するときは、必ずコピー画面を表示してください。

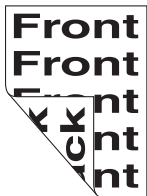
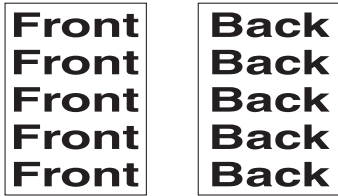


参照

読み込みを停止して、読み込んだデータを消去するとき、または出力を停止するときは、操作パネルのストップを押します。詳しくは、4-21 ページをごらんください。

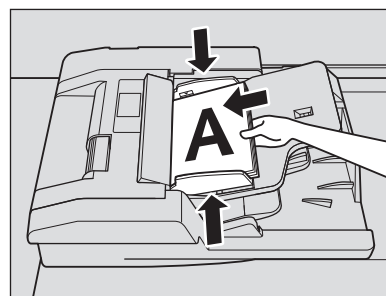
6.5.3 両面原稿から片面コピーをとる

ADF を使用して、両面原稿から片面コピーをとる方法を説明します。

両面原稿	片面コピー
	

- ✓ ADF にセットした原稿の方向にあわせて、「原稿セット方向」を選択します。
- ✓ 上と同じ（オモテ面とウラ面との天地が逆）の両面原稿を、左右と同じ（オモテ面とウラ面との天地が同じ）の片面コピーにできます。

- 1 ADF に原稿をセットします。



- 2 「コピー」タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 「両面 -> 片面」を選択します。



- 4 原稿のセット方向を選択します。
 - セットした原稿の方向にあわせて、[原稿セット方向] 下のボタンを選択します。
 - [原稿セット方向] については、6-2 ページをごらんください。
- 5 原稿の向き方向を選択します。
 - コピー画面の[原稿設定] を押して、原稿設定画面を表示します。

両面原稿が上とじ（オモテ面とウラ面との天地が逆）の場合は、[両面とじ方向] 下の[上とじ] を選択します。

[OK] を押して、コピー画面にもどります。



- 6 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。
- 7 操作パネルのスタートを押します。
 - コピー画面にもどらないと出力できません。出力するときは、必ずコピー画面を表示してください。

6.6 用紙予約設定

各トレイには、あらかじめ用紙設定がトレイ設定として設定されています。ここでは、一時的にトレイ設定とは異なる用紙設定でコピーする方法を説明します。

6.6.1 用紙設定の概要

用紙設定には、下記の 4 つの設定項目があります。

- 用紙トレイ
- 用紙サイズ
- 用紙条件
- エアブロー

用紙設定には、設定する対象によって 3 つの操作があります。

操作種類	説明	設定項目
トレイ設定	各トレイに用紙サイズ、用紙条件、ペーパーフィーダーユニットにエアブローの設定をします。 (エアブローの設定は、対象トレイのみ可能です。)	用紙トレイ 用紙サイズ 用紙条件 エアブロー
用紙予約設定	トレイ設定と異なった用紙を一時的にトレイにセットするとき、使用するトレイに用紙サイズと用紙条件を設定します。エアブローの設定はできません。	用紙トレイ 用紙サイズ 用紙条件
用紙条件登録／削除	トレイ設定や用紙予約設定をするときに用紙設定を呼び出すため、事前に 4 つの設定項目のうち用紙条件だけを登録します。	用紙条件

6.6.2 用紙予約設定の概要

ここでは、コピー画面で一時的に用紙設定する用紙予約設定について説明します。



参照

トレイ設定および用紙条件登録／削除は、機械状態画面で行います。詳細は、POD 管理者編の 3 章をご覧ください。

用紙予約設定は、下記の用紙サイズと用紙条件で構成され、任意に設定します。

用紙設定項目	説明	選択項目
用紙トレイ	用紙予約設定をする任意のトレイを選択します。	トレイ 1、トレイ 2 (本体トレイ) トレイ 3 (大容量給紙ユニット LU-409/LU-410) トレイ 3、トレイ 4、トレイ 5 (ペーパーフィーダーユニット PF-706)

用紙設定項目	説明	選択項目
用紙サイズ	<p>定形サイズは、16 種類^{*1}の定形サイズから 1 つ選択します。</p> <p>不定形サイズは、任意のサイズを入力します。最大 20 個までの不定形サイズを登録、呼出しできます。</p> <p>ワイド紙は、[サイズ選択] で 12 種類^{*1}のワイド紙から 1 つ選択し、画像位置を [先端合わせ] [後端合わせ] [中央合わせ] から選択します。ワイド紙のサイズは事前に [サイズ入力] で数値入力します。</p> <p>インデックス紙は、10 種類^{*1}のサイズから 1 つ選択するか、不定形サイズを入力します。また、インデックス数 (1 ~ 15) を設定します。</p> <p>はがきは、本体トレイ (トレイ 1、トレイ 2)^{*2}とペーパーフィーダーユニット PF-706 (トレイ 3 ~ トレイ 5)^{*3}に設定できます。</p>	<p>定形サイズ：</p> <p>12 × 18 □、A3 □、A4 □、A5 □、5.5 × 8.5 □、A4 □、8.5 × 11 □、8.5 × 14 □、B5 □、B5 □、B4 □、8.5 × 11 □、11 × 17 □、9 × 11 □、SRA3 □、SRA4 □</p> <p>トレイ 1、トレイ 2 (本体トレイ) の不定形サイズ：</p> <p>最小タテ 182 mm × ヨコ 139 mm ~ 最大タテ 324 mm × ヨコ 463 mm の範囲</p> <p>トレイ 3 (大容量給紙ユニット LU-409) の不定形サイズ：</p> <p>最小タテ 250 mm × ヨコ 176 mm ~ 最大タテ 314 mm × ヨコ 229 mm の範囲</p> <p>大容量給紙ユニット LU-410 (トレイ 3) の不定形サイズ：</p> <p>最小タテ 203 mm × ヨコ 195 mm ~ 最大タテ 324 mm × ヨコ 483 mm の範囲</p> <p>トレイ 3、トレイ 4、トレイ 5 (ペーパーフィーダーユニット PF-706) の不定形サイズ：</p> <p>最小タテ 95 mm × ヨコ 133 mm ~ 最大タテ 324 mm × ヨコ 463 mm の範囲</p> <p>ワイド紙：</p> <p>12 × 18W □、11 × 17W □、8.5 × 11W □、8.5 × 11W □、5.5 × 8.5W □、A3W □、A4W □、A4W □、A5W □、B4W □、B5W □、B5W □</p> <p>インデックス紙：</p> <p>11 × 17T □、8.5 × 11T □、8.5 × 11T □、5.5 × 8.5T □、A3T □、A4T □、A4T □、B4T □、B5T □、B5T □</p> <p>はがき</p>
用紙条件	用紙種類	用紙表面のなめらかさや用途によって 5 種類に分類します。用紙種類の詳細は、次の「用紙種類の説明」の表をごらんください。
	坪量	<p>10 種類の坪量から 1 つ選択します。</p> <p>301 - 350 g/m² の用紙をセットできるのは、ペーパーフィーダーユニット PF-706 のトレイ 4 だけです。</p> <p>用紙種類で書籍用紙、またはラフ紙を選択すると、217 g/m² 以上の坪量を設定できません。</p>
	色紙	用紙の色を選択します。自動用紙設定で白紙を選択したいときに、区別ができます。
	パンチ	パンチ穴がある用紙かどうかを選択します。パンチ穴のない用紙と一しょにプリントするのを防ぎます。
		<p>上質紙、普通紙、書籍用紙、ラフ紙、未印字挿入紙</p> <p>40 - 49 g/m² 50 - 61 g/m² 62 - 74 g/m² 75 - 91 g/m² 92 - 135 g/m² 136 - 162 g/m² 163 - 216 g/m² 217 - 244 g/m² 245 - 300 g/m² 301 - 350 g/m²</p> <p>白色、透明、黄色、桃色、青色、緑色</p> <p>パンチ穴あり、パンチ穴なし</p>

用紙設定項目	説明	選択項目
表裏調整	両面印刷時、印刷のオモテ面とウラ面の画像位置を合わせるため、オモテ、ウラにそれぞれ倍率（タテ倍、ヨコ倍）、イメージシフト（上下、左右）を調整します。	タテ倍： オモテ - 10 ~ + 10（1 ステップ = 0.05%）、ウラ - 5 ~ + 5（1 ステップ = 0.05%） ヨコ倍： - 10 ~ + 10（1 ステップ = 0.05%） イメージシフト上下： - 100 ~ + 100（1 ステップ = 0.1 mm） イメージシフト左右： - 100 ~ + 100（1 ステップ = 0.1 mm）
プロセス調整	転写電流オフセット調整とプロセス速度設定をします。	転写電流オフセット調整： 先端 1 オフセット（オモテ）： - 128 ~ + 127 先端 1 オフセット（ウラ）： - 128 ~ + 127 先端 2 オフセット（オモテ）： - 128 ~ + 127 先端 2 オフセット（ウラ）： - 128 ~ + 127 先端 3 オフセット（オモテ）： - 128 ~ + 127 先端 3 オフセット（ウラ）： - 128 ~ + 127 中央オフセット（オモテ）： - 128 ~ + 127 中央オフセット（ウラ）： - 128 ~ + 127 後端オフセット（オモテ）： - 128 ~ + 127 後端オフセット（ウラ）： - 128 ~ + 127 プロセス速度設定： デフォルト、高速、低速
片寄り検知設定	用紙の片寄りを検知するかしないか選択します。	ON、OFF
カール調整	機械で出力紙のカールを補正するかしないか選択します。	上側に矯正、OFF

*1：大容量給紙ユニット LU-409/LU-410（トレイ 3）を選択したとき、選択できないサイズがあります。詳しくは、3-6 ページをごらんください。

*2：本体トレイ（トレイ 1、トレイ 2）に郵政はがきをセットする場合は、ハガキアダプター（オプション）が必要です。サービス実施店にお問い合わせください。

*3：ペーパーフィーダーユニット PF-706 に郵政はがきをセットする場合は、小サイズガイドを使用します。詳しくは、5-18 ページをごらんください。

用紙種類の説明

用紙種類	説明
上質紙	上質紙は、オフセット印刷で一般的に使用されている非塗工紙印刷用紙です。白色度が高く、さまざまな用途に用いられています。このような用紙をセットするトレイは、[上質紙] に設定します。
普通紙	普通紙は、複写機やプリンターで用いられる「PPC 用紙」といわれているコピー/プリント用紙で、通常再生紙を使用しないものをいいます。普通紙や再生紙をセットするトレイは、[普通紙] に設定します。
書籍用紙	書籍用紙は、書籍の本文用紙に用いられる、裏抜け（印刷が裏から透けて見えること）がないように不透明度を高くしたり、文字が読みやすいようにクリーム色にしたりした用紙です。このような用紙をセットするトレイは、[書籍用紙] に設定します。
ラフ紙	ラフ紙は、表面が粗くざらざらしていて、定着性の悪い用紙でセットするトレイは、[ラフ紙] に設定します。上質紙の中でもコットンペーパーなどはラフ紙に含みます。

用紙種類	説明
未印字挿入紙	未印字挿入紙は、用紙表面のなめらかさによる分類ではなく、本機でプリントせず通紙するだけの用紙をセットするトレイに設定します。 インターシート白紙表紙／白紙挿入の機能を使うとき、既に印刷されていて本機で印刷しない用紙や白紙の状態で使用する用紙をセットするトレイは、未[未印字挿入紙]を設定します。

6.6.3 用紙予約設定の操作概要

用紙予約設定をしてコピーをとる基本的な操作手順を説明します。

重要

用紙予約設定は、そのジョブが終了してもトレイ設定にもどりません。リセット機能が働いたとき、用紙予約設定からトレイ設定にもどります。

用紙予約設定をした後に、操作パネルのリセットを押さないでください。用紙予約設定がクリアされ、トレイの用紙設定はトレイ設定にもどります。

重要

用紙予約設定で変更した用紙条件を保存することはできません。設定する用紙予約設定を頻繁に使用する場合は、あらかじめ機械状態画面の[用紙条件登録／削除]で用紙条件を登録することをおすすめします。詳しくは、POD 管理者編の3章をごらんください。

- 1 原稿をセットします。
- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 各トレイのトレイ設定を確認します。
→ トレイボタンには、用紙サイズ、坪量、用紙種類または用紙名称、および用紙残量が表示されます。



- 4 コピー画面の[用紙予約設定]を押します。
用紙予約設定画面が表示されます。
- 5 用紙予約設定するトレイを選択します。
→ [用紙トレイ] 下の、任意のトレイボタンを選択します。選択したトレイのトレイ設定が右側に表示されます。
→ 用紙予約設定は、機械が他のジョブ出力中でも設定できます。



6 用紙サイズを設定変更します。

→ [用紙サイズ] 右の[設定変更]を押して、サイズ設定画面を表示します。詳しい設定方法については、6-42 ページ～ 6-46 ページをごらんください。



7 用紙条件を変更します。

→ 用紙条件を呼出すときは、用紙予約設定画面右下の[設定呼出し]を押して、設定呼出し画面を表示します。詳しい設定方法については、6-47 ページをごらんください。



→ 用紙条件を設定変更するときは、用紙予約設定画面右下の[設定変更]を押して、設定変更画面を表示します。詳しい設定方法については、6-48 ページをごらんください。



- 8 用紙予約設定画面のリストで用紙予約設定の内容を確認します。



- 9 用紙予約設定画面の「閉じる」を押して、コピー画面にもどります。
- 10 用紙予約設定をしたトレイに、用紙設定に適合した用紙をセットします。
- 出力中のジョブで使用しているトレイの用紙予約設定を設定した場合は、そのジョブが完了した後に、適合した用紙をセットします。
- 11 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
- 12 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 13 操作パネルのスタートを押します。
- コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。

6.6.4 用紙サイズの設定変更：定形サイズ

- ✓ 機械状態画面のトレイ設定では、[定形サイズ] を選択すると、トレイにセットした用紙の定形サイズを機械が自動的に検知します。用紙予約設定では、任意の定形サイズを手動で設定します。
- 1 コピー画面の「用紙予約設定」を押して、用紙予約設定画面を表示します。
 - 2 「用紙トレイ」下のトレイボタンを押して、用紙予約設定をするトレイを選択します。
 - 3 「用紙サイズ」右の「設定変更」を押します。
サイズ設定画面が表示されます。
 - 4 「定形サイズ」を押します。



- 5 任意の定形サイズボタンを押します。
- 6 [OK] を押して、用紙予約設定画面にもどります。

6.6.5 用紙サイズの設定：不定形サイズ



参照

不定形サイズの最小サイズを変更できます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

- 1 コピー画面の[用紙予約設定]を押して、用紙予約設定画面を表示します。
- 2 [用紙トレイ]下のトレイボタンを押して、用紙予約設定をするトレイを選択します。
- 3 [用紙サイズ]右の[設定変更]を押します。
サイズ設定画面が表示されます。
- 4 [不定形サイズ]を押します。
- 5 用紙のタテ／ヨコのサイズを入力します。
→ [(1)]を押してから、画面のテンキー、[▼]、[▲]、または操作パネルのテンキーで、用紙のタテサイズを入力します。[(2)]を押して、ヨコサイズを同様に输入します。
→ トレイによって、入力できるサイズは異なります。
- 6 [画像位置]を選択します。
→ 画像を転写する位置の基準として、[画像位置]下の[先端合わせ]、[後端合わせ]または[中央合わせ]から1つ選択します。



- 7 事前に登録した不定形サイズを呼出するときは、[サイズ読出し] を押します。
 サイズ読出し画面が表示されます。
 → [前頁] または [次頁] を押して、任意の不定形サイズを表示します。[01] から [20] まで表示できます。
 → 使用する不定形サイズの左側のナンバーボタンを押して、[OK] を押します。



- 8 サイズ設定画面の [OK] を押して、用紙予約設定画面にもどります。



参照

不定形サイズの登録は、機械状態画面の [不定形サイズ登録／削除] で行います。詳しくは、POD 管理者編の 3 章をごらんください。

6.6.6 用紙サイズの設定：ワイド紙

- 1 コピー画面の [用紙予約設定] を押して、用紙予約設定画面を表示します。
- 2 [用紙トレイ] 下のトレイボタンを押して、用紙予約設定をするトレイを選択します。
- 3 [用紙サイズ] 右の [設定変更] を押します。
 サイズ設定画面が表示されます。
- 4 [ワイド紙] を押します。
- 5 任意のサイズボタンを押します。
- 6 [画像位置] を選択します。
 → 画像を転写する位置の基準として、[画像位置] 下の [先端合わせ]、[後端合わせ] または [中央合わせ] から 1 つ選択します。



- 7 [サイズ入力] を押して、サイズ入力画面を表示します。
- ワイド紙は、サイズ名が同じであっても、実際の大きさが異なる場合があります。ご使用になるワイド紙のサイズを確認してから、その数値を入力してください。

- 8 用紙のタテ／ヨコのサイズを入力します。
- [(1)] を押してから、画面のテンキー、[▼]、[▲]、または操作パネルのテンキーで、用紙のタテサイズを入力します。入力できるのは、手順 2 で選択したワイド紙の定形タテ寸法以上～最大 324 mm です。
 - 同様に、[(2)] を押してヨコサイズを入力します。入力できるのは、手順 2 で選択したワイド紙の定形ヨコ寸法以上～最大 463 mm です。
 - トレイによって、入力できるサイズは異なります。



- 9 サイズ選択画面にもどるときは、[サイズ選択] を押します。
- 10 サイズ設定画面の [OK] を押して、用紙予約設定画面にもどります。

6.6.7 用紙サイズの設定：インデックス紙

- 1 コピー画面の [用紙予約設定] を押して、用紙予約設定画面を表示します。
- 2 [用紙トレイ] 下のトレイボタンを押して、用紙予約設定をするトレイを選択します。
- 3 [用紙サイズ] 右の [設定変更] を押します。
サイズ設定画面が表示されます。

- 4 [インデックス紙] を押します。
 - インデックス紙のサイズ設定には、定形サイズを設定する画面と不定形サイズを設定する画面とがあります。それぞれの画面に表示されている [定形サイズ]、[不定形サイズ] を押して切替えます。
- 5 任意の定形サイズボタンを押します。
- 6 インデックスの数を設定します。
 - 「インデックス数設定」下のテンキー、[▼]、または [▲] を押して、インデックス数を入力します。1～15 まで設定できます。



- 7 インデックス紙のサイズを任意に設定する場合は、[不定形サイズ] を押します。
- 8 用紙のタテ/ヨコのサイズ、およびインデックス幅を入力します。
 - [(1)] を押してから、画面のテンキー、[▼]、[▲]、または操作パネルのテンキーで、任意のタテサイズを入力します。同様に、[(2)] を押してヨコサイズを、[(3)] を押してインデックス幅を入力します。
 - インデックスの数をここで設定する場合は、[インデックス数設定] を押してから、任意のインデックス数を入力します。



- 9 サイズ設定画面の [OK] を押して、用紙予約設定画面にもどります。

6.6.8 用紙サイズの設定：はがき

- 1 コピー画面の [用紙予約設定] を押して、用紙予約設定画面を表示します。
- 2 [用紙トレイ] 下のトレイボタンを押して、用紙予約設定をするトレイを選択します。

- 3 [用紙サイズ] 右の[設定変更]を押します。
サイズ設定画面が表示されます。
- 4 [[はがき]を押します。
 - 手順2で[トレイ1]または[トレイ2]を選択したとき、選択した本体トレイにハガキアダプターをセットする必要があります。サービス実施店にお問い合わせください。
 - 手順2で大容量給紙ユニットLU-409/LU-410の[トレイ3]を選択したとき、[[はがき]ボタンは表示されず、選択できません。
 - 手順2でペーパーフィーダーユニットPF-706の[トレイ3]、[トレイ4]また[[トレイ5]を選択したとき、選択したトレイの小サイズガイドを開きます。詳しくは、5-18ページをごらんください。



- 5 サイズ設定画面の[OK]を押して、用紙予約設定画面にもどります。

6.6.9 用紙条件の変更：設定呼出し

- 1 コピー画面の[用紙予約設定]を押して、用紙予約設定画面を表示します。
- 2 [用紙トレイ]下のトレイボタンを押して、用紙予約設定をするトレイを選択します。
- 3 用紙予約設定画面右下の[設定呼出し]を押します。
設定呼出し画面が表示されます。
- 4 登録した用紙条件を選択します。
 - [▼]または[▲]を押して、登録されている用紙条件のリストから、任意の行を選択します。



→ ポストインサーター PI-502 の上段トレイ [PI1] 11、下段トレイ [PI2] は、用紙サイズだけ設定できます。



6 「色紙」を押します。

色紙画面が表示されます。

→ 「色紙」下の任意の色紙ボタンを押して、用紙の色を選択します。



7 「パンチ」を押します。

パンチ画面が表示されます。

→ 「パンチ」下の、「パンチ穴あり」または「パンチ穴なし」を選択します。



8 「表裏調整」を押します。

表裏調整画面が表示されます。

- 「オモテ」または「ウラ」を押して、調整するプリント面を選択します。[タテ倍]、[ヨコ倍]、[上下]、または[左右]を押して調整項目を選択します。画面のテンキー、[▼]、または[▲]を押して、任意の調整値を入力します。[+←→-]を押すと、調整値のナニを選択できます。設定を変更すると、「表裏調整」右の表示が「オフセット変更あり」に変わります。
- 詳しい調整方法については、POD 管理者編の4章をごらんください。



9 「プロセス調整」を押します。

プロセス調整画面が表示されます。

- 「転写電流オフセット調整」または「プロセス速度設定」を押して、任意に調整します。転写電流オフセット調整については、サービス実施店にお問い合わせください。プロセス速度設定をデフォルトから変更すると、「プロセス調整」右の表示が「速度変更あり」に変わります。
- 詳しい調整方法については、POD 管理者編の3章をごらんください。



10 「片寄り検知設定」を押します。

片寄り検知設定画面が表示されます。

- 「片寄り検知設定」下の「ON」または「OFF」を選択します。



11 [カール調整] を押します。

カール調整画面が表示されます。

→ [カール調整] 下の [上側に矯正] または [OFF] を選択します。



12 [OK] を押して、用紙予約設定画面にもどります。

6.7 自動用紙

原稿サイズを検知すると、原稿サイズと同じサイズの用紙がセットされたトレイ（等倍）、または設定した倍率に対応したサイズの用紙がセットされたトレイ（変倍）から用紙を給送して、コピーします。



参照

ADF や原稿ガラスで検知される原稿サイズには制限があります。詳しくは、3-10 ページをごらんください。

ADF や原稿ガラスで検知される原稿サイズを変更できます。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

任意のトレイを自動用紙によって選択できなくしたり、自動用紙によって選択される用紙条件を設定したりできます。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

ADF または原稿ガラスに原稿をセットしたとき、自動用紙を機能させるか、させないかの設定ができます。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

- ✓ 自動用紙と自動倍率との併用はできませんが、自動画像回転との併用はできます。
- ✓ トレイ設定または用紙予約設定で、用紙サイズを「不定形サイズ」に設定したトレイは、自動用紙の対象トレイにはなりません。

1

ADF を確実に閉じて、操作パネルのリセットを押します。

すべての設定が初期状態にもどり、「自動用紙」が自動的に選択されます。



2

原稿をセットします。

自動的に選択されたトレイボタンが反転します。

- 自動的に選択された用紙サイズがどのトレイにもない場合は、メッセージが表示されます。メッセージに表示されたサイズの用紙を、トレイにセットしてください。
- 自動的に選択された用紙サイズがトレイにあって、トレイの用紙条件によっては、自動用紙の対象トレイに設定されていないことがあります。

6.8 自動画像回転

機械が A4 用紙を自動的に選択しても、トレイに A4 用紙しかセットされていない場合、A4 用紙にコピーするように画像を 90° 回転します。タテ送り方向にしかセットできない原稿（A3、B4 など）を、ヨコ送り方向にセットされた用紙に縮小コピーします。



参照

自動画像回転が機能するタイミングを変更できます。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。初期状態では、自動画像回転は ON になっています。下記の手順で、自動画像回転を ON/OFF します。

原稿	出力	
ランドスケープ原稿	自動画像回転 ON	自動画像回転 OFF
A3 用紙		
B4 用紙		
A4 用紙		
B5 用紙		
ポートレート原稿	自動画像回転 ON	自動画像回転 OFF
A4 用紙		
B5 用紙		

- ✓ A4 用紙、B5 用紙、A5 用紙の用紙に対して機能します。
- ✓ 対応している原稿サイズは、A3 用紙、B4 用紙、A4 用紙、B5 用紙、A5 用紙、B6 用紙です。

- 1 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 2 [自動画像回転禁止] を押します。
[自動画像回転禁止] が反転し、自動画像回転が OFF になります。



- 3 再び、[自動画像回転禁止] を押します。
[自動画像回転禁止] の反転を解除します。自動画像回転が ON になります。



6.9 コピー予約

コピージョブの場合、原稿をスキャン中に次のジョブのコピー条件を設定できます。また、原稿のスキャンが終わると、プリント中であっても、次のジョブの原稿をスキャンできます。

この作業をコピー予約といいます。

コピー予約したジョブは、その前のジョブの出力が完了すると、引続き出力されます。



参照

コピー予約の機能を使用できないように設定できます。サービス実施店にお問い合わせください。

- ✓ コピー予約は 100 ジョブまで設定できます。

1

コピー画面を表示します。

- デフォルト画面が機械状態画面の場合、原稿スキャンを開始すると、コピー画面に下記のダイアログが表示されます。コピー予約をするときは、[はい] を押します。
- デフォルト画面がジョブリスト画面の場合も、同様のダイアログが表示されます。コピー予約をするための操作方法は同じです。デフォルト画面の設定は、設定メニューの[環境設定]で行います。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。



- [いいえ] を押すと、[プリントしています] というメッセージが機械状態画面に表示されます。このとき [コピー] タブを押すと、コピー画面が表示されて、コピー予約ができます。



- デフォルト画面がコピー画面の場合は、下記のダイアログが表示されます。[閉じる] を押して、コピー画面にもどります。



2 表示されているコピー画面で次のジョブの設定をしてから、原稿をセットして操作パネルのスタートを押します。

→ コピー予約を続けるときは、手順 1 と 2 の操作を繰り返します。コピー予約は 100 ジョブまで設定できます。予約したジョブを確認／操作するときは、[ジョブリスト] タブを押して、ジョブリスト画面を表示します。

3 コピー予約したジョブのプリントを自動的に開始します。



参照

ジョブリストについては、9-2 ページをごらんください。

予約ジョブ時のトラブルについては、11-10 ページをごらんください。



応用設定

7 応用設定

7.1 応用機能を設定するには

7.1.1 応用設定の概要

応用設定を使ってコピーするときは、応用設定画面で使いたい機能を選択します。

- 1 「コピー」タブを押して、コピー画面を表示します。
- 2 「応用設定」を押します。



応用設定画面が表示されます。



- 任意のボタンを押すと、機能を設定する専用画面が表示されます（プログラムジョブ、原稿外消去、ネガポジ反転、センタリング、全面画像にはありません）。
- 複数の応用機能を組合わせて設定できますが、併用できない機能のボタンがグレーアウトして、選択できなくなります。
- もとのコピー条件にもどすときは、「キャンセル」を押します。設定した情報を残しながら、すべての応用機能を OFF にするときは、「全機能 OFF」を押します。応用設定を含めたすべてのコピー条件を初期状態にもどすときは、操作パネルのリセットを押します。

3 応用設定画面の「OK」を押して、コピー画面にもどります。

→ コピー画面にもどらないと、出力できません。出力するときは、必ずコピー画面を表示してください。

7.1.2 コピー画面「応用設定」下の表示

ショートカットボタンの表示

コピー画面の「応用設定」下に、よく使用する応用機能のショートカットボタンを4つまで表示できます。このボタンを使って、ワンタッチで応用機能を選択したり、それぞれの階層画面を直接表示したりします。ショートカットボタンの設定は、設定メニューの「環境設定」で行います。



参照

設定のしかたについては、POD 管理者編の7章をごらんください。

アイコンの表示

コピー画面の「応用設定」下に、設定した応用機能のアイコンを6つまで表示します。



7.1.3 しおり機能

インターシートなどの階層画面に、[しおり]が表示されていることがあります。このボタンを押した後で下記の操作をすると、即座にその階層画面を表示できます。

- 応用設定画面で、その階層画面がある項目ボタンを押したとき
- コピー画面 [応用設定] 下のショートカットボタンを押したとき
- 設定内容画面から設定を変更するとき

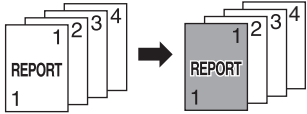
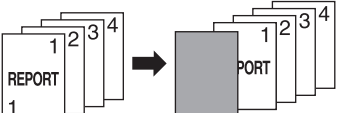
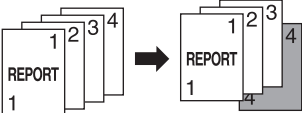
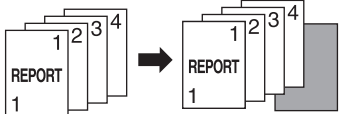


7.2 表紙／挿入紙をつける：インターシート

複数枚の原稿をコピーするとき、コピーに表紙（オモテ、ウラ）や挿入紙をつけることができます。オモテ表紙、ウラ表紙、および挿入紙の設定では、原稿をコピーしてつけるか白紙でつけるかを選択します。また、表紙や挿入紙は、本文コピー用とは別のトレイから給送できます。ポストインサーター PI-502 を装着していると、ポストインサーターからも給紙できます。その場合、表紙や挿入紙は白紙のままでつけることができます。

オモテ／ウラ表紙設定

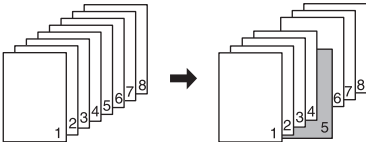
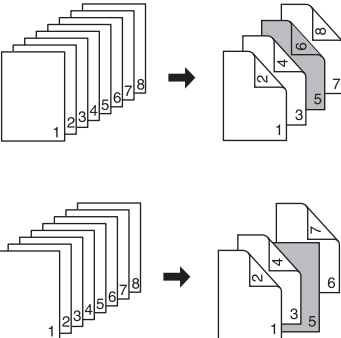
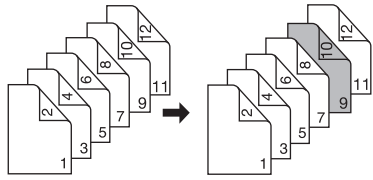
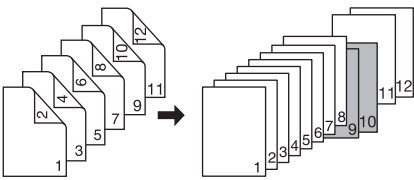
オモテ表紙／ウラ表紙の設定には、下記の選択項目があります。オモテ表紙（印刷または白紙）とウラ表紙（印刷または白紙）とは、個別に設定できます。

選択項目	説明
オモテ表紙＋印刷 (片面／両面)	<ul style="list-style-type: none"> 片面コピーモード（片面 → 片面、両面 → 片面）では、片面原稿の 1 枚目または両面原稿の 1 ページ目を、オモテ表紙用の用紙に片面コピーします。オモテ表紙を両面コピーできません。 片面 → 両面モードでは、表紙印刷の指定にかかわらず、片面原稿の 1 枚目および 2 枚目を、オモテ表紙のオモテ面／ウラ面にそれぞれコピーします。 両面 → 両面モードでは、両面原稿の 1 枚目を、オモテ表紙用の用紙に両面コピーします。オモテ表紙を片面コピーできません。 
オモテ表紙＋白紙	<p>原稿およびコピーの片面／両面にかかわらず、コピーの最初にオモテ表紙用の用紙を白紙で挿入します。</p> 
ウラ表紙＋印刷 (片面／両面)	<ul style="list-style-type: none"> 片面コピーモード（片面 → 片面、両面 → 片面）では、片面または両面原稿の最終ページを、ウラ表紙用の用紙に片面コピーします。ウラ表紙を両面コピーできません。 片面 → 両面モードでは、表紙印刷の指定を「[片面]」にすると、片面原稿の最終ページをウラ表紙用の用紙に片面コピーします。「[両面]」にすると、原稿が偶数枚のとき、原稿の最後 2 ページをウラ表紙用の用紙に両面コピーします。 両面 → 両面モードでは、両面原稿の最後の 1 枚を、ウラ表紙用の用紙に両面コピーします。ウラ表紙を片面コピーできません。 
ウラ表紙＋白紙	<p>原稿およびコピーの片面／両面にかかわらず、コピーの最後にウラ表紙用の用紙を白紙で挿入します。</p> 

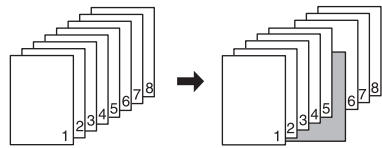
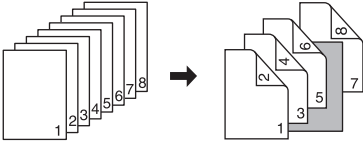
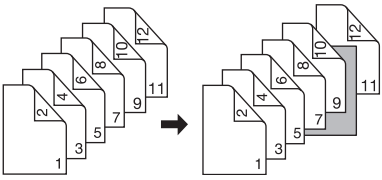
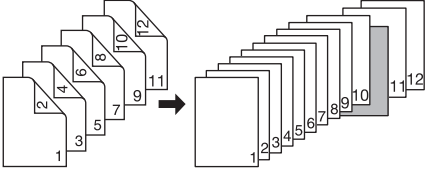
挿入紙の設定

挿入紙の設定では、原稿およびコピーの片面／両面設定、挿入紙の片面／両面設定によって、出力の結果が違います。

例：[印刷] で挿入ページを [5] と指定したとき

選択項目	説明
片面 -> 片面	<p>片面原稿の 5 枚目を挿入紙に片面コピーして、コピーの 5 枚目として挿入します。挿入紙を両面コピーできません。</p> 
片面 -> 両面	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挿入紙の印刷設定が [両面] の場合は、片面原稿の 5 枚目と 6 枚目とを挿入紙に両面コピーして、コピーの 3 枚目として挿入します。挿入ページを [6] と設定したときも、結果は同じです。 ・ 挿入紙の印刷設定が [片面] の場合は、片面原稿の 5 枚目を挿入紙に片面コピーして、コピーの 3 枚目として挿入します。このとき、次のコピー（4 枚目）のオモテ面には原稿の 6 枚目が、ウラ面には 7 枚目がコピーされるので、以降はコピーのオモテ／ウラで原稿ページの奇数／偶数が入替わります。 
両面 -> 両面	<p>両面原稿の 5 枚目（9 ページ目と 10 ページ目）を挿入紙に両面コピーして、コピーの 5 枚目として挿入します。挿入紙を片面コピーできません。</p> 
両面 -> 片面	<p>両面原稿の 5 枚目（9 ページ目と 10 ページ目）を、挿入紙 2 枚に片面コピーして、コピーの 9 枚目および 10 枚目として挿入します。挿入紙を両面コピーできません。</p> 

例：[白紙] で挿入ページを [5] と指定したとき

選択項目	説明
片面 -> 片面	<p>片面原稿の 5 枚目を片面コピーした後に、白紙を挿入します。</p> 
片面 -> 両面	<p>片面原稿の 5 枚目と 6 枚目とを両面コピーした後に、白紙を挿入します。挿入ページを [6] と設定したときも、結果は同じです。</p> 
両面 -> 両面	<p>両面原稿の 5 枚目（9 ページ目と 10 ページ目）を両面コピーした後に、白紙を挿入します。</p> 
両面 -> 片面	<p>両面原稿の 5 枚目（9 ページ目と 10 ページ目）を片面コピーした後に、白紙を挿入します。コピーの奇数ページの後に挿入できません。</p> 

- ✓ 原稿は ADF にセットします。原稿の枚数が 100 枚を超える場合は、[連続読み込み] を選択します。連続読み込みモードを併用すれば、**原稿ガラス**も使用できます。
- ✓ 表紙、挿入紙および本文用の用紙は、別々のトレイにセットできますが、すべて同じサイズにします。（自動倍率が働きます。）
- ✓ オモテ表紙／ウラ表紙は、トレイ 1 ～ 5 から 1 枚、ポストインサーターから最大 40 枚、それぞれまたはいっしょに給紙できます。いっしょに給紙されるときは、ポストインサーターにセットされた表紙が最初（オモテ表紙）と最後（ウラ表紙）になります。
- ✓ 挿入紙は、オモテ／ウラ表紙とは別に、1 ～ 999 ページの範囲で 100 種類まで設定できます。また、ポストインサーターからは、1 箇所につき最大 40 枚挿入できます。

1 原稿をセットします。

2 トレイに用紙をセットします。

- オモテ／ウラ表紙として使用する用紙、挿入紙として使用する用紙、本文コピー用の用紙を任意のトレイにセットします。ポストインサーターを使用するときは、ポストインサーターのトレイに用紙をセットします。ここでセットする用紙は、すべて同じサイズにします。

重要

用紙をセットする前に、必ず各トレイの用紙情報を確認して、それぞれに設定されている用紙を使用してください。設定と異なる用紙をセットすると、コピーできないことやトラブルの原因になることがあります。

設定と異なる用紙をセットする場合は、コピー画面の [用紙予約設定] を押して、一時的にトレイの用紙設定を変更します。詳しくは、6-37 ページをごらんください。

- 3 原稿およびコピーの片面／両面を設定します。
→ コピー画面を表示して、[片面／両面] 下の任意のボタンを選択します。このとき選択したコピー側の片面／両面は、表紙や挿入紙の印刷面の設定に反映されます。
- 4 コピー画面の「応用設定」を押します。
- 5 応用設定画面の「インターシート」を押します。



インターシート画面が表示されます。

- 6 表紙をつけます。
→ オモテ表紙をつけるときは「オモテ表紙」表示右の「設定変更」を、ウラ表紙をつけるときは「ウラ表紙」表示右の「設定変更」を押します。



オモテ表紙設定画面



ウラ表紙設定画面



→ 必要に応じて、下記の項目を設定します。

本体トレイ：

表紙印刷	表紙をコピーしてつけるときは「表紙あり（印刷）」、白紙でつけるときは「表紙あり（白紙）」を押します。
印刷面	表紙に片面コピーする場合は「片面」、両面コピーする場合は「両面」を押します。画面を最初に表示したときは、手順 3 で選択した片面／両面設定の、コピー側の印刷面が反映されます。表紙印刷の設定で「表紙あり（白紙）」を選択すると、自動的に「片面」が選択されます。
給紙トレイ	任意のトレイボタンを選択します。

PI トレイ：

ポストインサーター用紙	ポストインサーターにセットした用紙を表紙として使用する場合、「表紙あり」を押して、PI トレイボタンのいずれか 1 つを押して選択します。PI トレイから給紙した場合、印刷はできません。
枚数設定	ポストインサーターにセットした表紙は、40 枚までつけることができます。「枚数設定」を押して、画面のテンキーで枚数を入力してから、「確定」を押します。

重要

表紙は、本体トレイと PI トレイの両方から同時に給送できます。このときの順番は、ポストインサーターにセットされた表紙が最初（オモテ表紙）と最後（ウラ表紙）になります。

PI 用紙枚数設定画面



→ [OK] を押して、インターシート画面にもどります。

7 挿入紙をつけます。

→ 「挿入紙」表示右の「設定変更」を押します。



画面の左上では、設定ボタンの「設定 001」が反転しています。



→ 1つの設定ボタンに対して、挿入ページは複数指定できますが、印刷の有無、印刷面、および給紙トレイの設定はそれぞれ1種類しかできません。異なる設定で挿入紙をつけたい場合は、現在の設定を確定してから、次の設定ボタンで新規に設定します。

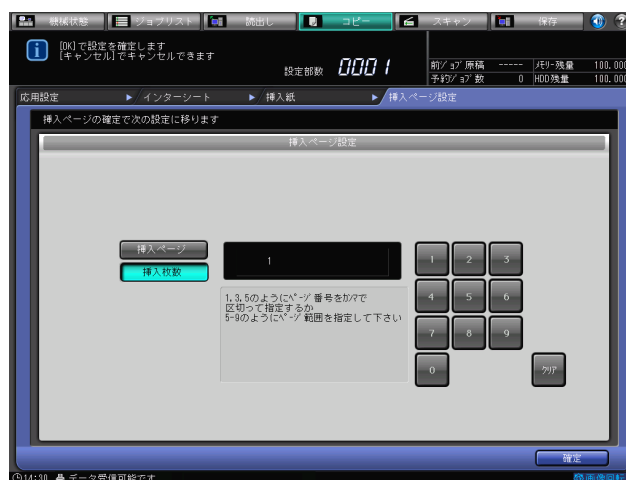
給紙トレイ	任意のトレイボタンを選択します。ポストインサーターにセットした用紙を使用する場合は、PIトレイボタンのいずれか1つを選択します。PIトレイから給紙した場合、印刷はできません。
挿入紙印刷	挿入紙をコピーしてつけるときは〔印刷〕、白紙でつけるときは〔白紙〕を押します。
印刷面	挿入紙に片面コピーする場合は〔片面〕、両面コピーする場合は〔両面〕を押します。画面を最初に表示したときは、手順3で選択した片面／両面設定の、コピー側の印刷面が反映されます。挿入紙印刷の設定で〔白紙〕を選択すると、自動的に〔片面〕が選択されます。

8 挿入ページを指定します。

→ 〔挿入ページ設定〕を押して、挿入ページ設定画面を表示します。



- 画面のテンキーで、挿入する箇所のページ番号を入力します。複数のページを指定する場合、ページ番号の間はカンマ（,）で区切ります。範囲を指定する場合は、ページ番号の間をハイフン（-）でつなぎます。カンマやハイフンを入れて、20文字まで入力できます。
- 数値は、小さい方から順に入力しなくても、自動的にページ順にソートされます。同じページは一度しか指定できません。
- 〔削除〕を押すと、カーソルの直前の1文字を削除します。〔クリア〕を押すと、入力した内容をすべて削除します。
- 給紙トレイとしてPIトレイを選択している場合は、挿入枚数を指定します。〔挿入枚数〕を押して、画面のテンキーで任意の枚数を入力します。40枚まで指定できます。



→ 設定が終わったら、〔確定〕を押します。挿入紙画面にもどります。

9 必要に応じて、挿入紙の設定を続けます。

画面の左上では、設定ボタンの「設定 002」が反転しています。設定を変えて、別種の挿入紙をつけることができます。100 種類まで設定できます。



→ 前の設定と同じページを指定した場合、設定番号の大きい方（後から設定した方）が優先されます。

→ 画面右上の「設定クリア」を押すと、反転している設定ボタンの内容がクリアされます。

→ すべての設定が終わったら、「OK」を押します。

インターシート画面にもどります。画面には、オモテ表紙、ウラ表紙、および挿入紙設定画面で設定した情報が表示されます。

10 設定を完了するときは、「OK」を押します。

設定を確定して、応用設定画面にもどります。

→ もとの設定にもどるときは、「キャンセル」を押します。

→ 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、「機能 OFF」を押します。

→ 設定したすべての情報をクリアするときは、「全設定クリア」を押します。

11 応用設定画面の「OK」を押して、コピー画面にもどります。

コピー画面の「応用設定」下に、インターシートのアイコンが表示されます。

12 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。

13 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。

14 操作パネルのスタートを押します。

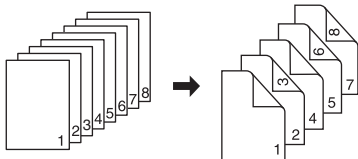
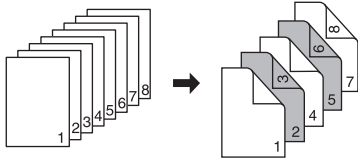
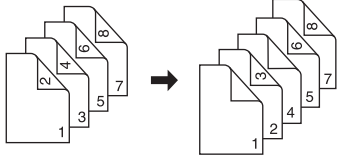
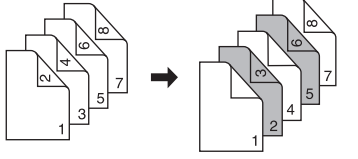
ウラ表紙をコピーしてつける場合は、原稿を一括して読んでから出力します。

→ コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。

7.3 章の先頭ページを必ずオモテにコピーする：章分け

両面コピーをするときに機能します。章の先頭ページが両面コピーのウラ面にくるとき、その前に白紙のページを挿入して、章が必ずオモテ面から始まるようにします。

例：章の先頭ページを [P. 2]、[P. 5] と指定したとき

選択項目	説明
片面 -> 両面	<p>片面原稿の 2 枚目および 5 枚目の前に白紙のページを挿入して、指定したページそれぞれをオモテ面にした両面コピーをつくります。</p> 
片面 -> 両面 + (印刷挿入)	<p>片面原稿の 2 枚目および 5 枚目の前に、白紙のページを挿入してオモテ面にした上で、それらのページを別のトレイの用紙にコピーして挿入します。</p> 
両面 -> 両面	<p>両面原稿のウラ面になっている 2 ページ目、および 5 ページ目の前に白紙のページを挿入して、指定したページそれぞれをオモテ面にした両面コピーをつくります。</p> 
両面 -> 両面 + (印刷挿入)	<p>両面原稿のウラ面になっている 2 ページ目、および 5 ページ目の前に、白紙のページを挿入してオモテ面にした上で、それらのページを別のトレイの用紙にコピーして挿入します。</p> 

- ✓ 原稿は ADF にセットします。原稿の枚数が 100 枚を超える場合は、[連続読み込み] を選択します。連続読み込みモードを併用すれば、原稿ガラスも使用できます。
- ✓ 章の先頭ページは、30 箇所まで設定できます。
- ✓ オモテ面にしたいページを、ほかのトレイの用紙にコピーするよう設定できます (印刷挿入)。
- ✓ スタンプ機能を併用すると、各ページのナンバリングに加えて、章ごとの章ナンバーをつけることができます。

- 1 原稿をセットします。
- 2 コピー画面の [応用設定] を押します。

3 応用設定画面の「章分け」を押します。



章分け画面が表示されます。

4 章の先頭ページを指定します。

- 操作パネルのテンキーを使って、章の先頭ページを入力してから、「設定」を押します。入力したページが確定して、次のボタンが反転します。
- 「削除」を押すと、反転しているボタンの数字が削除されます。
- 入力した数値が原稿のページ数より大きいときは、設定しても無効になります。
- 数値は、小さい方から順に入力しなくても、自動的にページ順にソートされます。同じページは一度しか指定できません。
- 章の先頭ページは、30箇所まで設定できます。16～30箇所目を表示するときは、「▼」を押します。



- 小冊子機能を併用するときは、画面右の「小冊子」を押します。設定のしかたについては、7-20ページをごらんください。小冊子画面の「OK」を押すと、章分け画面にもどります。



- 章の先頭ページを別のトレイの用紙にコピーして挿入するときは、[印刷挿入]を押します。現在選択されている挿入紙のトレイが表示されます。トレイを変更するときは、[挿入紙のトレイ変更]を押して、任意のトレイに切替えます。このとき、ポストインサーターのトレイは選択できません。

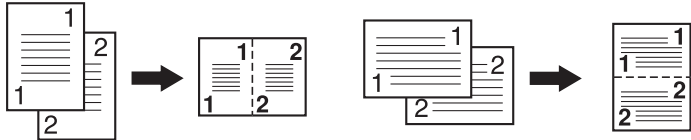
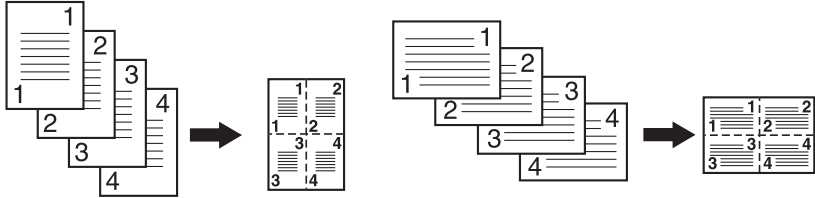
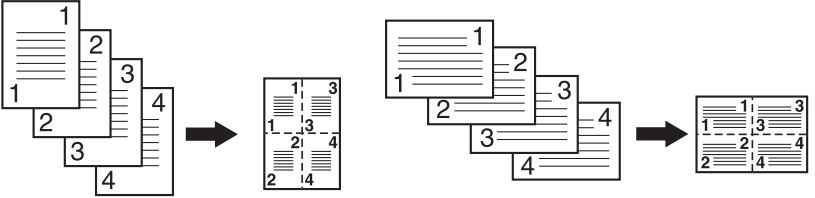
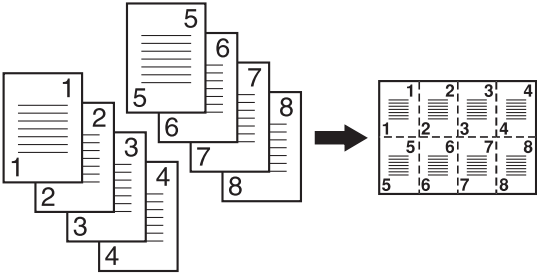
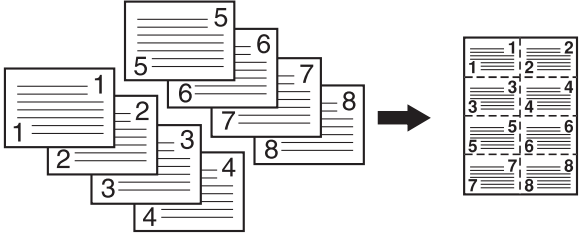


- 5 設定を完了するときは、[OK]を押します。
設定を確定して、応用設定画面にもどります。
→ もとの設定にもどるときは、[キャンセル]を押します。
→ 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、[機能 OFF]を押します。
- 6 応用設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。
コピー画面の [応用設定] 下に、章分けのアイコンが表示されます。
- 7 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
- 8 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 9 操作パネルのスタートを押します。
→ コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。

7.4 複数枚の原稿を 1 ページにコピーする：集約

複数枚（2 枚、4 枚、または 8 枚）の原稿を 1 ページに集約してコピーすることで、用紙の使用枚数を節約します。

集約には、下記の選択項目があります。原稿のセット方向の設定により、集約の開始位置が変わります。

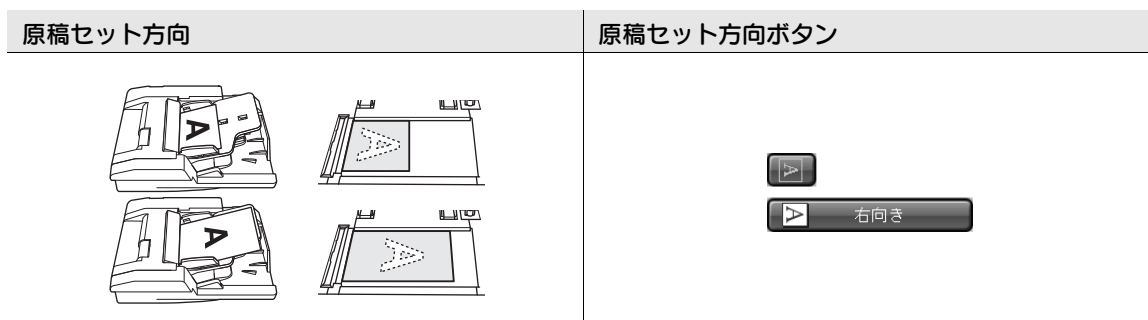
選択項目	説明
2 in 1	<p>2 枚の原稿画像を 1 枚の用紙にプリントします。 <ヨコ順></p> 
4 in 1	<p>4 枚の原稿画像を 1 枚の用紙にプリントします。 集約順（ヨコ順／タテ順）を指定できます。 <ヨコ順></p>  <p><タテ順></p> 
8 in 1	<p>8 枚の原稿画像を 1 枚の用紙にプリントします。 集約順（ヨコ順／タテ順）を指定できます。 <ヨコ順></p>  

選択項目	説明
8 in 1	<p><タテ順></p>

- ✓ 原稿は ADF にセットします。原稿の枚数が 100 枚を超える場合は、[連続読み] を選択します。
- ✓ 原稿を原稿ガラスにセットしたときは、連続読みモードが自動的に機能します。
- ✓ 自動倍率が自動的に設定されます。最初は、トレイ 1 にセットされている用紙のサイズにあわせて、倍率が自動的に選択されます（手動で変更できます）。

- 1 原稿をセットします。
- 2 セットした原稿の方向にあわせて、[原稿セット方向] を選択します。

原稿セット方向	原稿セット方向ボタン



3 コピー画面の「応用設定」を押します。

4 応用設定画面の「集約」を押します。



5 集約画面が表示されます。

→ セットした原稿の方向や集約順に注意して選択します。



6 設定を完了するときは、「OK」を押します。

設定を確定して、応用設定画面にもどります。

→ もとの設定にもどるときは、「キャンセル」を押します。

→ 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、「機能 OFF」を押します。

7 応用設定画面の「OK」を押して、コピー画面にもどります。

コピー画面の「応用設定」下に、集約のアイコンが表示されます。

- 8 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
→ 自動倍率が設定されています。用紙のサイズを変更したいときは、任意のトレイを選択します。
- 9 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 10 操作パネルのスタートを押します。
→ コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。

7.5 製本仕立てにコピーする：小冊子

複数枚の原稿を両面コピーして小冊子をつくる時、二つ折りにした週刊紙とじ、または無線とじの読取り順になるようにします。

左開き／右開きの選択ができます。

中とじ機 SD-510 を装着したフィニッシャー FS-532 を使用すると、中折り／中とじした小冊子をつくることができます。

週刊誌とじ：

選択項目	原稿	出力
カバー紙なし ＋ 左開き		
カバー紙あり (コピー) ＋ 左開き		
カバー紙あり (白紙) ＋ 左開き		
カバー紙なし ＋ 右開き		
カバー紙あり (コピー) ＋ 右開き		
カバー紙あり (白紙) ＋ 右開き		

無線とじ：

選択項目	原稿	出力
左開き		
右開き		

- ✓ 原稿は ADF にセットします。原稿の枚数が 100 枚を超える場合は、[連続読込み] を選択します。連続読込みモードを併用すれば、**原稿ガラス**も使用できます。
- ✓ 原稿の枚数は、片面 -> 両面コピーでは 4 の倍数、両面 -> 両面コピーでは 2 の倍数が基本です。たりない場合は、自動的に白紙のページを末尾に挿入します。

- ✓ カバー紙を本身と違う用紙にする場合は、同じサイズの用紙を別のトレイにセットします。カバー紙、本身用紙とも、**ポストインサーター**からは給紙できません。
 - ✓ 自動倍率が自動的に設定されます。
- 1 原稿をセットします。
 - 2 任意のトレイに用紙をセットします。
 - カバー紙のモードを選択する場合は、**ポストインサーター**以外のトレイに、本身と同じサイズのカバー紙をセットします。
 - 3 本身用紙、カバー紙の用紙条件を設定します。
 - 用紙条件の設定については、6-37 ページをごらんください。
 - 4 コピー画面の「応用設定」を押します。
 - 5 応用設定画面の「小冊子」を押します。



小冊子画面が表示されます。

- 6 任意のとりじ方法および開き方向を選択します。
 - 通常、横書き原稿の場合は「左開き」、縦書き原稿などの場合は「右開き」を選択します。



- 「カバー紙あり（コピー）」または「カバー紙あり（白紙）」を選択したときは、「カバー紙トレイ変更」を押して、手順 2 でカバー紙をセットした給紙トレイを選択します。



- 7 設定を完了するときは、[OK] を押します。
設定を確定して、応用設定画面にもどります。
→ もとの設定にもどすときは、[キャンセル] を押します。
→ 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、[機能 OFF] を押します。
- 8 応用設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。
コピー画面の [応用設定] 下に、小冊子のアイコンが表示されます。
- 9 手順 2 で本身用の用紙をセットしたトレイを選択します。
→ 最初、本身用の給紙トレイは自動的に選択されています。また、手順 6 で [カバー紙あり (コピー)] または [カバー紙あり (白紙)] を選択した場合、カバー紙のトレイと合わせて 2 つ選択されています。



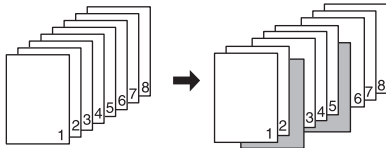
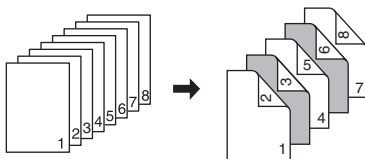
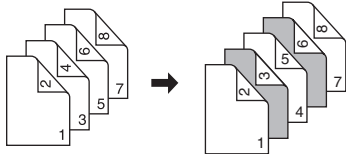
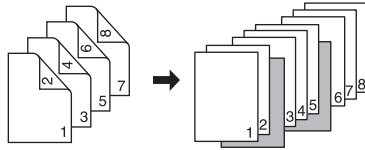
- 10 原稿の片面／両面を選択します。
→ 手順 1 でセットした原稿にあわせて、[片面 -> 両面] または [両面 -> 両面] を選択します。
- 11 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
→ 中折り／中とじした小冊子をつくる場合、とじしろの縮小シフトを併用すると、画像欠けを起こさずにコピーできます。詳しくは、7-55 ページをごらんください。
→ スタンプのナンバリングまたはページを、コピーの外側（右画像の右外、左画像の左外）に印字できます。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。
- 12 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 13 操作パネルのスタートを押します。
→ コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。

7.6 別の原稿を指定したページに差込む：差込みページ

ADF を使用してスキャンした原稿の任意の箇所に、後から原稿ガラスでスキャンした複数の画像を差込み、まとめて出力します。

差込みページでは、指定したページの後ろに差込み原稿の画像が挿入されます。

例：差込み箇所のページを [P. 2]、[P. 5] と指定したとき

選択項目	説明
片面 -> 片面	<p>片面原稿の 2 枚目および 5 枚目をスキャンした画像の後に、1 つずつ差込み原稿の画像を挿入して片面コピーをつくります。</p> 
片面 -> 両面	<p>片面原稿の 2 枚目および 5 枚目をスキャンした画像の後に、1 つずつ差込み原稿の画像を挿入して両面コピーをつくります。差込み画像は、両面コピーの 2 枚目のオモテ面、および 4 枚目のオモテ面に配置されます。</p> 
両面 -> 両面	<p>両面原稿の 2 ページ目および 5 ページ目をスキャンした画像の後に、1 つずつ差込み原稿の画像を挿入して両面コピーをつくります。差込み画像は、両面コピーの 2 枚目のオモテ面、および 4 枚目のオモテ面に配置されます。</p> 
両面 -> 片面	<p>両面原稿の 2 ページ目および 5 ページ目をスキャンした画像の後に、1 つずつ差込み原稿の画像を挿入して片面コピーをつくります。</p> 

✓ 画像を差込む箇所は、30 箇所まで設定できます。

✓ 連続読みモードが自動的に設定されます。

1 差込まれる側の原稿を、ADF にセットします。

→ 原稿は、ページ順に揃えてから、コピーする面（両面原稿の場合は 1 ページ目）を上にしてセットします。一度に 100 枚までセットできます。

→ 原稿の枚数が 100 枚を超える場合は、100 枚未満のブロックに分け、最初のページを含むブロックから順にスキャンします。

2 コピー画面の「応用設定」を押します。

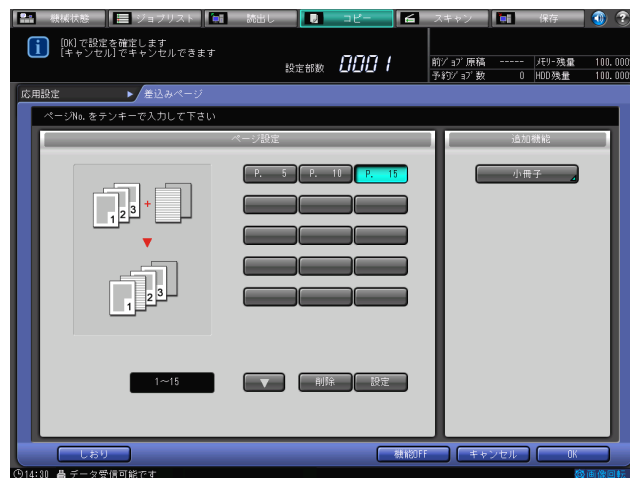
3 応用設定画面の「差込みページ」を押します。



差込みページ画面が表示されます。

4 画像を差込む箇所を指定します。

- 操作パネルのテンキーを使って、画像を差込む箇所のページ数を入力してから、「設定」を押します。入力したページが確定して、次のボタンが反転します。
- 「削除」を押すと、反転しているボタンの数字が削除されます。
- 入力した数値が原稿のページ数より大きいときは、コピーの最後に差込まれます。
- 数値は、小さい方から順に入力しなくても、自動的にページ順にソートされます。同じページ数を二度入力すると、その箇所に2ページ分差込まれます。
- 画像を差込む箇所は、30箇所まで設定できます。16～30箇所目を表示するときは、「▼」を押します。



- 小冊子機能を併用するときは、画面右の「小冊子」を押します。設定のしかたについては、7-20ページをごらんください。小冊子画面の「OK」を押すと、差込みページ画面にもどります。



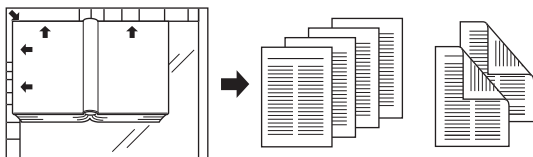
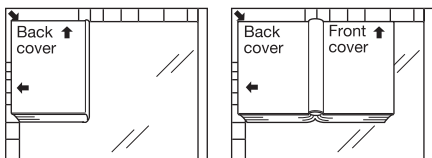
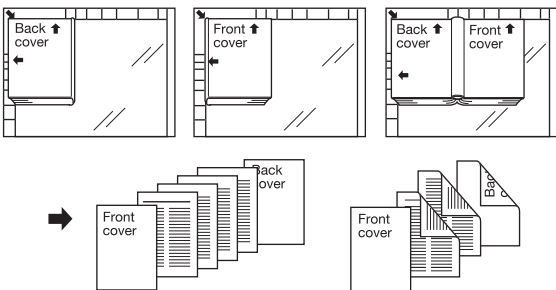
- 5 設定を完了するときは、[OK] を押します。
設定を確定して、応用設定画面にもどります。
→ もとの設定にもどるときは、[キャンセル] を押します。
→ 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、[機能 OFF] を押します。
- 6 応用設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。
コピー画面の [応用設定] 下に、差込みページのアイコンが表示されます。また、[連続読み込み] が自動的に選択されます。
- 7 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
- 8 操作パネルのスタートを押します。
→ コピー画面にもどらないとスキャンできません。必ずコピー画面を表示してください。
セットした原稿がスキャンされ、画像データがメモリーに蓄積されます。
- 9 差込む側の原稿を、**原稿ガラス**にセットします。
→ ADF を開いて、1 ページ目を下にしてセットしてから、ADF を静かに閉じます。
重要
原稿は、必ず最初のページから順にセットします。最後のページからセットすると、希望するコピーが得ることができません。
- 10 操作パネルのスタートを押します。
→ コピー画面にもどらないとスキャンできません。必ずコピー画面を表示してください。
→ 複数枚の原稿を差込む場合は、手順 9 から 10 の操作を繰り返して、すべての差込み原稿をスキャンします。
- 11 コピー画面の [連続読み込み] を押して、選択を解除します。
- 12 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 13 操作パネルのスタートを押します。
→ コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。

7.7 見開き原稿を左右1ページずつ分けてコピーする：ブック連写

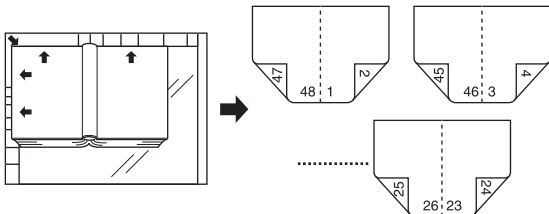
本やカタログなどの見開きの原稿を、左右1ページずつ別々にコピーします。一度のスキャンで、片面コピーの場合は2枚分、両面コピーの場合は表裏の1枚分になります。本のオモテ/ウラ表紙もいっしょにコピーする場合は、最初に表紙だけを2分割しないで読込んでから、見開きの本文を読込むことで、最後にすべてをページ順に出力します。

また、小冊子機能を併用すると、2ページ立ての見開き原稿から中とじ本のページ立てに、ページ順を変えて出力できます。

表紙の選択：コピーに表紙をつけるときは、表紙を先に読み込みます。

選択項目	説明
表紙なし	
オモテ表紙あり（左とじ）	<p>原稿は、オモテ表紙、見開きの本文の順に読み込みます。最初にオモテ表紙、次に分割コピーをページ順に出力します。</p> 
オモテ/ウラ表紙あり（左とじ）	<p>原稿は、オモテ表紙、ウラ表紙、見開きの本文の順に読み込みます。最初にオモテ表紙、次にページ順の分割コピー、最後にウラ表紙を出力します。</p> 

小冊子の併用：小冊子機能を併用して、中とじ本のページ立てに出力します。

選択項目	説明
表紙なし+小冊子（左開き）	

選択項目	説明
オモテ／ウラ表紙あり＋ 小冊子（左開き）	

ADFの使用：ADFを使用しても、見開きの原稿を分割コピーします。

選択項目	説明
左とじ	<p>見開き原稿を左、右の順に分割コピーします。</p>
右とじ	<p>見開き原稿を右、左の順に分割コピーします。</p>

- ✓ 原稿のとじ方向（左とじ／右とじ）を選択して、正しいページ順で出力します。
- ✓ 使用できる用紙サイズは、A4 □、B5 □、8.5 × 11 □の3種類です。
- ✓ 連続読み込みモードが自動的に設定されます。
- ✓ 自動倍率、自動用紙は併用できません。

1 原稿をセットします。

- 原稿ガラスを使用する場合は、オモテ表紙、または見開き本文の最初のページから、コピーする面を下にしてセットします。このとき、原稿外消去およびセンタリングが自動的に設定されます。スキャンの操作中、ADFは開けたままにします。
- ADFを使用する場合は、ページ順に揃えた原稿の1ページ目を上にしてセットします。一度に100枚までセットできます。原稿の枚数が100枚を超える場合は、100枚未満のブロックに分け、最初のページを含むブロックから順にスキャンします。

2 コピー画面の「応用設定」を押します。

3 応用設定画面の「ブック連写」を押します。



ブック連写画面が表示されます。





4 原稿のと同じ方向、および表紙の有無を選択します。

→ 通常、横書き原稿の場合は「左と同じ」、縦書き原稿などの場合は「右と同じ」を選択します。



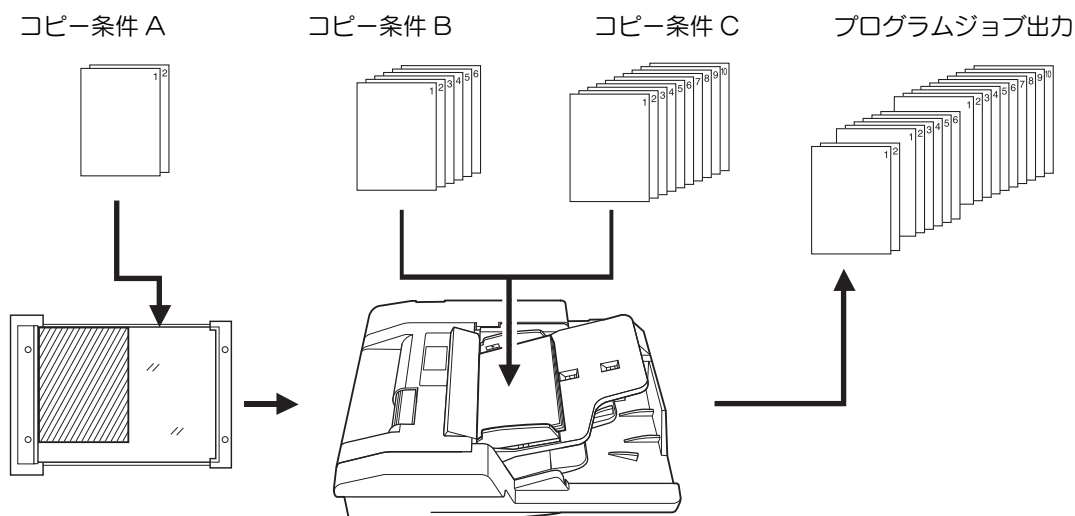
→ 小冊子機能を併用するときは、画面右の「小冊子」を押します。設定のしかたについては、7-20ページをごらんください。小冊子画面の「OK」を押すと、ブック連写画面にもどります。



- 5 設定を完了するときは、[OK] を押します。
設定を確定して、応用設定画面にもどります。
→ もとの設定にもどすときは、[キャンセル] を押します。
→ 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、[機能 OFF] を押します。
- 6 応用設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。
コピー画面の [応用設定] 下に、ブック連写のアイコンが表示されます。また、[連続読み込み] が自動的に選択されます。
- 7 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
→ トレイを選択します。使用できる用紙サイズは、A4 、B5 、8.5  × 11  の3種類です。
自動用紙および自動倍率は解除され、倍率は [等倍] に設定されます。
重要
出力設定の両面と同じ方向で、[上とじ] を選択しないでください。コピーの結果が思い通りにいかないことがあります。
- 8 操作パネルのスタートを押します。
→ コピー画面にもどらないとスキャンできません。必ずコピー画面を表示してください。
セットした原稿がスキャンされ、画像データがメモリーに蓄積されます。同様に、すべての原稿をスキャンします。
重要
原稿ガラスを使用する場合、原稿外消去およびセンタリングが自動的に設定されます。スキャンの操作中、ADF は必ず開けたままにしておいてください。
- 9 コピー画面の [連続読み込み] を押して、選択を解除します。
- 10 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 11 操作パネルのスタートを押します。
→ コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。

7.8 複数のジョブを一括出力する：プログラムジョブ

異なる設定で読込んだ複数のジョブを、1つのジョブとして出力します。



- ✓ 連続読み込みモードが自動的に設定されます。
- ✓ 部数および出力モードの設定は、ジョブごとに変更できません。最後に設定した内容が、すべてのジョブに適用されます。
- ✓ 用紙サイズは、最初のジョブで設定したサイズがすべてのジョブに適用されます。ただし、同じサイズであれば、給紙トレイは変更できます。
- ✓ プログラムジョブで、原稿を読み込む前にステابلモードを設定すると、ジョブごとに分けてステابلできます。
- ✓ 1つのジョブとして処理できるジョブ数は、最大 100 です。
- ✓ プログラムジョブを設定メモリーに書き込みできません。
- ✓ 2 ジョブ目以降に、スタンプ／オーバーレイのページ／章のスタート番号設定を使用できるように設定を変更できます。サービス実施店にお問い合わせください。

- 1 最初のジョブの原稿をセットします。
 - 2 コピー画面の「応用設定」を押します。
 - 3 応用設定画面の「プログラムジョブ」を押します。
- 併用できない機能のボタンがグレースアウトして、選択できなくなります。



- 4 応用設定画面の「OK」を押して、コピー画面にもどります。
コピー画面の「応用設定」下に、プログラムジョブのアイコンが表示されます。また、「連続読み込み」が自動的に選択されます。
- 5 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
 - ここで設定した用紙サイズが、以降のジョブすべてに適用されます。
 - ジョブごとに分けてステープルする場合は、ここでステープルモードを設定します。ステープルモードは、コピー画面の出力設定にあるステープル画面で設定します。
- 6 操作パネルのスタートを押して、原稿をスキャンします。
読み込みが終わると、その画像データをジョブとして確定するかどうかを確認するダイアログが表示されます。
- 7 「確定」を押します。
読み込んだ画像データを、設定したコピー条件で出力するジョブとして確定します。
 - ここで読み込みを終了する場合は、「確定&読み完了」を押します。「キャンセル」を押すと、読み込んだデータを削除して、ジョブをキャンセルします。

重要
すべてのジョブを読み込むまでは、「確定 & 読み完了」を押さないでください。



- 手順 5 でステープルモードを設定した場合は、ダイアログに「確定 & 束区切り」が表示されます。ジョブごとに分けてステープルする場合は、このボタンを押します。



- 8 次のジョブの原稿をセットします。
- 9 手順 5 ～ 8 を繰り返して、すべてのジョブの原稿をスキャンします。

- 10 すべてのジョブの読み込みが終わったら、[確定 & 読み完了] を押します。
連続読み込みモードが解除されます。



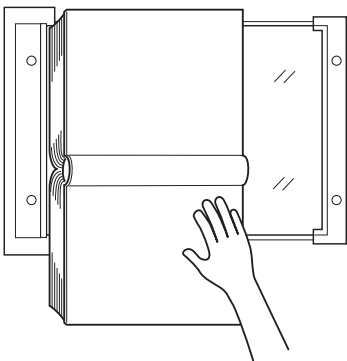
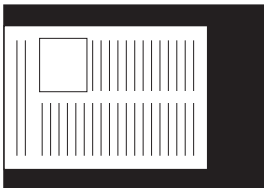
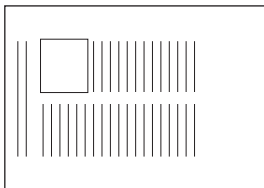
- 11 プログラムジョブ全体の出力モードを設定します。
- コピー画面の[出力設定]を押して、出力設定画面を表示します。任意の出力モードを設定します。ここで設定した出力モードが、すべてのジョブに適用されます。
 - 手順5でステープルモードを設定して、読み込みを終えるごとに束区切りを指定している場合は、この設定は必要ありません。



- 12 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
ここで設定した部数が、すべてのジョブに適用されます。
- 13 操作パネルのスタートを押します。
- コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。

7.9 原稿以外の部分を消去してコピーする：原稿外消去

原稿ガラスに置かれた原稿の大きさを検知して、原稿以外の部分を消去してコピーします。

原稿セット	出力	
	通常	原稿外消去
		

- ✓ 原稿は原稿ガラスにセットします。ADF は必ず開けたままにします。
- ✓ 原稿のサイズは、10 mm × 10 mm 以上の大きさが必要です。

- 1 原稿を原稿ガラスにセットして、ADF を開けたままにします。

重要

ADF を閉じないでください。

- 2 コピー画面の「応用設定」を押します。

- 3 応用設定画面の「原稿外消去」を押します。

併用できない機能のボタンにグレイアウトして、選択できなくなります。



- 4 応用設定画面の「OK」を押して、コピー画面にもどります。

コピー画面の「応用設定」下に、原稿外消去のアイコンが表示されます。
また、自動用紙および自動倍率は解除され、倍率は「等倍」に設定されます。

- 5 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。

→ 設定できるコピーモードは、「片面 → 片面」または「片面 → 両面」です。「片面 → 両面」を選択すると、連続読み込みモードが自動的に設定されます。

- 6 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。

7 操作パネルのスタートを押します。

→ コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。



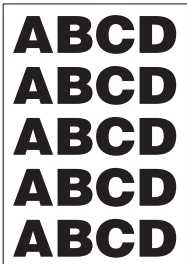
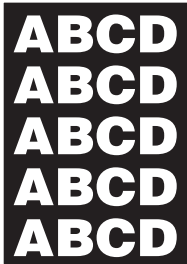
参照

室内の照明がじかに**原稿ガラス**に当たっていると、原稿外消去が正しく機能しないことがあります。このような場合は、機械の設置場所について、サービス実施店にお問い合わせください。

原稿の濃度レベルをマニュアル設定して、作業環境に合わせて原稿外消去を機能させるため、設定メニューの管理者設定で調整します。詳しくは、POD 管理者編の7章をごらんください。

7.10 白黒を反転してコピーする：ネガポジ反転

原稿の白い部分を黒く、黒い部分を白く反転してコピーします。

原稿	出力
	

- 1 原稿をセットします。
- 2 コピー画面の「応用設定」を押します。
- 3 応用設定画面の「ネガポジ反転」を押します。
併用できない機能のボタンがグレイアウトして、選択できなくなります。

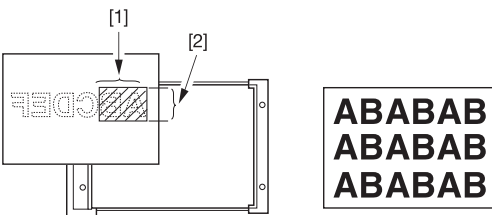
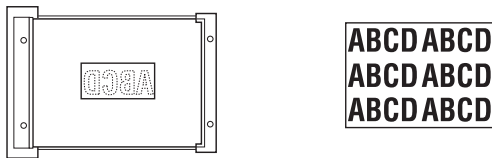


- 4 応用設定画面の「OK」を押して、コピー画面にもどります。
コピー画面の「応用設定」下に、ネガポジ反転のアイコンが表示されます。
- 5 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
- 6 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 7 操作パネルのスタートを押します。
→ コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。

7.11 1枚の用紙に1つの画像を繰返してコピーする：リピート

7.11.1 リピート回数を自動で設定する

指定した領域の画像を、1枚の用紙に繰返してコピーします。リピート回数は、用紙サイズと原稿の大きさで自動的に決まります。リピート回数を自動で設定するには、下記の「リピート範囲手動入力」または「自動検出」のいずれかを選択します。

選択項目	説明
リピート範囲手動入力	<p>任意の分割幅を指定して、原稿ガラスのその範囲に置かれた原稿の画像を、1枚の用紙に繰返してコピーします。</p>  <p>[1]：ヨコ分割幅 [2]：タテ分割幅</p>
自動検出	<p>原稿ガラスで検知した原稿の領域（空白部分も含む）を、1枚の用紙に繰返してコピーします。</p> 

- ✓ 原稿ガラスを使用します。ADF は使用できません。
- ✓ リピート範囲手動入力は、原稿の全画像ではなく、一部の画像を繰返しコピーするときに、その範囲を指定します。タテ、ヨコともに、10 mm ～ 150 mm の範囲で指定できます。
- ✓ 自動検出は、原稿外消去を併用して原稿サイズを検知します。ADF は開けたままにします。

1 原稿を原稿ガラスにセットします。

- リピート範囲手動入力を設定する場合は、コピーする面を下にして、原稿ガラスの左奥側を基点に設定した縦横の分割幅内に、画像がおさまるようにセットします。原稿がずれないように、ADF を静かに閉じます。
- 自動検出を設定する場合は、任意の大きさの原稿を、コピーする面を下にしてセットします。

重要

自動検出を選択した場合は、原稿外消去が自動的に設定されます。スキヤンの操作中、ADF は必ず開けたままにします。

2 コピー画面の「応用設定」を押します。

3 応用設定画面の「リピート」を押します。



リピート画面が表示されます。

4 リピート範囲手動入力、または自動検出を設定します。

→ リピート範囲手動入力を設定する場合は、[ズーム]を押します。[▼]または[▲]を押して、任意のタテ分割幅およびヨコ分割幅を指定します。



→ 画面のテンキーを使って入力する場合は、[テンキー入力]を押して、テンキー入力画面を表示します。

[(1) タテ] または [(2) ヨコ] を選択してから、画面のテンキーで任意の分割幅を入力します。[OK]を押すと、設定を確定してリピート画面にもどります。



→ 自動検出を設定する場合は、[自動] を押します。



- 5 設定を完了するときは、[OK] を押します。
設定を確定して、応用設定画面にもどります。
→ もとの設定にもどるときは、[キャンセル] を押します。
→ 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、[機能 OFF] を押します。
- 6 応用設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。
コピー画面の [応用設定] 下に、リピートのアイコンが表示されます。
また、自動用紙および自動倍率は解除され、倍率は [等倍] に設定されます。
- 7 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
→ 設定できるコピーモードは、[片面 -> 片面] または [片面 -> 両面] です。[片面 -> 両面] を選択すると、連続読み込みモードが自動的に設定されます。
- 8 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 9 操作パネルのスタートを押します。
→ コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。



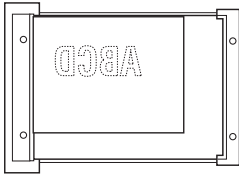
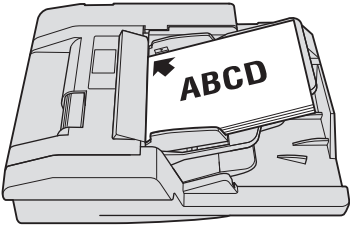
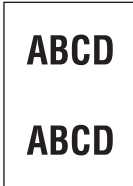



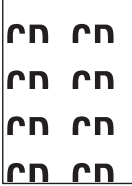
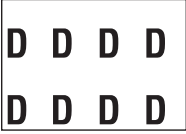
参照

室内の照明がじかに原稿ガラスに当たっていると、リピートの自動検出が正しく機能しないことがあります。このような場合は、機械の設置場所について、サービス実施店にお問い合わせください。

7.11.2 リピート回数を指定する：定形リピート

ある一定の範囲の画像を、指定した回数分繰返してコピーします。繰返される画像の領域は、指定した用紙のサイズおよびリピート回数（2リピート、4リピート、8リピート）によって決まります。

2リピートは、同じ方向に繰返したり、画像の反転を繰返したりして、コピーを断裁するときに断裁面を合わせることができます。

原稿セット	出力		
	2 リピート	4 リピート	8 リピート
 	 	 	 

- ✓ 繰返される画像の領域は、指定した用紙のサイズをリピート回数で分割した領域になります。
- ✓ 自動倍率が自動的に設定されます。倍率を変えることはできますが、自動画像回転機能は使用できません。原稿の読取り範囲は、指定した用紙のサイズをリピート回数分、等分した範囲になります。
- ✓ 2リピートを選択したときは、繰返す画像の方向を指定できます。

- 1 原稿をセットします。
 - ADFまたは原稿ガラスのどちらにも、原稿をセットできます。原稿の読取り範囲は、指定した用紙のサイズ、用紙の向き、リピート数によって変わります。
 - 原稿の読取り範囲と用紙の向きについては、7-41 ページをごらんください。
- 2 コピー画面の「応用設定」を押します。
- 3 応用設定画面の「リピート」を押します。



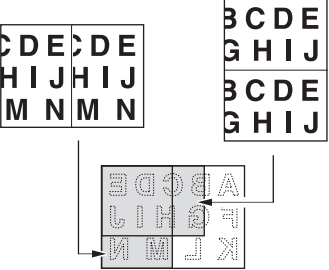
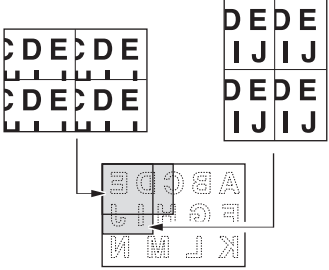
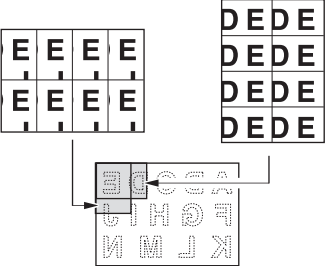
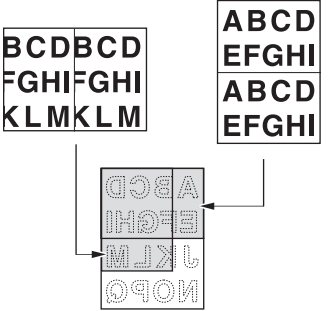
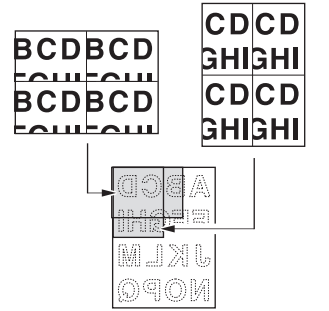
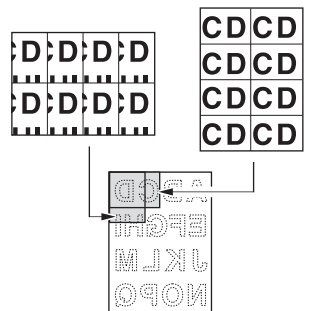
リピート画面が表示されます。

- 4 任意の定形リピートモードを選択します。
 - [2 リピート]、[4 リピート]、または [8 リピート] を押します。
 - 2 リピートの場合、通常のほかに 2 つ、繰返す画像の方向を指定できます。




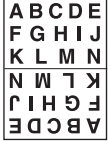

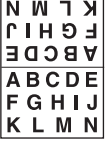



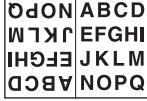
- 5 設定を完了するときは、[OK] を押します。
設定を確定して、応用設定画面にもどります。
 - もとの設定にもどるときは、[キャンセル] を押します。
 - 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、[機能 OFF] を押します。
- 6 応用設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。
コピー画面の [応用設定] 下に、リピートのアイコンが表示されます。
また、自動用紙および自動画像回転は解除され、自動倍率が選択されます。
- 7 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
 - 自動倍率が設定されているので、任意のトレイを選択して、用紙のサイズを指定します。
- 8 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 9 操作パネルのスタートを押します。
 - コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。

原稿の読取り範囲と用紙の向き

2 リピート		4 リピート		8 リピート	
ランドスケープ の用紙選択	ポートレート の用紙選択	ランドスケープ の用紙選択	ポートレート の用紙選択	ランドスケープ の用紙選択	ポートレート の用紙選択
					
ランドスケープ原稿のリピート 画像		ランドスケープ原稿のリピート 画像		ランドスケープ原稿のリピート 画像	
ランドスケープ の用紙選択	ポートレート の用紙選択	ランドスケープ の用紙選択	ポートレート の用紙選択	ランドスケープ の用紙選択	ポートレート の用紙選択
					
ポートレート原稿のリピート 画像		ポートレート原稿のリピート 画像		ポートレート原稿のリピート 画像	

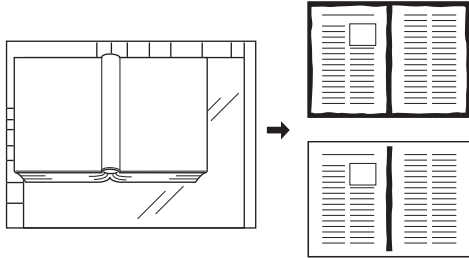
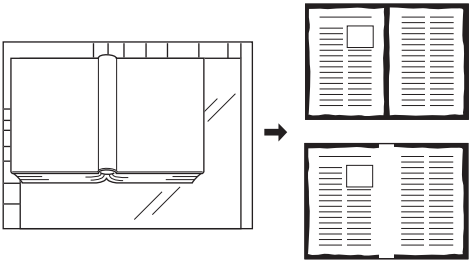
定形リピートの 2 リピートー出力画像の方向指定

定形リピートの 2 リピートで [右／下反転]、[左／上反転] を選択すると、次のような画像が得られます。
出力画像を 2 つに断裁するとき、断裁面が一定方向になります。

定形リピートの 2 リピート：[右／下反転]		定形リピートの 2 リピート：[左／上反転]	
ランドスケープ原稿	リピート画像	ランドスケープ原稿	リピート画像
			
ポートレート原稿	リピート画像	ポートレート原稿	リピート画像
			

7.12 本の周囲や綴じ部分の黒い影を消す：枠／折り目消し

本など、厚みがある原稿を原稿ガラスにセットしてコピーすると、周囲や中央部に黒い影ができることがあります。枠／折り目消しは、黒い影を消してコピーしたり、トナーの消費をおさえたりします。

選択項目	説明
枠消し	<p>コピー画像の周囲にできる黒い影をつくらず、コピーします。</p> 
折り目消し	<p>コピー画像の中央部にできる黒い影をつくらず、コピーします。</p> 

- ✓ 枠消し幅は 1 mm ～ 300 mm、折り目消し幅は 1 mm ～ 99 mm の範囲を、1 mm 単位で設定できます。
- ✓ 枠消しおよび折り目消しは、それぞれ単独でも、組合わせても設定できます。
- ✓ 枠消しには、用紙の上下左右すべてを同じ幅で消去する【一括枠消し】と、各辺で幅を設定する【個別枠消し】とがあります。

1 原稿をセットします。

→ ADF または原稿ガラスのどちらにも、原稿をセットできます。

重要

厚みのある原稿を原稿ガラスにセットするとき、ADF で上から強く押さえないでください。また、ADF を閉じると原稿が曲がる場合は、開けたままにしてください。

2 コピー画面の「応用設定」を押します。

3 応用設定画面の「枠／折り目消し」を押します。



枠／折り目消し画面が表示されます。

4 任意の枠消しモード、または「折り目消し」を選択します。

→ 枠消しと折目消しを併用できます。



5 消し幅を設定します。

「一括枠消し」を選択したとき：「消し幅設定」下の数値は、すべて反転します。

→ 画面のテンキー、[▼]、または[▲]を押して、任意の消し幅を入力します。

→ 「折り目消し」が同時に選択されている場合は、「消し幅設定」下の「枠消し」を選択してから画像消し量を入力します。



「個別枠消し」を選択したとき：

→ 「消し幅設定」下のボタンで、設定する辺を選択してから、画面のテンキー、[▼]、または[▲]を押して、それぞれの消し幅を入力します。

→ 「折り目消し」が同時に選択されている場合は、「消し幅設定」下の「枠消し」を選択してから、それぞれの消し幅を入力します。



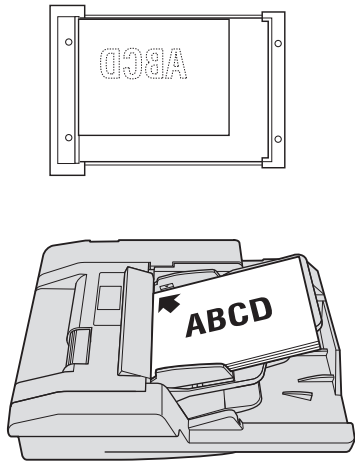

- 〔折り目消し〕を選択したとき：〔消し幅設定〕下の、折り目消し幅の数値が反転します。
- 画面のテンキー、〔▼〕、または〔▲〕を押して、任意の消し幅を入力します。
 - 〔枠消し〕が同時に選択されている場合は、〔消し幅設定〕下の〔折り目消し〕を選択してから画像消し量を入力します。



- 6 設定を完了するときは、〔OK〕を押します。
 - もとの設定にもどすときは〔キャンセル〕を押します。
 - 設定した情報を残しながら枠／折り目消し機能を OFF にするときは、〔機能 OFF〕を押します。
- 7 応用設定画面の〔OK〕を押して、コピー画面にもどります。
コピー画面の〔応用設定〕下に、枠／折り目消しのアイコンが表示されます。
- 8 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
- 9 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 10 操作パネルのスタートを押します。
 - コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。

7.13 画像を用紙の中央にコピーする：センタリング

原稿の画像が用紙の中央にくるように、位置を補正してコピーします。

原稿セット	出力
	

- ✓ 原稿外消去が自動的に設定されます。ADF を使用する場合は、この機能を解除してください。
- ✓ ブック連写と併用する場合、ブック連写の原稿が用紙よりも小さいときは、その用紙の中央にコピーします。

- 1 原稿をセットします。
→ ADF または原稿ガラスのどちらにも、原稿をセットできます。
- 2 コピー画面の「応用設定」を押します。
- 3 応用設定画面の「センタリング」を押します。
併用できない機能のボタンがグレイアウトして、選択できなくなります。



- 4 応用設定画面の「OK」を押して、コピー画面にもどります。



コピー画面の「応用設定」下に、原稿外消去およびセンタリングのアイコンが表示されます。また、自動用紙および自動倍率は解除され、倍率は「等倍」に設定されます。

- 5 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
- 設定できるコピーモードは、「片面 -> 片面」または「片面 -> 両面」です。「片面 -> 両面」を選択すると、連続読み込みモードが自動的に設定されます。
- 6 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 7 操作パネルのスタートを押します。
- コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。



参照

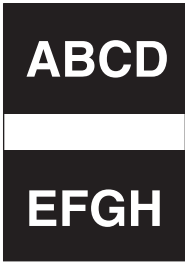

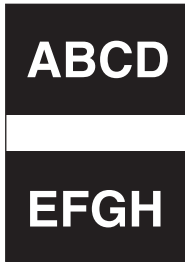
室内の照明がじかに**原稿ガラス**に当たっていると、センタリングが正しく機能しないことがあります。このような場合は、機械の設置場所について、サービス実施店にお問い合わせください。

7.14 用紙いっぱいの大きさにコピーする：全面画像

通常は、用紙サイズに対して先端約 3 mm、後端表面約 2 mm、後端裏面約 2 mm、左端／右端に約 2 mm ずつの画像消しを行ってコピーしています。

全面画像の機能を使用すると、上記の画像消しを行わずに、用紙ぎりぎりまで画像をコピーします。

ワイド紙にコピーしたり、A4 原稿を B4 でコピーしたりするなど、一回り大きいサイズの用紙全面にコピーするときに使います。

原稿	出力	
	通常	全面画像
		

- 1 原稿をセットします。
→ ADF または原稿ガラスのどちらにも、原稿をセットできます。
- 2 コピー画面の「応用設定」を押します。



- 3 応用設定画面の「全面画像」を押します。
併用できない機能のボタンがグレイアウトして、選択できなくなります。

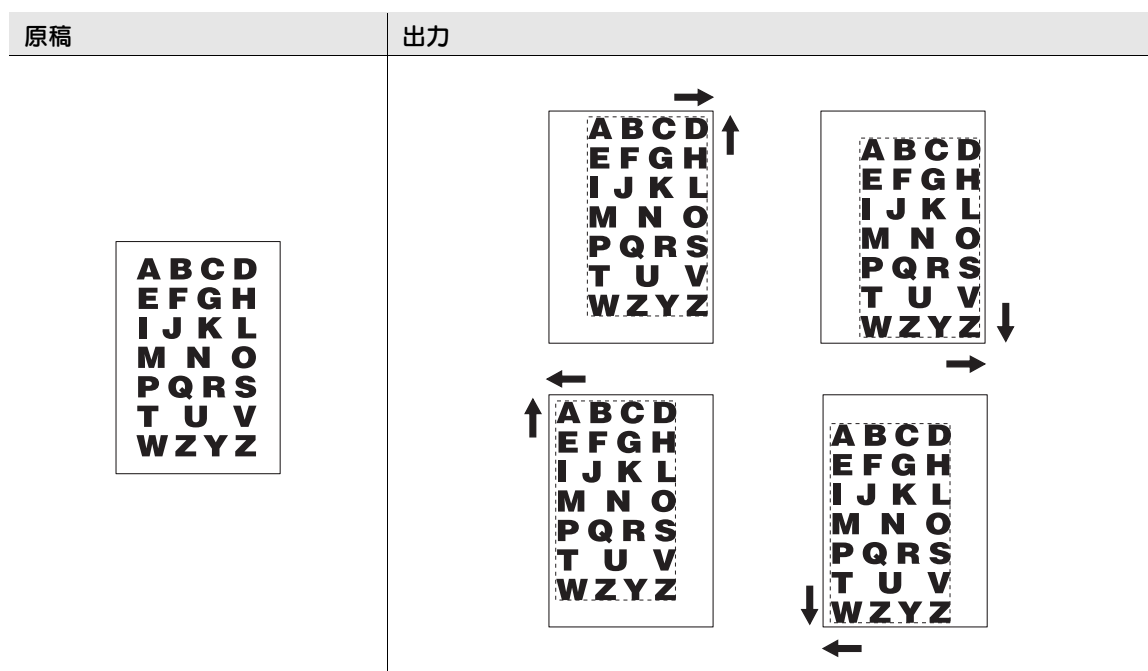


- 4 応用設定画面の「OK」を押して、コピー画面にもどります。
コピー画面の「応用設定」下に、「全面画像」のアイコンが表示されます。
- 5 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
- 6 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 7 操作パネルのスタートを押します。
→ コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。

7.15 コピー画像の位置を調整する：とじしろ（シフト）

スキャンした画像の位置を任意に動かして、コピーにとじしろをつくったり、両面コピーをとるときにオモテ／ウラの画像のズレを調整したりします。

また、1枚の用紙に2つの画像をコピーする、小冊子や定形リピートモードの[2 リピート]を設定していると、2つの画像の間隔を任意に調整できます（ページ間隔）。



参照

とじしろをつくると画像欠けを起こすような原稿の場合は、7-55 ページの「縮小シフト」をごらんください。

とじしろの各設定値を、0.1 mm 単位で微調整できます。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

- ✓ 上下方向 [上へ]、[下へ] および左右方向 [右へ]、[左へ] にシフトできます。
- ✓ シフト量は、0 ～ 250 mm の範囲で入力します。
- ✓ ページ間隔を設定するには、あらかじめ小冊子またはリピートの [2 リピート] を設定します。また、外側オフセットを設定するには、あらかじめ小冊子（無線とじを除く）を設定します。
- ✓ ページ間隔の設定値は、－ 250 mm ～ 250 mm の範囲で入力します。外側オフセットの設定値は、0 mm ～ 50 mm の範囲で入力します。

- 1 原稿をセットします。
- 2 コピー画面を表示して、[片面／両面] 下の任意のコピーモードを選択します。



- 3 コピー画面の「応用設定」を押します。
- 4 応用設定画面の「とじしろ」を押します。



とじしろ画面が表示されます。

- 5 「シフト」を押します。



- 6 画像の位置を調整する面を選択します。
 - 「画像面」下の「オモテ面」、[ウラ面]、または「両面」を押します。
 - 片面コピーのときは、オモテ面の設定だけが有効になります。両面コピーのとき、オモテ面とウラ面のシフト量を同じにする場合は、「両面」を選択します。



- 7 シフト方向およびシフト量を設定します。
 - 任意のシフト方向ボタンを選択してから、画面のテンキー、操作パネルのテンキー [▼]、または [▲] を押して、シフト量を入力します。
 - シフト量は、0 mm ~ 250 mm の範囲で入力します。
 - シフト方向は、コピー画面の [原稿セット方向] を基準に設定します。



- 8 ページ間隔を設定するときは、[ページ間隔] を選択して、数値を入力します。
 - [ページ間隔] は、あらかじめ小冊子またはリピートの [2 リピート] を設定していると表示されます。
 - ページ間隔の設定値は、- 250 mm ~ 250 mm の範囲で入力します。任意の数値を入力してから、[+ <-> -] を押して、調整値の+-を選択します。




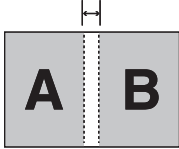

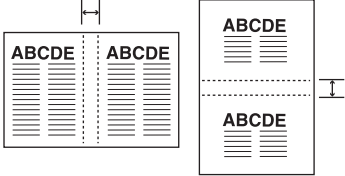
- 9 外側オフセットを設定するときは、[外側オフセット] を選択して、数値を入力します。
 - [外側オフセット] は、あらかじめ小冊子（無線とじを除く）を設定していると表示されます。
 - 外側オフセットの設定値は、0 mm ~ 50 mm の範囲で入力します。
- 10 設定を完了するときは、[OK] を押します。
 - もとの設定にもどすときは、[キャンセル] を押します。
 - 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、[機能 OFF] を押します。
- 11 応用設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。
コピー画面の [応用設定] 下に、とじしろのアイコンが表示されます。
- 12 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
- 13 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。

14 操作パネルのスタートを押します。

→ コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。

ページ間隔とは？

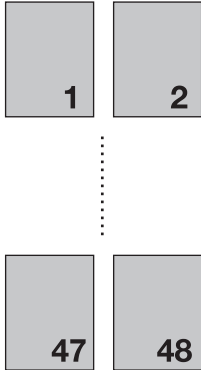
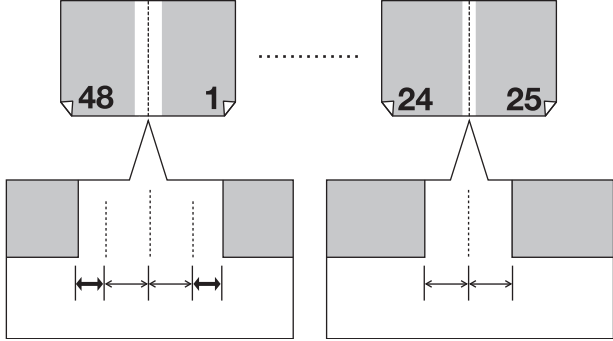
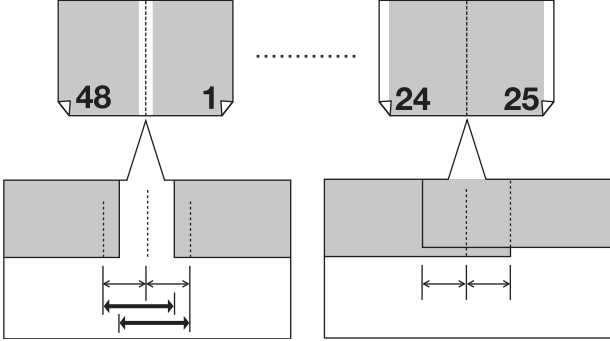
ページ間隔は、小冊子またはリピートの2リピートモードを選択したときに設定できます。出力紙の中央を基準に、左右のページを設定値分だけ離してコピーします。

小冊子	ページ間隔
	
リピートの2リピート	ページ間隔
	

外側オフセットとは？

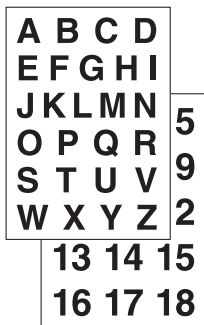
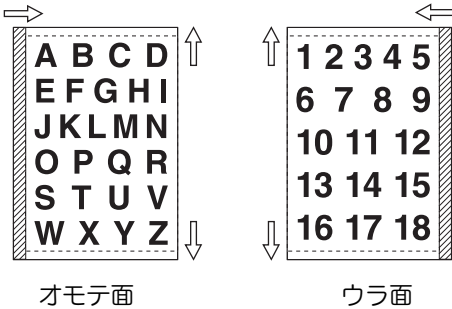
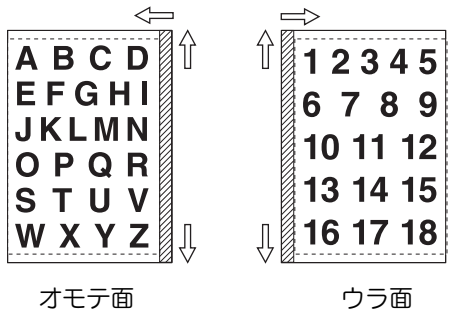
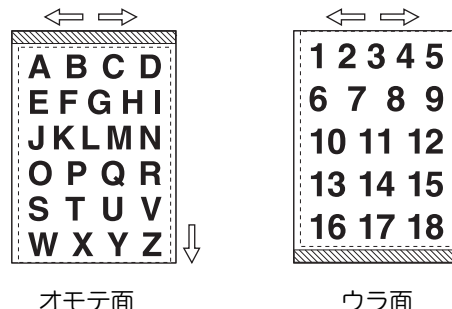
外側オフセットは、無線とじを除く小冊子を選択したときに設定できます。重ね中折り／中とじの小冊子本を断裁する場合、断裁面から画像端までの余白が外側と内側で異なることがあります。このような場合、ページ間隔と併用することで、余白を均一にできます。

もっとも外側になる画像に対するページ間隔を、もっとも内側になる画像に対する外側オフセット量として入力します。

原稿	出力
	<p>外側オフセット： ↔ ページ間隔（+）： ↔</p> 
	<p>外側オフセット： ↔ ページ間隔（-）： ↔</p> 

7.16 画像欠けを起こさずにとじしろをつける：とじしろ（縮小シフト）

シフトして画像欠けを起こす原稿のコピー画像を縮小して、シフトしても画像欠けを起こさないようにします。縮小率は、オモテ面の右方向のシフト量で決まります。

原稿	出力
オモテ面  ウラ面	左とじのとじしろ  オモテ面 ウラ面
	右とじのとじしろ  オモテ面 ウラ面
	上とじのとじしろ  オモテ面 ウラ面

参照

とじしろの各設定値を、0.1 mm 単位で微調整できます。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

- ✓ 片面コピーの場合、縮小率はオモテ面の右方向のシフト量で決まります。上／下方向のシフト量の設定では、縮小率は変わりません。また、ウラ面のとじしろ範囲（シフト方向／シフト量）は、設定しても機能しません。
- ✓ 両面コピーの場合、縮小率はオモテ面の右方向のシフト量で決まります。オモテ面とウラ面のとじしろ範囲（シフト方向／シフト量）は個別に設定できますが、縮小率はオモテ面、ウラ面とも同じになります。
- ✓ シフト量は、0 ～ 250 mm の範囲を 1 mm 単位で入力します。

- 1 原稿をセットします。
- 2 コピー画面を表示して、[片面／両面] 下の任意のコピーモードを選択します。



- 3 [応用設定] を押します。
- 4 応用設定画面の[とじしろ]を押します。



とじしろ画面が表示されます。

- 5 [縮小シフト] の[オモテ面]を選択します。
→ [とじしろ設定] 下の[縮小シフト]、および[画像面] 下の[オモテ面]を押します。



- 6 右方向のシフト量を設定します。
- [とじしろ範囲設定] 下の [右へ] を押してから、画面のテンキー、[▼]、または [▲] を押して、シフト量を入力します。このとき、縮小率が自動的に設定されます。
 - [オモテ面] で設定できる左右方向は、[右へ] だけです。とじしろを右につける場合は、コピー画面で [原稿セット方向] を変更します。

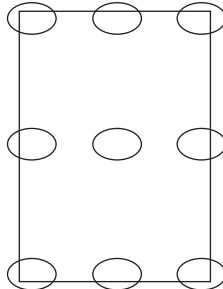
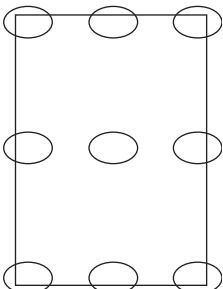
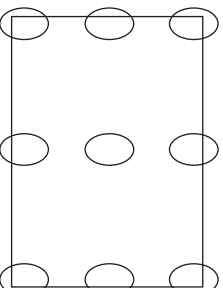
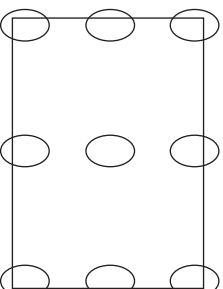


- 7 右方向以外のとじしろ範囲（シフト方向／シフト量）を設定します。
- 片面コピーの場合は、必要に応じて [上へ] または [下へ] を押してから、画面のテンキー、[▼]、または [▲] を押して、シフト量を入力します。[ウラ面] を設定する必要はありません。設定しても機能しません。
 - 両面コピーの場合、[ウラ面] のとじしろ範囲は通常 [オモテ面] と同じにしますが、[オモテ面] と違う設定もできます。
- 8 設定を完了するときは、[OK] を押します。
- もとの設定にもどすときは、[キャンセル] を押します。
 - 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、[機能 OFF] を押します。
- 9 応用設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。
- コピー画面の [応用設定] 下に、とじしろのアイコンが表示されます。
- 10 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
- 11 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 12 操作パネルのスタートを押します。
- コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。

7.17 原稿にない情報を印字してコピーする：スタンプ

原稿にない文字やページ数、日付などの情報をコピーに印字します。

スタンプには下記の種類があります。

選択項目	説明
定型スタンプ	<p>指定した位置に、定型の文字列を印字します。</p> <div> <div> <div>至急</div> <div>社外秘</div> <div>重要</div> </div> <div>  </div> </div>
ナンバリング	<p>指定した位置に、ナンバリング（通し番号）を印字します。</p> <div> <div> <div>0002 / 0005</div> </div> <div>  </div> </div>
ページ	<p>指定した位置に、ページ番号を印字します。</p> <div> <div> <div>P1</div> <div>1-1</div> <div>1/5</div> </div> <div>  </div> </div>
日付／時刻	<p>指定した位置に、日付や時刻を印字します。</p> <div> <div> <div>'11/5/5 1:23PM</div> </div> <div>  </div> </div>

選択項目	説明		
ウォーターマーク	<p>コピー画像の中心に、淡色の文字列を印字します。</p> <div><div>A</div><div>複製厳禁</div><div>Z</div></div>		
ウォーターマーク ナンバリング	<p>ページの全面に、淡色のナンバリング（通し番号）を印字します。</p> <div><div>A</div><div>0001/0100</div><div>0001/0100 0001/0100</div><div>0001/0100</div><div>0001/0100 0001/0100</div><div>Z</div></div>		
コピープロテクト	<p>コピープロテクト処理してプリントした出力紙を原稿としてをコピーしたとき、コピー画像といっしょに淡いグレーの文字列と背景がつきます。コピー画像につく文字列は 4 種類、背景は 3 種類あり、1 つずつ選択して組み合わせます。</p>		
	文字：コピー 背景：桜	文字：無効 背景：唐草	文字：取扱注意 背景：格子
	<div><div>ビー コピー</div><div> コピー</div><div>ビー コピー</div><div> コピー</div><div>ビー コピー</div><div> コピー</div><div>ビー コピー</div><div> コピー</div></div> <div></div>	<div><div>無効 無効</div><div> 無効 無効</div><div>無効 無効</div><div> 無効 無効</div><div>無効 無効</div><div> 無効 無効</div><div>無効 無効</div><div> 無効 無効</div></div> <div></div>	<div><div>取扱注意 取扱注意</div><div> 取扱注意</div><div>取扱注意 取扱注意</div><div> 取扱注意</div><div>取扱注意 取扱注意</div><div> 取扱注意</div><div>取扱注意 取扱注意</div><div> 取扱注意</div></div> <div></div>

それぞれの設定内容や手順は、以降の説明をごらんください。また、コピープロテクト以外の設定には、下記の詳細設定があります。詳しくは、7-71 ページをごらんください。

- 印字位置の微調整
- ナンバリングの文字サイズの変更
- ナンバリングのスタート番号の設定
- ページの表紙／挿入紙の変更
- ページおよび日付／時刻の文字の変更
- 日付／時刻の変更
- ページ／章のスタート番号の設定

7.17.1 定型のスタンプを印字する：定型スタンプ

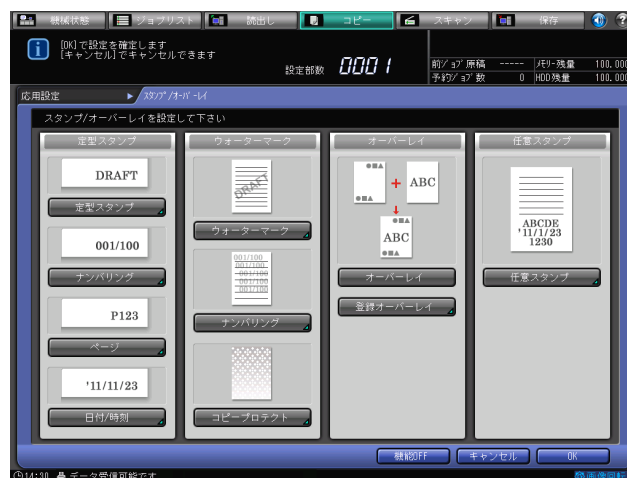
指定した位置に、定型の文字列を印字します。

- 1 原稿をセットします。
- 2 コピー画面の「応用設定」を押します。
- 3 応用設定画面の「スタンプ/オーバーレイ」を押します。



スタンプ/オーバーレイ画面が表示されます。

- 4 「定型スタンプ」を押します。



定型スタンプ画面が表示されます。

- 5 スタンプの種類、文字サイズ、印字ページ、および印字位置を指定します。

選択項目	説明
「スタンプ種類」	12 種類のスタンプのうち、1 つを選択します。
「文字サイズ変更」	「大きめ」または「小さめ」を選択します。
「印字ページ変更」	「表紙のみ」または「全ページ」を選択します。
「印字位置設定」	「印字位置設定」下の 9 つの印字位置のうち、1 つを選択します。印字位置の微調整を行う場合は、「位置の微調整」を押します。

→ 印字位置の微調整については、7-71 ページをごらんください。



- 6 設定を完了するときは、[OK] を 2 回押します。
 - もとの設定にもどすときは、[キャンセル] を押します。
 - 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、[機能 OFF] を押します。
- 7 応用設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。
コピー画面の [応用設定] 下に、スタンプ／オーバーレイのアイコンが表示されます。
- 8 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
- 9 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 10 操作パネルのスタートを押します。
 - コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。

7.17.2 管理用の通し番号を印字する：ナンバリング

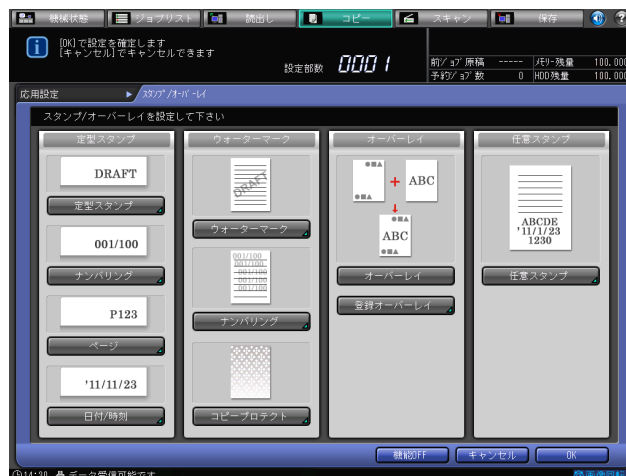
指定した位置に、ナンバリング（通し番号）を印字します。

- 1 原稿をセットします。
- 2 コピー画面の [応用設定] を押します。
- 3 応用設定画面の [スタンプ／オーバーレイ] を押します。



スタンプ／オーバーレイ画面が表示されます。

4 [ナンバリング] を押します。



スタンプ/ナンバリング画面が表示されます。

5 ナンバリングのフォーマット、文字サイズ、印字ページ、スタート番号、および印字位置を指定します。

選択項目	説明
[フォーマット]	4 種類のフォーマットのうち、1 つを選択します。
[文字サイズ変更]	任意の文字サイズを選択します。
[印字ページ変更]	[表紙のみ] または [全ページ] を選択します。
[スタート番号]	印字を開始するページのスタート番号を指定します。
[印字位置設定]	[印字位置設定] 下の 9 つの印字位置のうち、1 つを選択します。印字位置の微調整を行う場合は、[位置の微調整] を押します。

→ 印字位置の微調整、文字サイズの変更、およびスタート番号の設定については、7-71 ページをご覧ください。



6 設定を完了するときは、[OK] を 2 回押します。

- もとの設定にもどすときは、[キャンセル] を押します。
- 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、[機能 OFF] を押します。

7 応用設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。

コピー画面の [応用設定] 下に、スタンプ/オーバーレイのアイコンが表示されます。

8 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。

- 9 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 10 操作パネルのスタートを押します。
→ コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。

7.17.3 ページ番号を印字する：ページ

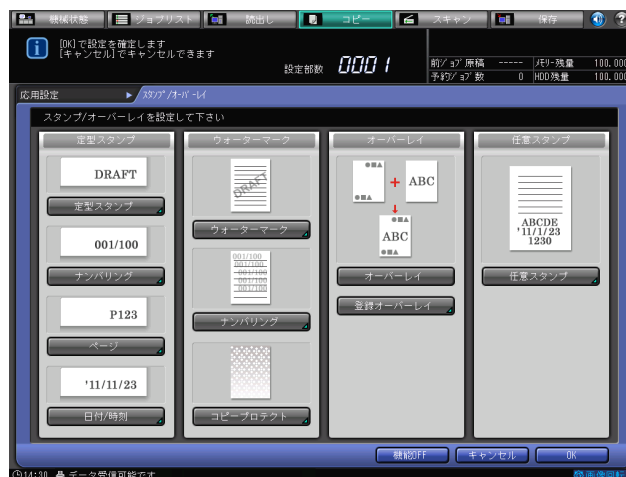
指定した位置に、ページ番号を印字します。

- 1 原稿をセットします。
- 2 コピー画面の「応用設定」を押します。
- 3 応用設定画面の「スタンプ／オーバーレイ」を押します。



スタンプ／オーバーレイ画面が表示されます。

- 4 「ページ」を押します。



ページ画面が表示されます。

- 5 ページ番号のフォーマット、表紙／挿入紙や章の先頭ページへの印字、文字のサイズや種類、ページや章のスタート番号、および印字位置を指定します。

選択項目	説明
[フォーマット]	5 種類のフォーマットのうち、1 つを選択します。
[表紙／挿入紙変更]	表紙や挿入紙に印字するかどうかを選択します。
[章先頭印字変更]	章の先頭ページに印字するかどうかを選択します。
[文字変更]	任意の文字サイズおよび文字種類を選択します。
[ページ／章変更]	印字を開始するページ番号、および印字の開始ページ／最終ページを指定します。また、章分けを併用している場合は、章のスタート番号や印字の開始章／最終章も指定できます。
[印字位置設定]	[印字位置設定] 下の 9 つの印字位置のうち、1 つを選択します。印字位置の微調整を行う場合は、[位置の微調整] を押します。

→ 印字位置の微調整、表紙／挿入紙への印字、印字の開始ページ設定、および文字の変更については、7-71 ページをご覧ください。



- 6 設定を完了するときは、[OK] を 2 回押します。
- もとの設定にもどすときは、[キャンセル] を押します。
- 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、[機能 OFF] を押します。
- 7 応用設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。
コピー画面の [応用設定] 下に、スタンプ／オーバーレイのアイコンが表示されます。
- 8 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
- 9 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 10 操作パネルのスタートを押します。
→ コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。

7.17.4 日付や時刻を印字する：日付／時刻

指定した位置に、日付や時刻を印字します。

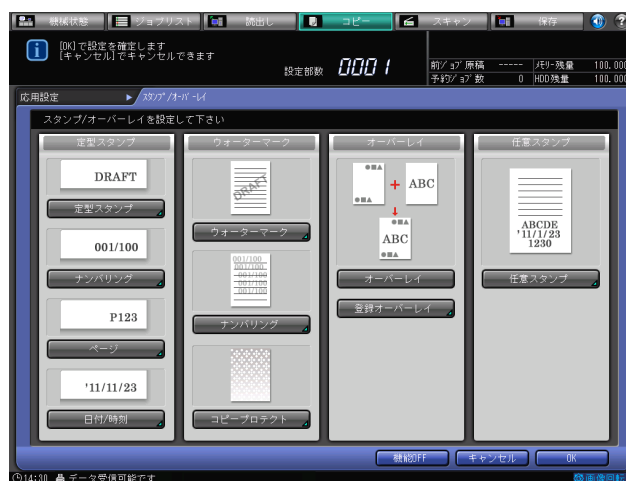
- 1 原稿をセットします。
- 2 コピー画面の [応用設定] を押します。

3 応用設定画面の「スタンプ／オーバーレイ」を押します。



スタンプ／オーバーレイ画面が表示されます。

4 「日付／時刻」を押します。



日付／時刻画面が表示されます。

5 日付および時刻のフォーマット、文字のサイズや種類、印字ページ、印字する日付／時刻、および印字位置を指定します。

選択項目	説明
〔フォーマット〕	5 種類の日付フォーマット、および 3 種類の時刻フォーマットから、それぞれ 1 つを選択します。
〔文字変更〕	任意の文字サイズおよび文字種類を選択します。
〔印字ページ変更〕	〔表紙のみ〕 または 〔全ページ〕 を選択します。
〔日付／時刻変更〕	印字する日付／時刻を、機械に設定されている現在時刻から任意に変更します。
〔印字位置設定〕	〔印字位置設定〕 下の 9 つの印字位置のうち、1 つを選択します。 印字位置の微調整を行う場合は、〔位置の微調整〕を押します。

→ 印字位置の微調整、日付／時刻の変更、および文字の変更については、7-71 ページをごらんください。



- 6 設定を完了するときには、[OK] を 2 回押します。
 → もとの設定にもどすときは、[キャンセル] を押します。
 → 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、[機能 OFF] を押します。
- 7 応用設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。
 コピー画面の [応用設定] 下に、スタンプ／オーバーレイのアイコンが表示されます。
- 8 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
- 9 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 10 操作パネルのスタートを押します。
 → コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。

7.17.5 定型のウォーターマークを印字する：ウォーターマーク

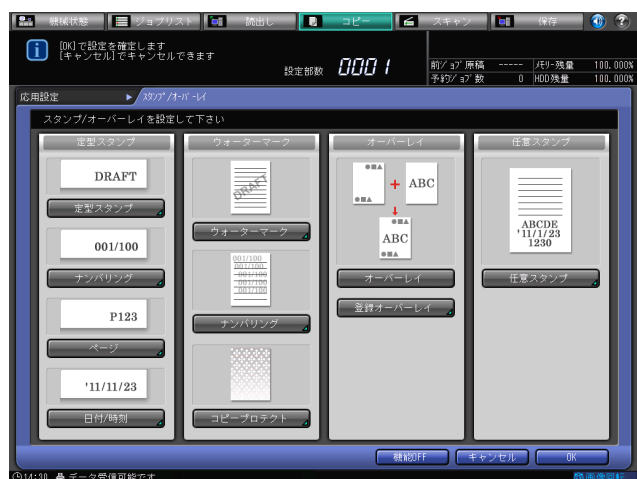
コピー画像の中心に、淡色の文字列を印刷します。

- 1 原稿をセットします。
- 2 コピー画面の [応用設定] を押します。
- 3 応用設定画面の [スタンプ／オーバーレイ] を押します。



スタンプ／オーバーレイ画面が表示されます。

- 4 [ウォーターマーク] を押します。



ウォーターマーク画面が表示されます。

- 5 ウォーターマークの種類、文字の濃さ、および印字位置を指定します。

選択項目	説明
[ウォーターマーク種類]	12 種類のウォーターマークのうち、1 つを選択します。
[文字の濃さ]	4 段階の濃さのうち、1 つを選択します。

- ウォーターマークはコピーの中央に印刷されますが、位置を調整するときは、[位置の微調整] を押します。
- 印字位置の微調整については、7-71 ページをごらんください。



- 6 設定を完了するときは、[OK] を 2 回押します。
- もとの設定にもどすときは、[キャンセル] を押します。
 - 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、[機能 OFF] を押します。
- 7 応用設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。
コピー画面の [応用設定] 下に、スタンプ/オーバーレイのアイコンが表示されます。
- 8 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
- 9 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 10 操作パネルのスタートを押します。
- コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。

7.17.6 ウォーターマークで管理用の通し番号を印字する：ナンバリング

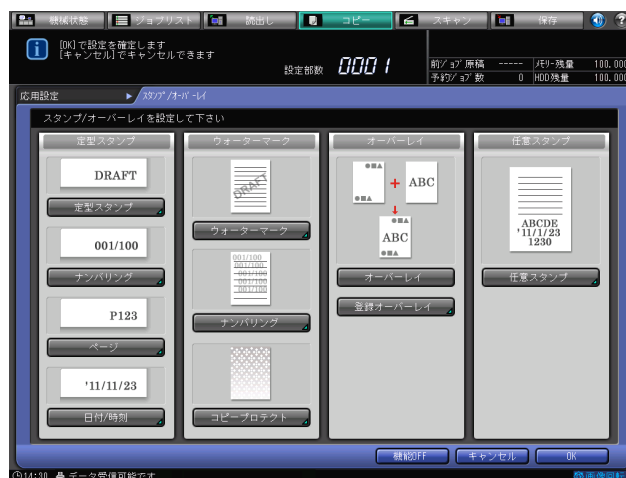
ページの全面に、淡色のナンバリング（通し番号）を印刷します。

- 1 原稿をセットします。
- 2 コピー画面の「応用設定」を押します。
- 3 応用設定画面の「スタンプ／オーバーレイ」を押します。



スタンプ／オーバーレイ画面が表示されます。

- 4 「ウォーターマーク」表示下の「ナンバリング」を押します。



ウォーターマーク／ナンバリング画面が表示されます。

- 5 ウォーターマーク／ナンバリングのフォーマット、文字サイズ、スタート番号、および文字の濃さを指定します。

選択項目	説明
[フォーマット]	4 種類のフォーマットのうち、1 つを選択します。
[文字サイズ変更]	[20 ポイント] または [36 ポイント] を選択します。
[スタート番号]	印字を開始する番号を指定します。
[文字の濃さ]	4 段階の濃さのうち、1 つを選択します。

→ スタート番号の設定については、7-72 ページをごらんください。



- 6 設定を完了するときは、[OK] を 2 回押します。
 - もとの設定にもどすときは、[キャンセル] を押します。
 - 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、[機能 OFF] を押します。
- 7 応用設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。
コピー画面の [応用設定] 下に、スタンプ／オーバーレイのアイコンが表示されます。
- 8 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
- 9 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 10 操作パネルのスタートを押します。
 - コピー画面にもどらないと出力できません。必ずコピー画面を表示してください。

7.17.7 全体に文字やパターンをプリントする：コピープロテクト

コピープロテクト処理してプリントした出力紙を原稿としてコピーしたとき、コピー画像といっしょに淡いグレーの文字列と背景がつきます。この文字列と背景がつくことで、コピープロテクト処理した出力紙が不正にコピーされないようにして、情報漏洩を防ぎます。

- ✓ 文字列は [コピー]、[無効]、[取扱注意]、[複写] の 4 種類あります。背景は、桜、唐草、格子の 3 種類あります。文字列と背景と 1 つずつ選択して組み合わせます。文字列だけ、または背景だけの選択はできません。
- ✓ 原稿に対して拡大、縮小、集約の設定をしても、文字列および背景は常に等倍でプリントされます。
- ✓ 文字列の大きさは 44 ポイントです。
- ✓ 文字列の印字位置は、ウォーターマークナンバリングの印字位置と同じです。

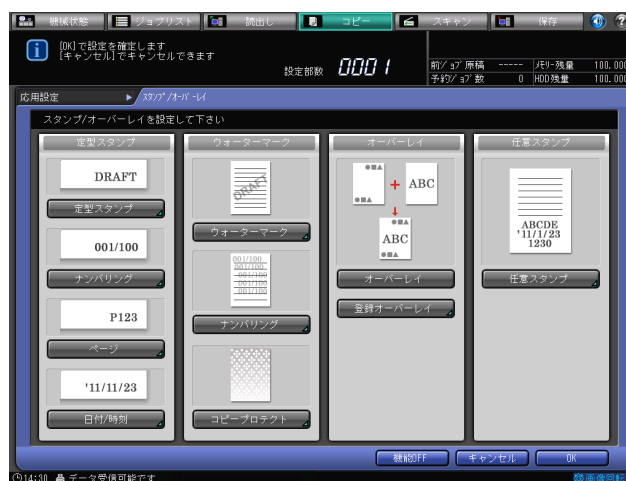
- 1 原稿をセットします。
- 2 コピー画面の [応用設定] を押します。

3 応用設定画面の「スタンプ/オーバーレイ」を押します。



スタンプ/オーバーレイ画面が表示されます。

4 「コピープロテクト」を押します。



コピープロテクト画面が表示されます。

5 文字列および背景を指定します。

選択項目	説明
[文字]	4 種類の文字列のうち、1 つを選択します。
[背景]	3 種類の背景のうち、1 つを選択します。

→ 文字列だけ、またはパターンだけの選択はできません。



- 6 設定を完了するときは、[OK] を 2 回押します。
設定を確定して、応用設定画面にもどります。
→ もとの設定にもどるときは、[キャンセル] を押します。
→ 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、[機能 OFF] を押します。
- 7 応用設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。
コピー画面の [応用設定] 下に、スタンプ／オーバーレイのアイコンが表示されます。
- 8 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
- 9 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 10 操作パネルのスタートを押します。

7.17.8 スタンプの詳細設定

印字位置の微調整

定型スタンプ、ナンバリング、ページ、日付／時刻、ウォーターマーク、および任意スタンプの印字位置を微調整します。上下方向（[上へ]、[下へ]）および左右方向（[右へ]、[左へ]）の 2 方向で、それぞれ 50 mm まで調整できます。



- 1 任意の方向ボタンを選択してから、画面のテンキー、[▼]、または [▲] を押して、調整値を入力します。
- 2 設定を確定するときは、[OK] を押して、もとの画面にもどります。

ナンバリングの文字サイズの変更

ナンバリングの文字サイズを指定します。



- 1 任意の文字サイズボタンを選択します。
- 2 設定を確定するときは、[OK] を押して、もとの画面にもどります。

ナンバリングのスタート番号の設定

印字を開始する番号を指定します。



- 1 画面のテンキー、[▼]、または[▲]を押して、任意のスタート番号（4桁まで）を入力します。
- 2 設定を確定するときは、[OK] を押して、もとの画面にもどります。

ページの表紙／挿入紙の変更

インターシート、章分け、小冊子などを併用しているとき、表紙や挿入紙（印刷／白紙）への印字を指定できます。



- 1 [表紙]、[印刷挿入紙]、および[白紙挿入紙]下の、任意のボタンをそれぞれ選択します。
→ [スキップ] を選択すると、挿入紙をページとしてカウントしません。
- 2 設定を確定するときは、[OK] を押して、もとの画面にもどります。

ページおよび日付／時刻の文字の変更

ページ番号や日付／時刻の、文字サイズおよび種類を指定します。



- 1 任意の文字サイズボタン、および文字種類ボタンを選択します。
- 2 設定を確定するときは、[OK] を押して、もとの画面にもどります。

日付／時刻の変更

印字する日付／時刻を、機械に設定されている現在時刻から任意に変更します。



- 1 「設定時刻」を押します。
「設定時刻」右の表示が反転します。
- 2 「設定」を押して、変更したい部分を選択します。
→ 「設定」を押すごとに、「年」、「月」、「日」、「時刻」の順にカーソルが移動します。画面のテンキーを押して、任意の数字を入力します。
- 3 設定を確定するときは、「OK」を押して、もとの画面にもどります。

ページ／章のスタート番号の設定

印字を開始するページ番号、および印字の開始ページ／最終ページを指定します。また、章分けを併用している場合は、章のスタート番号や印字の開始章／最終章も指定できます。

最終ページおよび最終章の設定は、最後までページ／章番号をつけるときは不要です。途中からページ／章番号をつけないときに、最終のページ／章番号を指定します。

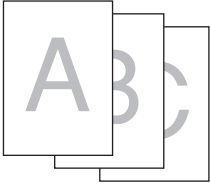
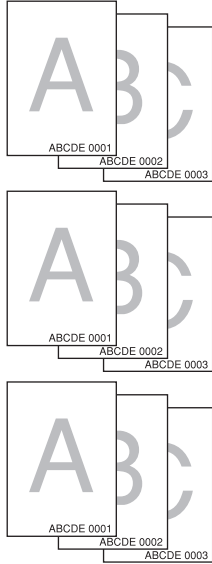
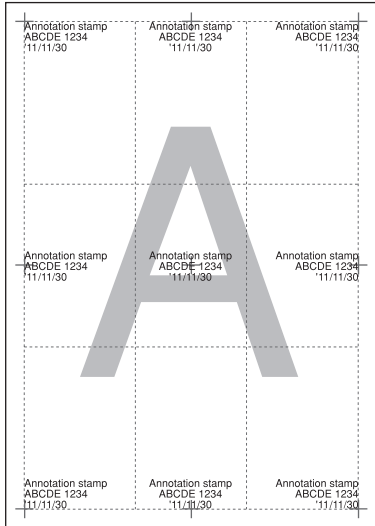


- 1 設定したい項目のボタンを押します。
- 2 画面のテンキー、[▼]、または[▲]を押して、任意の数字を入力します。
→ ページの項目は1～99999、章の項目は1～99の範囲で入力できます。
→ 「クリア」を押すと、[1]にもどります。[0]を入力しても、[1]に設定されます。
- 3 設定を確定するときは、「OK」を押して、もとの画面にもどります。

7.18 コピーに文字列、日時、通し番号を印刷する：任意スタンプ

あらかじめ組合わせて登録しておいた文字列、原稿を読み込む日時、および原稿の通し番号の設定を呼出して、コピー画像の指定位置に印字します。通し番号は、呼出した設定を一時的に変更できます（一時番号設定）。

任意スタンプは、そのほかのスタンプ機能（定型スタンプおよびウォーターマークのすべて）と併用できます。

原稿	出力
	<p>3 部任意スタンプしたとき</p> 
設定	出力
<p>印刷内容</p> <p>例 タイプイン：Annotation stamp 日付 / 時刻：'11/11/30 任意スタンプ番号：ABCDE1234</p> <div> <div>Annotation stamp '11/11/30 ABCDE 1234</div> <div>Annotation stamp '11/11/30 ABCDE 1234</div> </div> <p>印字位置</p> <div> <div>左上</div> <div>中央上</div> <div>右上</div> <div>左中</div> <div>中央</div> <div>右中</div> <div>左下</div> <div>中央下</div> <div>右下</div> </div>	



文字列、日時、通し番号の順番や表示／非表示などの設定は、設定メニューの管理者設定で行います。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

- ✓ 文字列、日時、および通し番号の設定を 1 セットとして、40 セットまで登録できます。
- ✓ 日時は、機械に設定されている日時設定をもとに、原稿を読み込む日時を印字します。
- ✓ 通し番号は読み込む原稿ごとに、また読み込む原稿順にカウントして、番号を印字します。ジョブをまたいだり、電源を OFF/ON したりしても、カウントを継続します。任意スタンプを設定していないときや、一時番号設定を使用しているときはカウントされません。
- ✓ 印字位置は、9 箇所から選択できます。また、上下方向、左右方向ともに 50 mm まで、位置の微調整ができます。

- 1 原稿をセットします。
- 2 コピー画面の「応用設定」を押します。
- 3 応用設定画面の「スタンプ／オーバーレイ」を押します。



スタンプ／オーバーレイ画面が表示されます。

- 4 「任意スタンプ」を押します。



任意スタンプ画面が表示されます。

5 任意の設定を選択して、印字位置を指定します。



- [▼] または [▲] を押して、任意の設定呼出しボタンを表示してから選択します。選択したボタンに登録されていた、任意スタンプの印刷形態が表示されます。
- [印字位置設定] 下の 9 つの印字位置のうち、1 つを選択します。印字位置の微調整を行う場合は、[位置の微調整] を押します。
- 印刷位置の微調整については 7-71 ページをごらんください。

6 一時的に通し番号の設定を変更するときは、[一時番号設定] を押します。

- 一時番号設定画面が表示されます。
- 手順 5 で選択した任意スタンプの設定で、通し番号の設定がされていない場合は、[一時番号設定] がグレーアウトして、選択できなくなります。
- 入力ボタンを押して、一時番号を設定します。半角英数字 12 文字まで入力できます。この設定をすると、もとの設定でのカウントはされません。全ページに同じ一時番号を印刷します。



- [OK] を押して、任意スタンプ画面にもどります。



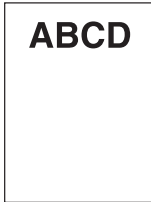
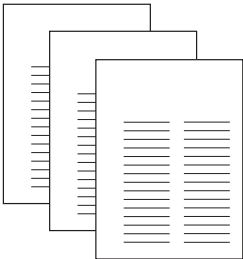
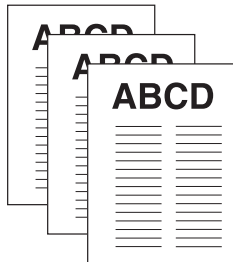
- 7 設定を完了するときは、[OK] を 2 回押します。
 設定を確定して、応用設定画面にもどります。
 → もとの設定にもどすときは、[キャンセル] を押します。
 → 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、[機能 OFF] を押します。
- 8 応用設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。
 コピー画面の [応用設定] 下に、スタンプ／オーバーレイのアイコンが表示されます。



- 9 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
- 10 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 11 操作パネルのスタートを押します。

7.19 画像を重ねてコピーする：オーバーレイ

最初にスキャンした 1 枚の画像を、その後にスキャンした画像に重ねてコピーします。

原稿		出力
重ねる画像	重ねられる画像	オーバーレイコピー
		

- ✓ 連続読み込みモードが自動的に設定されます。
- 1 重ねる画像の原稿をセットします。
→ ADF または原稿ガラスに、原稿を 1 枚セットします。
- 2 コピー画面の「応用設定」を押します。
- 3 応用設定画面の「スタンプ／オーバーレイ」を押します。



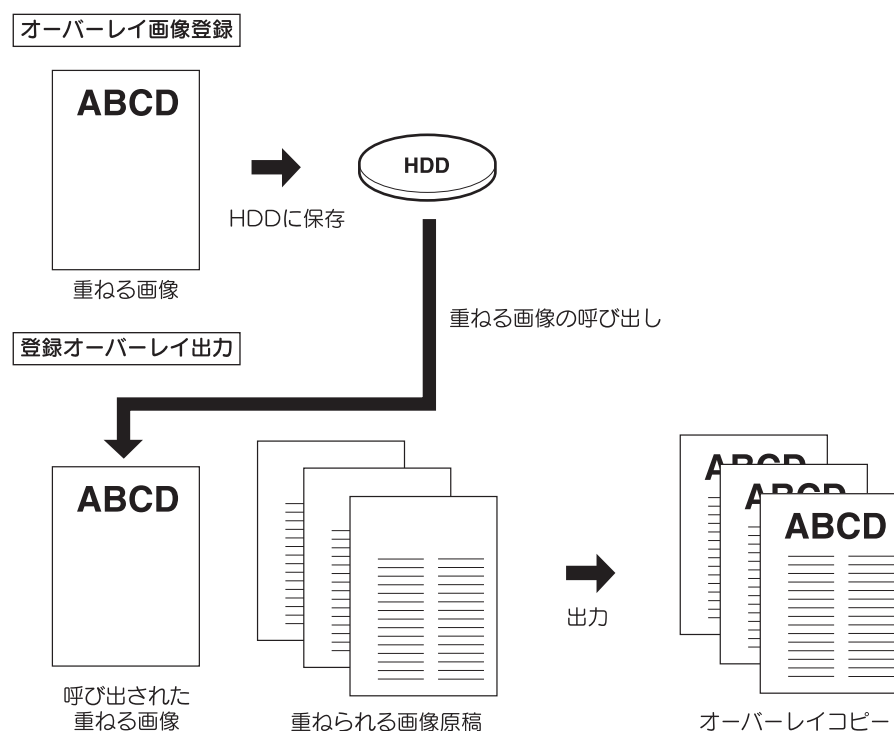
スタンプ／オーバーレイ画面が表示されます。

- 4 「オーバーレイ」を押します。
- 5 「OK」を押します。
設定を確定して、応用設定画面にもどります。
→ もとの設定にもどるときは、「キャンセル」を押します。
- 6 応用設定画面の「OK」を押して、コピー画面にもどります。
コピー画面の「応用設定」下に、スタンプ／オーバーレイのアイコンが表示されます。
また、自動用紙および自動倍率は解除され、倍率は「等倍」に設定されます。
連続読み込みモードが自動的に設定されます。
- 7 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。
- 8 操作パネルのスタートを押します。
セットした原稿がスキャンされ、画像データがメモリーに蓄積されます。

- 9 重ねられる画像の原稿をセットします。
 - ADF または原稿ガラスに、原稿をセットします。ADF にセットする原稿の枚数が 100 枚を超える場合は、100 枚未満のブロックに分け、最初のページを含むブロックから順にスキャンします。
- 10 操作パネルのスタートを押します。
 - 原稿の枚数が 100 枚を超える場合は、手順 9 から 10 の操作を繰返して、すべての原稿をスキャンします。
- 11 コピー画面の「連続読み込み」を押して、選択を解除します。
- 12 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。
- 13 操作パネルのスタートを押します。

7.20 重ねる画像を登録してからコピーする：登録オーバーレイ

あらかじめHDDに保存しておいた画像（オーバーレイ画像登録）を呼出して、スキャンした画像に重ねてコピー（登録オーバーレイ出力）します。



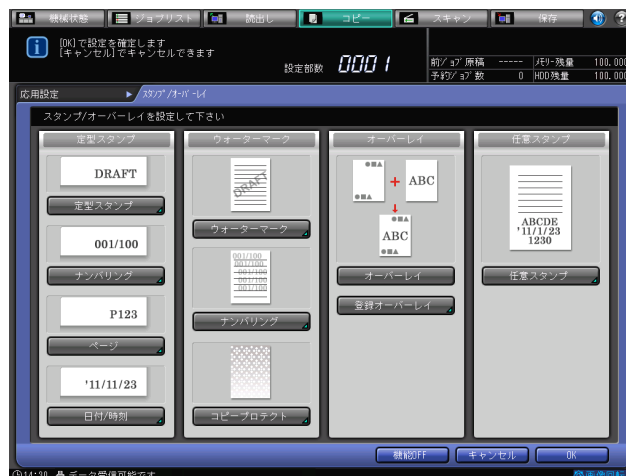
オーバーレイ画像登録

- 1 重ねる画像の原稿を、原稿ガラスにセットします。
- 2 コピー画面の「応用設定」を押します。
- 3 応用設定画面の「スタンプ／オーバーレイ」を押します。



スタンプ／オーバーレイ画面が表示されます。

4 「登録オーバーレイ」を押します。



登録オーバーレイ画面が表示されます。

5 「画像登録」を押します。



6 重ねる画像に名前をつけて登録します。



→ アルファベットキーを押して、任意の名前を入力します。半角 8 文字まで入力できます。入力した名前には、日付が自動的に付加されます。

- 7 [OK] を押します。
重ねる画像をスキャンするためのコピー画面が表示されます。任意のコピー条件を設定します。
→ [OK] を押したとき、すでに同じ名前で登録されている画像がある場合は、重複確認のダイアログが表示されます。7-84 ページをご覧ください。
- 8 操作パネルのスタートを押します。
スキャンした画像を HDD に保存して、登録オーバーレイ画面にもどります。

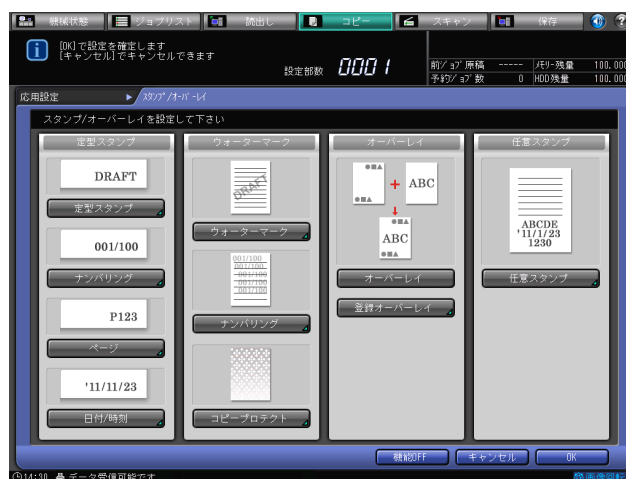
登録オーバーレイ出力

- 1 コピー画面の「応用設定」を押します。
- 2 応用設定画面の「スタンプ／オーバーレイ」を押します。



スタンプ／オーバーレイ画面が表示されます。

- 3 「登録オーバーレイ」を押します。



登録オーバーレイ画面が表示されます。

4 重ねる画像を呼出します。



→ 呼び出したい画像の登録ボタンを押してから、[OK] を押します。
スタンプ／オーバーレイ画面にもどります。

5 スタンプ／オーバーレイ画面の [OK] を押します。

設定を確認して、応用設定画面にもどります。

→ もとの設定にもどるときは、[キャンセル] を押します。

→ 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときには、[機能 OFF] を押します。

6 応用設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。

コピー画面の [応用設定] 下に、[スタンプ／オーバーレイ] のアイコンが表示されます。

7 重ねられる画像の原稿をセットします。

→ ADF または原稿ガラスに、原稿をセットします。[連続読み込み] を選択すると、多数枚の原稿を処理できます。

8 必要に応じて、その他のコピー条件を設定します。

9 操作パネルのテンキーを使って、設定部数を入力します。

10 操作パネルのスタートを押します。

登録画像の重複

登録する画像の名前が重複していると、確認のダイアログが表示されます。



ダイアログに「はい」および「いいえ」が表示されている場合は、画像の上書きができます。「いいえ」を押すと上書きされ、既存の画像はなくなります。別の名前で登録するときは、「はい」を押します。



ダイアログに「OK」だけが表示されている場合は、画像の上書きはできません。「OK」を押して、別の名前で登録します。

参照

上記のダイアログの表示は、設定メニューの管理者設定で選択できます。詳しくは、POD 管理者編の7章を
ごらんください。

8 出力設定

8 出力設定

8.1 出力機能を設定するには

8.1.1 出力設定の概要

出力機能を使ってコピーするときは、出力設定画面で使いたい機能を選択します。

出力設定画面の表示

- 1 「コピー」タブを押して、コピー画面を表示します。
- 2 「出力設定」を押します。



出力設定画面が表示されます。



- 任意のボタンを押すと、機能を設定する専用画面が表示されます。
- 複数の出力機能を組合わせて設定できますが、併用できない機能のボタンがグレイアウトして、選択できなくなります。
- 「HDD 保存」を押すと、スキャンデータを HDD に保存する設定ができます。画面の「保存」タブを押して、「スキャン to HDD」を選択したときと同じ操作ができます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャナー編」をごらんください。
- もとのコピー条件にもどすときは、「キャンセル」を押します。初期設定にもどすときは、「標準復帰」を押します。

→ 各設定の専用画面で、設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、[機能 OFF] を押します。出力設定を含めたすべてのコピー条件を初期状態にもどすときは、**操作パネルのリセット**を押します。

3 出力設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。

重要

出力設定画面を表示したままでは、出力できません。コピー画面にもどってから、**操作パネルのスタート**を押してください。

サンプル排紙のボタン

出力中の機械状態画面に [サンプル排紙] ボタンが表示されます。任意のタイミングで押すと、そのとき出力している画像と同じものをサブトレイに出力して、画像の品質を確認できます。



参照

サンプル排紙については、10-7 ページをごらんください。

8.1.2 排紙トレイを選択する


排紙トレイの選択方法を説明します。

- 1 原稿をセットします。
- 2 コピー画面の [出力設定] を押します。



出力設定画面が表示されます。

機械正面図には、排紙できるトレイの位置がボタンで表示されます。現在選択されているトレイは反転しています。

- 3 任意の排紙トレイ位置ボタン () を選択します。
選択した排紙トレイが反転して表示されます。



- 4 出力設定画面の [OK] を押します。
コピー画面にもどります。

重要

排紙トレイには、それぞれ積載枚数に制限があります。故障の原因になりますので、制限枚数を超えないよう注意してください。

8.1.3 コピー画面 [出力設定] 下の表示

アイコンの表示

コピー画面の [出力設定] 下に、設定した出力機能のアイコンを表示します。



ショートカットボタンの表示

コピー画面の [出力設定] 下に、よく使用する出力機能のショートカットボタンを 4 つまで表示できます。このボタンを使って、ワンタッチで出力機能を選択したり、それぞれの階層画面を直接表示したりします。ショートカットボタンの設定は、設定メニューの [環境設定] で行います。



参照

設定のしかたについては、POD 管理者編の 7 章をごらんください。




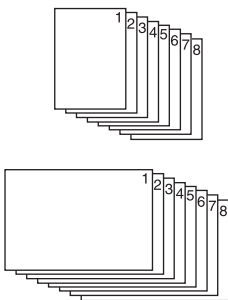
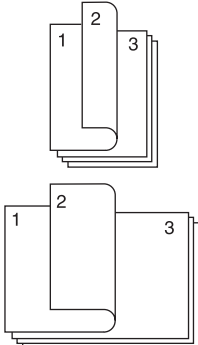
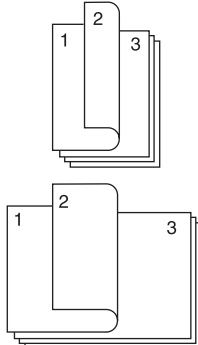

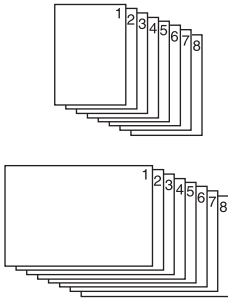
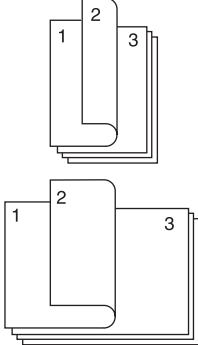
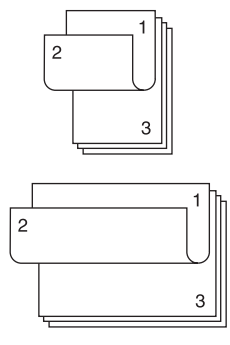
8.2 両面コピーのとり方向を設定する

オモテ面とウラ面との天地が逆になっている（上とじ）両面コピーをとるときに設定します。

オモテ面とウラ面との天地が同じ（左右とじ）片面原稿や両面原稿から、天地が逆になっている（上とじ）両面コピーをとるとき、出力設定の「両面とり方向」で「上とじ」を選択します。通常のコピーのときは、「左右とじ」を選択します。

参照

上とじの両面原稿から、左右とじの片面コピーや両面コピーをとる場合は、原稿設定の「両面とり方向」で「上とじ」を選択します。詳しくは、6-3 ページをごらんください。

両面とり方向ボタン	片面原稿	両面原稿	両面コピー
			
			

- ✓ 出力設定の「上とじ」が機能するのは、「片面 -> 両面」または「両面 -> 両面」を選択したときだけです。
- ✓ 機械がリセットされると、設定は「左右とじ」にもどります。

- 1 原稿をセットします。
- 2 「コピー」タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 「片面 -> 両面」または「両面 -> 両面」を選択します。



- 4 「出力設定」を押します。
出力設定画面が表示されます。
- 5 「両面とじ方向」下の「上とじ」を選択します。
→ このとき、あらかじめ「片面 -> 両面」または「両面 -> 両面」を選択していないと、上とじの設定は機能しません。



- 6 「OK」を押して、コピー画面にもどります。
→ 「標準復帰」を押すと、出力設定は初期状態にもどります。「キャンセル」を押すと、設定前の状態にもどります。
→ コピー画面にもどらないと出力できません。出力するときは、必ずコピー画面を表示してください。



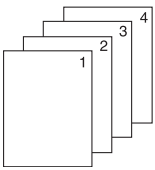
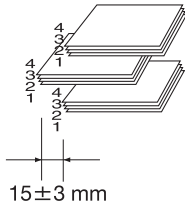
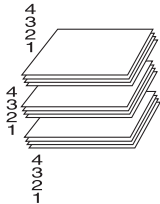
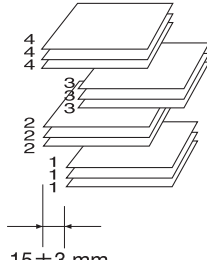
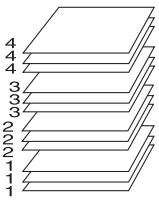



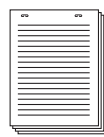

8.3 フィニッシャー FS-532 を使用する

フィニッシャー FS-532 にはメイントレイとサブトレイとがあり、それぞれ下記の出力ができます。

メイントレイへの出力

後処理の種類	処理方法
〔仕分けソート〕	原稿と同じページ揃えのコピーを設定部数分、1 部ごとに 15 ± 3 mm の範囲でオフセット出力します。オフセット出力する部数を 1 部ごと～9,999 部ごとの範囲で指定できます。
〔ソート〕	原稿と同じページ揃えのコピーを出力します。オフセット出力はしません。
〔仕分けグループ〕	原稿 1 枚につき設定部数分のコピーをして、原稿ごとにオフセット出力します。オフセット出力する部数を 1 原稿ごと～9,999 原稿ごとの範囲で指定できます。
〔グループ〕	原稿 1 枚につき設定部数分のコピーをします。オフセット出力はしません。
〔ステープル〕（+〔ソート〕）	原稿と同じページ揃えのコピーを、自動的に平とじステープルして出力します。
〔ステープル〕（+〔仕分けソート〕）	原稿と同じページ揃えのコピーを、自動的に平とじステープルしてオフセット出力します。
〔ステープル〕（+〔グループ〕）	原稿 1 枚につき設定部数分のコピーをして、原稿ごとにステープルして出力します。
〔ステープル〕（+〔仕分けグループ〕）	原稿 1 枚につき設定部数分のコピーをして、原稿ごとにステープルしてオフセット出力します。

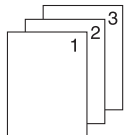
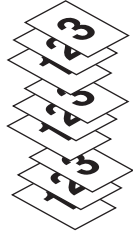
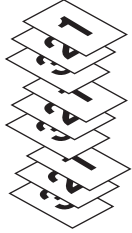
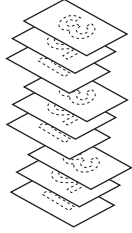
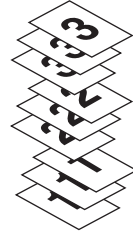
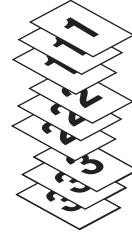
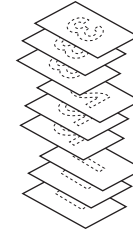
ステープル以外の上記の出力に対して、排紙面（〔フェイスダウン〕／〔フェイスアップ〕）および排紙順（〔順方向〕／〔逆方向〕）を選択できます。

原稿	出力				
例 4 枚の原稿を 3 部出力 	仕分けソート	ソート	仕分けグループ		グループ
					
	コーナーステープル		2 点ステープル		
	左コーナー	右コーナー	左	上	右
					

サブトレイへの出力

後処理の種類	処理方法
[ソート]	原稿と同じページ揃えのコピーを出力します。オフセット出力はしません。
[グループ]	原稿 1 枚に設定部数分のコピーをして、原稿ごとに出力します。オフセット出力はしません。

上記の出力に対して、排紙面（[フェイスダウン] / [フェイスアップ]）および排紙順（[順方向] / [逆方向]）を選択できます。

原稿	出力					
例 コピー部数を 3 部に設定 	ソート			グループ		
	フェイスアップ順方向	フェイスアップ逆方向	フェイスダウン順方向	フェイスアップ順方向	フェイスアップ逆方向	フェイスダウン順方向
						

ここでは、下記の出力方法を説明します。

- メイントレイへのソート、グループ、仕分けソート、仕分けグループ
- サブトレイへのソート、グループ
- メイントレイへのステابل

8.3.1 用紙を仕分ける：ソート／グループ／仕分けソート／仕分けグループ

メイントレイへのソート出力が初期設定になっています。

下記の手順に従って、出力モードを選択してください。



参照

設定メニューで、出力設定の初期設定を変更できます。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

- 1 原稿をセットします。
- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 [出力設定] を押します。

出力設定画面が表示されます。

→ 出力設定画面の機械正面図には、選択されている排紙トレイが反転して表示されます。メイントレイが選択されていない場合は、メイントレイ位置ボタンを選択します。

4 出力モードを選択します。

→ [仕分けソート]、[ソート]、[仕分けグループ]、[グループ] の中から 1 つを選択します。



→ 必要に応じて、[排紙面/排紙順] 下の [フェイスイップ] / [フェイスダウン] および [順方向] / [逆方向] を選択します。

→ 排紙順を [逆方向] にすると、排紙面は自動的に [フェイスイップ] になります。



5 出力設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。

コピー画面の [出力設定] 下に、設定した機能のアイコンが表示されます。

重要

メイントレイは、用紙を積載するにつれて徐々に下降します。メイントレイの下に物を置いていると、ぶつかるなどして故障の原因になります。絶対に物を置かないでください。

重要

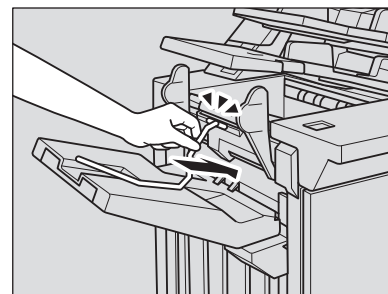
フィニッシャー FS-532 のメイントレイには、積載枚数に制限があります。故障の原因になりますので、制限枚数を超えないようにしてください。

6 メイントレイに用紙ホルダーを取付けます。

→ 薄紙やカールしやすい用紙を出力するときは、メイントレイに用紙ホルダーを取付けて出力することをおすすめします。通常の出力のときも、取付けたままで問題ありません。


**参照**

フィニッシャー FS-532 の上面にある一時停止/再スタートボタンを押すことにより、出力を一時的に停止して、メイントレイや、サブトレイ、折りトレイから用紙を取り出すことができます。詳しくは、5-37 ページをごらんください。



8.3.2 サブトレイへ用紙を仕分ける：ソート／グループ

メイントレイへのソート出力が初期設定になっています。サブトレイに排紙するときは、下記の手順に従って排紙トレイを変更してから、出力モードを選択してください。


- 1 原稿をセットします。
- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 [出力設定] を押します。
出力設定画面が表示されます。
- 4 サブトレイを排紙トレイとして選択します。
→ サブトレイの排紙トレイ位置ボタン () を選択します。

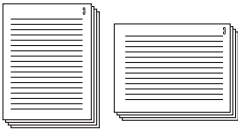
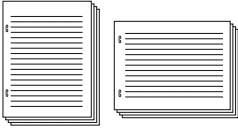
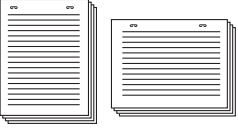
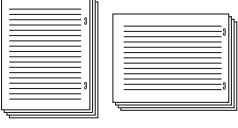


- 5 出力モードを選択します。
→ [後処理] 下の、[ソート] または [グルーブ] を選択します。
→ 必要に応じて、[排紙面／排紙順] 下の [フェイスアップ] / [フェイスダウン] および [順方向] / [逆方向] を選択します。
→ 排紙順を [逆方向] にすると、排紙面は自動的に [フェイスアップ] になります。
- 6 出力設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。
コピー画面の [出力設定] 下に、設定した機能のアイコンが表示されます。
重要
フィニッシャー FS-532 のサブトレイには、積載枚数に制限があります。故障の原因になりますので、制限枚数を超えないようにしてください。

8.3.3 コーナー／2点ステープルする：ステープル

用紙に平とじステープルをします。下記の5つのステープル種類から1つを選択します。

ステープルの種類	ステープル方法
コーナーステープル左コーナー	

ステープルの種類	ステープル方法
コーナーステープル右コーナー	
2点ステープル左	
2点ステープル上	
2点ステープル右	

2点ステープルの〔左〕、〔上〕、または〔右〕を選択したとき、2点ステープルの間隔を〔広い〕、〔やや狭い〕、または〔狭い〕から選択します。間隔は下記の通りです。

〔広い〕	165 mm
〔やや狭い〕	140 mm
〔狭い〕	120 mm

〔コーナーステープル左コーナー〕および〔コーナーステープル右コーナー〕は、用紙に対して斜めにステープルするか、平行にステープルするかを選択できます。詳しくは、〔ユーザズガイド POD 管理者編〕の7章をごらんください。

- 1 原稿をセットします。
- 2 〔コピー〕タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 〔出力設定〕を押します。
出力設定画面が表示されます。
- 4 〔ステープル〕を押します。



ステープル画面が表示されます。

5 任意のステープル位置ボタンを選択します。

- 2点ステープルのいずれかを選択したときは、[広い]、[やや狭い]、または[狭い]を選択して、2点ステープルの間隔を指定します。



6 [OK] を押します。

- もとの設定にもどすときは、[キャンセル] を押します。
→ 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、[機能 OFF] を押します。
出力設定画面にもどります。

7 出力設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。

コピー画面の [出力設定] 下に、設定した機能のアイコンが表示されます。

重要

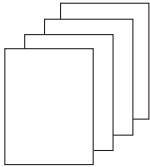
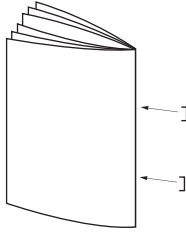
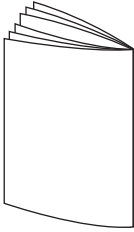
メイントレイは、用紙を積載するにつれて徐々に下降します。メイントレイの下に物を置いていると、ぶつかるなどして故障の原因になります。絶対に物を置かないでください。

重要

フィニッシャー FS-532 のメイントレイには、積載枚数に制限があります。故障の原因になりますので、制限枚数を超えないようにしてください。

8.3.4 二つ折り小冊子をつくる：中とじ／重ね中折り

フィニッシャー FS-532 に中とじ機 SD-510 が装着されていると、応用設定の小冊子と併用して、用紙を二つ折りにしたり、二つ折りにしてセンター 2 箇所ステープル止めをした中とじ本を作ったりできます。

原稿	出力	
	中とじ	重ね中折り
		

用紙サイズ	A3 □、B4 □、A4 □、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □、ワイド紙、不定形 (120 mm × 240 mm ~ 331 mm × 488 mm)
用紙坪量	本身 50 ~ 216 g/m ² 、表紙 50 ~ 300 g/m ²
最大折り	重ね中折り : 5 枚 (50 ~ 216 g/m ² 紙)、1 枚 (217 ~ 300 g/m ² 紙) 中とじ : 25 枚 (50 ~ 61 g/m ² 紙)、20 枚 (62 ~ 80 g/m ² 紙)、16 枚 (81 ~ 91 g/m ² 紙)、5 枚 (92 ~ 216 g/m ² 紙)
排紙トレイ	折りトレイ
積載制限枚数	35 部 (重ね中折り 5 枚折り) 35 部 (中とじ 2 ~ 5 枚とじ) 25 部 (中とじ 6 ~ 10 枚とじ) 15 部 (中とじ 11 ~ 25 枚とじ)

- ✓ 応用設定の小冊子が自動的に設定されます。
- ✓ 自動倍率が自動的に設定されます。自動用紙は併用できません。
- ✓ コピーモードは、[片面 -> 両面] または [両面 -> 両面] を選択します。
- ✓ 中とじ、重ね中折り出力をするときは、折りトレイの用紙送し取手を開きます。出力紙を取り出すときは、用紙送し取手を使用します。

- 1 原稿をセットします。
- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 [出力設定] を押します。
出力設定画面が表示されます。
- 4 [中とじ] または [重ね中折り] を選択します。

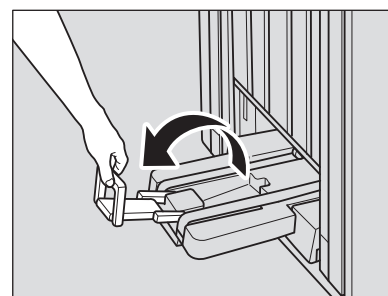


出力設定画面の機械正面図では、排紙トレイとして折りトレイが選択されます。

- 5 出力設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。
コピー画面の [出力設定] 下に、設定した機能のアイコンが表示されます。
- 6 折りトレイの用紙送し取手を開きます。

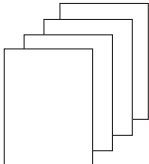
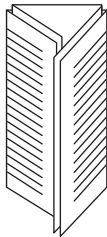



参照
用紙送し取手の使い方は、8-21 ページをごらんください。



8.3.5 三つ折りにする：重ね三つ折り

フィニッシャー FS-532 に中とじ機 SD-510 が装着されていると、A4 □ または 8.5 × 11 □ の用紙にコピーしてから、三つ折りにして出力できます。このとき、コピーする面を、折りの内側にするか、外側にするかを設定できます。

原稿	出力	
	重ね三つ折り + 外印刷	重ね三つ折り + 内印刷
		
折り枚数と用紙坪量	1 枚 (92 ~ 105 g/m ²)、3 枚 (50 ~ 91 g/m ²)	
用紙サイズ	A4 □、8.5 × 11 □	
印刷面	内側、外側	
排紙トレイ	折りトレイ	
積載制限枚数	50 部 (1 枚折り) 40 部 (2 枚折り) 30 部 (3 枚折り)	

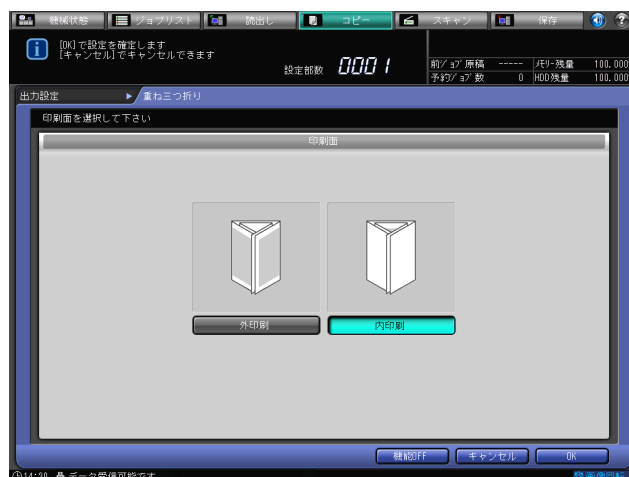
- ✓ 排紙順は、内印刷は逆方向、外印刷は順方向に自動設定されます。
- ✓ 排紙面は、内印刷はフェイスアップ、外印刷はフェイスダウンが自動設定されます。
- ✓ 重ね三つ折り出力をするときは、折りトレイの用紙送出し取手を開きます。出力紙を取出すときは、送出し取手を使用します。

- 1 原稿をセットします。
- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 [出力設定] を押します。
出力設定画面が表示されます。
- 4 [重ね三つ折り] を押します。



重ね三つ折り画面が表示されます。

5 「外印刷」または「内印刷」を選択します。



6 「OK」を押します。

- もとの設定にもどすときは、「キャンセル」を押します。
 - 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、「機能 OFF」を押します。
- 出力設定画面にもどります。
- 出力設定画面の機械正面図では、排紙トレイとして折りトレイが選択されます。

7 「OK」を押して、コピー画面にもどります。

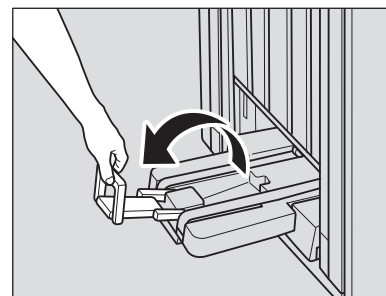
コピー画面の「出力設定」下に、設定した機能のアイコンが表示されます。

8 折りトレイの用紙送出し取手を開きます。



参照

用紙送出し取手の使い方は、8-21 ページをごらんください。



8.3.6 用紙にパンチ穴をあける：パンチ

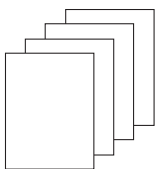
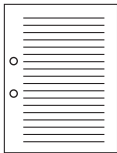
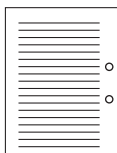
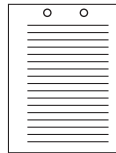
フィニッシャー FS-532 にパンチキット PK-522 が装着されていると、用紙にファイリング用の穴をあけることができます。パンチとステープルの併用ができます。

重要

フィニッシャー FS-532 にパンチキット PK-522 が装着されていなくても、Z 折りユニット ZU-608 が装着されている機械は、パンチ機能を使えます。ただし、パンチ穴を開けられる用紙坪量は、パンチキット PK-522 が $60 \text{ g/m}^2 \sim 300 \text{ g/m}^2$ に対し、Z 折りユニット ZU-608 は $60 \text{ g/m}^2 \sim 91 \text{ g/m}^2$ です。パンチ機能を使用する場合、パンチ装置と用紙坪量をご確認ください。Z 折りユニット ZU-608 のパンチ機能については、8-24 ページをごらんください。

重要

OHP フィルム、ラベル紙、第 2 原図などの特殊紙にはパンチできません。特殊紙にパンチすると、機械故障の原因になります。

原稿	出力		
	左	右	上
			
パンチ穴数	2 穴		
パンチ穴径	6.5 mm		
パンチ穴ピッチ	80 mm ± 1.0 mm		
用紙サイズ	3-6 ページをごらんください。		
用紙坪量	60 g/m ² ~ 300 g/m ²		

- ✓ 用紙をセットしているトレイの側面ガイドと用紙との間に隙間をつくらないように、突当ててセットします。正しくセットしないと、パンチ穴の位置ズレを起こします。
- ✓ パンチモード動作中にオートトレイスイッチ機能が動くと、パンチ穴がずれることがあります。
- ✓ 定形サイズ以外の用紙（検知サイズ設定、不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙）には、パンチできません。

- 1 原稿をセットします。
- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 [出力設定] を押します。
出力設定画面が表示されます。
- 4 [パンチ] を押します。



パンチ画面が表示されます。

5 任意のパンチ位置ボタンを選択します。



6 [OK] を押します。

- もとの設定にもどすときは、[キャンセル] を押します。
 - 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、[機能 OFF] を押します。
- 出力設定画面にもどります。

7 出力設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。

コピー画面の [出力設定] 下に、設定した機能のアイコンが表示されます。

重要

メイントレイは、用紙を積載するにつれて徐々に下降します。メイントレイの下に物を置いていると、ぶつかるなどして故障の原因になります。絶対に物を置かないでください。

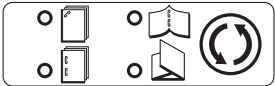
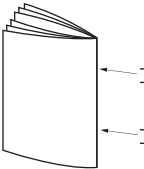
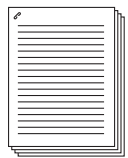
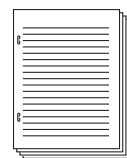

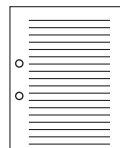
8.3.7 手動でフィニッシャー FS-532 を使用する

フィニッシャー FS-532 にポストインサーター PI-502 が装着されていると、ポストインサーターの操作パネルを使って、手動でフィニッシャーを操作できます。

ポストインサーターの下段トレイに用紙をセットします。上段トレイは使用できません。

フィニッシャー FS-532 は、オプション構成によって下記の出力をします。

後処理の種類	処理方法
フィニッシャー FS-532 + ポストインサーター PI-502	コーナーステープル／2 点ステープル
フィニッシャー FS-532 + ポストインサーター PI-502 +パンチキット PK-522	コーナーステープル／2 点ステープル、パンチ
フィニッシャー FS-532 + ポストインサーター PI-502 +中とじ機 SD-510	コーナーステープル／2 点ステープル、中とじ、三つ折り

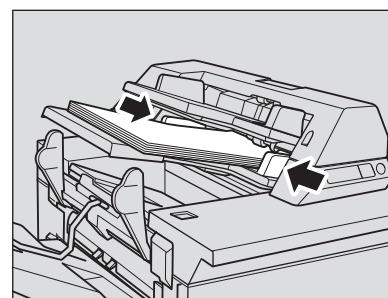
ボタン	出力			
ステープルモード選択ボタン	中とじ	コーナーステープル	2点ステープル	三つ折り
				
パンチボタン				

処理方法	用紙（サイズ／坪量）	セット枚数	排紙トレイ
コーナーステープル／2点ステープル	A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □、A5 □、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □/□、5.5 × 8.5 □ (50 g/m ² ～ 200 g/m ²)	50 枚以下	メイントレイ
パンチ	A3 □ ～ A5 □ (60 g/m ² ～ 200 g/m ²)	200 枚 (80 g/m ²) または 30 mm 以内	メイントレイ
中とじ	A3 □、B4 □、A4 □、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □ (50 g/m ² ～ 200 g/m ²) 表紙として 200 g/m ² 紙を 1 枚までつけて中とじステープルができます。	25 枚以下 (50 ～ 61g/m ² 紙) 20 枚以下 (62 ～ 80g/m ² 紙) 16 枚以下 (81 ～ 91g/m ² 紙) 5 枚以下 (92 ～ 200g/m ² 紙)	折りトレイ
三つ折り	A4 □、8.5 × 11 □	1 枚 (92 ～ 105 g/m ²) 3 枚 (50 ～ 91 g/m ²)	折りトレイ

✓ 給紙トレイとして使用できるのは下段トレイだけです。上段トレイは使用できません。

1 ポストインサーターの下段トレイに用紙をセットします。

- コーナーステープル／2点ステープルの場合：オモテ面を上にし、原稿の天部（上側）を奥側にしてセットします。
- パンチの場合：オモテ面を上にしてセットします。
- 中とじの場合：とじられてオモテ側に出てくる面を上にしてセットします。
- 三つ折りの場合：三つ折りになって外側になる面を上にしてセットします。
- ガイド板を用紙に沿わせます。

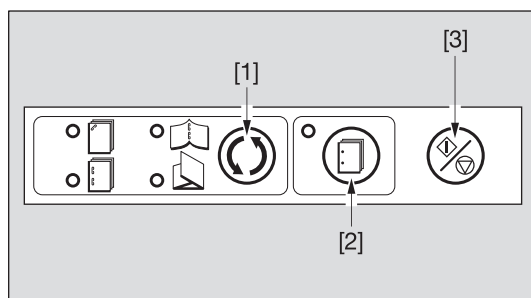


重要

ラベル紙、第2原図などの特殊紙にはパンチできません。特殊紙にパンチすると、パンチキットの故障の原因になります。

2 ステープルモード選択ボタンとパンチボタンを押して、任意のモードを選択します。

- コーナーステープル／2点ステープル、中とじ、三つ折りを設定するときは、ステープルモード選択ボタンを押して、ランプを点灯させます。パンチ穴を設定するときは、パンチボタンを押してランプを点灯させます。



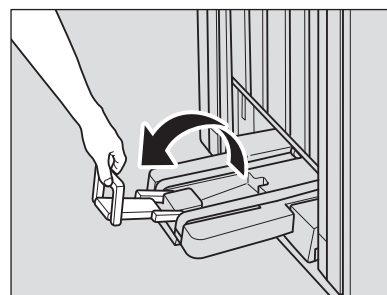
[1] : ステーブルモード選択ボタン

[2] : パンチボタン

[3] : スタート/ストップボタン

→ パンチは、コーナーステーブル／2点ステープルと併用できます。併用するときは、**ステープルモード選択ボタン**を押して、ランプを点灯させます。併用しないときは、パンチのランプ以外をすべて消灯させます。

- 3 中とじ、三つ折りを選択したときは、折りトレイの用紙送出手を開きます。

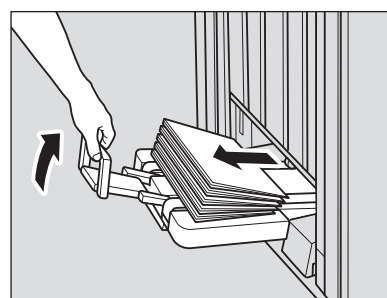


- 4 ポストインサーターの操作パネルのスタート/ストップボタンを押します。
→ 出力を停止するときは、もう一度スタート/ストップボタンを押します。

8.3.8 折りトレイから出力紙を取出す

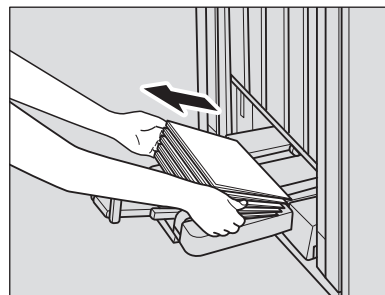
中とじ、重ね中折り、三つ折り出力したとき、出力紙は、折りトレイに出力されます。ここでは、折りトレイに積載された出力紙の取出し方を説明します。

- 1 用紙送出手を持ち上げます。
折りトレイに積載された出力紙を送出します。



- 2 用紙送出手を下げ、用紙送出手ベルトを停止します。
→ 用紙送出手を少し持上げた状態でも、用紙送りベルトは停止します。

- 3 出力紙を折りトレイから取ります。

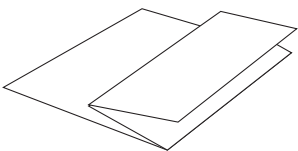
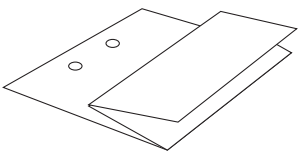
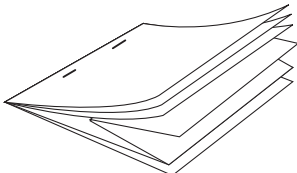


8.4 Z 折りユニット ZU-608 を使用する

8.4.1 用紙に Z 折りをつける：Z 折り

フィニッシャー FS-532 に Z 折りユニット ZU-608 が装着されていると、A3 □、B4 □ の用紙を Z 折りにして出力できます。

Z 折りは、パンチおよびステープルと併用できます。

Z 折り出力	パンチ出力 + Z 折り出力	Z 折り出力 + ステープル出力 + 自動用紙を併用した混載原稿
		

- ✓ Z 折り枚数：1 枚
- ✓ 用紙サイズ：A3 □、B4 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □
- ✓ 用紙坪量：64 g/m² ~ 90 g/m²
- ✓ 折り種類：Z 折り、8.5 × 14 □ は 2 つ折り
- ✓ 折り長さ：A3 □：209 mm 以下、B4 □：181 mm 以下、11 × 17 □：215 mm 以下、8.5 × 14 □：234.5 mm 以下
- ✓ Z 折りを含んだステープルの出力は、A3 □ と A4 □ とではできますが、B4 □ と B5 □ とではできません。
- ✓ 混載原稿と Z 折りを併用する場合、異形列の原稿ではうまく Z 折りできないことがあります。
- ✓ 普通紙でも、用紙の種類によっては折りズレを起こすことがあります。
- ✓ 定形サイズ以外の用紙サイズ（検知サイズ設定、不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙）を設定したトレイからは給紙できません。

- 1 原稿をセットします。
- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 [出力設定] を押します。
出力設定画面が表示されます。
- 4 [Z 折り] を押します。



- 5 出力設定画面の [OK] を押して、コピー画面にもどります。
コピー画面の [出力設定] 下に、設定した機能のアイコンが表示されます。

重要

メイントレイは、用紙を積載するにつれて徐々に下降します。メイントレイの下に物を置いていると、ぶつかるなどして故障の原因になります。絶対に物を置かないでください。

8.4.2 用紙にパンチ穴をあける：パンチ

フィニッシャー FS-532 に Z 折りユニット ZU-608 が装着されていると、用紙にファイリング用の穴をあけることができます。

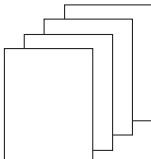
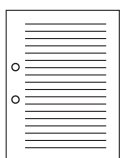
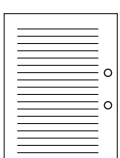
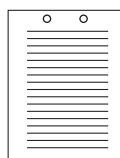
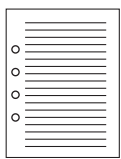
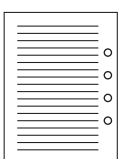
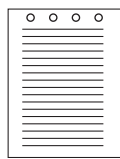
パンチは、Z 折りおよびステープルと併用できます。

重要

フィニッシャー FS-532 にパンチキット PK-522 が装着されている場合、Z 折りとパンチを併用する以外は、パンチキット PK-522 でパンチ穴を開けます。このときパンチ穴を開けられる用紙坪量は、パンチキット PK-522 の仕様の 60 g/m² ~ 300 g/m² です。詳しくは、8-17 ページをごらんください。

重要

OHP フィルム、ラベル紙、第 2 原図などの特殊紙にはパンチできません。特殊紙にパンチすると、故障の原因になります。

原稿	出力		
	2 穴		
	左	右	上
			
	4 穴		
	左	右	上
			

パンチ穴数	2 穴 / 4 穴
パンチ穴径	6.5 mm ± 0.5 mm
パンチ穴ピッチ	80 mm ± 0.5 mm
用紙サイズ	3-6 ページをごらんください。
用紙坪量	60 g/m ² ~ 91 g/m ²

- ✓ 用紙をセットしているトレイの側面ガイドと用紙との間に隙間をつくらないう、突き当ててセットします。正しくセットしないと、パンチ穴の位置ズレを起こします。
- ✓ パンチモード動作中にオートトレイスイッチ機能が働くと、パンチ穴がずれることがあります。
- ✓ 定形サイズ以外の用紙（検知サイズ設定、不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙）には、パンチできません。

- 1 原稿をセットします。
- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 [出力設定] を押します。
出力設定画面が表示されます。

4 「パンチ」を押します。



パンチ画面が表示されます。

5 任意のパンチ位置ボタンを選択します。



6 「OK」を押します。

- もとの設定にもどるときは、「キャンセル」を押します。
 - 設定した情報を残しながら機能を OFF にするときは、「機能 OFF」を押します。
- 出力設定画面にもどります。

7 出力設定画面の「OK」を押して、コピー画面にもどります。

コピー画面の「出力設定」下に、設定した機能のアイコンが表示されます。

重要

メイントレイは、用紙を積載するにつれて徐々に下降します。メイントレイの下に物を置いていると、ぶつかるなどして故障の原因になります。絶対に物を置かないでください。

8.5 2 台の機械で同じジョブを同時に出力する：タンデム出力

8.5.1 タンデム出力の概要

1 台（自機）で設定したコピー条件の複数部数出力を、2 台の機械（自機と相手機）で分けて同時に出力することができます。大量の出力を行う場合、出力時間を短縮できます。

タンデム出力する場合、2 台の機械を下記の方法のいずれかで接続します。

- クロスケーブルで 2 台を直接接続する
 - このとき、ネットワーク関連の機能は使用できません。
- HUB を介してストレートケーブルで接続する
 - クロスケーブル／ストレートケーブルとも、カテゴリ 5 以上のものを使用します。

タンデム出力には、サービスエンジニアによる設定が必要です。サービス実施店にお問い合わせください。

機械接続の留意項目

留意項目	内容
自機と相手機のオプション構成	自機と相手機のオプション構成が違っていると、タンデム出力はできません。
タンデム接続の状態	出力設定画面の「タンデム」を押して表示したタンデム設定画面で「ON」を選択した機械が自機になり、2 台の機械はタンデム接続の状態になります。
自機や相手機用の紙トレイにセットされている用紙情報	タンデム接続の状態になった 2 台の機械の機械状態画面の「用紙トレイ」には、「自機」と「相手機」のボタンが表示されます。自機、相手機どちらの「自機」を押しても、自機の用紙トレイにセットされている用紙情報が表示されます。自機、相手機どちらの「相手機」を押しても、相手機の用紙トレイにセットされている用紙情報が表示されます。
コピー条件の設定、原稿のスキャン、出力の指示	タンデム接続状態でのコピー条件の設定、原稿のスキャン、出力の指示は自機側で行います。
オートリセット	オートリセットは機能します。初期状態では、自機でオートリセットが働くと、タンデム接続は解除されます。
ユーザー認証／部門管理	ユーザー認証または部門管理が設定されているときは、タンデム出力はできません。
保存データの出力	画像出力保存した画像データをタンデム出力できます。
セキュリティ強化モード	セキュリティ強化モードが設定されているときは、タンデム出力はできません。

8.5.2 タンデム出力の操作

タンデム出力の方法を説明します。

タンデム出力の留意項目

説明項目	内容
タンデム出力マルチジョブ	タンデム出力中に、コピー予約機能で次コピーを設定すると、タンデム出力が可能です。コピー予約は、現コピーを含めて 100 まで設定可能です。
タンデム出力と割込みコピー	割込みモードは、操作パネルの割込みを押した機械だけに有効です。割込みモードになった機械のタンデム出力は割込みコピーが終了するまで中断されます。

説明項目	内容
タンデム接続とパワーセーブ機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手機がオートローパワー状態のときタンデム接続すると、相手機はオートローパワーから自動復帰します。 ・ 相手機がオートシャットオフ状態のとき、タンデム接続はできません。操作パネルのパワーセーブを押してオートシャットオフを解除してください。 ・ タンデム接続中に、相手機がオートローパワー状態になると、タンデム出力するときにオートローパワーから自動復帰します。 ・ タンデム接続中に、相手機がオートシャットオフ状態になると、タンデム接続は解除されます。 ・ タンデム接続中に、自機がオートローパワー／オートシャットオフになると、タンデム接続は解除されます。自機の任意のボタンを押して、オートシャットオフを解除し、最初から設定をしておいてください。
タンデム接続時のトラブル	<p>相手機が下記の状態のとき、「お待ちください 相手機の予約ができません」「相手機がエラーです」「相手機をチェックしてください」などのメッセージが表示され、タンデム接続できません。</p> <p>相手機がオートシャットオフ状態になっていると、タンデム接続できません。</p> <p>相手機操作パネルのパワーセーブを押して、オートシャットオフを解除します。</p> <p>タンデム接続中に、相手機がオートシャットオフになると、タンデム接続は解除されます。相手機操作パネルのパワーセーブを押して、オートシャットオフを解除し、最初から設定をしておいてください。</p> <p>タンデム接続中に、相手機に紙づまりや用紙切れなどのトラブルが発生し、出力できない状態になると、接続はそのままされていますが、出力はできません。相手機のトラブル処置をして、出力可能な状態にもどしてください。</p> <p>タンデム接続中に、相手機にタンデムモード以外のジョブが 100 予約されていると、タンデム出力できません。予約ジョブが相手機で処理されるまでお待ちください。</p>

- 1 タンデム接続している 2 台の機械の主電源スイッチおよび副電源スイッチを ON にし、それぞれのコピー画面を表示します。
→ 2 台ともコピー画面を表示し、コピー可能状態にします。
- 2 自機にする機械のコピー画面の「出力設定」を押します。



出力設定画面が表示されます。

- 3 「タンデム」を押します。



タンデム設定画面が表示されます。

- 4 タンデム設定画面の「ON」を選択して、「OK」を2回押します。



自機のコピー画面右下に、「タンデム M」が表示されます。



重要

相手機のタンデム設定画面の「ON」を選択しないでください。タンデム接続できなくなります。

- 1 台の機械に対して複数のトレイを使用するコピー条件でコピーする場合は、自機／相手機のトレイサイズを合わせます。
- タンデム接続中でも、相手機は通常のコピーが可能です。

- 5 自機側でタンデム出力のコピー条件を設定します。
- 6 自機側で設定部数を入力します。
100 部と入力すると、自機側で 50 部、相手機側で 50 部出力されます。
→ 設定部数の設定の詳細は、4-18 ページをごらんください。
→ 設定部数を 2 部以上に入力しないと、タンデム出力はできません。
→ 奇数の設定部数を入力したときは、自機側に 1 部多く出力されます。
- 7 自機に原稿をセットします。
→ 原稿セットの詳細は、4-15 ページをごらんください。
- 8 自機の操作パネルのスタートを押します。
相手機のコピー画面右下に、[タンデム S] が表示されます。



出力が完了すると、タンデム接続は自動的に解除され、自機の [タンデム M]、および相手機の [タンデム S] は消えます。

重要

フィニッシャー FS-532 には積載制限枚数があります。故障の原因になりますので、積載枚数を超えないようにしてください。

8.5.3 タンデム接続／出力の中断

タンデム出力を中断する方法を説明します。

ここでは、タンデム出力をすべて中断します。相手機の出力を中断し、自機の出力を継続するときは、8-30 ページをごらんください。

- 1 自機の操作パネルのストップを押します。
原稿スキャン／タンデム出力は一時停止し、自機の画面に、確認のダイアログが表示されます。このときは、まだタンデム接続は解除されていません。



- 2 [中止] を押します。
→ [継続] を押すと、原稿スキャン／タンデム出力は継続されます。



スキャンした画像データは完全に消去され、タンデム接続および出力は解除されます。

8.5.4 相手機だけのタンデム出力を中断する

相手機の出力を中断し、自機の出力を継続する方法を説明します。

- 1 相手機の操作パネルのストップを押します。
相手機のタンデム出力は一時停止し、相手機の画面に、確認のためのダイアログが表示されます。このときは、タンデム接続は解除されていません。
→ 相手機の一時停止が長く続いていると、割振りリカバリー機能が働き、相手機の出力分だけ自機から出力されます。



- 2 [中止] を押します。
タンデム接続および相手機の出力は解除されます。
[継続] を押すと、中断されていた相手機のタンデム出力は継続されます。



8.5.5 タンデム接続／出力中のトラブルの処置

項目	内容
割振りリカバリー	出力を終了した機械が、相手機の状態を検知し、残り部数を再び割振り、出力します。 また、タンデム出力中に、どちらかの機械にトラブルが発生したとき、トラブルを起こしていない方の機械が、トラブルのあった方の機械の状態を検知し、割当てられた出力完了後に、引続き残りを出力します。
どちらかの機械が出力を終えたとき	相手機の状態を検知し、割振りリカバリー機能によって、残り部数の 1/2 を自動的に出力します。
どちらかの機械に用紙切れ、紙づまり、SC コード（E、F コード）のトラブルが発生したとき	割振りリカバリー機能によって、出力可能な機械から残りを自動的に出力します。 SC コード（E、F コード）が表示された場合は、タンデム出力完了後、それぞれ処理してください。
自機がメモリーオーバーフローした場合	原稿スキャンは停止し、タンデム出力は自機／相手機とも停止します。 この時点では、タンデム接続は解除されていません。単体でメモリーオーバーフローしたときと同じ処理をしてください。
相手機がメモリーオーバーフローした場合	予約コピーの処理が進んでメモリーが空く場合は、空きができた時点でタンデム出力を再開します。 空きができるまでは、割振りリカバリー機能が働いて自機側で出力されます。 時間の経過によってメモリーに空きができる状態でない場合は、相手機のタンデム出力は解除されます。 残りの出力は、割振りリカバリー機能により自機側で行われます。
どちらかの機械の電源を OFF にしたとき	どちらの電源を OFF にしても、タンデム接続／出力は自動的に解除されます。初めから設定をやり直してください。



ジョブリスト

9 ジョブリスト

9.1 ジョブリスト画面の概要

ジョブリスト画面には、下記の種類があります。

画面	説明
ジョブ動作中／保留中リスト画面	〔ジョブリスト〕タブを押したとき、最初に表示されます。動作中、保留中のジョブをリストで確認したり、操作したりできます。
スケジュール画面	ジョブリスト画面の〔スケジュール〕を押したときに表示されます。ジョブ動作中／保留中リスト画面に表示されている動作中のジョブを、ジョブバーで表示します。また、ジョブバー表示部から予約の順序を変更したり、予約ジョブで使用するトレイを変更したりします。
出力履歴画面	ジョブリスト画面の〔出力履歴〕を押したときに表示されます。出力履歴をリスト表示します。出力ジョブの詳細を確認できます。
送信履歴画面	ジョブリスト画面の〔送信履歴〕を押したときに表示されます。送信履歴をリスト表示します。
未出力履歴画面	ジョブリスト画面の〔未出力履歴〕を押したときに表示されます。未出力ジョブをリスト表示します。
展開状況画面	RIP 待ち、受信中のジョブをリスト表示します。

ここで確認したり、操作したりできるジョブは、コピーのほかに、プリント、スキャナー関連のジョブも含まれます。

- 1 画面の〔ジョブリスト〕タブを押します。
ジョブリスト画面が表示されます。



- 2 ジョブリスト画面上部のボタンを押して、各画面を表示します。
 - 〔ジョブ〕を押すと、ジョブ動作中／保留中画面が表示されます。9-4 ページをごらんください。
 - 〔スケジュール〕を押すと、スケジュール画面が表示されます。9-15 ページをごらんください。
 - 〔出力履歴〕を押すと、出力履歴画面が表示されます。9-29 ページをごらんください。
 - 〔送信履歴〕を押すと、送信履歴画面が表示されます。9-31 ページをごらんください。
 - 〔未出力履歴〕を押すと、未出力履歴画面が表示されます。9-33 ページをごらんください。
 - 〔展開状況〕を押すと、展開状況画面が表示されます。9-35 ページをごらんください。



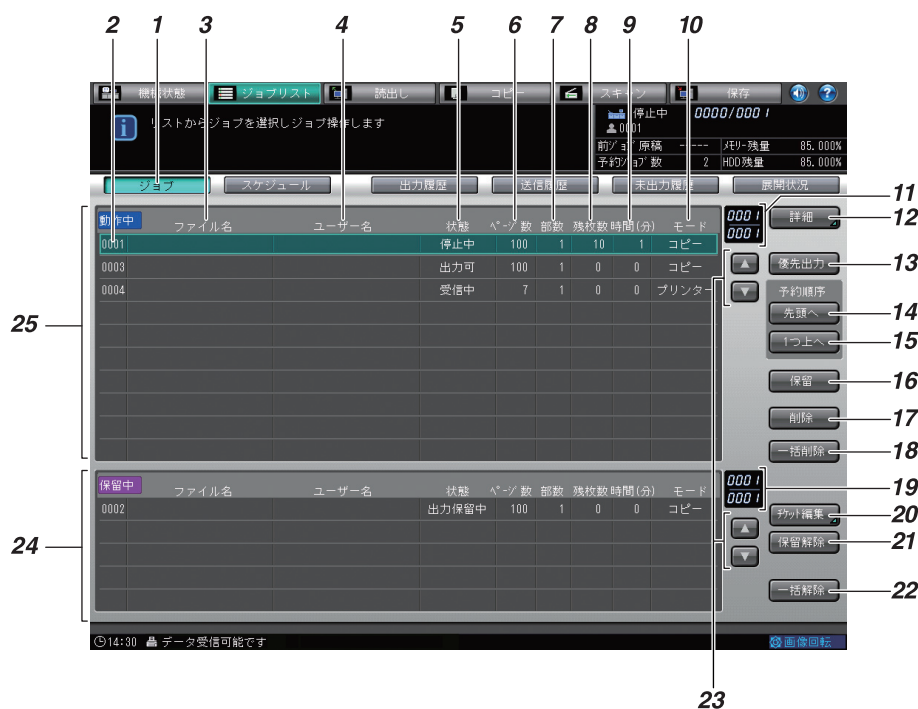
- 3 ジョブリスト画面から出るときは、画面上部にある「ジョブリスト」タブ以外のタブボタンを押します。

9.2 ジョブ動作中／保留中リスト画面

ジョブ動作中／保留中リスト画面でのジョブの確認方法、および操作方法について説明します。

9.2.1 ジョブ動作中／保留中リスト画面の概要

ジョブ動作中／保留中リスト画面は、出力中、予約中、保留中などのジョブの状態をリスト表示します。リストに表示されている任意のジョブを選択して、詳細を確認したり、出力順を変更したり、削除したりできます。



番号	名称	説明
1	[ジョブ]	ジョブ動作中／保留中リスト画面を表示するときに押します。
2	ジョブナンバー	すべてのジョブに割り当てられた番号を表示します。
3	[ファイル名]	ジョブにファイル名情報があるときに表示します。
4	[ユーザー名]	ジョブにユーザー名情報があるときに表示します。
5	[状態]	出力中、停止中、予約など、ジョブの現在の状態を表示します。
6	[ページ数]	原稿のページ数を表示します。
7	[部数]	設定部数を表示します。
8	[残枚数]	ページ数×部数＝出力残枚数を4桁まで表示します。
9	[時間（分）]	各ジョブの出力に要する時間を分で表示します。
10	[モード]	コピー、プリンターなど、出力形態を表示します。
11	動作中リスト表示ナンバー／トータルナンバー	上に現在表示されている動作中リストの番号、下に全動作中リスト数を表示します。
12	[詳細]	指定したジョブの詳細を確認したいときに押します。
13	[優先出力]	現在出力中のジョブを一時停止して、指定したジョブを先に出力したいときに押します。
14	[先頭へ]	指定したジョブを、現在出力しているジョブの次に出力したいときに押します。

番号	名称	説明
15	[1つ上へ]	指定したジョブの出力順を、1つ上げたいときに押します。
16	[保留]	指定したジョブを保留するときに押します。
17	[削除]	指定したジョブを削除するときに押します。
18	[一括削除]	動作中リストの、すべてのジョブを削除するときに押します。
19	保留中リスト表示ナンバー／トータルナンバー	上に現在表示されている保留中リストの番号、下に全保留中リスト数を表示します。
20	[チケット編集]	指定した保留中ジョブの詳細を確認したいときに押します。
21	[保留解除]	指定したジョブの保留状態を解除するときに押します。
22	[一括解除]	保留中リストにある、すべてのジョブの保留状態を解除するときに押します。
23	リストスクロールボタン	動作中リストや保留中リストが複数あるとき、押して展開します。
24	保留中リスト	保留中ジョブリストを表示します。保留中ジョブを操作するとき、項目の行を押して選択します。
25	動作中リスト	動作中ジョブリストを表示します。動作中ジョブを操作するとき、項目の行を押して選択します。

9.2.2 ジョブの詳細を表示する

動作中や保留中のジョブの設定内容を確認します。

- 1 画面の [ジョブリスト] タブを押します。
→ ジョブリスト画面で [ジョブ] が反転していないときは、[ジョブ] を選択します。
- 2 詳細を表示したいジョブを選択します。
→ リストが複数あるときは、それぞれのリストスクロールボタンを押してリストを表示します。
→ ジョブ項目の行を押して反転させます。
→ 動作中リスト、保留中リストのどちらのジョブも選択できます。
- 3 [詳細] を押します。



設定確認画面が表示されます。

- 4 設定確認画面でジョブの設定を確認します。
→ [出力設定] と [応用設定] のリストに [◀] [▶] がグレーアウトしていないときは、さらにリスト表示があります。押して確認します。



- 5 「閉じる」を押します。
ジョブリスト画面にもどります。

9.2.3 優先出力する

現在出力中のジョブを一時停止して、動作中リストの出力可のジョブを先に出力します。

優先出力を指定できる条件

- 優先出力するジョブが動作中リストに表示されている
- 読み込み中、出力中、または停止中のジョブがあるとき

優先出力できない条件

- 割込み中
- 優先出力中
- チケット編集画面からのサンプル出力中

優先出力：原稿読み込み中の停止条件

- ADFで原稿読み込み中に読み込んだデータを出力しているときは、原稿読み込みが終了し出力が完了したとき、そのジョブを停止します。
- ADFで原稿読み込み中に読み込んだデータを出力していないときは、原稿読み込みが終了したとき、出力せずにそのジョブを停止します。
- 原稿ガラスで原稿をスキャンしているときは、スキャン終了したとき、出力せずにそのジョブを停止します。

優先出力：プリント出力の停止条件

- プリント出力中のジョブがフィニッシャー FS-532 を使用して、その機械内部に用紙が残っている場合は、部数区切りで停止します。
- プリント出力中で上記条件以外の場合は、即時停止します。

優先出力ジョブと停止中、またはウォームアップ中のジョブ

- 停止中のジョブがフィニッシャー FS-532 を使用して、その機械内部に用紙が残っていない場合は、動作を再開した後に停止中のジョブに替わって優先出力のジョブを出力します。
- ウォームアップ中のジョブは、優先出力のジョブと入替わります。

優先出力後の動作

- 優先出力のジョブの出力が完了すると、停止していたジョブの出力を自動的に開始します。

- 1 画面の「ジョブリスト」タブを押します。
→ ジョブリスト画面で「ジョブ」が反転していないときは、「ジョブ」を選択します。

- 2 動作中リストから優先出力したいジョブを選択します。
→ リストが複数あるときは、それぞれのリストスクロールボタンを押してリストを表示します。
→ 出力可のジョブ項目の行を1行押して反転させます。複数行を選択できません。
→ 動作中リストのジョブだけ選択できます。保留中のジョブを優先出力したいときは、そのジョブを動作中リストに移動させてから選択します。

3 「優先出力」を押します。



確認のダイアログが表示されます。

4 「はい」を押します。



- 優先出力を実行するために部数区切り停止を待っているときに操作パネルのストップを押すと、一時停止します。[中止]を押すと、停止したジョブを中止します。[継続]を押すと、停止したジョブを再開します。[一時停止]を押すと、出力を一時停止し、操作パネルのスタートを押すと再開します。
- 優先出力を受け、現在出力中のジョブの停止を待っているときに[削除]を押すと、優先出力のジョブは削除され、もとのジョブの出力が自動的に再スタートします。
- 優先出力のジョブが予約リストにあるときや、優先出力ジョブを出力しているときは、割込みできません。
- 優先出力ジョブを出力しているとき、通常のジョブと同様に翌日継続できます。

9.2.4 出力順を変更する

動作中リストのジョブ予約順序を入替えて、出力順を変更します。

重要

この操作では、現在出力中のジョブより先に出力できません。現在出力中のジョブを停止して動作中リストの出力可のジョブを出力する場合は、優先出力を選択します。詳しくは、9-6 ページをごらんください。

- 1 画面の「ジョブリスト」タブを押します。
 - ジョブリスト画面で「ジョブ」が反転していないときは、「ジョブ」を選択します。
- 2 動作中リストから先に出力したいジョブを選択します。

- リストが複数あるときは、それぞれのリストスクロールボタンを押してリストを表示します。
- 出力可のジョブ項目の行を 1 行選択します。複数行を選択できません。

3 [先頭へ] または [1 つ上へ] を押します。

- [先頭へ] を押すと、手順 2 で選択したジョブは、出力中のジョブの次に移動します。
- [1 つ上へ] を押すと、手順 2 で選択したジョブは、ひとつ上に移動します。[1 つ上へ] を押すごとに、1 つずつ上に移動します。
- 選択したジョブを下に移動できません。



9.2.5 動作中リストのジョブを保留中リストに移動する

動作中リストのジョブを保留中リストに移動して、出力を保留にします。保留にしたジョブは、チケット編集で設定を変更できます。



参照

保留ジョブのチケット編集については、9-11 ページをごらんください。

保留ジョブを動作中リストにもどす方法については、9-13 ページをごらんください。

- 1 画面の [ジョブリスト] タブを押します。
 - ジョブリスト画面で [ジョブ] が反転していないときは、[ジョブ] を選択します。
- 2 動作中リストから保留にしたいジョブを選択します。
 - リストが複数あるときは、それぞれのリストスクロールボタンを押してリストを表示します。
 - ジョブ項目の行を 1 行選択します。複数行を選択できません。
- 3 [保留] を押します。



保留中リストに手順 2 で選択したジョブが移動します。

→ 複数のジョブを保留ジョブにする場合は、手順 2 と手順 3 を繰り返します。



9.2.6 動作中リストのジョブを 1 つずつ削除する

動作中リストのジョブを 1 つずつ削除して、出力しないようにします。

重要

〔削除〕では、出力中のジョブを削除できません。

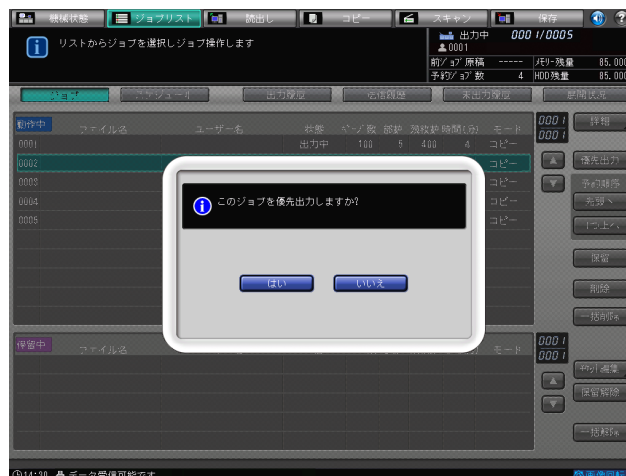
HDD、FTP、SMB など他のデバイスに保存されていないジョブは、削除するとともにもどせませんので、ご注意ください。

- 1 画面の〔ジョブリスト〕タブを押します。
→ ジョブリスト画面で〔ジョブ〕が反転していないときは、〔ジョブ〕を選択します。
- 2 動作中リストから削除したいジョブを選択します。
→ リストが複数あるときは、それぞれのリストスクロールボタンを押してリストを表示します。
→ ジョブ項目の行を 1 行選択します。複数行を選択できません。
- 3 〔削除〕を押します。



確認のダイアログが表示されます。

- 4 [中止] を押すと、ジョブは削除されます。[継続] を押すと、出力を再開します。



9.2.7 動作中リストのジョブを一括削除する

動作中リストのジョブを全部削除して、出力しないようにします。

重要

[一括削除] すると、出力中のジョブも停止中のジョブにかわり、削除されます。

HDD、FTP、SMB など他のデバイスに保存されていないジョブは、削除するとバックアップできませんので、ご注意ください。

- 1 画面の [ジョブリスト] タブを押します。
→ ジョブリスト画面で [ジョブ] が反転していないときは、[ジョブ] を選択します。
- 2 [一括削除] を押します。



確認のダイアログが表示されます。

3 「はい」を押します。



動作中リストのジョブがすべて消えます。

9.2.8 保留ジョブをチケット編集する

ジョブリスト画面の保留中リストにジョブを移し、チケット編集画面でジョブの詳細情報を確認したり、出力内容を編集したりします。編集したジョブの出力イメージを表示したり、サンプル出力したりできます。

また、ジョブを編集した後、ウエイト、プルーフ、または自動の出力指示の選択ができます。

チケット編集が可能なジョブは下記のとおりです。

- ジョブリスト画面の動作中リストにリストアップされていた出力待機中のジョブのうち、保留にしたジョブ
- ハードディスクに保存されているジョブのうち、ジョブリスト画面の保留中リストに読出したジョブ

- 1 画面の「ジョブリスト」タブを押します。
→ ジョブリスト画面で「ジョブ」が反転していないときは、「ジョブ」を選択します。
- 2 チケット編集するジョブを保留中リストから選択し、「チケット編集」を押します。
→ 動作中リストのジョブを保留中リストに移動する方法は、9-8 ページをごらんください。
→ ハードディスクに保存されているジョブのうち、ジョブリスト画面の保留中リストに読出す方法は、「ユーザズガイド ネットワークスキャナー編」をごらんください。



- 3 チケット編集画面でジョブ編集をします。
- 給紙トレイを変更できます。
 - [出力条件]、[出力設定]、[応用設定] を押すと、それぞれの設定画面が表示され、任意に編集できます。
 - [部数／印刷面]、[出力設定]、[応用設定] 下のボタンのうち、右下に三角の印のあるボタンを押すと、それぞれの専用画面が表示され、任意に編集できます。



- 4 編集しているジョブの出力イメージを表示するときは、[出力イメージ] を押します。

- 5 出力イメージ画面でジョブの出力イメージを確認します。
- [用紙情報] 下の表示で選択したジョブの用紙情報が確認できます。
 - ジョブが両面印刷の場合、[オモテ面] [ウラ面] を押して、それぞれの出力イメージが確認できます。
 - [先頭紙]、[1 枚前]、[1 枚後]、[最終紙] を押して、任意のページを表示します。カウンター枠は、現在表示している用紙番号と全用紙番号を表示します。



- [用紙番号指定] を押すと、ページ指定画面が表示されます。画面のテンキーを押して [OK] を押すと、入力したページを表示します。



- 6 [閉じる] を押します。
チケット編集画面にもどります。
- 7 サンプル出力をするときは、[サンプル出力] を押します。
サンプル出力します。
→ 動作中のジョブがあったり、ADF でスキャンしていたりしたときは、サンプル出力中止のダイアログが表示されます。[中止] を押して、サンプル出力ができるようになるまでお待ちください。
→ サンプル出力中は、機械状態画面が表示され、ほかの画面を表示することはできません。



- 用紙不一致でサンプル出力できないことがあります。11-15 ページをごらんください。
→ サンプル出力を途中で強制終了するときは、**操作パネルのストップ**を押します。強制終了によって、サンプル出力下ジョブが削除されることはありません。

9.2.9 保留ジョブを解除する

保留リストのジョブを動作中リストにもどし、出力できるようにします。

- 1 画面の [ジョブリスト] タブを押します。
→ ジョブリスト画面で [ジョブ] が反転していないときは、[ジョブ] を選択します。
- 2 保留中リストから動作中リストにもどしたいジョブを選択します。
→ リストが複数あるときは、それぞれのリストスクロールボタンを押してリストを表示します。
→ ジョブ項目の行を 1 行選択します。複数行を選択できません。

3 「保留解除」を押します。

→ 保留中リストのジョブをすべて動作中リストにもどすときは、「一括解除」を押します。



9.3 スケジュール

9.3.1 スケジュール画面の概要

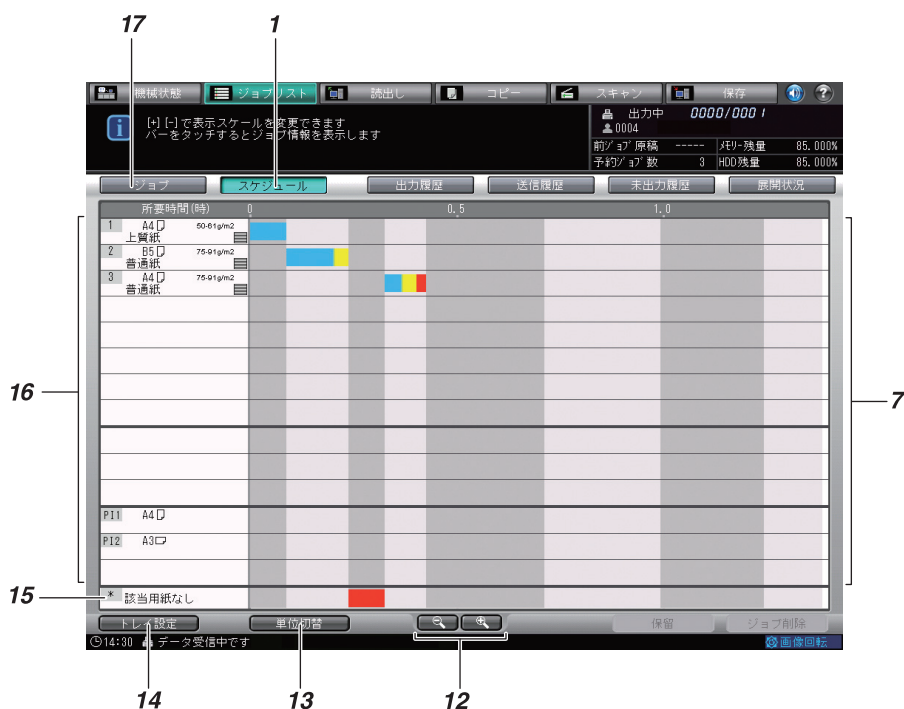
スケジュール画面は、予約ジョブを含めた動作中のジョブをジョブバーで表示します。各ジョブの所要時間、使用するトレイ、用紙の残量、動作停止のタイミングなどを視覚的に表示することによって、用紙補給やトレイ切替え作業を事前に把握できます。また、ジョブバー表示部から予約の順序を変更したり、予約ジョブで使用するトレイを変更したりできます。

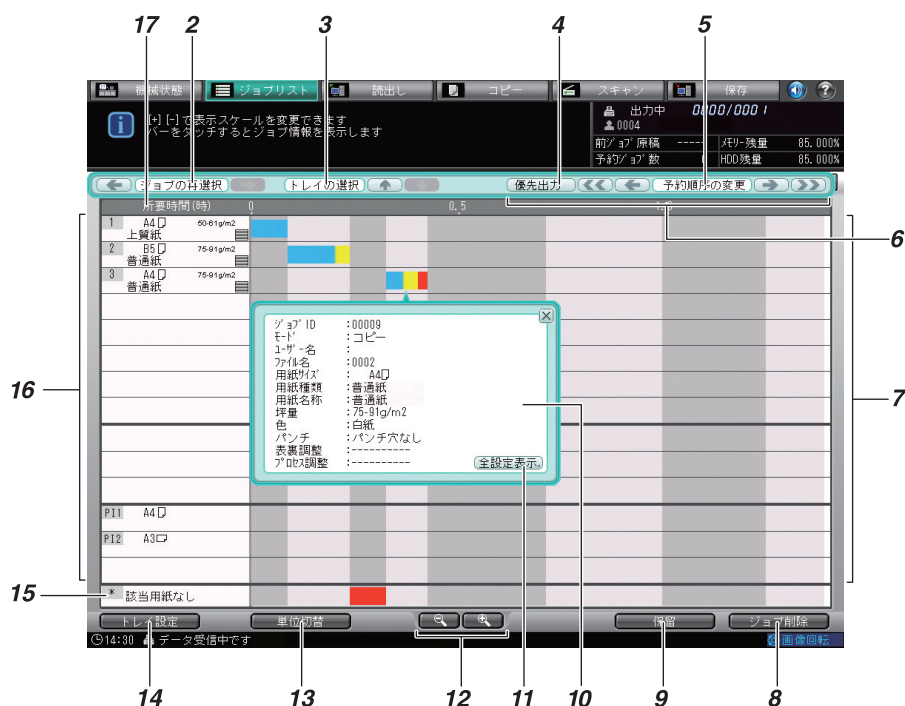
ジョブバー表示部は、ジョブで使用する給紙トレイと下記の項目との関係を表示します。

- ジョブ動作の開始および終了予定時刻
- ジョブ動作にかかる所要時間（分）

機械が下記の状態になったとき、スケジュール画面は再描画します。

- 給紙トレイをセットしたり引出したりしたときや、用紙残量が変化したとき
- トレイ設定を変更したとき
- ジョブを開始または再開したとき
- 予約ジョブを追加または削除したときや、出力順を変更したとき
- 出力中のジョブが終了したとき
- 出力中に、画面の更新間隔が 30 秒以上あいたとき





番号	名称	説明
1	[スケジュール]	ジョブリスト画面のスケジュール画面を表示するときに押します。
2	[ジョブの再選択]	ジョブバー表示部に複数のバーが表示されているとき、ジョブごとに用紙設定ダイアログを切替えます。
3	[トレイの選択]	選択したジョブが複数の給紙トレイを使用するとき、用紙設定ダイアログにそれぞれの内容を切替え表示します。
4	[優先出力]	選択したジョブを優先出力するときに押します。
5	[予約順序の変更]	予約ジョブの出力順を変更します。
6	操作ダイアログ	ジョブバー表示部のバーを押したときに表示されます。[ジョブの再選択]、[トレイの選択]、[優先出力]、および[予約順序の変更]の各操作を行います。
7	[ジョブバー表示部]	ジョブをグレーの濃淡のエリアで区切り、下記のルールに基づいて青色、黄色、赤色、オレンジ色のバーで表示します。 青色：用紙が十分にあることを示します。 黄色：出力中に用紙が足りなくなる可能性があることを示します。 赤色：出力の途中で用紙がなくなるために停止する可能性が高い、トレイ設定が異なるために出力できない、またはトレイに用紙がないことを示します。 オレンジ色：サイズ／用紙種類不一致で停止するジョブで、現在トレイにセットされている用紙を替换する必要があることを示します。 バーの先頭に[▼]マークがついているジョブは、ウェイトまたはブルーフジョブで、機械の動作が一時的に停止することを示しています。このジョブに出力順が回ってきても、手続きが完了して実際に出力を開始するまでは、[▼]マークは消えません。バーを押すと、そのジョブの用紙設定ダイアログが表示されます。
8	[ジョブ削除]	選択したジョブを削除するときに押します。
9	[保留]	選択したジョブを保留するときに押します。

番号	名称	説明
10	用紙設定ダイアログ	ジョブバー表示部のバーを押したときに表示されます。選択したジョブの用紙設定やジョブ情報を表示します。
11	[全設定表示]	選択したジョブバーの全ての設定情報を表示します。
12	[-] [+]	ジョブバー表示部の時間軸のスケールを変更するときに押します。
13	[単位切替]	所要時間と予定時刻とを切替えるときに押します。
14	[トレイ設定]	予約ジョブのトレイ設定を変更するときに押します。
15	該当用紙なし	使用する用紙サイズや用紙条件に当てはまるトレイがないジョブのバーを表示します。
16	給紙トレイ項目	各給紙トレイの用紙サイズ、用紙の残量、トレイ設定で設定している用紙坪量、および用紙種類を表示します。
17	予定時刻／所要時間	動作中のジョブや予約ジョブの出力に要する時間を、所要時間または時刻で表示します。

スケジュール画面を表示する

- ✓ 出力中のジョブを表すバーは、作業時間の残りを示しているため、時間の経過とともに短くなっていきます。
- ✓ ジョブのバーは、原稿の読み込み、またはイメージコントローラーからの画像入力が完了してから、ジョブバー表示部に表示されます。
- ✓ 1分以内で終了するジョブは、1分として表示します。

- 1 ジョブを出力します。
→ 複数のジョブを出力する場合は、コピー予約や読出しの機能をお使いください。
- 2 画面の [ジョブリスト] タブを押して、ジョブリスト画面を表示します。



3 ジョブリスト画面の「スケジュール」を押します。



スケジュール画面が表示されます。

9.3.2 「単位切替」、[－]、[＋] を操作する

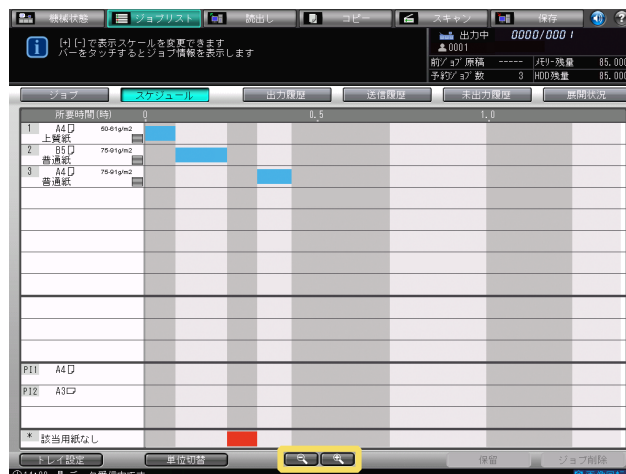
スケジュール画面の「単位切替」、[－]、[＋] の操作方法を説明します。

- 1 9-17 ページの操作をして、スケジュール画面を表示します。
- 2 「単位切替」を押して、時間軸の単位を切替えます。



→ 「単位切替」を押すごとに、時間軸の単位が「予定時刻」、[所要時間（時／分）] に切替わります。

3 [-] または [+] を押して、表示スケールを変更します。



表示スケールは下記の範囲で設定できます。

時間軸項目	[-] / [+] による設定範囲
予定時刻	30 分後から 24 時間後まで
所要時間 (時/分)	10 分間から 24 時間まで

9.3.3 操作ダイアログで用紙設定ダイアログを操作する

スケジュール画面の操作ダイアログを表示して、そこから用紙設定ダイアログを操作する方法を説明します。

- ✓ 操作ダイアログや用紙設定ダイアログを表示したままでは、スケジュール画面から出られません。スケジュール画面から出る場合は、用紙設定ダイアログ右上の [×] を押して、ダイアログを消してください。

- 1 9-17 ページの操作をして、スケジュール画面を表示します。
- 2 ジョブバー表示部で、任意のバーを選択します。
操作ダイアログと、選択したバーが表すジョブの用紙設定ダイアログとが表示されます。
- 3 [ジョブの再選択] の左右の矢印ボタンを押して、任意のジョブの用紙設定ダイアログを表示します。
 - [→] を押すごとに、次のジョブの用紙設定ダイアログを表示します。最後のジョブのダイアログを表示すると、[→] はグレーアウトして、表示は展開しなくなります。
 - [←] を押すごとに、前のジョブの用紙設定ダイアログを表示します。最初のジョブのダイアログを表示すると、[←] はグレーアウトして、表示は展開しなくなります。



- 4 選択したジョブが複数のトレイを使用する場合、[トレイの選択] の上下の矢印ボタンを押して、そのジョブの用紙設定ダイアログを切替え表示します。
- [→] を押すごとに、次に使用するトレイの用紙設定ダイアログを表示します。最後のトレイのダイアログを表示すると、[→] はグレースアウトして、表示は展開しなくなります。
 - [←] を押すごとに、前に使用するトレイの用紙設定ダイアログを表示します。最初のトレイのダイアログを表示すると、[←] はグレースアウトして、表示は展開しなくなります。



9.3.4 予約ジョブの出力順を変更する

予約ジョブの出力順を変更する操作を説明します。

- ✓ 操作ダイアログや用紙設定ダイアログを表示したままでは、スケジュール画面から出られません。スケジュール画面から出る場合は、用紙設定ダイアログ右上の[×]を押して、ダイアログを消してください。
- 1 9-17 ページの操作をして、スケジュール画面を表示します。
 - 2 ジョブバー表示部で、出力順を変更したいジョブのバーを選択します。
 - 出力順を変更したいジョブが複数のトレイを使用する場合は、いずれか1つのバーを選択します。

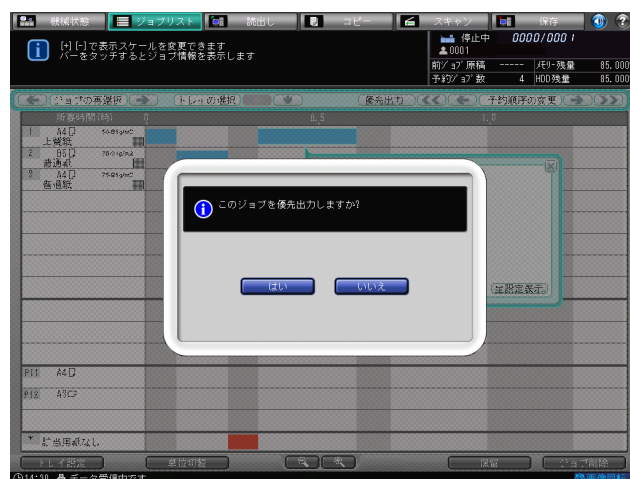


操作ダイアログと、選択したバーが表すジョブの用紙設定ダイアログとが表示されます。

- 3 [予約順序の変更] の左右のボタンを押して、ジョブの出力順を変更します。
 - 1つ前に出力するときは[←]、現在出力しているジョブの次に出力するときは[<<]を押します。
 - 1つ先に出力するときは[→]、最後に出力するときは[>>]を押します。
 - 出力順を変更するボタンがグレースアウトしているときは、その方向には順番を変更できません。



- 4 現在出力中のジョブを一時停止して、選択したジョブを先に出力したいときは、[優先出力] を押します。
- [優先出力] を押すと、確認のダイアログが表示されます。[はい] を押すと、現在出力中のジョブを一時停止してから、選択したジョブの出力を開始します。



参照

予約ジョブの出力順の変更や、優先出力の設定は、ジョブ動作中／保留リスト画面でもできます。9-4 ページをごらんください。

9.3.5 トレイ設定を変更する

スケジュール画面からトレイ設定画面を表示して、トレイ設定を変更できます。

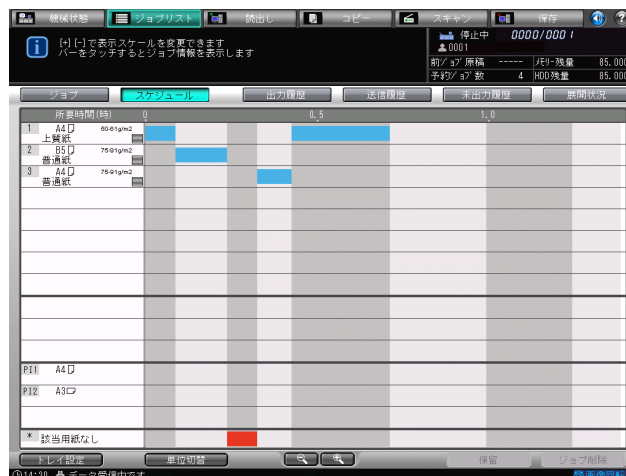
ジョブが動作中または出力中の場合は、変更できるトレイに制限があります。変更できるトレイの条件は下記のとおりです。

- 設定を変更するトレイが、動作中のジョブで使用されていない
- 設定を変更するトレイが、選択した予約ジョブより前に出力されるジョブで使用されない
- 出力順が回ってきた予約ジョブの指定用紙サイズと、トレイにセットされている用紙サイズとが不一致で出力できない

プリンターコントローラーからの出力では、選択したトレイの用紙サイズがプリントジョブの指定用紙サイズと一致していないとき、出力を停止します。このとき、トレイ設定を変更できます。

- 1 9-15 ページの操作をして、スケジュール画面を表示します。

2 トレイ設定を変更したいジョブのバーを選択します。



操作ダイアログと用紙設定ダイアログとが表示されます。

→ バーを選択していなくても、トレイ設定画面を表示できます。その場合は、変更できるトレイをトレイ設定画面で選択します。

3 操作ダイアログで、用紙設定を変更したいトレイを選択してから、スケジュール画面の「トレイ設定」を押します。



選択したトレイのトレイ設定画面が表示されます。

4 「設定変更」または「設定呼出し」を押します。



- 5 設定を任意に変更して、[OK] を押します。
トレイ設定画面にもどります。
- 6 トレイ設定画面の[閉じる]を押します。



スケジュール画面にもどります。

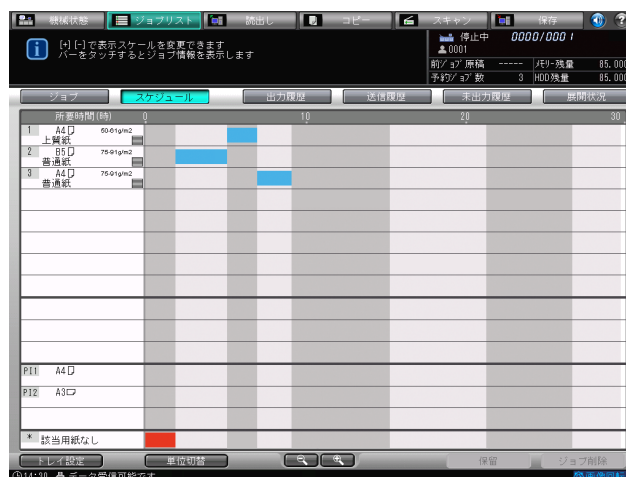
- 変更した内容によっては、手順 2 で選択したジョブが「該当用紙なし」になって、出力を停止することがあります。その場合は、次項の手順に従って、出力を再開します。

9.3.6 「該当用紙なし」ジョブを出力する

「該当用紙なし」欄のバーは、コピージョブが指定する用紙サイズや用紙条件が、どのトレイにも設定されていないときに表示されます。そして、「該当用紙なし」のジョブに出力順が回ってきたとき、機械は出力を停止します。

下記の手順に従って、出力を再開します。

- 1 9-17 ページの操作をして、スケジュール画面を表示します。
- 2 出力を停止している「該当用紙なし」のバーを選択します。



「該当用紙なし」ジョブの用紙設定ダイアログが表示されます。

3 用紙サイズおよび用紙条件を確認します。



トレイにセットされている用紙にあわせて、トレイ設定を変更する場合は、手順 4 に進みます。
 トレイ設定を変更しないで、設定にあわせた用紙をトレイにセットする場合は、手順 8 に進みます。
 → トレイ設定の変更と用紙の入替えの両方を行う場合は、先にトレイ設定を変更してください。先に用紙を入替えと、トレイ設定を変更できません。

- 4 スケジュール画面の「トレイ設定」を押します。
「トレイ 1」のトレイ設定画面が表示されます。
- 5 任意のトレイボタンを選択して、「設定変更」または「設定呼出し」を押します。



- 6 設定を任意に変更して、「OK」を押します。
トレイ設定画面にもどります。

7 トレイ設定画面の「閉じる」を押します。



スケジュール画面にもどります。

8 「機械状態」タブを押して、機械状態画面を表示します。

9 画面のメッセージに表示されているサイズの用紙を、任意のトレイにセットします。



用紙をセットすると、「[スタート] で再スタートできます」というメッセージに変わります。



10 操作パネルのスタートを押します。

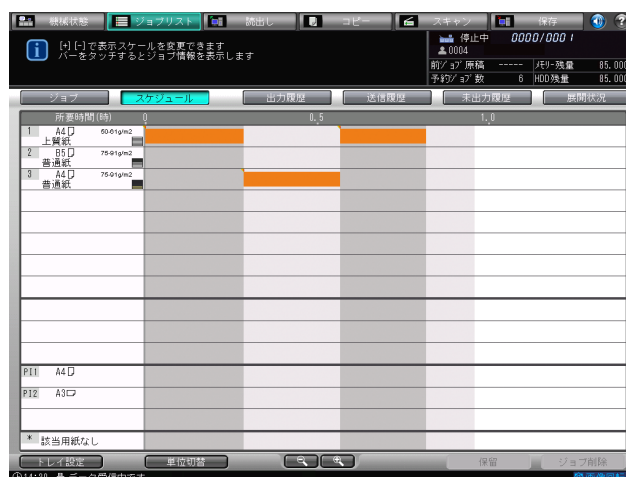
「該当用紙なし」ジョブの出力を開始します。

9.3.7 用紙サイズ不一致のジョブを出力する

プリンタージョブで指定したトレイに、そのジョブの出力サイズ用の紙がセットされていないとき、ジョブバー表示部の該当するトレイの欄には、オレンジ色のバーが表示されます。



そして、このジョブに出力順が回ってきたとき、機械は出力を停止します。



停止した出力を再開する手順は、11-13 ページをごらんください。

9.3.8 予約ジョブを保留ジョブにする

予約ジョブから保留ジョブへの変更は、ジョブ動作中／保留中リスト画面で行いますが、スケジュール画面でも行えます。

下記の手順に従って、任意の予約ジョブを保留ジョブにします。

- 1 9-17 ページの操作をして、スケジュール画面を表示します。
- 2 保留にするジョブのバーを選択します。
- 3 画面右下の「保留」を押します。



選択したジョブが保留ジョブになり、スケジュール画面から消えます。

→ 画面の「ジョブ」を押して、ジョブ動作中／保留中リスト画面を表示すると、保留中リストで保留にしたジョブを確認できます。

9.3.9 予約ジョブを削除する

予約ジョブの削除は、ジョブ動作中／保留中リスト画面で行いますが、スケジュール画面でも行えます。下記の手順に従って、任意の予約ジョブを削除します。

- 1 9-17 ページの操作をして、スケジュール画面を表示します。
- 2 削除するジョブのバーを選択します。
- 3 画面右下の「ジョブ削除」を押します。



削除確認のダイアログが表示されます。

4 「はい」を押します。



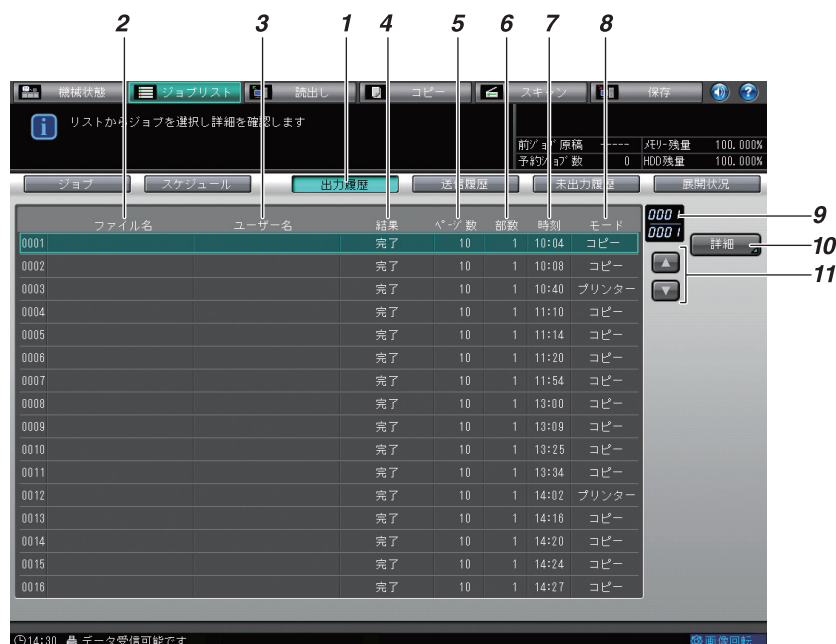
選択したジョブは削除され、スケジュール画面から消えます。

9.4 出力、送信、未出力の履歴の確認

9.4.1 出力履歴を確認する

ジョブリスト画面の出力履歴画面は、出力履歴をリスト表示します。

各ジョブの詳細は、設定確認画面を表示して確認できます。



番号	名称	説明
1	[出力履歴]	出力履歴画面を表示するときに押します。
2	[ファイル名]	ジョブにファイル名情報があるときに表示します。
3	[ユーザー名]	ジョブにユーザー名情報があるときに表示します。
4	[結果]	完了、キャンセルなど、出力結果を表示します。
5	[ページ数]	原稿のページ数を表示します。
6	[部数]	設定部数を表示します。
7	[時刻]	出力した時間を 24 時間表記で表示します。
8	[モード]	コピー、プリンターなど、出力形態を表示します。
9	表示ナンバー／トータルナンバー	上に現在表示されている出力履歴リストの番号、下に全出力履歴リスト数を表示します。
10	[詳細]	指定したジョブの詳細を確認したいときに押します。設定確認画面が表示されます。
11	リストスクロールボタン	出力履歴リストが複数あるとき、押して展開します。

下記の手順に従って、各ジョブの内容を確認してください。

- 1 画面の [ジョブリスト] タブを押してから、[出力履歴] を押します。
出力履歴画面が表示されます。
- 2 画面のリストで、出力したジョブの状態を確認します。
→ 出力したジョブが 17 以上ある場合は、リストスクロールボタンを押して表示します。



3 詳細を確認したいジョブを選択して、[詳細] を押します。



設定確認画面が表示されます。

4 設定確認画面で内容を確認します。

→ [出力設定] と [応用設定] のリストに [◀] [▶] がグレーアウトしていないときは、さらにリスト表示があります。押して確認します。

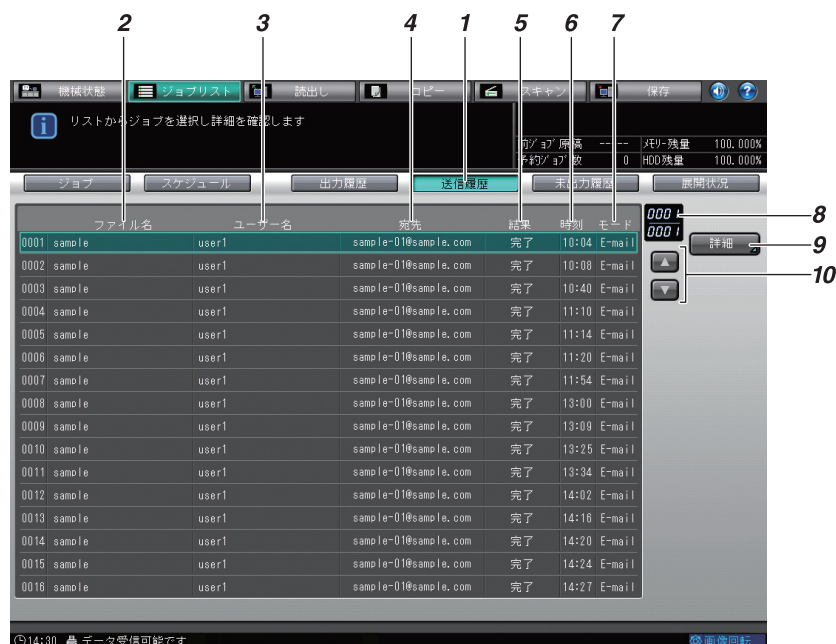


5 内容確認後、[閉じる] を押します。
出力履歴画面にもどります。

9.4.2 送信履歴を確認する

ジョブリスト画面の送信履歴画面は、送信履歴をリスト表示します。

各ジョブの詳細は、設定確認画面を表示して確認できます。



番号	名称	説明
1	[送信履歴]	送信履歴画面を表示するときに押します。
2	[ファイル名]	ジョブにファイル名情報があるときに表示します。
3	[ユーザー名]	ジョブにユーザー名情報があるときに表示します。
4	[宛先]	送信の宛先を表示します。
5	[結果]	完了、キャンセルなど、送信結果を表示します。
6	[時刻]	送信した時間を 24 時間表記で表示します。
7	[モード]	Email、FTP など、送信形態を表示します。
8	表示ナンバー／トータルナンバー	上に現在表示されている送信履歴リストの番号、下に全送信履歴リスト数を表示します。
9	[詳細]	指定したジョブの詳細を確認したいときに押します。設定確認画面が表示されます。
10	リストスクロールボタン	送信履歴リストが複数あるとき、押して展開します。

下記の手順に従って、各ジョブの内容を確認してください。

- 1 画面の [ジョブリスト] タブを押してから、[送信履歴] を押します。
送信履歴画面が表示されます。
- 2 画面のリストで、送信したジョブの状態を確認します。
→ 送信したジョブが 17 以上ある場合は、リストスクロールボタンを押して表示します。



- 3 詳細を確認したいジョブを選択して、「詳細」を押します。



設定確認画面が表示されます。

- 4 設定確認画面で内容を確認します。



- 5 内容確認後、「閉じる」を押します。
送信履歴画面にもどります。

9.4.3 未出力履歴を確認する

ジョブリスト画面の未出力履歴画面は、未出力履歴をリスト表示します。
各ジョブの詳細は、設定確認画面を表示して確認できます。



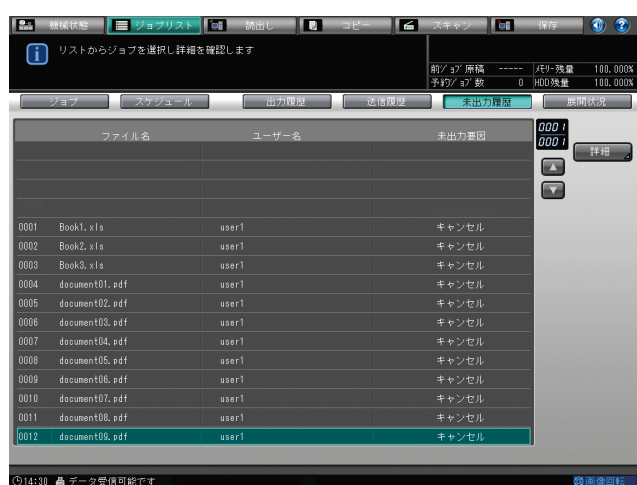
番号	名称	説明
1	[未出力履歴]	未出力履歴画面を表示するときに押します。
2	[ファイル名]	ジョブにファイル名情報があるときに表示します。
3	[ユーザー名]	ジョブにユーザー名情報があるときに表示します。
4	[未出力要因]	キャンセル、メモリーオーバーなど、ジョブが出力されなかった要因を表示します。
5	表示ナンバー／トータルナンバー	上に現在表示されている未出力履歴リストの番号、下に全未出力履歴リスト数を表示します。
6	[詳細]	指定したジョブの詳細を確認したいときに押します。設定確認画面が表示されます。
7	リストスクロールボタン	未出力履歴リストが複数あるとき、押して展開します。

下記の手順に従って、各ジョブの内容を確認してください。

- 1 画面の [ジョブリスト] タブを押してから、[未出力履歴] を押します。
未出力履歴画面が表示されます。
- 2 画面のリストで、未出力ジョブの状態を確認します。
→ 未出力ジョブが 17 以上ある場合は、リストスクロールボタンを押して表示します。



- 3 詳細を確認したいジョブを選択して、「詳細」を押します。



設定確認画面が表示されます。

- 4 設定確認画面で内容を確認します。

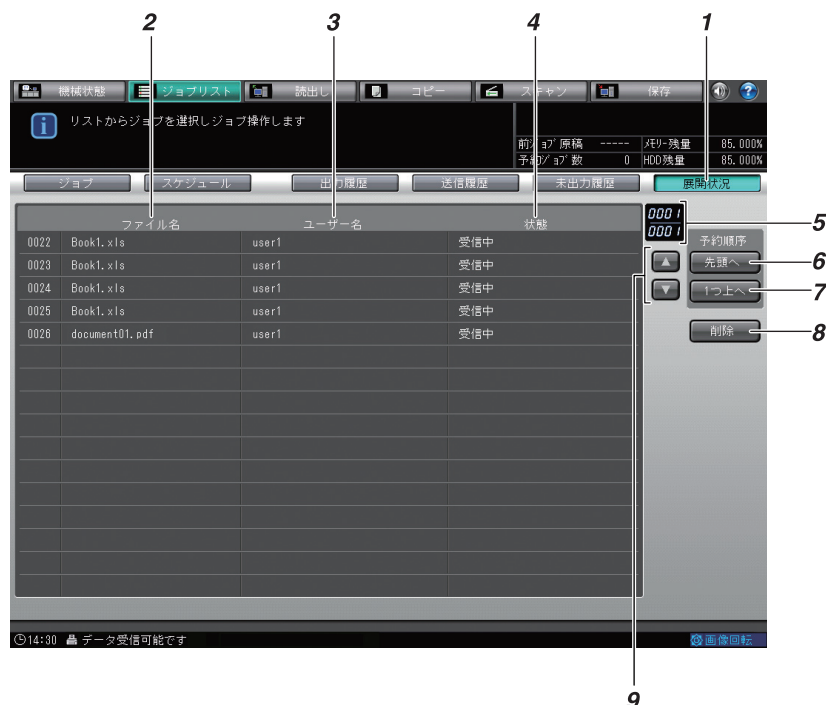


- 5 内容確認後、「閉じる」を押します。
未出力履歴画面にもどります。

9.5 展開中のジョブの操作

9.5.1 展開中のジョブを操作する

ジョブリスト画面の展開状況画面は、展開中のジョブをリスト表示します。



番号	名称	説明
1	[展開状況]	展開状況画面を表示するときに押します。
2	[ファイル名]	ジョブにファイル名情報があるときに表示します。
3	[ユーザー名]	ジョブにユーザー名情報があるときに表示します。
4	[状態]	受信中、スプール中など、展開中のジョブの状態を表示します。
5	表示ナンバー／トータルナンバー	上に現在表示されている展開中ジョブリストの番号、下に全展開中ジョブリスト数を表示します。
6	[先頭へ]	指定したジョブを、リストの先頭にしたいときに押します。
7	[1つ上へ]	指定したジョブの優先順位を、1つ上げたいときに押します。
8	[削除]	指定したジョブを削除するときに押します。
9	リストスクロールボタン	展開中ジョブリストが複数あるとき、押して展開します。

下記の手順に従って、展開中のジョブを操作してください。

- 1 画面の [ジョブリスト] タブを押してから、[展開状況] を押します。
- 2 画面のリストで、展開中のジョブの状態を確認します。
展開中ジョブが 17 以上ある場合は、リストスクロールボタンを押して表示します。

3 操作したい展開中のジョブを選択して、ジョブ操作ボタンを押します。



- [先頭へ] を押すと、選択したジョブをリストの先頭の位置に移動します。[1つ上へ] を押すと、選択したジョブの優先順位を 1 つ上げます。
- [削除] を押すと、選択したジョブは削除されます。

10

コピー操作補助機能

10 コピー操作補助機能

10.1 1部出力して設定条件を確認する：確認コピー

複数の部数を設定してコピーするとき、原稿をスキャンしてから1部だけ、または最初の1ページだけをプリントして、仕上がりを確認します。この操作により、大量コピーの失敗を未然に防ぎます。



参照

操作パネルの**確認コピー**を押したとき、全ページを1部出力するか、最初の1ページだけ出力するか、選択できます。

また、設定確認画面で**確認コピー**するとき、全ページを1部出力するか、最初の1ページだけ出力するか、選択できるように設定できます。

詳しくは、POD 管理者編の7章をごらんください。

- ✓ 原稿が100枚を超える場合や、複数枚の原稿を**原稿ガラス**でスキャンする場合は、**連続読み込みモード**を使用して、最初にすべての原稿を読み込みます。
- ✓ **確認コピー**したジョブは、出力しないで**保留ジョブ**として保存できます。

- 1 原稿をセットします。
- 2 コピー画面を表示して、任意のコピー条件を設定します。
→ **連続読み込みモード**を設定しているときは、手順3に進む前に、**操作パネルのスタート**を押して、すべての原稿を読み込みます。

- 3 **操作パネルの確認コピー**を押します。

原稿をスキャンして、1部または最初の1ページを出力します。

連続読み込みモードを設定して、すでに原稿を読み込んでいる場合は、すぐに出力します。

設定確認画面が表示されます。



- 4 設定内容を確認します。

→ 出力設定や応用設定の内容によっては、それぞれの表示下にスクロールボタンが表示されます。押して、すべての内容を確認します。



設定を変更しない場合は、手順7に進みます。

5 必要に応じて、コピー条件を変更します。

コピー条件	説明
給紙トレイ	変更できる給紙トレイボタンを押すと切替わります。ここでは、トレイ設定の変更はできません。
設定部数	〔設定部数〕を押してから、 操作パネルのテンキー で入力します。
印刷面	すでに原稿をスキャンしているので、原稿側の印刷面は変更できません。そのほかのコピー条件によっては、コピー側の印刷面が変更できます。
原稿設定 画質設定 倍率設定 応用設定	すでに原稿をスキャンしているので、変更できません。
出力設定	変更できるコピー条件のボタンは、縁取りされます。押すと、それぞれの階層画面に切替わります。〔出力設定〕を押すと、出力設定画面から変更できます。

6 必要に応じて、再度確認コピーをとります。

- 設定確認画面の〔確認コピー〕を押すと、1部出力します。〔確認プリント（先頭1枚）〕が表示されているときは、このボタンを押すと、最初の1枚だけを出力します。
- 確認したジョブは、保留ジョブとして保存できます。〔保留ジョブへ〕を押すと、出力しないでコピー画面にもどります。
- 保存したジョブは、ジョブリスト画面で出力できます。詳しくは、9-4ページをごらんください。

7 〔閉じる〕を押します。

コピー画面にもどります。

- 確認コピーしたジョブを出力しない場合は、**操作パネルのストップ**を押してから、ダイアログの〔中止〕を押します。画像データは消去されます。

8 操作パネルのスタートを押します。

設定部数を一括出力します。

10.2 出力する前に設定内容を確認する：設定内容

出力する前に設定確認画面を表示して、設定したコピー条件を確認します。この操作により、大量コピーの失敗を未然に防ぎます。

- ✓ ここでの設定内容の確認は、原稿をスキャンする前の確認または変更なので、設定確認画面でトレイ設定を除くすべての設定内容を変更できます。
- ✓ 原稿をセットしたり、[連続読み込み] で原稿をスキャンしたりすると、その後確認コピーで確認できます。

- 1 原稿をセットします。
- 2 コピー画面を表示して、任意のコピー条件を設定します。
- 3 操作パネルの設定内容を押します。

→ 最初に設定内容を押して、設定確認画面からコピー条件を設定することもできます。



設定確認画面が表示されます。



- 4 設定内容を確認します。
→ 出力設定や応用設定の内容によっては、それぞれの表示下にスクロールボタンが表示されます。押して、すべての内容を確認します。
設定を変更しない場合は、手順 7 に進みます。
- 5 必要に応じて、コピー条件を変更します。
→ 設定されているコピー条件の組み合わせによっては、変更できないものがあります。

コピー条件	説明
給紙トレイ	変更できる給紙トレイボタンを押すと切替わります。また、画面右上の【自動（自動用紙）】および【画像回転（自動画像回転禁止）】で、それぞれの設定が変更できます。ここでは、トレイ設定の変更はできません。
設定部数	「設定部数」を押してから、操作パネルのテンキーで入力します。
印刷面	「印刷面」を押すと、印刷面を変更する画面が表示されます。任意に設定を変更して、[OK] を押します。

コピー条件	説明
原稿設定 画質設定 倍率設定	タイトルボタンを押すと、それぞれの設定画面が表示されます。任意に設定を変更して、[OK] を押します。変更しない場合は [キャンセル] を押します。[標準復帰] を押すと、初期設定状態にもどります。
出力設定	変更できるコピー条件のボタンは、縁取りされます。押すと、それぞれの階層画面に切替わります。[出力設定] を押すと、出力設定画面から変更できます。
応用設定	設定されている機能が表示されます。縁取りされているボタンを押すと、その設定の階層画面に切替わります。階層画面のない機能の場合は、設定の解除を確認するダイアログが表示されます。[はい] を押すと、設定を解除できます。[応用設定] を押すと、応用設定画面から変更できます。



そのままコピーを開始する場合は、手順 7 に進みます。

6 確認コピーで、仕上がりを確認します。

- 必要に応じて、設定確認画面の [確認コピー] または [確認プリント (先頭 1 枚)]、あるいは操作パネルの **確認コピー** を押します。
- 連続読み込みモードを設定しているときは、操作パネルの **スタート** を押して、すべての原稿を読み込んでから、**確認コピー** の操作を始めます。



- 操作パネルの**確認コピー**を押したときの出力を、1部にするか最初の1ページにするか選択できます。また、設定確認画面の「**確認プリント（先頭1枚）**」の表示／非表示を選択できます。この設定は、設定メニューの**管理者設定**で行います。詳しくは、POD 管理者編の7章をごらんください。
- ここでコピー条件を変更する場合は、**確認コピー**の手順5に進みます。10-2 ページをごらんください。



- 7 「閉じる」を押します。
コピー画面にもどります。
- 8 操作パネルの**スタート**を押します。
設定部数を一括出力します。

10.3 出力中にサンプルを出力して画像の品質を確認する：サンプル排紙

ジョブの種類によっては、機械の動作がすべて完了するまで、出力中の画像を任意に確認できないことがあります。サンプル排紙は、それらのジョブを出力している間に、サンプルとして同じ画像を 1 枚、別のトレイに出力することにより、そのときの画像の品質を確認する機能です。

対象ジョブ	フィニッシャー FS-532 でステーブル出力 フィニッシャー FS-532 に装着した中とじ機 SD-510 で中とじ出力
サンプル画像の選択	サンプル画像として、下記のいずれかを選択できます。 固定チャート出力：機械にあらかじめ登録されている画像 ジョブ画像出力：出力中の 1 画像
給紙トレイ	固定チャート出力： トレイ 1～トレイ 5 から 1 つを選択します。出力中のジョブの用紙サイズと、選択したトレイの用紙サイズとが異なる場合も、そのまま出力します。 ジョブ画像出力： 出力中のジョブと同じトレイから給紙します。
排紙トレイ	フィニッシャー FS-532 のサブトレイ
片面／両面	サンプル排紙直後のコピーと同じ設定で出力します。 ただし、サンプル出力の給紙トレイにセットされている用紙が両面コピーできないものである場合は、片面コピーになります。
出力設定	後処理の設定（ステーブル、パンチ、中とじなど）は、すべて機能しません。 ジョブ画像出力を選択した場合は、出力中のジョブと同じになります。
応用設定	固定チャート出力を選択した場合、応用設定はすべて機能しません。
サンプル排紙のタイミング	<ul style="list-style-type: none"> 機械状態画面の「サンプル排紙」を押すと、手動でサンプル画像を出力できます。 あらかじめ設定した下記のいずれかのタイミングで、サンプル排紙ができます。両方を同時には設定できません。 枚数周期で排紙：指定枚数ごとにサンプル排紙します。 部数周期で排紙：指定した部数の間隔で、指定したページをサンプル画像として出力します。

参照

サンプル画像の選択、固定チャート出力の給紙トレイの選択、およびサンプル排紙の周期の設定は、設定メニューの管理者設定で行います。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

- ✓ 出力中のジョブがないときや停止中のときは、機械状態画面の「サンプル排紙」ボタンがグレースアウトして機能しません。

- 1 原稿をセットしてから、画面の「コピー」タブを押して、コピー画面を表示します。
- 2 任意のコピー条件を設定して、操作パネルのスタートを押します。
- 3 機械状態画面を表示して、任意のタイミングで「サンプル排紙」を押します。
フィニッシャー FS-532 のサブトレイに、サンプル画像を 1 枚出力します。
→ 管理者設定で、周期出力を「する」に設定しているときは、周期設定に従って自動的にサンプル排紙します。



- サンプル画像に異常があり出力を中止する場合は、操作パネルのストップを押します。以後の操作は、4-21 ページをごらんください。

10.4 割込んでコピーする：割込み

機械の動作中に、一時的に違う設定でコピーすることを、割込みといいます。

操作パネルの割込みを押すと、割込みできるタイミングになったときに、機械が現在の動作を一時的に停止することで、異なる設定のコピーができます。

割込み終了後は、割込み前の状態で動作を再開します。

下記の条件のときは、割込みを押しても、割込みモードになりません。

- 一括出力していないとき、または原稿をスキャンしていないとき
- サービスコール中／紙づまりなどトラブル発生中
- 割込みモードでコピー中
- 優先出力ジョブが動作中ジョブリストにあるとき

✓ 割込みモードでのコピー予約はできません。

✓ 割込みモード中は、オートローパワー／オートシャットオフは機能しません。

1 操作パネルの割込みを押します。

割込みできるタイミングになるまで、割込みランプが点滅します。割込みできるようになると、割込みランプが点灯に変わります。



割込みモードのコピー画面が表示されます。



2 任意のコピー条件を設定します。

コピー予約以外のコピー条件の設定ができます。

3 原稿をセットして、操作パネルのスタートを押します。

割込みコピーを出力します。



- 4 割込みコピーが完了したら、再び**割込み**を押します。
割込みランプが消灯して、機械状態画面が表示されます。機械は割込み前の設定にもどります。
- 5 割込み前の動作を再開するため、**操作パネルのスタート**を押します。

10.5 設定を登録して、呼出す：プログラム

使用頻度が高い設定を登録します。登録した設定は、簡単な操作で呼出すことができます。

10.5.1 設定を登録する

コピー条件の設定を登録する方法を説明します。

- ✓ 登録できる設定は、設定部数、印刷面、原稿設定、画質設定、倍率設定、出力設定、および応用設定です。
- ✓ 登録する設定に、任意のプログラム番号（01 ～ 30）を割当て、名前をつけます（省略可）。
- ✓ 30 まで登録できます。

1 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。

2 任意のコピー条件を設定します。

3 操作パネルのプログラムを押します。
コピープログラム画面が表示されます。



4 [登録] を押します。



設定確認画面が表示されます。

5 登録する設定内容を確認します。

- 出力設定や応用設定の内容によっては、それぞれの表示下にスクロールボタンが表示されます。押して、すべての内容を確認します。
- 設定内容を変更する場合は、設定確認画面の「キャンセル」を押して、さらにコピープログラム画面の「キャンセル」を押します。コピー画面にもどります。正しいコピー条件を設定しなおしてください。





6 「OK」を押します。

コピープログラム画面にもどります。

7 任意のプログラム番号ボタンを押して、「OK」を押します。

文字入力画面が表示されます。

- 名前のないボタンは未登録です。
- 名前が表示されているボタンは登録済みですが、ロックマーク〔〕がなければ上書きできます。
- ロックマーク〔〕があるボタンへの登録はできません。



- 8 ジョブ名を入力して、[OK] を押します。
- 名前は、全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英字で 8 文字、半角の英数字、記号、カタカナで 16 文字まで入力できます。
 - 文字入力については、「付録：文字の入力のしかた」で説明しています。14 章をごらんください。
 - 必ず名前をつける必要はありません。何も入力しないで [OK] を押すと、選択したボタンには「*」（アスタリスク）が 16 文字分表示されます。



[OK] を押すと、コピープログラム画面にもどります。選択したボタンには、入力した名前が表示されます。

- 9 コピープログラム画面の [OK] を押します。
コピー画面にもどります。



参照

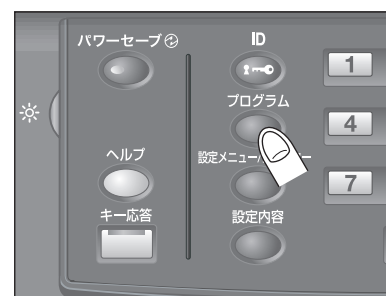
登録した設定が上書きされないように、プログラム番号ボタンをロックしたり、そのロックを解除したりできます。また、登録した設定を削除できます。この操作は、設定メニューの管理者設定で行います。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

10.5.2 設定を呼出す

登録した設定を呼出す方法を説明します。

- ✓ コピープログラム画面を表示するときは、コピー画面を表示してから操作パネルのプログラムを押します。機械状態画面などが表示されているときは、コピープログラム画面を表示しません。

- 1 原稿をセットします。
- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
- 3 操作パネルのプログラムを押します。
コピープログラム画面が表示されます。



4 呼出すプログラム番号ボタンを押します。



5 [ジョブ確認] を押します。

設定確認画面が表示されます。設定内容を確認します。

→ 出力設定や応用設定の内容によっては、それぞれの表示下にスクロールボタンが表示されます。押して、すべての内容を確認します。



6 設定確認画面の「OK」を押します。

コピー画面にもどります。呼出したコピー条件が設定されています。

7 設定部数を入力して、操作パネルのスタートを押します。

10.6 ワンタッチでコピー条件を呼出す：ファンクションキー

あらかじめ登録したコピープログラムのうち、5 つまでをファンクションキーに割り当てることができます。

ここでは、コピー画面の下部に配置されたファンクションキーを押すことにより、ワンタッチで任意のコピー条件（コピープログラム）を呼出してコピーする方法を説明します。



参照

コピープログラムの登録のしかたについては、10-11 ページをごらんください。

コピープログラムのファンクションキーへの割り当ては、設定メニューの環境設定で行います。詳しくは、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

- ✓ ファンクションキーに割り当てられるのは、登録したコピープログラムだけです。
- ✓ ファンクションキーに割り当てたコピープログラムは、コピー画面を表示したときだけワンタッチで呼出できます。そのほかの画面（機械状態、ジョブリスト、読出し、スキャン、または保存）では使用できません。
- ✓ ファンクションキーに割り当てたコピープログラムの一部と併用できないコピー条件を設定すると、そのファンクションキーはグレースアウトして機能しなくなります。
- ✓ ファンクションキーに割り当てたコピープログラムを削除すると、そのファンクションキーも機能しなくなります。

- 1 原稿をセットします。
- 2 コピー画面を表示して、任意のファンクションキーを押します。
ファンクションキーに割り当てられているコピープログラムのコピー条件が設定されます。



- 3 設定部数を入力して、操作パネルのスタートを押します。

10.7 最後に出力したコピー条件でコピーする

最後に出力したコピー条件で、もう一度コピーする方法を説明します。

- ✓ 呼出せるのは、最後に出力を完了したジョブのコピー条件だけです。未出力ジョブや予約ジョブのコピー条件は、最後に操作されたジョブであっても呼出しできません。
- ✓ 副電源を OFF にしても、最後に出力したコピー条件は呼出せます。

- 1 原稿をセットします。
- 2 [コピー] タブを押して、コピー画面を表示します。
 - コピー画面を表示していないと、操作パネルのプログラムを押しても、コピープログラム画面は表示できません。
- 3 操作パネルのプログラムを押します。
コピープログラム画面が表示されます。



- 4 [前ジョブ読出し] を押します。
コピープログラム画面に [ジョブ確認] が表示されます。



- 5 [ジョブ確認] を押します。
設定確認画面が表示されます。最後に出力したコピー条件が表示されています。設定内容を確認します。
- 6 設定確認画面の [OK] を押します。
コピー画面にもどります。呼出したコピー条件が設定されています。
- 7 設定部数を入力して、操作パネルのスタートを押します。

10.8 ブラウザーで本機を操作／監視する

ネットワークで本機と PC とが繋がっているとき、ブラウザーを使って PC から本機を操作できます。また、ブラウザーで機械の状態を監視できます。PC のキーボードやマウスを使って、効率よく操作したいときにご利用ください。

リモートパネルの機能

- ブラウザーに表示した**タッチパネル**の画面を、マウスを使って操作できます。
- ブラウザーに表示した**操作パネル**のボタンを、マウスを使って操作できます。
- キーボードを使って、パスワードなどの入力ができます。
- リモートパネルでの操作手順を記録して、再生できます。

リモートモニターの機能

- 本機の**タッチパネル**の画面を、ブラウザー上にサムネイル表示します。
- ブラウザーの自動リロード機能を利用して、本機の**タッチパネル**の画面、ジョブの状況、本機の状態を監視できます。また、背景色の変化によって、本機の状態をひと目で把握できます。
- リモートパネルを別ウインドウで表示します。

マルチモニターの機能

- 1つのブラウザー上に、最大 10 台の機械のリモートモニターを並べて、同時に監視できます。
- リモートモニターとリモートパネルとを、同じブラウザー上に表示します。

以下の機能はありません。

- 補助システムなどによる画面の読上げ
- **電源スイッチ**の管理（主電源スイッチ／副電源スイッチ、パワーセーブ、ウィークリータイマー）
- 紙づまり、カウンターなどを同時に表示すること

前準備

- 本体のセキュリティ強化モードを OFF に設定します。
- PC と本体とをネットワークで繋ぎ、TCP/IP で通信できる環境にします。
- 本体の IP アドレスを設定します。
- PC から Web Utilities 設定を使って、リモートパネルを使用する PC の IP アドレスを本体に設定します。
- ブラウザーの設定で、JavaScript を有効にします。リモートパネルを使用している間、紙づまりなどの表示は自動的に更新されません。長時間リモートパネルを使用していないときは、パネル右上の「リロード」をクリックして、最新の状態を表示します。



参照

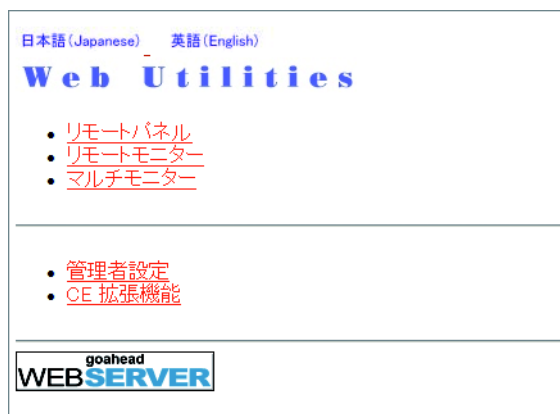
本体の IP アドレスの設定については、POD 管理者編の 7 章をごらんください。

リモートパネルを利用する PC は、その IP アドレスを本体に設定する必要があります。リモートパネルの設定は、Web Utilities 設定で行います。詳しくは、POD 管理者編の 8 章をごらんください。

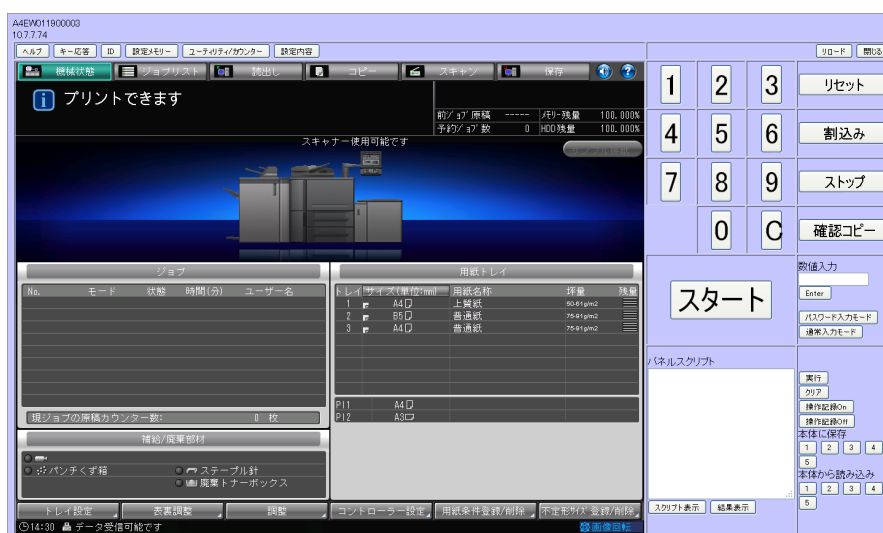
マルチモニターを利用する場合、監視する機械すべての IP アドレスを登録する必要があります。登録は、Web Utilities 設定で行います。詳しくは、POD 管理者編の 8 章をごらんください。

10.8.1 ブラウザーで本機を操作する：リモートパネル

- 1 PC のブラウザを立上げ、URL に本体の IP アドレスを入力します。
Web Utilities 画面が表示されます。
- 2 Web Utilities 画面の「リモートパネル」をクリックします。
現在、本機に表示されているタッチパネルの画面および操作パネルがブラウザに表示されます。

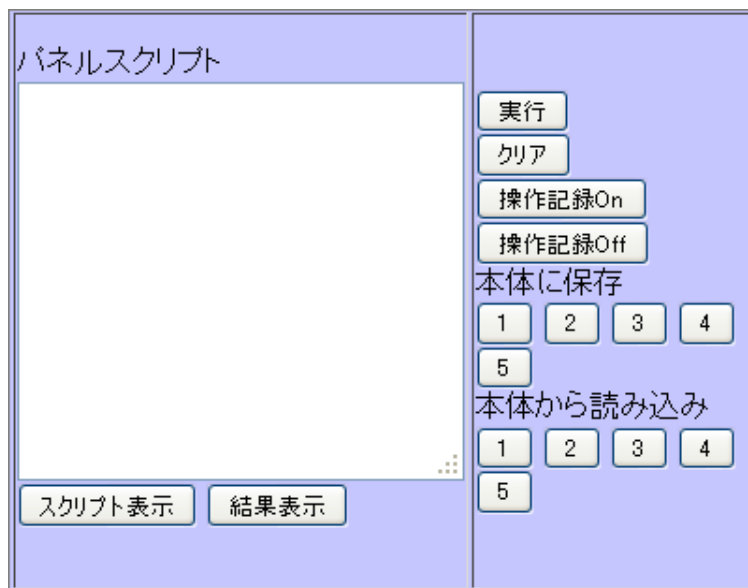


- 3 マウスとキーボードを使って、本機と同じように操作します。



パネルスクリプト機能

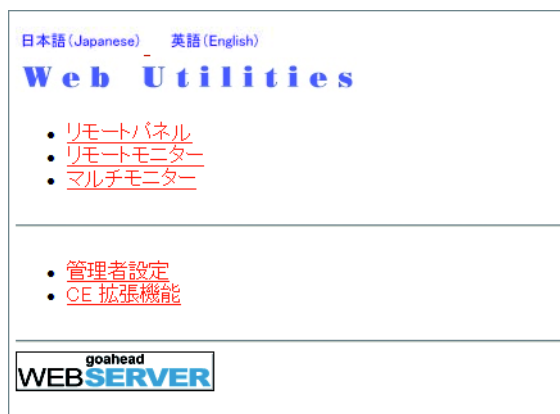
パネルスクリプトは、リモートパネルでの操作手順を記録して、任意に再生する機能です。特定の機能を設定する手順を示したり、設定を別の機械に対して行ったりするときに利用します。



ボタン	説明
実行	エディットボックスに表示されている、操作手順のスクリプトを実行します。スクリプトの実行中は、[停止] が表示されます。
クリア	エディットボックスの内容をクリアします。
操作記録 On	操作の記録を始めるときに押します。リモートパネルでの操作がすべて記録されます。
操作記録 Off	操作の記録をやめるときに押します。
本体に保存	任意の数字ボタンを押すと、エディットボックスに表示されているスクリプトを、本体に保存します。すでに保存されているスクリプトがある場合は、上書きします。
本体から読み込み	任意の数字ボタンを押すと、保存されているスクリプトを読み出して、エディットボックスに表示します。そのとき、エディットボックスに表示されていた内容は、上書きされます。
スクリプト表示	スクリプトを表示します。
結果表示	スクリプトを実行した結果を表示します。スクリプトの各ラインに対して、成功したときは「○」、失敗したときは「×」が、行頭に表示されます。

10.8.2 ブラウザーで本機を監視する：リモートモニター

- 1 PC のブラウザを立ち上げ、URL に本体の IP アドレスを入力します。
Web Utilities 画面が表示されます。
- 2 Web Utilities 画面の「リモートモニター」をクリックします。
本機の状態、タッチパネルの画面、ジョブの状況が表示されます。



- 3 リモートパネルを別ウィンドウで表示して、PC から操作するときは、リモートモニターに表示されているサムネイル画面をクリックします。



→ 本機の状態により、リモートモニターの背景色は下表のようになります。

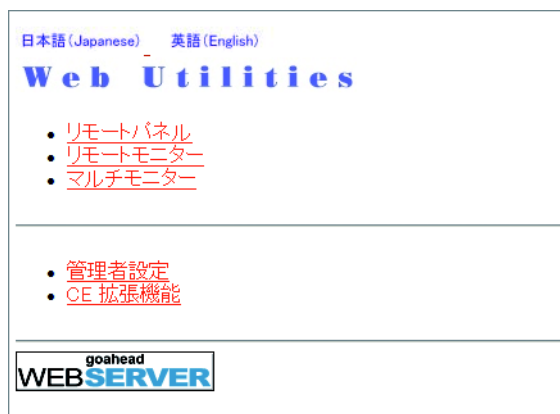
背景色	状態
緑色	アイドリング中、補正中
青色	動作中
黄色	JAM 中
赤色	SC 中

10.8.3 ブラウザーで複数の機械を監視する：マルチモニター

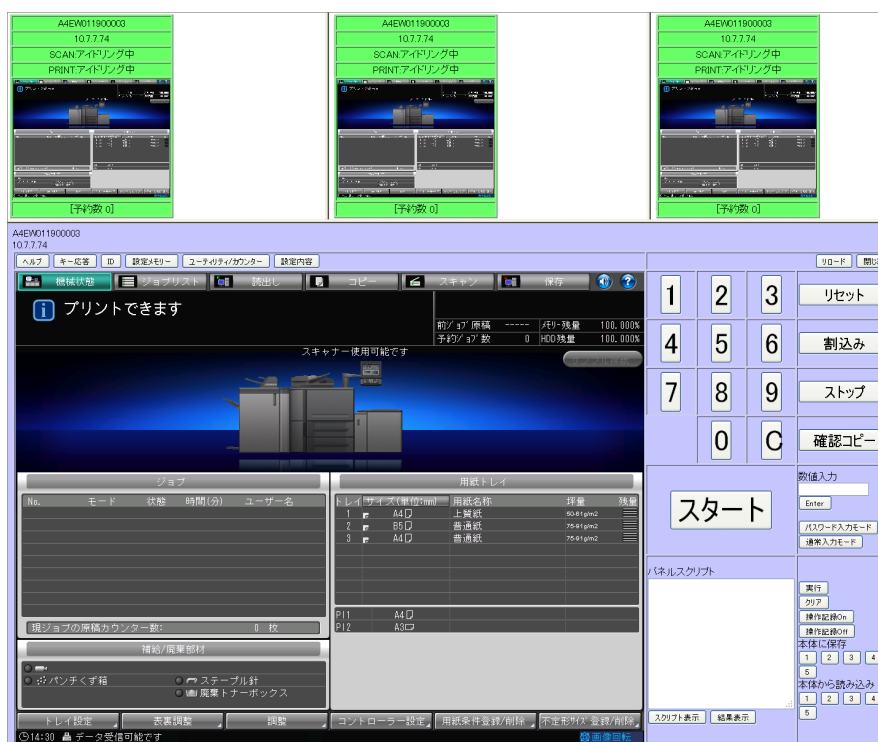
- 1 PC のブラウザを立ち上げ、URL に本体の IP アドレスを入力します。
Web Utilities 画面が表示されます。

- 2 Web Utilities 画面の「マルチモニター」をクリックします。

最大 10 台の機械の状態、タッチパネルの画面、ジョブの状況が並べて表示されます。また、同じブラウザ上にリモートパネルが表示されます。



- 3 任意の機械のリモートパネルを表示して、PC から操作するときは、その機械のリモートモニターに表示されているサムネイル画面をクリックします。



11

トラブルの処置

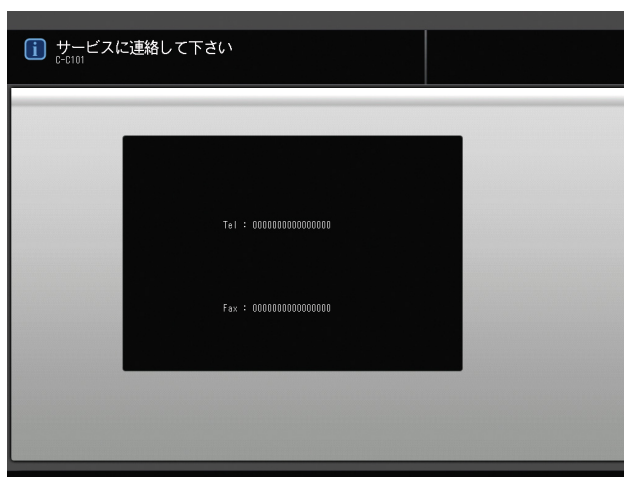
11 トラブルの処置

11.1 [サービスに連絡して下さい C-####] と表示されたら：サービスコール

お客様では処置できないトラブルが起こったとき、[サービスに連絡して下さい C-####] というメッセージの画面（サービスコール画面）が表示されます。

この画面の中央には、通常、お客様のサービス実施店の電話番号および FAX 番号が表示されます。

思わぬ事故になるおそれがありますので、サービスコール画面が表示された場合は、ただちに下記の手順に従ってサービス実施店にご連絡ください。



11.1.1 サービスコール画面表示時の操作

- 1 メッセージ 2 行目のレポートコード [C-####] を書留めます。
 - 管理者は設定メニュー画面からサービス実施店へのサービスコールができます。このとき、サービス実施店は故障の状況を把握していますので、レポートコードを電話で連絡する必要はありません。管理者によるサービス実施店へのサービスコールについては、POD 管理者編をごらんください。
 - あらかじめ CS リモートケアの設定をしている場合は、サービス実施店は故障の状況を把握していますので、レポートコードを電話で連絡する必要はありません。
 - CS リモートケアについては、サービス実施店にお問い合わせください。
- 2 電源を OFF にします。

副電源スイッチを OFF にしてから、主電源スイッチを OFF にします。

重要
副電源スイッチを OFF にする前に、主電源スイッチを OFF にしないでください。副電源スイッチを OFF にした後、下記のメッセージが表示されている間は、主電源スイッチを OFF にしないでください。

[電源 OFF 処理中です 主電源を切らないでください]

このメッセージが表示されているときに主電源スイッチを OFF にすると、機械の中でトナー固着などの致命的なトラブルが発生することがあります。
- 3 本体の電源プラグを、コンセントから引抜きます。
- 4 サービス実施店に連絡して、書留めたレポートコードをお知らせください。



参照
電源の切り方については、2-24 ページをごらんください。

11.1.2 限定使用

本機は、サービスコール画面に下記のようなメッセージが表示されている場合、トラブル発生箇所を OFF にして、機械を一時的に使用できる機能があります。

限定使用できる場合は、メッセージ表示部にレポートコードが表示されません。

(例)：[トレイ 2 が故障しました ヘルプボタンで限定使用できます]

重要

限定使用する場合は、必ずサービス実施店にお問い合わせください。

重要

限定使用は、サービス実施店の修理を受けるまでの臨時の使用にとどめてください。

1 操作パネルのヘルプを押します。

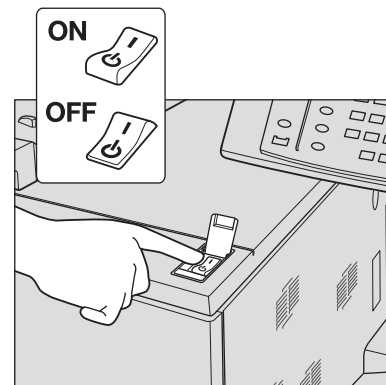
下記のメッセージが表示されます。

[電源を入れ直して下さい C-0202]



2 副電源スイッチを OFF/ON します。

トレイ 2 以外 (例) のトレイを使用して、プリント/コピーできます。



⚠ 注意

限定使用で機械を使い続けしないでください！

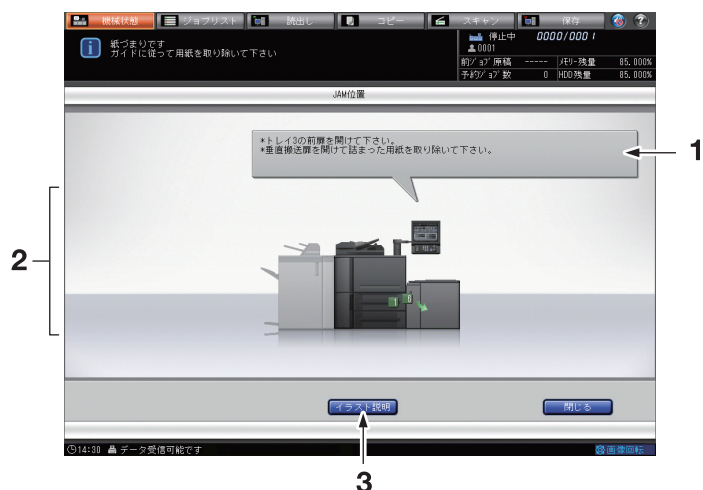
- 思わぬ事故になるおそれがあります。限定使用で機械が使えるようになって、できるだけ早くサービス実施店の修理を受けてください。

11.2 「紙づまりです」と表示されたら

コピー中に紙づまりが発生すると、「紙づまりです」というメッセージと紙づまりの箇所が、画面に表示されます。

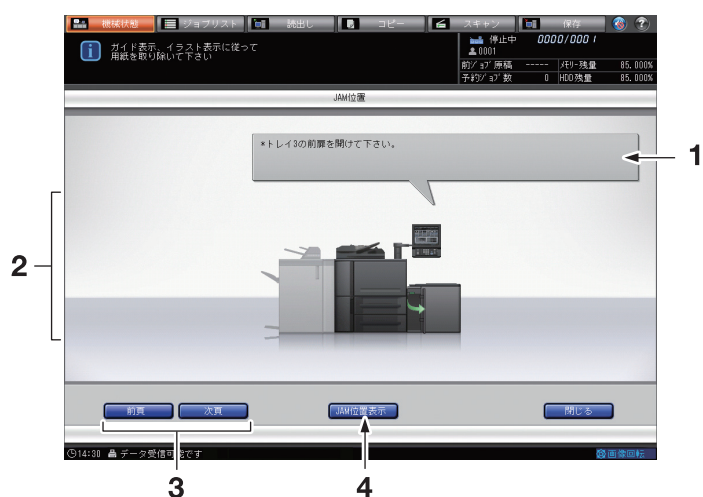
このとき、操作パネルのスタートランプはオレンジに変わり、紙づまりが適切に処理されるまでは、動作しなくなります。

ジャム位置画面



番号	名称	説明
1	メッセージ表示部	具体的な紙づまり処理方法が表示されます。
2	ジャム番号	紙づまり位置を表示しています。
3	「イラスト説明」	このボタンを押すと、最優先で処理する方法を図解で説明する画面が表示されます。

ジャム処理説明画面



番号	名称	説明
1	メッセージ表示部	イラストに示された紙づまり処理方法を文章で説明します。
2	イラスト表示	紙づまり処理する方法を優先順にイラスト表示します。
3	「次頁」 「前頁」	ジャム処理説明画面が複数ある場合、表示されます。ボタンを押して、画面を展開します。
4	「JAM 位置表示」	このボタンを押すと、ジャム位置画面にもどります。

紙づまりが複数の箇所が発生していると、それらすべてのジャム番号や矢印が点滅、または点灯しています。

点滅しているジャム番号や矢印は、最優先で処理すべき位置をあらわしています。

メッセージ表示部には、処理方法が表示されています。

また、「イラスト説明」を押すと、ジャム処理方法を解説する画面が展開します。

11.2.1 紙づまりを処理するときの留意点

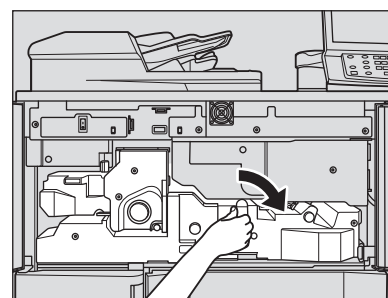
紙づまりを処理するときは、下記の事項にご留意ください。

主電源スイッチ

紙づまりを処理するときに、**主電源スイッチ**を OFF にしないでください。トレイや定着搬送ユニットを引出すことができなくなります。

レバー [M4] の操作

定着搬送ユニットを引出すレバー [M4] は、本体の給紙入口部および排紙部につまった紙があると、右に倒して**定着搬送ユニット**を引出せません。絶対に、レバー [M4] を無理に倒さないでください。

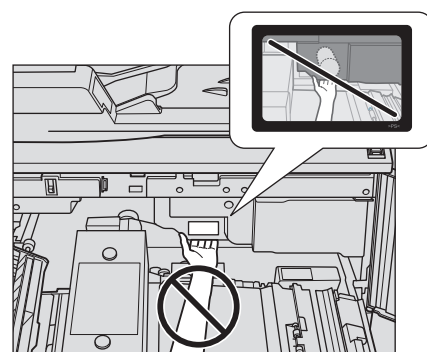


つまった紙の取扱い

つまっている用紙を取除くときは、紙を破ったり、紙片を機械の内部に残したりしないようにしてください。

ドラム

定着搬送ユニットを引出したとき、右図のように手を入れると、ドラム面に触れることがあります。ドラム面に触れて傷つけないようにしてください。



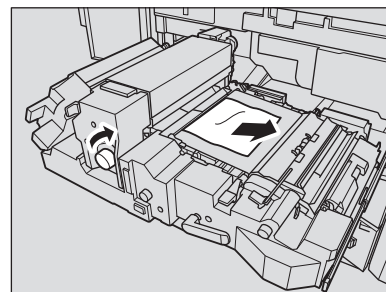
定着部につまった紙の処理方法

⚠ 注意

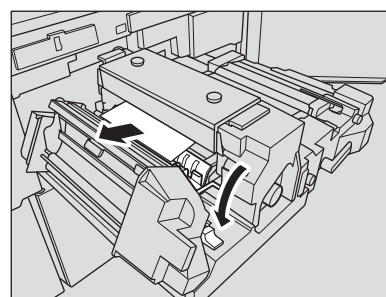
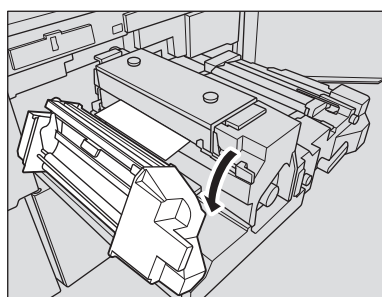
定着部に手を触れないでください！

- やけどをするおそれがあります。定着搬送ユニットを引出したときは、特にご注意ください。

定着部の右側につまった紙があるときは、ツマミ〔M6〕を時計方向に回して、紙を右側に送ってから取除いてください。



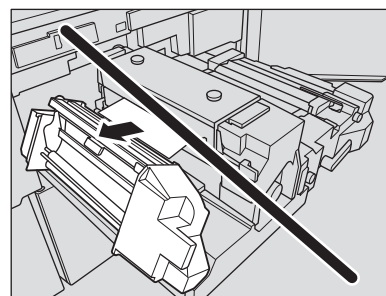
定着部の右側からつまった紙を取除けないときは、左側から取除きます。このとき、レバー〔M8〕を開き、レバー〔M9〕を開いてから、ツマミ〔M6〕は回さずに、紙を左側に引出してください。



重要

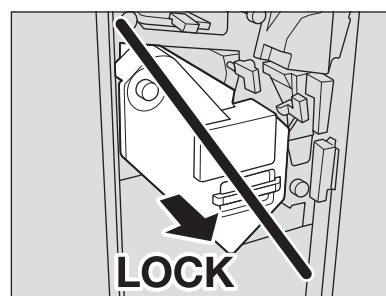
レバー〔M9〕を開けると、高温部に触れやすくなるので注意してください。

レバー〔M9〕を開けなくて、つまった紙を左側から取除かないでください。機械故障の原因になります。

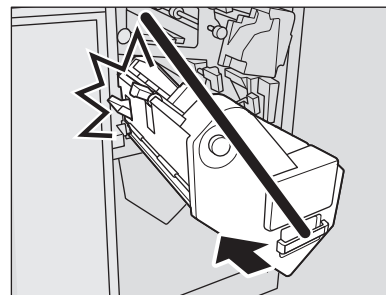


フィニッシャー FS-532 スタッカの引出し、押しもどし

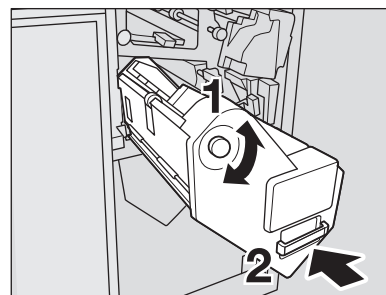
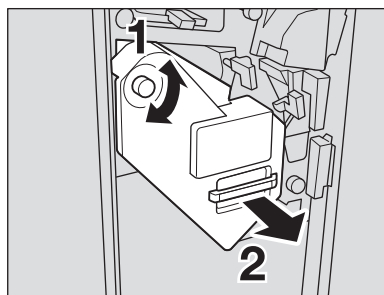
スタッカーを引出そうとしても、ロックがかかって引出せない場合があります。



また、引出されたスタッカーを元の位置に押しもどそうとしても、ロックがかかって押しもどせないことがあります。



いずれの場合も、スタッカーのツマミ〔FS8〕を回してください。ロックが解除されて操作できるようになります。



参照

ジャム位置画面のメッセージ表示部に、ジャムコードを表示できます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

⚠ 注意

定着部に手を触れないでください！

- やけどをするおそれがあります。定着搬送ユニットを引出したときは、特にご注意ください。

⚠ 注意

本体と定着搬送ユニットとのすき間に、手や腕を入れないでください！

- 定着搬送ユニットの裏側には電気部品の接続端子などがあり、触れると故障の原因になります。また、本体と定着搬送ユニットとのすき間に手や腕を入れると、思わぬ事故になることがあります。無理な作業はしないで、サービス実施店にご連絡ください。

⚠ 注意

ADF ヒンジ部（2箇所）に指を入れないでください！

- はさまれてけがをすることがあります。ADFを開け閉めするときは、ご注意ください。

⚠ 注意

ステープル針づまり処理

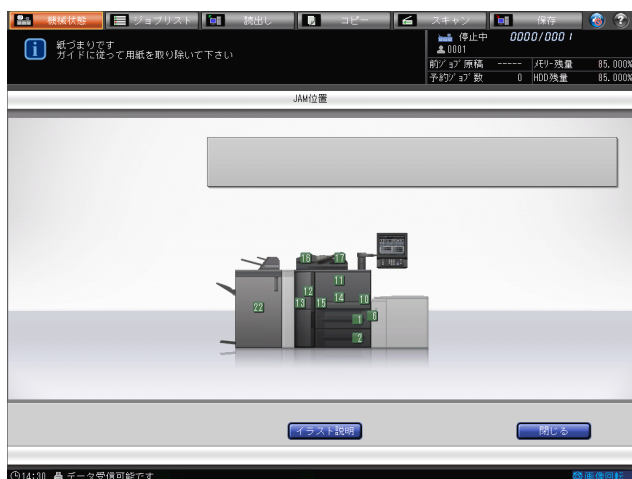
ステープル針はとがっています！

- つまった針でけがをすることがありますので、針づまりを処理するときは、ご注意ください。

11.2.2 ジャム位置画面とジャム処理画面の操作

- 1 ジャム位置画面の「イラスト説明」を押します。
ジャム処理画面が表示されます。
→ ジャム処理画面が複数ある場合は、「次頁」を押して処理方法を確認します。
→ ジャム位置画面にもどるときは、「JAM 位置表示」を押します。
- 2 画面に表示されている指示に従って、紙づまりを処理します。
重要
紙づまりを処理する前に、注意ラベルの位置を確認してください。詳しくは、『安全にお使いいただくために』をお読みください。
- 3 処理が終わると、機械状態画面にもどります。
紙づまりの箇所が複数ある場合は、ジャム位置画面にもどり、次に処理すべき箇所とメッセージを表示します。手順 1～2 を繰り返して、すべての箇所を処理します。紙づまりの処理がすべて完了すると、機械状態画面にもどります。
- 4 ウォームアップ完了後、出力を再開するために操作パネルのスタートを押します。
→ ウォームアップ中に操作パネルのスタートを押して、ウォームアップ完了後、ただちに出力を再開するように設定できます。サービス実施店にお問い合わせください。

11.2.3 ジャム位置画面のジャム番号



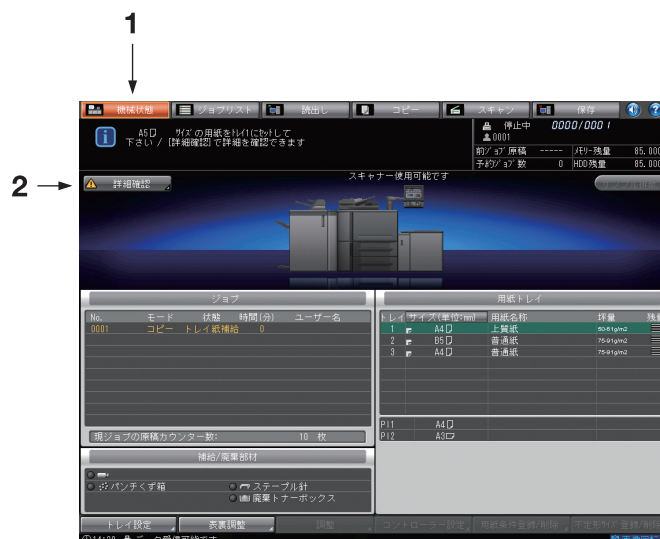
No.	ジャム位置
1	トレイ 1 (本体トレイ)
2	トレイ 2 (本体トレイ)
3	トレイ 3 (ペーパーフィーダーユニット PF-706)
4	トレイ 4 (ペーパーフィーダーユニット PF-706)
5	トレイ 5 (ペーパーフィーダーユニット PF-706)
6	本体右縦搬送部
7	トレイ 3 水平搬送部 (ペーパーフィーダーユニット PF-706)
8	トレイ 5 水平搬送部 (ペーパーフィーダーユニット PF-706)
9	トレイ 4 水平搬送部 (ペーパーフィーダーユニット PF-706)
10	本体給紙入口部
11	本体ドラム部
12	本体定着部
13	本体定着・反転部
14	本体反転部
15	本体反転部
16	ADF 給紙・排紙部
17	ADF 反転部
22	フィニッシャー FS-532
42	Z 折りユニット ZU-608
43	トレイ 3 (大容量給紙ユニット LU-410)
44	トレイ 3 (大容量給紙ユニット LU-410)

11.3 「機械状態」タブがオレンジ色に点滅したら

機械にトラブルが発生すると、下記のメッセージが表示され、「機械状態」タブがオレンジ色に点滅します。

- 紙づまり：[紙づまりです]
- 用紙なし停止：[〇〇サイズ用の紙をセットして下さい]
- 用紙不一致停止：[対象のトレイに予約した用紙をセットして下さい] [トレイを選択して指定された設定の用紙をセットして下さい]

機械状態画面には、「詳細確認」が表示されます。



番号	名称	説明
1	「機械状態」タブ	トラブルのとき、オレンジ色に点滅します。
2	「詳細確認」	トラブルのとき、表示されます。

「詳細確認」を押して、表示される画面の指示に従って処理してください。

11.3.1 紙づまり

コピー予約中に、スキャンまたは一括出力している現行のジョブで紙づまりが発生すると、機械が停止した後、「機械状態」タブがオレンジ色に点滅することがあります。

「詳細確認」を押してジャム位置画面が表示されたときは、11-8 ページをごらんください。

11.3.2 コピー中の用紙なし停止

コピー出力中に使用していたトレイに用紙がなくなると、出力を停止し、[トレイ○]に用紙をセットして下さい というメッセージが表示されます。



出力を再開するには、下記の2つの方法があります。

- 使用していたトレイに用紙を補給する
- 使用するトレイを変更する

使用していたトレイに用紙を補給する

- 1 用紙がなくなったトレイに用紙を補給します。
→ 用紙の補給については、5-8 ページをごらんください。

重要

なくなった用紙と同じ用紙をセットしてください。違うサイズの用紙をセットすると、再出力できなくなります。違う用紙種類や坪量の用紙をセットすると、紙づまりや機械故障の原因になります。

用紙がなくなったトレイに用紙を補給すると、[[スタート] で再スタートできます] というメッセージに変わります。



- 2 操作パネルのスタートを押します。
補給したもとのトレイから給紙して、出力を再開します。

使用するトレイを変更する

- 1 「詳細確認」を押します。



ダイアログが表示されます。

- 2 用紙がなくなったトレイ以外に選択できるトレイのボタンを選択します。
→ ここで選択できるトレイは、[ユーザー設定]の[自動用紙の種類選択]で設定された用紙種類と坪量の条件が適合している用紙がセットされているトレイです。詳しくは、POD 管理者編の7章をごらんください。



- 3 「閉じる」を押します。



機械状態画面にもどり、「[[スタート] で再スタートできます] というメッセージが表示されます。



4 操作パネルのスタートを押します。

新しく選択したトレイから給紙して、出力を再開します。

11.3.3 プリント中の用紙なし停止

PC から送信したプリントデータを出力中に、使用していたトレイに用紙がなくなると、出力を停止して、「[〇〇〇サイズ]の用紙をトレイ〇にセットして下さい] というメッセージを表示します。

出力を再開するには、下記の 2 つの方法があります。

- 使用していたトレイに用紙を補給する
- 使用するトレイを変更する

使用していたトレイに用紙を補給する

1 用紙がなくなったトレイに用紙を補給します。

→ 用紙の補給については、5-8 ページをご覧ください。

重要

なくなった用紙と同じ用紙をセットしてください。違うサイズの用紙をセットすると、再出力できなくなります。違う用紙種類や坪量の用紙をセットすると、紙づまりや機械故障の原因になります。

用紙がなくなったトレイに用紙を補給すると、「[[スタート] で再スタートできます] というメッセージに変わります。



2 操作パネルのスタートを押します。

補給したもとのトレイから給紙して、出力を再開します。

使用するトレイを変更する

- 1 「詳細確認」を押します。



ダイアログが表示されます。

- 2 任意のトレイを選択します。



選択したトレイの用紙設定画面が表示されます。

- 3 「OK」を押します。
機械状態画面に「[スタート]で再スタートできます」というメッセージが表示されます。



- 4 操作パネルのスタートを押します。
新しく選択したトレイから給紙して、出力を再開します。

11.3.4 プリント中の紙サイズ不一致停止

プリントデータ受信時に、指定した用紙サイズと異なるサイズの用紙がトレイにセットされている場合、機械は一時停止し、「〇〇サイズの用紙をトレイ〇にセットして下さい」〔詳細確認〕で詳細を確認できます」というメッセージが表示されます。



プリントを再開するには、2つの方法があります。

- 指定したサイズの用紙をトレイにセットする
- 使用するトレイを変更または、トレイの用紙設定を変更する

下記の手順にしたがって出力を再開してください。

トレイに用紙を補給する

- 1 トレイに、指定した用紙サイズの用紙を補給します。給紙するトレイを設定している場合は、そのトレイに指定した用紙サイズの用紙を補給します。

→ 用紙の補給については、5-8 ページをごらんください。

重要

指定した用紙サイズの用紙と同じ用紙をセットしてください。違うサイズの用紙をセットすると、再出力できなくなります。違う用紙種類や坪量の用紙をセットすると、紙づまりや機械故障の原因になります。

トレイに用紙を補給し、「詳細確認」を押して用紙を補給したトレイを選択してから「OK」を押すと、「〔スタート〕で再スタートできます」というメッセージに変わります。



- 2 操作パネルのスタートを押します。
補給したトレイから給紙して、出力を再開します。

使用するトレイを変更する

- 1 「詳細確認」を押します。
ダイアログが表示されます。
- 2 任意のトレイを選択します。



重要

指定した用紙サイズよりも、小さい用紙サイズのトレイを選択すると、印刷されない部分が発生することがあります。

- 3 「OK」を押します。



機械状態画面に「[[スタート] で再スタートできます] というメッセージが表示されます。

- 4 操作パネルのスタートを押します。
新しく選択したトレイから給紙して、出力を再開します。

11.4 「メモリーオーバーフローです」と表示されたら

本機は、メモリーを使ってコピーします。

操作中にメモリーが足りなくなり、下記のような画面が表示されることがあります。

11.4.1 最初のジョブでのメモリーオーバーフロー

最初のジョブの原稿をスキャンしているときにメモリーオーバーフローが発生すると、機械はただちに停止し、下記の画面を表示します。

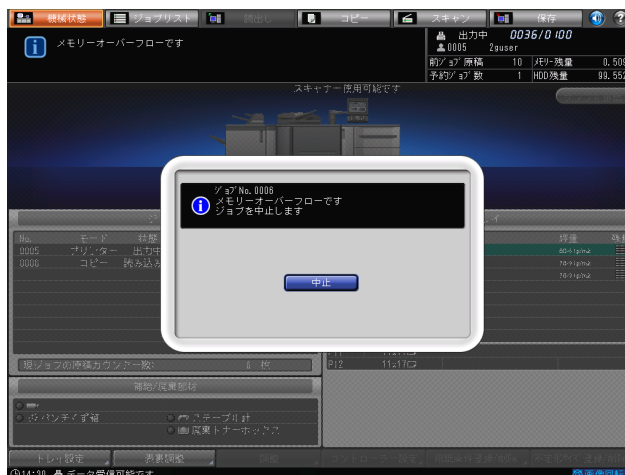


➔ 「中止」を押します。

すでにスキャンした画像データは、すべて消去されます。

11.4.2 出力予約中のメモリーオーバーフロー

出力しながら、出力予約の原稿をスキャンしているときに、メモリーオーバーフローが発生すると、機械はただちに停止して、下記の画面を表示します。

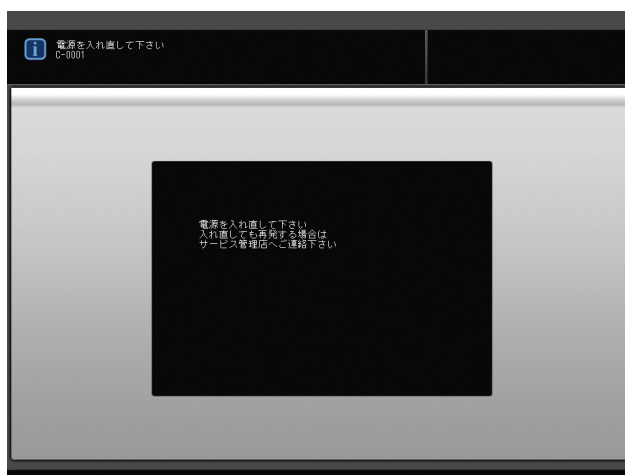


➔ 「中止」を押します。

すでにスキャンした画像データは、すべて消去されます。

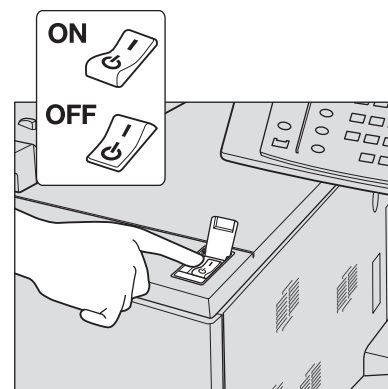
11.5 「電源を入れ直して下さい」と表示されたら

機械の電気信号に異常があった場合、「電源を入れ直して下さい」というメッセージが表示されます。



下記の手順に従ってください。

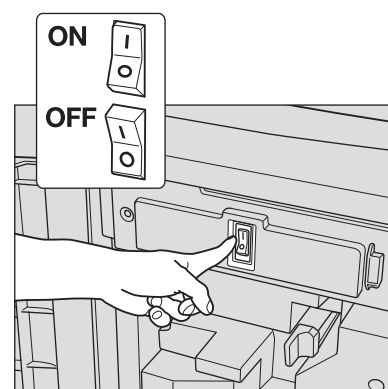
- 1 副電源スイッチを OFF にします。



- 2 主電源スイッチを OFF にします。

重要

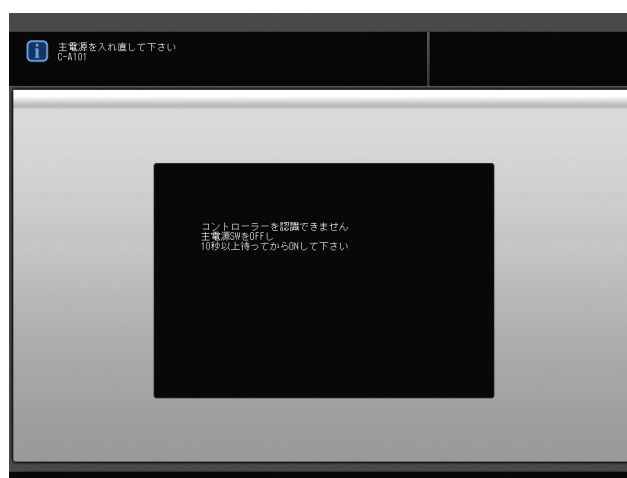
「電源 OFF 処理中です 主電源を切らないで下さい」の表示が消えてから主電源スイッチを OFF にしてください。



- 3 10 秒以上待ちます。
- 4 主電源スイッチを ON にして、副電源スイッチを ON にします。

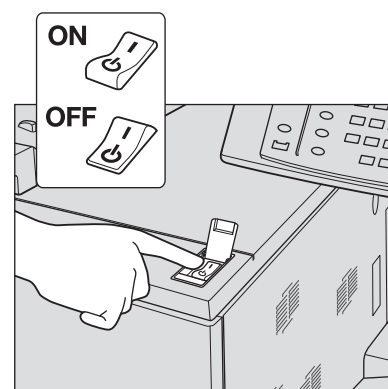
11.6 「コントローラーを認識できません」と表示されたら

コントローラーに異常があった場合、「コントローラーを認識できません」というメッセージが表示されます。



下記の手順に従ってください。

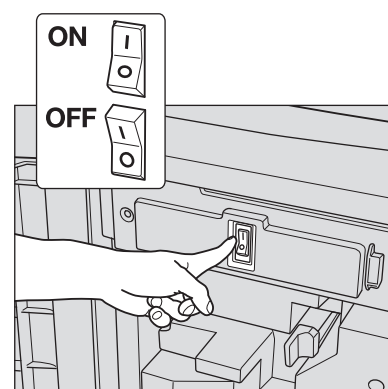
- 1 副電源スイッチを OFF にします。



- 2 主電源スイッチを OFF にします。

重要

「電源 OFF 処理中です 主電源を切らないで下さい」の表示が消えてから主電源スイッチを OFF にしてください。



- 3 10 秒以上待ちます。
- 4 主電源スイッチを ON にして、副電源スイッチを ON にします。

11.7 簡単なトラブルの処置

	トラブルの内容	チェックポイント	処置
機 長	副電源スイッチをONにしても機械が始動しない	コンセントへの接続は確実ですか？	電源プラグを、コンセントに正しく接続してください。
		主電源スイッチはONになっていますか？	主電源スイッチは通常ONのままにしてください。
		パワーセーブランプが点灯していませんか？	ウィークリータイマー機能が働いていてONできません。時間外使用（POD 管理者編参照）するか、お客様の管理者にお問い合わせください。
		ユーザー認証／部門を認証する画面が表示されていませんか？	ユーザー認証／部門認証に必要な入力をしてください（POD 管理者編参照）。
	コピーがスタートしない	本体前扉／左扉を確実に閉じていますか？	本体前扉／左扉を確実に閉じてください。
		原稿に見合った適正な用紙がトレイに入っていますか？	トレイに適正な用紙をセットしてください。
		入力した設定部数が「0」になっていませんか？	適正な設定部数を設定してください。
		フィニッシャー前扉が開いていませんか？	フィニッシャー前扉を確実に閉じてください。
		メッセージ表示部に廃棄トナーボックスが一杯になっていることを示すメッセージが表示されていませんか？また、機械状態画面の廃棄トナーボックス満杯表示が赤く点灯していませんか？	本体前扉／左扉を開いて、廃棄トナーボックスを交換してください。
	コピー画像が汚れる	原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿ガラスに汚れがあれば、ふいてください。
		原稿自体が汚れていませんか？	原稿に汚れがあれば、消してください。
		濃度調整は適正ですか？	マニュアル濃度設定を使って、濃度を調整してください。さらに調整が必要な場合は、6 章をごらんください。
	コピー画像がうすい	濃度調整は適正ですか？	マニュアル濃度設定を使って濃度を調整してください。さらに調整が必要な場合は、6 章をごらんください。
		機械状態画面に「トナーを入れてください」が表示されていませんか？	トナーを補給してください。
	コピー画像がクリアでない	用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を交換してください。
	倍率変更ができない	縮小シフトになっていませんか？	縮小シフトを解除してください。
	紙づまりを処理してもコピーできない	他にも紙づまりはありませんか？	画面の表示を見て、他の場所につまっている用紙を取除いてください。
	両面 -> 片面、両面 -> 両面モードにならない	ADF が開いていませんか？	ADF を確実に閉じてください。
	ユーザー認証／部門管理を設定した機械でパスワードを入力してもコピーできない	「リミットをオーバーしました」が表示されていませんか？	お客様の管理者にお問い合わせください。

	トラブルの内容	チェックポイント	処置
ADF	リセットを押しても ADF が使用できない	ADF が浮いていませんか？	ADF を下へ確実に押してください。
		ADF が設定されていますか？	仕様にあった原稿に変えてください。原稿を正しくセットしてください。
	原稿が送られない	ADF が浮いていませんか？	ADF を下へ確実に押してください。
		指定以外の原稿を使用していないか？	仕様に合った原稿にかえてください。
		正しく原稿がセットしてありますか？	原稿を正しくセットしてください。
フィニッシャー FS-532	フィニッシャー FS-532 が作動しない	フィニッシャー FS-532 の内部に紙づまりがありませんか？	紙片があれば取除いてください。
		フィニッシャー前扉は完全に閉じていますか？	フィニッシャー前扉を確実に閉めてください。
	ステープルの位置が 90° ずれる	自動画像回転が働いていませんか？	自動画像回転が働かないように用紙をセットしなおしてください。
	排紙される用紙が均一に積載されず、ステープルの位置ズれる	用紙が大きくカールしていませんか？	トレイ内の用紙をオモテ／ウラ逆にセットしてください。
	フィニッシャー FS-532 の内部で紙づまりが頻発する	用紙をセットしているトレイの側面ガイドと用紙の間に、隙間がありませんか？	側面ガイドを確実に用紙に突当て、隙間ができないようにしてください。
	ステープルの位置がそろわない	用紙が大きくカールしていませんか？	トレイ内の用紙をオモテ／ウラ逆にセットしてください。
	サブトレイの排紙がそろわない	サブトレイの先端に用紙が当たっていませんか？	サブトレイのロックを一時的に解除して、サブトレイを浮かせた状態にしてください。
	平とじステープルの設定をしても平とじステープルされない	メッセージ表示部に「平とじ機のスタッカーを引き出し、ステープラーに針をセットして下さい」と表示されていませんか？また、機械状態画面のステープル針補給表示が赤く点灯していませんか？	フィニッシャーのスタッカーを引出し、平とじステープル針を補給してください。
		メッセージ表示部に「平とじ機の針くずが一杯です ステープル針くずを捨てて下さい」と表示されていませんか？	フィニッシャーのスタッカーを引出し、針くずを捨ててください。
	中とじ機 SD-510 を装着しているフィニッシャーで、中とじステープルの設定をしても中とじステープルされない	メッセージ表示部に「平とじ機のサドルユニットを引き出し ステープラーに針をセットしてください」と表示されていませんか？また、機械状態画面のステープル針補給表示が赤く点灯していませんか？	フィニッシャーのサドルユニットを引出し、中とじステープル針を補給してください。
	パンチキット PK-522 を装着しているフィニッシャーで、パンチの設定をしてもパンチされない	メッセージ表示部に「パンチキットのパンチくず箱が一杯です パンチくずを捨てて下さい」と表示されていませんか？また、機械状態画面のパンチくず箱満杯表示が赤く点灯していませんか？	フィニッシャー前扉を開き、パンチくず箱を引出して、パンチくずを捨ててください。

	トラブルの内容	チェックポイント	処置
Z 折りユニット ZU-608	Z 折りユニット ZU-608 を装着しているフィニッシャーで、パンチの設定をしてもパンチされない	メッセージ表示部に「パンチユニットのパンチくず箱が一杯です。パンチくずを捨ててください」と表示されていませんか？また、機械状態画面のパンチくず箱満杯表示が赤く点灯していませんか？	フィニッシャー前扉を開き、Z 折りユニットのパンチくず箱を引出して、パンチくずを捨ててください。
認証装置 (IC カード認証タイプ) AU-201	認証装置 (IC カード認証タイプ) AU-201 の USB ケーブルを本体 USB 接続ポートに接続したが、状態表示 LED が緑点灯しない	本体の USB 接続ポートの誤作動が考えられます。	本体の主電源スイッチを OFF にし、認証装置 (IC カード認証タイプ) AU-201 の USB ケーブルを本体 USB 接続ポートから抜取ります。再度接続し、10 秒以上経過してから本体の主電源スイッチを ON にしてください。
IC カード	IC カードが認証されない	認証装置 (IC カード認証タイプ) AU-201 は、本体 USB 接続ポートに接続されていますか？	認証装置 (IC カード認証タイプ) AU-201 の USB ケーブルを本体の USB 接続ポートに確実に接続してください。
		本体 USB 接続ポートを使用する設定になっていますか？	お客様の管理者にお問い合わせください。

チェックしてもトラブルが直らない場合は、サービス実施店に連絡してください。

12

日頃の管理

12 日頃の管理

12.1 清掃する

いつもきれいなコピーをとるため、定期的に次のようなお手入れをしてください。

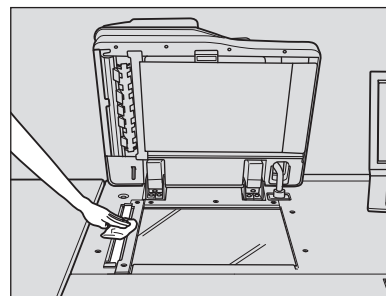
12.1.1 ADF 原稿読み込みガラスの清掃

原稿ガラス左側の ADF 原稿読み込みガラスが汚れていると、ADF を使用して読込んだ画像にタテのスジがついてしまうことがあります。

このガラス面をきれいな柔らかい布でふいてください。

重要

原稿ガラスを清掃するとき、ベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

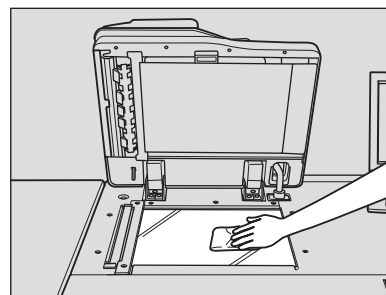


12.1.2 原稿ガラスの清掃

きれいな柔らかい布でふいてください。汚れが落ちにくい場合は、水を含ませた布でふいてください。

重要

原稿ガラスを清掃するとき、ベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

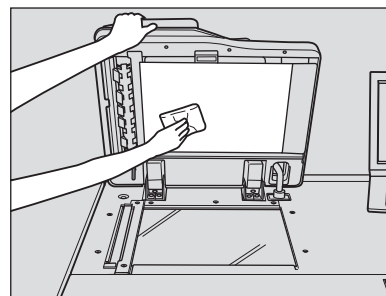


12.1.3 ADF ガイドカバーの清掃

ADF ガイドカバーが汚れていると、原稿ガラスで原稿をスキャンするとき、読込んだ画像に汚れが取込まれたり、原稿サイズがうまく検知できなかったりすることがあります。きれいな柔らかい布でふいてください。

重要

ADF ガイドカバーを清掃するとき、ベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

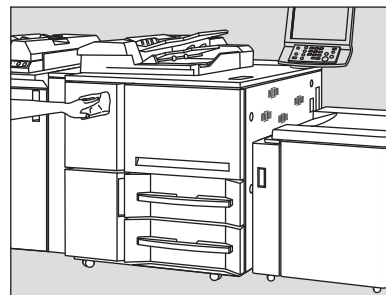


12.1.4 機械外装の清掃

柔らかい布に家庭用中性洗剤を含ませ、機械外装の汚れを拭取ります。

重要

清掃時は必ず本体の**主電源スイッチ**を OFF にしてください。機械外装の清掃にベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。



12.1.5 操作パネルの清掃

柔らかい布で操作パネルの表面を乾拭きし、汚れを拭取ります。

重要

清掃時、**操作パネルのキーやタッチパネル**を強く押さえないでください。**操作パネルの清掃**に中性洗剤、ガラスクリーナーやベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。



12.2 コピー枚数カウントを確認する

設定メニュー画面を表示させると、下記のカウントを確認できます。

- トータルカウンター
- 給紙用紙枚数カウンター
- 排紙用紙枚数カウンター
- プリンタートータルカウンター
- コピートータルカウンター
- スキャントータルカウンター
- メンテナンスカウンター
- 現像剤カウンター
- 感光体カウンター

これらの情報をプリントアウトできます。



参照

設定メニュー画面に「CMS 部品カウントリスト」を表示し、CMS 部品カウントリストの表示やリストの編集（パーツ名設定、P/N 設定、リミット設定）、カウンターリセットを表示できます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

➔ 「システム情報」を押すと、本機のシステム情報が表示されます。[閉じる]を押すと、もとの画面にもどります。

➔ 現像剤と感光体のカウンターは、サイクルまたは走行時間を設定できます。サービス実施店にお問い合わせください。

1 操作パネルの設定メニュー/カウンターを押します。

設定メニュー画面が表示されます。



2 各カウントを確認します。

画面の左側に各カウントが表示されます。



- 3 「詳細」を押します。
詳細カウンターのリストが表示されます。



詳細カウンターのリストを出力できます。手順 4 に進みます。出力の必要がない場合は「閉じる」を押します。手順 6 に進みます。

- 4 「印刷モードへ」を押します。
印刷モード画面が表示されます。
印刷の片面／両面、出力設定、および給紙トレイを選択してから、操作パネルのスタートを押します。



- 5 「閉じる」を押します。
設定メニュー画面にもどります。
- 6 「終了」を押します。
機械状態画面にもどります。

12.3 「定期点検です」と表示されたら

定期点検は、750,000 カウントごとに実施します。

定期点検アイコンおよび下記のメッセージが表示されたら、サービス実施店に連絡して定期点検を受けてください。

部品によって交換サイクルが違ってきます。また、交換サイクルを変更できます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。



参照

管理者は、管理者設定を経由して連絡することもできます。

この場合、サービス実施店は機械の状況を把握していますので、定期点検を依頼する必要はありません。

重要

感光体および現像剤については、A4 □ PPM/10 + 1 枚間欠を基準とした摺動距離カウンタに切替えます。

12.4 保守サービス

12.4.1 チャージシステム

このシステムに契約していただきますと、本機を常に安定した状態でご利用になるための保守サービス（定期点検、調整、感光体／現像剤交換など）を提供いたします。

保守サービス提供の対価として、カウンター数値により算出されるコピー料金を申受けます。

詳しい修理内容などは、サービス実施店にお問い合わせください。

12.4.2 補修用性能部品の保有期間

本機の機能を維持するために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、機械本体の製造打切り後 7 年です。

12.4.3 主な同梱品

本機には、下記の同梱品が付帯しています。

- 同梱現像剤：1
- ユーザーズガイド セキュリティー編：1
- 安全にお使いいただくために：1
- オペレーションクイックガイド：1
- ユーザーズガイド（CD）：1
- ユーザーズガイドホルダー（M）：1
- QA シート：1
- チャージシステム申込書：1
- 操作パネル：1
- その他

13

仕様

13 仕様

本体、オプションの製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

13.1 本体仕様

13.1.1 本体

名称	bizhub PRO 951
形式	コンソールタイプ
印字方式	LED 露光静電複写方式
原稿台	固定式
感光体	OPC
光源	希ガス放電蛍光ランプ
現像方法	乾式 2 成分反転磁気ブラシ現像
転写方式	ベルト転写
定着方式	ヒートローラー定着
濃度設定	固定濃度：9 段階（マニュアル調整）、登録濃度 2 種 自動濃度選択：原稿濃度を自動判定し、地肌を自動検出して除去する 下地調整：9 段階（マニュアル調整）
画質設定	原稿画質：4 つから 1 つ選択（文字／写真、薄文字、写真、文字） シャープネス：9 段階（マニュアル調整） 文字／写真判別：9 段階（写真寄り <--> 文字寄り）
複写倍率	1 : 1（100 %） 拡大： 1 : 1.154（115.4%）、1 : 1.224（122.4%）、1 : 1.414（141.4%）、 1 : 2.000（200.0%） 縮小： 1 : 0.866（86.6%）、1 : 0.816（81.6%）、1 : 0.707（70.7%）、 1 : 0.500（50.0%） ズーム：0.250 ～ 4.000（25.0% ～ 400.0 %）（0.1%刻み） 任意設定倍率：3
読取り解像度	走査：600 dpi、副走査：600 dpi
書込み解像度	走査：1200 dpi、副走査：1200 dpi
階調	256 階調相当（プリント画像出力時 2 値）
用紙	上質紙／普通紙：40 g/m ² ～ 300 g/m ² （両面：50 g/m ² ～ 300 g/m ² ） 書籍用紙／ラフ紙：40 g/m ² ～ 216 g/m ² 未印字挿入紙：40 g/m ² ～ 300 g/m ² 定形サイズの内紙のほか、不定形サイズ、ワイド紙、インデックス紙、郵政はがきの給紙が可能 郵政はがきは、ペーパーフィーダーユニット PF-706 で給紙可 本体トレイからは、オプションのハガキアダプターを装着して給紙可 塗工紙、追い刷り紙、ラベル紙、エンボス紙、OHP シートおよび封筒は使用できません。
複写速度	片面：95 枚／分（A4 □、8.5 × 11 □）、55 枚／分（A3 □）、54 枚／分（11 × 17 □）
連続複写	1 ～ 9999 枚
メモリー容量	システムメモリー：512 MB（DDR2） プログラム格納用メモリー：64 MB（フラッシュメモリー） 画面メインメモリー（圧縮伸張バッファ）：768 MB（SDR-SDRAM） 不揮発メモリー：1 MB（SRAM + 電池バックアップ） HDD：250 GB
原稿種類	シート、ブック、立体物、厚み：30 mm 以下

原稿サイズ	定形サイズ：最大 A3 □ (11 × 17 □) 不定形サイズ：297 mm × 431.8 mm
原稿重量	最大 6.8 kg
複写サイズ	定形サイズ： SRA3 □、A3 □、B4 □、SRA4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □、郵政はがき □、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □/□、9 × 11 □、Foolscap、5.5 × 8.5 □ 以下の定形サイズと切替えて検知させることができます。 A5 □ のかわりに 5.5 × 8.5 □、SRA3 □ のかわりに 12 × 18 □、8.5 × 14 □ のかわりに 8 × 13 □、8.12 × 13.2 □、8.25 × 13 □、または 8.5 × 13 □ 不定形サイズ： 最大タテ 324 mm × ヨコ 463 mm ～最小タテ 182 mm × ヨコ 139 mm ワイド紙： A3W □、B4W □、A4W □/□、B5W □/□、A5W □、12 × 18W □、11 × 17W □、8.5 × 11W □/□、5.5 × 8.5W □ インデックス紙： A3T □、B4T □、A4T □/□、B5T □/□、11 × 17T □、8.5 × 11T □/□、5.5 × 8.5T □ (詳しくは、3-6 ページをごらんください。)
画像欠け幅	先端：3 mm 以下 後端、右端、左端：2 mm 以下
給紙方式	本体トレイ 1、2：1,600 枚収納 (64 g/m ² 紙)
ウォームアップタイム	390 秒以下 (20 °C、50%RH、通電時 200V)
ファーストコピータイム	3.4 秒以下 (A4 □、8.5 × 11 □)
騒音	7.9 B 以下
電源	200 V/15A、50/60 Hz
消費電力	3.0 KW 以下 (ペーパーフィーダーユニット PF-706 + 本体 + フィニッシャー FS-532)
質量	372 kg (本体のみ)
大きさ	・ 本体 990 (W) × 910 (D) × 1,454 (H) mm ・ 本体 + ペーパーフィーダーユニット PF-706 + フィニッシャー FS-532 2,597 (W) × 910 (D) × 1,454 (H) mm ・ 本体 + 大容量給紙ユニット LU-409 + フィニッシャー FS-532 2,224 (W) × 910 (D) × 1,454 (H) mm
機械設置寸法	機械背面 (ダクト背面側) から 200 mm 以上、機械両側面から 100 mm 以上のスペースを確保
温度	10 ～ 30 °C *
湿度	10 ～ 80 %RH*

*：温度 20 °C かつ湿度 20% 未満の範囲のうち、適応できない範囲があります。

B 系列用紙は、デフォルトで JIS 規格サイズに設定されています。JIS/ISO の切替えについては、サービス実施店にお問い合わせください。

Foolscap は、8 × 13 □、8.12 × 13.2 □、8.25 × 13 □、8.5 × 13 □ のサイズを指します。

13.1.2 ADF（自動原稿送り装置）DF-616

名称	DF-616
原稿坪量	50 g/m ² ~ 130 g/m ² 50 g/m ² ~ 200 g/m ² （1 枚送り、片面原稿の場合）
原稿サイズ	A3 ㊏、B4 ㊏、A4 ㊏/㊐、B5 ㊏/㊐、A5 ㊐、B6 ㊏、11 × 17 ㊏、 8.5 × 14 ㊏、8.5 × 11 ㊐
原稿積載量	最大 100 枚（80 g/m ² 紙）
原稿挿入	自動送り
質量	約 22 kg
大きさ	650 (W) × 570 (D) × 170 (H) mm
電源	本体より供給

B 系列原稿は、デフォルトで JIS 規格サイズに設定されています。JIS/ISO の切替えについては、サービス実施店にお問い合わせください。

13.2 オプション仕様

13.2.1 大容量給紙ユニット LU-409 (トレイ 3)

名称	LU-409
機能	用紙の給紙
収容枚数	5,000 枚 (64 g/m ² 紙)、4,500 枚 (80 g/m ² 紙)
用紙サイズ	定形サイズ : A4 □、B5 □、8.5 × 11 □、9 × 11 □ 不定形サイズ : 最小タテ 250 mm × ヨコ 176 mm ~ 最大タテ 314 mm × 229 mm ワイド紙 : A4W □、B5W □、8.5 × 11W □ インデックス紙 : B5T □、A4T □、8.5 × 11T □
用紙種類	普通紙、上質紙、ラフ紙、書籍用紙、インデックス紙
用紙坪量	40 g/m ² ~ 300 g/m ² (両面 : 50 g/m ² ~ 300 g/m ²)
大きさ	436 (W) mm × 639 (D) mm × 709 (H) mm
質量	約 30 kg
電源	24/5 VDC、200 ~ 240 VAC 50/60 Hz (本体より供給)
最大消費電力	DC : 70 W 以下 AC : 13 W 以下

B 系列用紙は、デフォルトで JIS 規格サイズに設定されています。JIS/ISO の切替えについては、サービス実施店にお問い合わせください。

ワイド紙は同じサイズ名称でもサイズは同じではありません。ご使用になるワイド紙のサイズを確認し、その数値を必ず入力してください。詳しくは、6-37 ページをごらんください。

13.2.2 大容量給紙ユニット LU-410 (トレイ 3)

名称	LU-410
機能	用紙の給紙
収容枚数	4,500 枚 (64 g/m ² 紙)、4,000 枚 (80 g/m ² 紙)
用紙サイズ	定形サイズ : A3 □、B4 □、A4 □/□、SRA4 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □/□、9 × 11 □、Foolscap 不定形サイズ : 最小タテ 195 mm × ヨコ 203 mm ~ 最大タテ 324 mm × 483 mm ワイド紙 : A3W □、B4W □、A4W □/□、11 × 17W □、8.5 × 11W □/□ インデックス紙 : A4T □/□、B4T □、A3T □、8.5 × 11T □/□、11 × 17T □
用紙種類	普通紙、上質紙、ラフ紙、書籍用紙、インデックス紙
用紙坪量	40 g/m ² ~ 300 g/m ² (両面 : 50 g/m ² ~ 300 g/m ²)
大きさ	700 (W) mm × 639 (D) mm × 715 (H) mm
質量	約 43 kg
電源	24/5 VDC、200 ~ 240 VAC 50/60 Hz (本体より供給)
最大消費電力	DC : 70 W 以下 AC : 13 W 以下

B 系列用紙は、デフォルトで JIS 規格サイズに設定されています。JIS/ISO の切替えについては、サービス実施店にお問い合わせください。

Foolscap は、8 × 13 □、8.12 × 13.2 □、8.25 × 13 □、8.5 × 13 □ のサイズを指します。

ワイド紙は同じサイズ名称でもサイズは同じではありません。ご使用になるワイド紙のサイズを確認し、その数値を必ず入力してください。詳しくは、6-37 ページをごらんください。

13.2.3 ペーパーフィーダーユニット PF-706 (トレイ 3 ～トレイ 5)

名称	PF-706
機能	用紙の給紙
構成	3 段給紙トレイ
収容枚数	2,000 枚 (80 g/m ² 紙、積載高さ 217 mm) × 3 段
用紙サイズ	<p>定形サイズ：SRA3 □、A3 □、B4 □、A4 □/□、SRA4 □、B5 □/□、A5 □、郵政はがき □、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □/□、9 × 11 □、Foolscap</p> <p>不定形サイズ：最小タテ 182 mm × ヨコ 139 mm ～最大タテ 324 mm × 463 mm</p> <p>小サイズガイド使用時：最小タテ 95 mm × ヨコ 133 mm ～最大タテ 181 mm × 463 mm</p> <p>ワイド紙：A3W □、B4W □、A4W □/□、B5W □/□、A5W □、12 × 18W □、11 × 17W □、8.5 × 11W □/□、5.5 × 8.5W □</p> <p>最大タテ 324 mm × ヨコ 463 mm</p> <p>インデックス紙：B5T □/□、A4T □/□、B4T □、A3T □、8.5 × 11T □/□、11 × 17T □、5.5 × 8.5T □</p> <p>定形サイズの場合、トレイ設定で、トレイごとに自動検知する用紙サイズを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A5 □、5.5 × 8.5 □ (デフォルトは A5 □) ・ SRA3 □、12 × 18 □ (デフォルトは 12 × 18 □) ・ 8.5 × 14 □、8 × 13 □、8.12 × 13.2 □、8.25 × 13 □、8.5 × 13 □ (デフォルトは 8.5 × 14 □) <p>PFU トレイに郵政はがきをセットする場合は、小サイズガイドを使用します。詳しくは、5-18 ページをごらんください。</p>
用紙種類	普通紙、上質紙、書籍用紙、ラフ紙、郵政はがき、インデックス紙
用紙坪量	40 g/m ² ～ 350 g/m ² (301 g/m ² ～ 350 g/m ² は、中段トレイからのみ可能) (両面：50 g/m ² ～ 300 g/m ²)
大きさ	809 (W) × 780 (D) × 1,038 (H) mm
質量	150 kg
電源	36、24、12、5 VDC、200 ～ 240 VAC、50 Hz/60 Hz 共通 (本体より供給)
最大消費電力	DC：100 W 以下 AC：40 W 以下

B 系列用紙は、デフォルトで JIS 規格サイズに設定されています。JIS/ISO の切替えについては、サービス実施店にお問い合わせください。

Foolscap は、8 × 13 □、8.12 × 13.2 □、8.25 × 13 □、8.5 × 13 □ のサイズを指します。

ワイド紙は同じサイズ名称でもサイズは同じではありません。ご使用になるワイド紙のサイズを確認し、その数値を必ず入力してください。詳しくは、6-37 ページをごらんください。

13.2.4 フィニッシャー FS-532

名称		FS-532
形式		針カット式ステープラー搭載平とじ機
排紙方式		ストレート、シフト、ステープル
通紙モード		ソート、グループ、仕分けソート、仕分けグループ、ステープル+シフト、ステープル
ステープル方式		手前コーナー平行打ち、2箇所打ち（ピッチ：120 mm、140 mm、165 mm）、奥コーナー 45° 打ち
ソート／グループ	排紙トレイ	トレイ 1（メイントレイ）、トレイ 2（サブトレイ）
	用紙サイズ	<p>・トレイ 1（メイントレイ）</p> <p>大サイズ用紙：A3 ㊩、B4 ㊩、Foolscap、12 × 18 ㊩、11 × 17 ㊩、8.5 × 14 ㊩、SRA3 ㊩、SRA4 ㊩/㊨、13 × 19 ㊩、ワイド紙（最大タテ 324 mm × ヨコ 460 mm）</p> <p>小サイズ用紙：A4 ㊩/㊨、B5 ㊩/㊨、8.5 × 11 ㊩/㊨、9 × 11 ㊨</p> <p>特小サイズ用紙：A5 ㊩/㊨、B6 ㊩、5.5 × 8.5 ㊩/㊨</p> <p>不定形サイズ：最小タテ 95 mm × ヨコ 133 mm ～最大タテ 331 mm × ヨコ 488 mm</p> <p>インデックス紙（排紙時タブ先端側のみ）</p> <p>ストレート排紙のみ：13 × 19 ㊩、5.5 × 8.5 ㊩、B6 ㊩、不定形紙（最小タテ 95 mm × ヨコ 133 mm ～最大タテ 331 mm × ヨコ 488 mm）</p> <p>・トレイ 2（サブトレイ）</p> <p>A3 ㊩、B4 ㊩、A4 ㊩/㊨、B5 ㊩/㊨、A5 ㊩/㊨、Foolscap、SRA3 ㊩、SRA4 ㊩/㊨、12 × 18 ㊩、11 × 17 ㊩、8.5 × 14 ㊩、8.5 × 11 ㊩/㊨、5.5 × 8.5 ㊩、9 × 11 ㊨、ワイド紙</p> <p>不定形サイズ：最小タテ 95 mm × ヨコ 133 mm ～最大タテ 331 mm × ヨコ 488 mm</p> <p>インデックス紙（排紙時タブ先端側のみ）</p>
	用紙坪量	40 g/m ² ～ 350 g/m ²
仕分けソート／仕分けグループ	排紙トレイ	トレイ 1（メイントレイ）
	用紙サイズ	<p>最小タテ 148 mm × ヨコ 133 mm ～最大タテ 331 mm × ヨコ 488 mm</p> <p>大サイズ用紙：A3 ㊩、B4 ㊩、Foolscap、12 × 18 ㊩、11 × 17 ㊩、8.5 × 14 ㊩、SRA3 ㊩、SRA4 ㊩/㊨、13 × 19 ㊩、ワイド紙（最大タテ 324 mm × ヨコ 460 mm）</p> <p>小サイズ用紙：A4 ㊩/㊨、B5 ㊩/㊨、8.5 × 11 ㊩/㊨、9 × 11 ㊨</p> <p>特小サイズ用紙：A5 ㊩/㊨、B6 ㊩、5.5 × 8.5 ㊩/㊨</p> <p>不定形サイズ（最小タテ 95 mm × ヨコ 133 mm ～最大タテ 331 mm × ヨコ 488 mm）</p> <p>インデックス紙（排紙時タブ先端側のみ）</p> <p>ストレート排紙のみ：13 × 19 ㊩、5.5 × 8.5 ㊩、B6 ㊩、不定形サイズ（最小タテ 95 mm × ヨコ 133 mm ～最大タテ 331 mm × ヨコ 488 mm）</p>
	用紙坪量	40 g/m ² ～ 350 g/m ²

ステープル	排紙トレイ	トレイ 1 (メイントレイ) トレイ 2 (サブトレイ) は排紙できません。
	用紙サイズ	最小タテ 203 mm × ヨコ 139 mm ~ 最大タテ 331 mm × ヨコ 488 mm * : 奥コーナー平行打ちは、最大タテ 320 mm です。 定形サイズ : A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □、A5 □、Foolscap、SRA3 □、SRA4 □/□、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □/□、5.5 × 8.5 □、13 × 19 □、9 × 11 □、ワイド紙 不定形サイズ : 最小タテ 203 mm × ヨコ 139 mm ~ 最大タテ 324 mm × ヨコ 463 mm インデックス紙 (排紙時タブ先端側のみ) Z 折りステープル時 (仕上がりサイズ) : 最小タテ 210 mm × ヨコ 210 mm ~ 最大タテ 305 mm × ヨコ 229 mm
	用紙坪量	50 g/m ² ~ 300 g/m ²
大きさ		544 mm (W) * × 1070 mm (H) × 723 mm (D) * : 798 mm (トレイ含む) ポストインサーター PI-502 装着時 544 mm (W) × 1185 mm (H) × 723 mm (D)
質量		74 kg
電源		24 VDC ± 10%
消費電力		144 W 以下

13.2.5 中とじ機 SD-510 (フィニッシャー FS-532 に装着)

名称		SD-510
形式		中とじ専用後処理装置
排紙方式	中とじ	中とじ処理をして、排紙トレイに排出します。
	重ね中折り	1 枚または複数枚の用紙を中折り処理して、排紙トレイに排出します。
	重ね三つ折り	1 枚または複数枚の用紙を三つ折り処理して、排紙トレイに排出します。
中とじ	用紙サイズ	定形サイズ : A3 □、B4 □、A4 □、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □ 詳しくは、3-5 ページをごらんください。 ワイド紙 不定形サイズ : 最小タテ 120 mm × ヨコ 240 mm ~ 最大タテ 331 mm × ヨコ 488 mm
	用紙坪量	本身 : 50 g/m ² ~ 216 g/m ² 、表紙 : 50 g/m ² ~ 300 g/m ² 詳しくは、3-5 ページをごらんください。
	最大中とじ枚数	25 枚 : 50 g/m ² ~ 61 g/m ² 20 枚 : 62 g/m ² ~ 80 g/m ² 16 枚 : 81 g/m ² ~ 91 g/m ² 5 枚 : 92 g/m ² ~ 216 g/m ² 坪量 50 g/m ² ~ 216 g/m ² は、1 枚としてカウントします。 217 g/m ² 以上は、1 枚を 5 枚としてカウントします。
	ステープル位置	60 mm ~ 148.5 mm (2 点間ピッチ)
折り	折り種類	重ね中折り、重ね三つ折り
	用紙サイズ	・ 重ね中折り 定形サイズ : A3 □、B4 □、A4 □、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □ 詳しくは、3-5 ページをごらんください。 ワイド紙 不定形サイズ : 最小タテ 120 mm × ヨコ 240 mm ~ 最大タテ 331 mm × ヨコ 488 mm ・ 重ね三つ折り A4 □、8.5 × 11 □

	用紙種類	普通紙、上質紙、カラー用紙 複数枚の三つ折りで使用できる用紙種類は、フィニッシャー FS-532 の推奨紙だけです。詳しくは、13-7 ページをごらんください。
	用紙坪量	・ 重ね中折り 本 身：50 g/m ² ～ 216 g/m ² 、表紙：50 g/m ² ～ 300 g/m ² ・ 重ね三つ折り 本 身：50 g/m ² ～ 105 g/m ² 中折りの表紙の紙種については、3-5 ページをごらんください。三つ折りは表紙なしです。
	最大重ね枚数	・ 重ね中折り 1 枚～ 5 枚：50 g/m ² ～ 216 g/m ² 1 枚：217 g/m ² ～ 300 g/m ² ・ 重ね三つ折り 1 枚～ 3 枚：50 g/m ² ～ 91 g/m ² 1 枚：92 g/m ² ～ 105 g/m ²
折り排紙トレイ収容枚数	大サイズ用紙 (紙長 330 mm 以上)	・ 重ね中折り 1 枚～ 5 枚：35 冊 ・ 中とじ 2 枚～ 5 枚：35 冊 6 枚～ 10 枚：25 冊 11 枚～ 25 枚：15 冊
	小サイズ用紙 (紙長 330 mm 未満) *	・ 重ね中折り 1 枚～ 5 枚：35 冊 ・ 中とじ 2 枚～ 5 枚：35 冊 6 枚～ 10 枚：25 冊 11 枚～ 25 枚：15 冊 ・ 重ね三つ折り 1 枚：50 冊 2 枚：40 冊 3 枚：30 冊 *：排紙トレイ先端ストッパーを解除しているときは、収容枚数の制限はありません。
大きさ		281.3 mm (W) × 596.4 mm (D) × 529.8 mm (H)
質量		本体：約 22.6 kg、排紙トレイ：約 3.8 kg
電源		24 VDC、5 V (本体より供給)
消費電力		40 W 以下

13.2.6 パンチキット PK-522 (フィニッシャー FS-532 に装着)

名称	PK-522
形式	パンチ穴穿孔装置
用紙種類	普通紙、上質紙 (いずれも本体推奨紙をおすすめします)
用紙坪量	60 g/m ² ～ 300 g/m ²
パンチ穴数	2 穴
パンチ穴ピッチ	80 mm ± 1.0 mm
パンチ穴直径	6.5 mm
穴位置精度	4.0 mm 以上
最大消費電力	30 W 以下
大きさ	パンチキット本体： 156.1 (W) mm × 592.3 (D) mm × 180.7 (H) mm
電源	24/5 VDC (本体より供給)
質量	パンチキット本体：4.5 kg

13.2.7 Z 折りユニット ZU-608（フィニッシャー FS-532 に装着）

名称	ZU-608
機能	パンチ、Z 折り、Z 折り+パンチ、スルー
パンチ機能	フィニッシャーに供給される用紙 1 枚ずつ複数のパンチ穴を同時にパンチして、Z 折りを行います。
穴数	2 穴 / 4 穴
穴径	6.5 mm ± 0.5 mm
穴ピッチ	80 mm ± 0.5 mm
穴縦位置	10.5 mm ± 5 mm
穴位置精度	4.0 mm 以上
パンチ処理速度	85 ppm
パンチ出力時の用紙坪量	60 g/m ² ~ 91 g/m ²
パンチ出力時の用紙サイズ	2 穴 : A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、Foolscap、SRA4 □、11 × 17 □、8 × 14 □、8.5 × 11 □/□、5.5 × 8.5 □/□、9 × 11 □、7.25 × 10.5 □ 4 穴 : A3 □、B4 □、A4 □、11 × 17 □、8.5 × 11 □ 2 穴 : A3 □、B4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □/□、Foolscap、SRA4 □、11 × 17 □、8 × 14 □、8.5 × 11 □/□、5.5 × 8.5 □/□、9 × 11 □、7.25 × 10.5 □/□
Z 折り時の用紙坪量	60 g/m ² ~ 91 g/m ²
Z 折り出力時の用紙サイズ	A3 □、B4 □
Z 折り禁止用紙	折りに不適切な用紙、薄紙、厚紙、腰弱紙（クラシックホワイト紙、リサイクノミック紙、X-ST 紙など）
スルー機能	スルーモード : 40 g/m ² 紙 ~ 350 g/m ² 紙 最小タテ 95 mm × ヨコ 139 mm ~ 最大タテ 331 mm × ヨコ 483 mm 本体でコピーできる用紙は Z 折りユニット ZU-608 内を通紙できます。詳しくは、本体の仕様をごらんください。
大きさ	169 (W) mm × 660 (D) mm × 930 (H) mm
質量	約 38 kg
電源	5 VDC、100 ~ 240 VAC（自動切替え）
最大消費電力	120 VA

折りモード時（混載を含む）のステーブルについては、フィニッシャー FS-532 の仕様をごらんください。
B 系列用紙は、デフォルトで JIS 規格サイズに設定されています。JIS/ISO の切替えについては、サービス実施店にお問い合わせください。

Foolscap は、8 × 13 □、8.12 × 13.2 □、8.25 × 13 □、8.5 × 13 □ のサイズを指します。

13.2.8 ポストインサーター PI-502（取り付けキット MK-732）（フィニッシャー FS-532 に装着）

名称	PI-502
形式	カバー用紙給紙装置
機能	オート マニュアル
	本体からの指示で用紙をフィニッシャー内に給送します。
	ポストインサーターの操作パネルからの指示でフィニッシャー内に給送します。

用紙サイズ	上段トレイ	定形サイズ：A4 □/□、B5 □/□、A5 □、8.5 × 11 □/□、5.5 × 8.5 □、ワイド紙 不定形サイズ：最小タテ 182 mm × ヨコ 139 mm ～最大タテ 216 mm × ヨコ 297 mm
	下段トレイ	定形サイズ：A3 □、B4 □、SRA4 □、A4 □/□、B5 □/□、A5 □、12 × 18 □、11 × 17 □、8.5 × 14 □、8.5 × 11 □/□、5.5 × 8.5 □、Foolscap、ワイド紙 不定形サイズ：最小タテ 182 mm × ヨコ 139 mm ～最大タテ 314 mm × ヨコ 458 mm
用紙種類		普通紙、再生紙、上質紙
坪量		50 g/m ² ～ 200 g/m ²
収容枚数		上段トレイ、下段トレイとも 200 枚（80 g/m ² ）、または 30 mm 以内
大きさ		ポストインサーター PI-502 のみ： 511 mm (W) × 620 mm (D) × 220 mm (H)
質量		10.5 kg（取り付けキット MK-732 3.0 Kg は含みません）
電源		24/5 VDC 本体より供給
最大消費電力		30 W 以下

13.2.9 リムーバブルハードディスクキット RH-101（ハードディスクインナーケースキット HD-511）

名称	RH-101
機能	リムーバブル管理： 本体用 HDD とイメージコントローラー用 HDD をハードディスクインナーケースキット HD-511 に取付けて、リムーバブルハードディスクキット RH-101 に挿入します。 ユーザーごとに本体ハードディスクを切替えて使用できます。また、本体ハードディスクを本体から切離して保管できるため、セキュリティが向上します。
大きさ	リムーバブルハードディスクキット RH-101： 260 (W) × 150 (D) × 110 (H) mm ハードディスクインナーケースキット HD-511： 192 (W) × 125 (D) × 42 (H) mm
質量	リムーバブルハードディスク RH-101：2.4 kg ハードディスクインナーケースキット HD-511：0.85 kg
電源	12/5 VDC（本体より供給）

13.2.10 その他のオプション

本機で使用するオプションは、その他に下記のものがあります。

- 認証装置（IC カード認証タイプ）AU-201
- アップグレードキット UK-205
- ステープルキット SK-602（SD-510 用）
- ステープルキット SK-703（FS-532 用）

13.3 併用できないコピー条件

13.3.1 基本設定、画質設定、原稿設定と併用できないコピー条件

機能組合わせ表		基本設定														画質設定										原稿設定				
		片面 -> 片面	片面 -> 両面	両面 -> 片面	両面 -> 両面	原稿ガラスモード	ADFモード	自動用紙	自動倍率	等倍	手動倍率	固定倍率	自動画像回転禁止 *34	濃度設定	自動濃度	登録濃度	原稿画質 (文字／写真)	原稿画質 (薄文字)	原稿画質 (写真)*5	原稿画質 (文字)	下地調整 (+側)	下地調整 (-側)	文字／写真判別	混載原稿	Z折れ原稿	1枚送り	不定形サイズ (全面以外)	不定形サイズ (全面／サイズ入力)	インデックス紙サイズ	
基本設定	片面 -> 片面		○		○																									
	片面 -> 両面	○		○	○	*11																								
	両面 -> 片面	○	○		○	○																							▲	
	両面 -> 両面	○	○	○	○	○																							▲	
	原稿ガラスモード		*11	○	○																				▲					
	ADFモード																													
	自動用紙							●																				○	○	
	自動倍率							●		●	●	●																○	○	
	等倍							●	●	●	●	●																		
	手動倍率							●	●	●	●	●												*29						
	固定倍率							●	●	●	●	●																		
画質設定	自動画像回転禁止 *34																													
	濃度設定														×	×														
	自動濃度													×		×														
	登録濃度													×																
	原稿画質 (文字／写真)																													
	原稿画質 (薄文字)																													
	原稿画質 (写真)*5																													
	原稿画質 (文字)																													
	下地調整 (+側)																													
	下地調整 (-側)																													
文字／写真判別																														
原稿設定	混載原稿																								●	●	×	×	×	
	Z折れ原稿					○																			●	●	×	×	×	
	1枚送り																								●	●	×	×	×	
	不定形サイズ (全面以外)																								×	×	●	●	●	
	不定形サイズ (全面／サイズ入力)																								×	×	●	●	●	
	インデックス紙サイズ		▲	▲																					×	×	●	●	●	

機能組合わせ表		出力設定															
		ソート	仕分けソート：排紙位置切換*19	仕分けソート：仕切り紙・停止*19	グループ	仕分けグループ：排紙位置切換*19	仕分けグループ：仕切り紙・停止*19	ステープル（左コーナー）	ステープル（右コーナー）	ステープル（2点上）	ステープル（2点左）	ステープル（2点右）	中とじ	重ね中折り	重ね三つ折り（内印字）	重ね三つ折り（外印字）	Z折り
基本設定	片面 -> 片面																
	片面 -> 両面																
	両面 -> 片面																
	両面 -> 両面																
	原稿ガラスモード																
	ADF モード																
	自動用紙																
	自動倍率																
	等倍																
	手動倍率																
画質設定	固定倍率																
	自動画像回転禁止*34																
	濃度設定																
	自動濃度																
	登録濃度																
	原稿画質（文字／写真）																
	原稿画質（薄文字）																
	原稿画質（写真）*5																
	原稿画質（文字）																
	下地調整（＋側）																
原稿設定	下地調整（－側）																
	文字／写真判別																
	混載原稿												×	×	×	×	
	Z折れ原稿																
	1枚送り																
	不定形サイズ（全面以外）																
不定形サイズ（全面／サイズ入力）																	
インデックス紙サイズ																	

機能組合わせ表		出力設定										応用設定													
		パンチ (右)	パンチ (左)	パンチ (上)	フェイスアップ	フェイスダウン	順方向	逆方向	左右と同じ	上と同じ	HDD 保存	プログラムジョブ (選択直後)	インターシート (トレイ)	PI 挿入	表カバー (トレイ)	裏カバー (トレイ)	表カバー PI (上段/下段)	裏カバー PI (上段/下段)	罫分け	罫分け印刷挿入	集約	小冊子	無線と同じ	差込みページ	
基本設定	片面 -> 片面																		○	○		○	○		
	片面 -> 両面				×														○	○		○	○		
	両面 -> 片面					×													○	○		○	○		
	両面 -> 両面				×																				
	原稿ガラスモード																		*30	*30				▲	
	ADF モード																								
	自動用紙											○		○	○					○	○	○	○		
	自動倍率																								
	等倍																								
	手動倍率																								
	固定倍率																								
	自動画像回転禁止 *34																								
画質設定	濃度設定																								
	自動濃度																								
	登録濃度																								
	原稿画質 (文字/写真)																								
	原稿画質 (薄文字)																								
	原稿画質 (写真) *5																								
	原稿画質 (文字)																								
	下地調整 (+側)																								
	下地調整 (-側)																								
	文字/写真判別																								
原稿設定	混載原稿										×	×		×	×				×	×	×	×	×	×	
	Z 折れ原稿																								
	1 枚送り																		×	×	×	×	×	×	
	不定形サイズ (全面以外)																								
	不定形サイズ (全面/サイズ入力)											▲									×	×	×		
	インデックス紙サイズ											×	×	×	×				×	×	×	×	×	×	

機能組合わせ表		応用設定																							
		ブック連写	ネガポジ反転	リポート	自動リポート*8	定形リポート	枠消し	折り目消し	センタリング	シフト	縮小シフト	原稿外消去	全面画像	スタンプ (定型スタンプ)	スタンプ (ページ)	スタンプ (ナンバリング)	スタンプ (日付)	ウォーターマーク	ウォーターマーク (ナンバリング)	コピープロテクト	任意スタンプ	登録オーバーレイ	オーバーレイ*4		
基本設定	片面 -> 片面																								
	片面 -> 両面																								
	両面 -> 片面			○	○				○			○													
	両面 -> 両面			○	○				○			○													
	原稿ガラスモード																								
	ADF モード			○	○				●			▲													
	自動用紙	○		○	○	○			○		○	○											○		
	自動倍率	○		○	○				○			○													
	等倍						○					○													
	手動倍率											○													
	固定倍率					○						○													
	自動画像回転禁止 *34																								
画質設定	濃度設定																								
	自動濃度																								
	登録濃度																								
	原稿画質 (文字／写真)																								
	原稿画質 (薄文字)																								
	原稿画質 (写真) *5																								
	原稿画質 (文字)																								
	下地調整 (+側)																								
	下地調整 (-側)																								
文字／写真判別																									
原稿設定	混載原稿	×		×	×	×			×		×	×											×		
	Z 折れ原稿			×	×	×			×			×													
	1 枚送り								×			×													
	不定形サイズ (全面以外)				○							○													
	不定形サイズ (全面／サイズ入力)	×			○					×	×	×													
	インデックス紙サイズ	×			○							○													

- 無印 : 排他なし（選択可能）
- × : 網掛け（強制解除含む）
- : 本来は禁止だが排他未実施（後優先：列の方が優先）
- ▲ : メッセージ出力
- : 強制解除
- : 設定なし

- *1 カバーシート紙の裏カバーは禁止。（禁止時にはメッセージ表示）
- *2 2in1、2 リピートだけ可能。4in1 はスタンプページだけ可能。（禁止時は網掛け）
- *4 プログラムジョブではオーバーレイ選択禁止
- *5 文字：1bit、写真：DIPSW にて 1bit/2bit 切換え。1bit/2bit の混在は不可。メモリーモード時は 1bit 固定となる。
- *6 小冊子選択時だけ組合わせ可能。小冊子未選択時（禁止状態）は、ブック連写×中とじ（または重ね中折り）の組合わせは、ブック連写優先の後優先となり、中とじ（重ね中折り）ボタンは網掛け
- *8 自動リピート選択時は、原稿外自動消去も自動強制選択される。（原稿外自動消去だけの解除は不可）
- *11 メモリーモード強制選択
- *12 下地マイナス設定時に、薄文字が選択された場合は、強制的に下地レベルを 0 にする。
- *14 2 リピート（反転含む）のみ禁則
- *15 定形 2 リピート（反転含む）のみ禁則緩和
- *19 排紙先が大容量スタッカーのスタッカー、またはフィニッシャーのメイントレイの場合は選択可能（前記以外の排紙トレイの場合は網掛け）
- *20 ソートを選択し、仕分けソート／グループ／仕分けグループは網掛け
- *23 ソートを選択し、グループ、仕分けグループは網掛け
- *24 仕分けソートを選択し、グループ／仕分けグループは網掛け
- *25 ソートを選択し、グループは網掛け
- *28 下地調整のマイナス側には設定できない。
- *29 設定メニューの「03 コピー設定」－「02 個別機能切替え設定」で「原稿ガラス自動倍率」と「ADF 自動倍率」が共に OFF の場合、等倍が選択される。
- *30 メモリーモードでない場合は「ADF を閉めてください」のメッセージが表示される。
- *31 ブック連写「オモテ／ウラ表紙あり」選択時、任意スタンプは網掛け。また、任意スタンプ選択時、ブック連写「オモテ／ウラ表紙あり」は網掛けとなる。
- *32 2in1、2 リピートだけ可能。4in1 はスタンプページだけ可能。（禁則時は網掛け）
- *33 2 リピート以外選択時、登録オーバーレイは網掛け。また、登録オーバーレイ選択時、2 リピート以外は網掛け
- *34 「自動画像回転禁止」選択時でも、画像回転アイコン表示時は、画像回転する。
- *35 反転 2 リピートのみ禁則

13.3.2 出力設定と併用できないコピー条件

機能組合わせ表		基本設定										画質設定										原稿設定							
		片面→片面	片面→両面	両面→片面	両面→両面	原稿ガラスモード	ADFモード	自動用紙	自動倍率	等倍	手動倍率	固定倍率	自動画像回転禁止 *34	濃度設定	自動濃度	登録濃度	原稿画質 (文字/写真)	原稿画質 (薄文字)	原稿画質 (写真) *5	原稿画質 (文字)	下地調整 (+側)	下地調整 (-側)	文字/写真判別	混載原稿	Z折れ原稿	1枚送り	不定形サイズ (全面以外)	不定形サイズ (全面/サイズ入力)	インデックス紙サイズ
出力設定	ソート																												
	仕分けソート：排紙位置切換 *19																												
	仕分けソート：仕切り紙・停止 *19																												
	グループ																												
	仕分けグループ：排紙位置切換 *19																												
	仕分けグループ：仕切り紙・停止 *19																												
	ステープル (左コーナー)																												
	ステープル (右コーナー)																												
	ステープル (2点上)																												
	ステープル (2点左)																												
	ステープル (2点右)																												
	中とじ																							○					
	重ね中折り																							○					
	重ね三つ折り (内印字)																							○					
	重ね三つ折り (外印字)																							○					
	Z折り																												
	パンチ (右)																												
	パンチ (左)																												
	パンチ (上)																												
	フェイスアップ																												
	フェイスダウン																												
	順方向																												
	逆方向																												
	左右とじ																												
	上とじ																												
	HDD 保存																												

機能組合わせ表		出力設定												
		ソート	仕分けソート：排紙位置切換*19	仕分けソート：仕切り紙・停止*19	グループ	仕分けグループ：排紙位置切換*19	仕分けグループ：仕切り紙・停止*19	ステープル（左コーナー）	ステープル（右コーナー）	ステープル（2点上）	ステープル（2点左）	ステープル（2点右）	中とじ	重ね中折り
併 用 可	ソート		●	●		●	●							
	仕分けソート：排紙位置切換*19	●	●	●	●	●	●						*20*20	*20*20
	仕分けソート：仕切り紙・停止*19	●	●	●	●	●	●						*20*20	*20*20
	グループ	●	●	●	●	●	●						*20*20	*20*20
	仕分けグループ：排紙位置切換*19	●	●	●	●	●	●						*20*20	*20*20
	仕分けグループ：仕切り紙・停止*19	●	●	●	●	●	●						*20*20	*20*20
	ステープル（左コーナー）							●	●	●	●	●	●	●
	ステープル（右コーナー）							●	●	●	●	●	●	●
	ステープル（2点上）							●	●	●	●	●	●	●
	ステープル（2点左）							●	●	●	●	●	●	●
	ステープル（2点右）							●	●	●	●	●	●	●
	中とじ		×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●
	重ね中折り		×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●
	重ね三つ折り（内印字）		×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●
	重ね三つ折り（外印字）		×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●
	Z折り												●	●
	パンチ（右）							▲	▲	▲			●	●
	パンチ（左）								▲	▲			●	●
	パンチ（上）									▲	▲		●	●
	フェイスアップ							×	×	×	×	×	*13*13	×
	フェイスダウン												*13*13	
	順方向												*13*13	
	逆方向							×	×	×	×	×	×	*13*13
	左右とじ									▲				
	上とじ										▲	▲		
	HDD 保存													

機能組合わせ表		出力設定										応用設定													
		パンチ (右)	パンチ (左)	パンチ (上)	フェイスアップ	フェイスダウン	順方向	逆方向	左右とじ	上とじ	HDD 保存	プログラムジョブ (選択直後)	インターシート (トレイ)	PI 挿入	表カバー (トレイ)	裏カバー (トレイ)	表カバー PI (上段/下段)	裏カバー PI (上段/下段)	章分け	章分け印刷挿入	集約	小冊子	無線とじ	差込みページ	
出力設定	ソート																								
	仕分けソート：排紙位置切換 *19																								
	仕分けソート：仕切り紙・停止 *19																								
	グループ											*23 ○	*23							*23	*23			*23	
	仕分けグループ：排紙位置切換 *19											*23 ○	*24							*24	*23			*23	
	仕分けグループ：仕切り紙・停止 *19											*23 ○	*24							*24	*23			*23	
	ステープル (左コーナー)	▲			×			×														×	×		
	ステープル (右コーナー)		▲		×			×														×	×		
	ステープル (2 点上)	▲	▲		×			×	▲														×	×	
	ステープル (2 点左)	▲		▲	×			×		▲												×	×		
	ステープル (2 点右)		▲	▲	×			×		▲												×	×		
	中とじ	●	●	●	×			×				○				×	×						×		
	重ね中折り	●	●	●	×			×				○				×	×						×		
	重ね三つ折り (内印字)	●	●	●	*13	*13	*13	*13				○				×	×				○	○	○		
	重ね三つ折り (外印字)	●	●	●	*13	*13	*13	*13				○				×	×				○	○	○		
	Z 折り				×			×																	
	パンチ (右)		●	●	×			×		▲													×	×	
	パンチ (左)		●	●	×			×		▲													×	×	
	パンチ (上)		●	●	×			×	▲														×	×	
	フェイスアップ	×	×	×		●																			
	フェイスダウン				●			○																	
	順方向																								
	逆方向	×	×	×		×								×			×	×							
	左右とじ			▲																					
	上とじ	▲	▲																						
	HDD 保存																								

機能組合わせ表		応用設定																						
		ブック連写	ネガポジ反転	リポート	自動リビート*8	定形リビート	枠消し	折り目消し	センタリング	シフト	縮小シフト	原稿外消去	全面画像	スタンプ (定型スタンプ)	スタンプ (ページ)	スタンプ (ナンバリング)	スタンプ (日付)	ウォーターマーク	ウォーターマーク (ナンバリング)	コピープロテクト	任意スタンプ	登録オーバーレイ	オーバーレイ*4	
出力設定	ソート																							
	仕分けソート：排紙位置切換*19																							
	仕分けソート：仕切り紙・停止*19																							
	グループ																							
	仕分けグループ：排紙位置切換*19																							
	仕分けグループ：仕切り紙・停止*19																							
	ステープル (左コーナー)			*35																				
	ステープル (右コーナー)			*35																				
	ステープル (2 点上)			*35																				
	ステープル (2 点左)			*35																				
	ステープル (2 点右)			*35																				
	中とじ	*6	○																					
	重ね中折り	*6	○																					
	重ね三つ折り (内印字)	○	×	○	○	○																		
	重ね三つ折り (外印字)	○	×	○	○	○																		
	Z 折り																							
	パンチ (右)			*14																				
	パンチ (左)			*14																				
	パンチ (上)			*14																				
	フェイスアップ																							
	フェイスダウン																							
	順方向																							
	逆方向																							
	左右とじ																							
	上とじ																							
	HDD 保存																							

- 無印 : 排他なし (選択可能)
 - × : 網掛け (強制解除含む)
 - : 本来は禁止だが排他未実施 (後優先: 列の方が優先)
 - ▲ : メッセージ出力
 - : 強制解除
 - : 設定なし
-
- *1 カバーシート紙の裏カバーは禁止。(禁止時にはメッセージ表示)
 - *2 2in1、2 リPEATだけ可能。4in1 はスタンプページだけ可能。(禁止時は網掛け)
 - *4 プログラムジョブではオーバーレイ選択禁止
 - *5 文字: 1bit、写真: DIPSW にて 1bit/2bit 切換え。1bit/2bit の混在は不可。メモリーモード時は 1bit 固定となる。
 - *6 小冊子選択時だけ組合わせ可能。小冊子未選択時 (禁止状態) は、ブック連写×中とじ (または重ね中折り) の組合わせは、ブック連写優先の後優先となり、中とじ (重ね中折り) ボタンは網掛け
 - *8 自動リPEAT選択時は、原稿外自動消去も自動強制選択される。(原稿外自動消去だけの解除は不可)
 - *11 メモリーモード強制選択
 - *12 下地マイナス設定時に、薄文字が選択された場合は、強制的に下地レベルを 0 にする。
 - *14 2 リPEAT (反転含む) のみ禁則
 - *15 定形 2 リPEAT (反転含む) のみ禁則緩和
 - *19 排紙先が大容量スタッカーのスタッカー、またはフィニッシャーのメイントレイの場合は選択可能 (前記以外の排紙トレイの場合は網掛け)
 - *20 ソートを選択し、仕分けソート/グループ/仕分けグループは網掛け
 - *23 ソートを選択し、グループ、仕分けグループは網掛け
 - *24 仕分けソートを選択し、グループ/仕分けグループは網掛け
 - *25 ソートを選択し、グループは網掛け
 - *28 下地調整のマイナス側には設定できない。
 - *29 設定メニューの [03 コピー設定] - [02 個別機能切替え設定] で [原稿ガラス自動倍率] と [ADF 自動倍率] が共に OFF の場合、等倍が選択される。
 - *30 メモリーモードでない場合は [ADF を閉めてください] のメッセージが表示される。
 - *31 ブック連写 [オモテ/ウラ表紙あり] 選択時、任意スタンプは網掛け。また、任意スタンプ選択時、ブック連写 [オモテ/ウラ表紙あり] は網掛けとなる。
 - *32 2in1、2 リPEATだけ可能。4in1 はスタンプページだけ可能。(禁則時は網掛け)
 - *33 2 リPEAT以外選択時、登録オーバーレイは網掛け。また、登録オーバーレイ選択時、2 リPEAT以外は網掛け
 - *34 [自動画像回転禁止] 選択時でも、画像回転アイコン表示時は、画像回転する。
 - *35 反転 2 リPEATのみ禁則

13.3.3 応用設定と併用できないコピー条件

機能組合わせ表		基本設定										画質設定										原稿設定								
		片面→片面	片面→両面	両面→片面	両面→両面	原稿ガラスモード	ADFモード	自動用紙	自動倍率	等倍	手動倍率	固定倍率	自動画像回転禁止 *34	濃度設定	自動濃度	登録濃度	原稿画質 (文字/写真)	原稿画質 (薄文字)	原稿画質 (写真) *5	原稿画質 (文字)	下地調整 (+側)	下地調整 (-側)	文字/写真判別	混載原稿	2折れ原稿	1枚送り	不定形サイズ (全面以外)	不定形サイズ (全面/サイズ入力)	インデックス紙サイズ	
応用設定	プログラムジョブ (選択直後)																						×	×		○		▲	×	
	インターシート (トレイ)						×																×	×					×	
	PI 挿入																							×	×				×	
	表カバー (トレイ)																						×	×					×	
	裏カバー (トレイ)																						×	×					×	
	表カバー PI (上段/下段)																							×	×					
	裏カバー PI (上段/下段)																							×	×					
	章分け	×	×																					×	×	○			×	
	章分け印刷挿入	×	×				×																	×	×	○			×	
	集約						×																	×	×	○		×	×	
	小冊子	×	×				×																	×	×	○		×	×	
	無線とじ	×	×				×																	×	×	○		×	×	
	差し込みページ					▲																		×	×	○			×	
	ブック連写						×	×																×	×			×	×	
	ネガポジ反転																													
	リピート		×	×			×	×	×															×	×					
	自動リピート*8		×	×			×	×	×															×	×			×		
	定形リピート						×																	×	×					
	枠消し																													
	折り目消し																													
	センタリング		×	×			×	×																×	×	○				
	シフト																													
	縮小シフト						×		×	×	×													×	×				×	
	原稿外消去		×	×		●	×	×																×	×	○		×		
	全面画像																													
	スタンプ (定型スタンプ)																													
	スタンプ (ページ)																													
	スタンプ (ナンバリング)																													
	スタンプ (日付)																													
	ウォーターマーク																													
	ウォーターマーク (ナンバリング)																													
	コピープロテクト																													
	任意スタンプ																													
	登録オーバーレイ																													
	オーバーレイ*4																													

機能組合わせ表	出力設定												
	ソート	仕分けソート：排紙位置切換*19	仕分けソート：仕切り紙・停止*19	グループ	仕分けグループ：排紙位置切換*19	仕分けグループ：仕切り紙・停止*19	ステープル（左コーナー）	ステープル（右コーナー）	ステープル（2点上）	ステープル（2点左）	ステープル（2点右）	中とじ	重ね中折り
プログラムジョブ（選択直後）				×	×	×						×	×
インターシート（トレイ）				×	×	×							
PI 挿入				×	×	×							
表カバー（トレイ）													
裏カバー（トレイ）													
表カバー PI（上段／下段）												*1	*1
裏カバー PI（上段／下段）												*1	*1
章分け													
章分け印刷挿入				×	×	×							
集約				×	×	×							×
小冊子							×	×	×	×	×		×
無線とじ							×	×	×	×	×	×	×
差込みページ				×	×	×							
ブック連写												*6	*6
ネガポジ反転												×	×
リピート							*35	*35	*35	*35	*35		×
自動リピート*8													×
定形リピート													×
枠消し													
折り目消し													
センタリング													
シフト													
縮小シフト													
原稿外消去													
全面画像													
スタンプ（定型スタンプ）													
スタンプ（ページ）													
スタンプ（ナンバリング）													
スタンプ（日付）													
ウォーターマーク													
ウォーターマーク（ナンバリング）													
コピープロテクト													
任意スタンプ													
登録オーバーレイ													
オーバーレイ*4													

機能組合わせ表	出力設定										応用設定												
	パンチ (右)	パンチ (左)	パンチ (上)	フェイスアップ	フェイスダウン	順方向	逆方向	左右とじ	上とじ	HDD 保存	プログラムジョブ (選択直後)	インターシート (トレイ)	PI 挿入	表カバー (トレイ)	裏カバー (トレイ)	表カバー PI (上段/下段)	裏カバー PI (上段/下段)	章分け	章分け印刷挿入	集約	小冊子	無線とじ	差込みページ
プログラムジョブ (選択直後)											×	×	×	×	×			×	×	×	×	×	×
インターシート (トレイ)											×		×	×	×					×	×	×	×
PI 挿入						×					×									×	×	×	×
表カバー (トレイ)											×									×	×	×	×
裏カバー (トレイ)											×									×	×	×	×
表カバー PI (上段/下段)							×																
裏カバー PI (上段/下段)						×																	
章分け											×								●	×			×
章分け印刷挿入											×							●	×	×	×	×	×
集約											×	×	×	×	×			×	×	×	×	×	×
小冊子	×	×	×								×	×	×	×	×			×	×	×	×	●	×
無線とじ	×	×	×								×	×	×	×	×			×	×	×	●		×
差込みページ											×	×	×	×	×			×	×	×			×
ブック連写											×	×	×	×	×					×			×
ネガポジ反転											×	×	×	×	×					×			×
リピート	*14	*14	*14									×	×	×	×			×	×	×	×	×	×
自動リピート*8												×	×	×	×			×	×	×	×	×	×
定形リピート										*15								×	×	×	×	×	×
枠消し																							
折り目消し																							
センタリング											×	×	×	×									×
シフト																							
縮小シフト																							
原稿外消去											×	×	×	×				×	×	×	×	×	×
全面画像																							
スタンプ (定型スタンプ)																				*2			
スタンプ (ページ)																				*2			
スタンプ (ナンバリング)																				*2			
スタンプ (日付)																				*2			
ウォーターマーク																				*2			
ウォーターマーク (ナンバリング)																				*2			
コピープロテクト																				*2			
任意スタンプ																							×
登録オーバーレイ																				*32			
オーバーレイ*4											×	×	×	×	×				×				

機能組合わせ表		応用設定																						
		ブック連写	ネガポジ反転	リピート	自動リピート*8	定形リピート	枠消し	折り目消し	センタリング	シフト	縮小シフト	原稿外消去	全面画像	スタンプ (定型スタンプ)	スタンプ (ページ)	スタンプ (ナンバリング)	スタンプ (日付)	ウォーターマーク	ウォーターマーク (ナンバリング)	コピープロテクト	任意スタンプ	登録オーバーレイ	オーバーレイ*4	
応用設定	プログラムジョブ (選択直後)	×				*15																	×	
	インターシート (トレイ)	×		×	×				×			×											×	
	PI 挿入	×		×	×				×			×											×	
	表カバー (トレイ)	×		×	×							×											×	
	裏カバー (トレイ)	×		×	×							×											×	
	表カバー PI (上段/下段)																							
	裏カバー PI (上段/下段)																							
	章分け			×	×	×						×												
	章分け印刷挿入			×	×	×						×												
	集約	×		×	×	×						×		*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	×	
	小冊子			×	×	×						×												
	無線とじ			×	×	×						×												
	差込みページ	×		×	×	×			×			×									×		×	
	ブック連写			×	×	×					×										*31		×	
	ネガポジ反転			×	×	×						×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	リピート	×	×		●	●	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	自動リピート*8	×	×	●		●	×	×	×		×	*8	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	定形リピート	×	×	●	●		×	×	×		×	×		*2	*2	*2	*2	*2	*2	*2	*33	×		
	枠消し			×	×	×							×											
	折り目消し			×	×	×							×											
	センタリング			×	×	×				×	×												×	
	シフト								×		●													
	縮小シフト	×		×	×	×			×	●		×											×	
	原稿外消去		×	×		×					×		×											
	全面画像		×		×		×	×				×												
	スタンプ (定型スタンプ)		×	×	×	*2												●			●	●		
	スタンプ (ページ)		×	×	×	*2																		
	スタンプ (ナンバリング)		×	×	×	*2													●	●	●	●		
	スタンプ (日付)		×	×	×	*2																		
	ウォーターマーク		×	×	×	*2							●						●	●	●	●		
	ウォーターマーク (ナンバリング)		×	×	×	*2									●				●	●	●	●		
	コピープロテクト		×	×	×	*2										●			●	●	●	●		
	任意スタンプ	*31																						
	登録オーバーレイ		×	×	×	*33								●	●			●	●	●	●	●		
	オーバーレイ*4	×		×	×	×			×		×			●	●			●	●	●		●		

- 無印 : 排他なし (選択可能)
 - × : 網掛け (強制解除含む)
 - : 本来は禁止だが排他未実施 (後優先: 列の方が優先)
 - ▲ : メッセージ出力
 - : 強制解除
 - : 設定なし
-
- *1 カバーシート紙の裏カバーは禁止。(禁止時にはメッセージ表示)
 - *2 2in1、2 リピートだけ可能。4in1 はスタンプページだけ可能。(禁止時は網掛け)
 - *4 プログラムジョブではオーバーレイ選択禁止
 - *5 文字: 1bit、写真: DIPSW にて 1bit/2bit 切換え。1bit/2bit の混在は不可。メモリーモード時は 1bit 固定となる。
 - *6 小冊子選択時だけ組合わせ可能。小冊子未選択時 (禁止状態) は、ブック連写×中とじ (または重ね中折り) の組合わせは、ブック連写優先の後優先となり、中とじ (重ね中折り) ボタンは網掛け
 - *8 自動リピート選択時は、原稿外自動消去も自動強制選択される。(原稿外自動消去だけの解除は不可)
 - *11 メモリーモード強制選択
 - *12 下地マイナス設定時に、薄文字が選択された場合は、強制的に下地レベルを 0 にする。
 - *14 2 リピート (反転含む) のみ禁則
 - *15 定形 2 リピート (反転含む) のみ禁則緩和
 - *19 排紙先が大容量スタッカーのスタッカー、またはフィニッシャーのメイントレイの場合は選択可能 (前記以外の排紙トレイの場合は網掛け)
 - *20 ソートを選択し、仕分けソート/グループ/仕分けグループは網掛け
 - *23 ソートを選択し、グループ、仕分けグループは網掛け
 - *24 仕分けソートを選択し、グループ/仕分けグループは網掛け
 - *25 ソートを選択し、グループは網掛け
 - *28 下地調整のマイナス側には設定できない。
 - *29 設定メニューの [03 コピー設定] - [02 個別機能切替え設定] で [原稿ガラス自動倍率] と [ADF 自動倍率] が共に OFF の場合、等倍が選択される。
 - *30 メモリーモードでない場合は [ADF を閉めてください] のメッセージが表示される。
 - *31 ブック連写 [オモテ/ウラ表紙あり] 選択時、任意スタンプは網掛け。また、任意スタンプ選択時、ブック連写 [オモテ/ウラ表紙あり] は網掛けとなる。
 - *32 2in1、2 リピートだけ可能。4in1 はスタンプページだけ可能。(禁則時は網掛け)
 - *33 2 リピート以外選択時、登録オーバーレイは網掛け。また、登録オーバーレイ選択時、2 リピート以外は網掛け
 - *34 [自動画像回転禁止] 選択時でも、画像回転アイコン表示時は、画像回転する。
 - *35 反転 2 リピートのみ禁則

14

付録

14 付録

14.1 文字を入力するには

文字を入力できる項目のキーに軽く触れると、文字入力画面が開きます。

文字入力画面には、英記号、かな漢字、カタカナの3種類の画面があります。どの文字入力画面が表示されるかは、その項目に入力できる文字の種類によります。



参照

それぞれの文字入力画面については、次のページをごらんください。

文字入力画面（英記号） 14-3 ページ

文字入力画面（ローマ字） 14-4 ページ

文字入力画面（かな漢字） 14-4 ページ

文字入力画面（カタカナ） 14-5 ページ

14.1.1 文字入力画面のキーについて

英記号、かな漢字、カタカナの文字入力画面に共通のキーについて説明します。



名称	説明
英記号	文字入力画面（英記号）に切替わります。
ローマ字	文字入力画面（ローマ字）に切替わります。
かな漢字	文字入力画面（かな漢字）に切替わります。
カタカナ	文字入力画面（カタカナ）に切替わります。
← / →	カーソル位置が移動します。
削除	カーソルを置いた文字を削除します。カーソルが文字列右外側にある場合は、最後尾の文字を削除します。
OK	入力した文字を確定して、文字入力画面が閉じます。
キャンセル	入力した文字を解除して、文字入力画面が閉じます。

14.1.2 文字入力について

文字入力画面が表示されてからの基本的な文字入力手順について説明します。

- 1 該当の文字、記号のキーを押して、文字を入力します。
 - 英記号は、[Shift] で大文字、小文字を切替えます。
 - ローマ字は、[変換] / [無変換] でローマ字、ひらがな、カタカナ、漢字の入力を切替えます。
 - かな漢字は、[変換] / [無変換] でひらがな、漢字の入力を切替えます。
 - カタカナは、[全角] / [半角] で全角カタカナ、半角カタカナを切替えます。
- 2 [OK] を押します。

文字入力画面が閉じます。入力した文字が、項目の文字欄に表示されます。

文字入力画面（英記号）

アルファベット、数字、記号、スペースを入力できます。コンピュータのキーボードの配列と同じ文字の並びです。



名称	説明
Shift	大文字と小文字、数字と記号を切替えます。

文字入力画面（ローマ字）

ローマ字を入力できます。[変換] を使用して、ひらがな、カタカナ、漢字、（全角）英字を入力できます。入力した文字は、[変換] または [無変換] で確定されるまで反転表示されます。



名称	説明
変換	ひらがな、カタカナ、漢字、（全角）英字変換画面が表示されます。
無変換	ローマ字のまま入力した文字を確定します。
Shift	大文字と小文字、数字と記号を切替えます。

文字入力画面（かな漢字）

ひらがな、漢字を入力できます。入力した文字は、[変換] または [無変換] で確定されるまで反転表示されます。



名称	説明
変換	漢字変換画面が表示されます。
無変換	ひらがなのまま入力した文字を確定します。

漢字変換画面について

変換候補から、該当の漢字を選択して、[OK] を押します。変換候補が 6 個以上ある場合は、漢字変換画面を以下のボタンで切替えることで、すべての候補が表示できます。



名称	説明
先頭	変換候補が複数ページあった場合、先頭ページの変換候補に切替わります。
前候補	変換候補が複数ページあった場合、前のページに切替わります。
次候補	変換候補が複数ページあった場合、次のページに切替わります。
最後	変換候補が複数ページあった場合、最終ページの変換候補に切替わります。

文字入力画面（カタカナ）

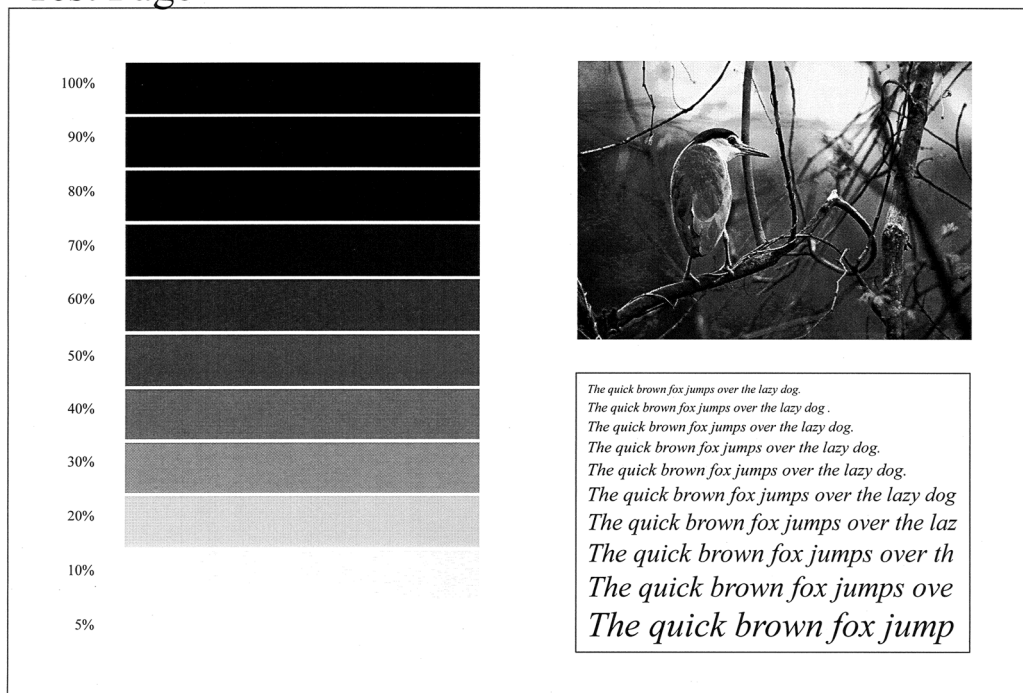
カタカナを入力できます。[全角] / [半角] で全角カタカナ、半角カタカナを切替えます。



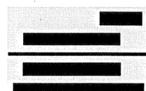
名称	説明
全角	文字入力画面が半角カタカナの場合、表示されます。全角カタカナの文字入力画面に切替えます。
半角	文字入力画面が全角カタカナの場合、表示されます。半角カタカナの文字入力画面に切替えます。

14.2 テストページ

Test Page



PostScript® Test Page



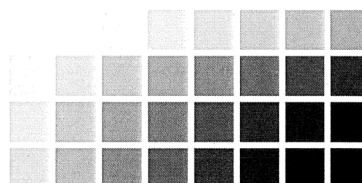
PostScript Version: 3017.102(0)
Serial Number: 902002



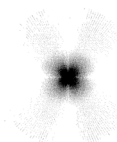
System RAM: 16MB
PostScript VM: 15046912 bytes
Free VM: 1125884 bytes



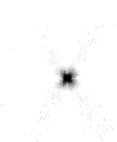
Disk0: 9687.56 MB Total, 9091.42 MB Free
Disk1: 9687.56 MB Total, 9091.42 MB Free
Disk2: 9687.56 MB Total, 9091.42 MB Free



Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Mauris vel turpis vitae odio mattis rhoncus. Morbi a libero. In rutrum metus quis risus. Sed sit amet augue. Nulla vitae pede et massa ullamcorper hendrerit. Vestibulum ante ipsum primis in faucibus orci luctus et ultrices posuere cubilia Curae; Proin nec turpis in enim varius placerat. Class aptent taciti sociosqu ad litora torquent per conubia nostra, per inceptos himenaeos. Praesent hendrerit molestie pede. Nam ullamcorper, leo vitae mattis interdum, nunc ipsum auctor sem, non viverra augue libero a metus. Quisque metus. Nam lorem velit, vulputate molestie, aliquet sit amet, tempus nec, purus. Suspendisse pulvinar turpis et mauris ullamcorper pellentesque. Curabitur tincidunt, lorem sit amet eleifend semper, quam massa aliquet mauris, eget lobortis enim nisi vitae mi. Ut leo tellus, mattis eu, sagittis at, tincidunt et, massa. Mauris lorem ipsum, adipiscing ut, auctor vitae, vulputate nec, dui. Suspendisse potenti. Morbi urna sem, faucibus non, luctus vel, mattis molestie, leo.



Adobe, PostScript, the Adobe logo and the PostScript logo are registered trademarks of Adobe Systems Incorporated.





KONICA MINOLTA

pcl font list

PCL Internal Fonts

Font	Pitch/Point	Orient	Escape Sequence	Font#	FontID
Courier	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(s0p10h0s0b4099T	0	
CG Times	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4101T	1	
CG Times Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b4101T	2	
<i>CG Times Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4101T	3	
<i>CG Times Bold Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b4101T	4	
CG Omega	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4113T	5	
CG Omega Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b4113T	6	
<i>CG Omega Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4113T	7	
<i>CG Omega Bold Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b4113T	8	
<i>Coronet</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4116T	9	
Clarendon Condensed	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v4s3b4140T	10	
Univers Medium	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4148T	11	
Univers Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b4148T	12	
<i>Univers Medium Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4148T	13	
<i>Univers Bold Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b4148T	14	
Univers Med. Condensed	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v4s0b4148T	15	
Univers Bold Condensed	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v4s3b4148T	16	
<i>Univers Med. Cond. It.</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v5s0b4148T	17	
<i>Univers Bold Cond. It.</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v5s3b4148T	18	
Antique Olive	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4168T	19	
Antique Olive Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b4168T	20	
<i>Antique Olive Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4168T	21	
Garamond Antiqua	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4197T	22	
Garamond Halbfett	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b4197T	23	
<i>Garamond Kursiv</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b4197T	24	
<i>Garamond Kursiv Halbfett</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b4197T	25	
<i>Marigold</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b4297T	26	
Albertus Medium	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s1b4362T	27	
Albertus Extra Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s4b4362T	28	
Arial	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b16602T	29	
Arial Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b16602T	30	
<i>Arial Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b16602T	31	



KONICA MINOLTA

pcl font list

Arial Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b16602T	32
Times New Roman	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b16901T	33
Times New Roman Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b16901T	34
<i>Times New Roman Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b16901T	35
Times New Roman Bold It.	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b16901T	36
Helvetica	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b24580T	37
Helvetica Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b24580T	38
<i>Helvetica Oblique</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b24580T	39
Helvetica Bold Oblique	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b24580T	40
Helvetica Narrow	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v4s0b24580T	41
Helvetica Narrow Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v4s3b24580T	42
<i>Helvetica Narrow Oblique</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v5s0b24580T	43
Helvetica Narrow Bold Oblique	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v5s3b24580T	44
Palatino Roman	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b24591T	45
Palatino Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b24591T	46
<i>Palatino Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b24591T	47
Palatino Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b24591T	48
ITC Avant Garde Gothic Book	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b24607T	49
ITC Avant Garde Gothic Demi	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s2b24607T	50
<i>ITC Avant Garde Gothic Book Oblique</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b24607T	51
ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s2b24607T	52
ITC Bookman Light	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s-3b24623T	53
ITC Bookman Demi	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s2b24623T	54
<i>ITC Bookman Light Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s-3b24623T	55
ITC Bookman Demi Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s2b24623T	56
New Century Schoolbook Roman	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b24703T	57
New Century Schoolbook Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b24703T	58
<i>New Century Schoolbook Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b24703T	59
New Century Schoolbook Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b24703T	60
Times Roman	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s0b25093T	61
Times Bold	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v0s3b25093T	62
<i>Times Italic</i>	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s0b25093T	63
Times Bold Italic	Scalable	Port	<esc>(01X<esc>(slp12v1s3b25093T	64



KONICA MINOLTA

pcl font list

[illegible]

PCLXL Only Internal Fonts

Font	Pitch/Point	Orient	Escape Sequence	Font#	FontID
HGGothic-Bold					
HGMincho-Light					
HGPGothic-Bold					
HGPMincho-Light					

PostScript® Fonts

Univers-Extended	ABCDEFgabcdefg0123456789[]!@#\$%^&
Univers-ExtendedObli	ABCDEFgabcdefg0123456789[]!@#\$%^&
Univers-Light	ABCDEFgabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"
Univers-LightOblique	ABCDEFgabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"
Univers-Oblique	ABCDEFgabcdefg0123456789[]!@#\$%^&*?<>~"
Wingdings	– — 𐀀𐀁𐀂𐀃𐀄𐀅𐀆𐀇𐀈𐀉𐀊𐀋𐀌𐀍𐀎𐀏𐀐𐀑𐀒𐀓𐀔𐀕𐀖𐀗𐀘𐀙𐀚𐀛𐀜𐀝𐀞𐀟𐀠𐀡𐀢𐀣𐀤𐀥𐀦𐀧𐀨𐀩𐀪𐀫𐀬𐀭𐀮𐀯𐀰𐀱𐀲𐀳𐀴𐀵𐀶𐀷𐀸𐀹𐀺𐀻𐀼𐀽𐀾𐀿𐁀𐁁𐁂𐁃𐁄𐁅𐁆𐁇𐁈𐁉𐁊𐁋𐁌𐁍𐁎𐁏𐁐𐁑𐁒𐁓𐁔𐁕𐁖𐁗𐁘𐁙𐁚𐁛𐁜𐁝𐁞𐁟𐁠𐁡𐁢𐁣𐁤𐁥𐁦𐁧𐁨𐁩𐁪𐁫𐁬𐁭𐁮𐁯𐁰𐁱𐁲𐁳𐁴𐁵𐁶𐁷𐁸𐁹𐁺𐁻𐁼𐁽𐁾𐁿𐂀𐂁𐂂𐂃𐂄𐂅𐂆𐂇𐂈𐂉𐂊𐂋𐂌𐂍𐂎𐂏𐂐𐂑𐂒𐂓𐂔𐂕𐂖𐂗𐂘𐂙𐂚𐂛𐂜𐂝𐂞𐂟𐂠𐂡𐂢𐂣𐂤𐂥𐂦𐂧𐂨𐂩𐂪𐂫𐂬𐂭𐂮𐂯𐂰𐂱𐂲𐂳𐂴𐂵𐂶𐂷𐂸𐂹𐂺𐂻𐂼𐂽𐂾𐂿𐃀𐃁𐃂𐃃𐃄𐃅𐃆𐃇𐃈𐃉𐃊𐃋𐃌𐃍𐃎𐃏𐃐𐃑𐃒𐃓𐃔𐃕𐃖𐃗𐃘𐃙𐃚𐃛𐃜𐃝𐃞𐃟𐃠𐃡𐃢𐃣𐃤𐃥𐃦𐃧𐃨𐃩𐃪𐃫𐃬𐃭𐃮𐃯𐃰𐃱𐃲𐃳𐃴𐃵𐃶𐃷𐃸𐃹𐃺𐃻𐃼𐃽𐃾𐃿𐄀𐄁𐄂𐄃𐄄𐄅𐄆𐄇𐄈𐄉𐄊𐄋𐄌𐄍𐄎𐄏𐄐𐄑𐄒𐄓𐄔𐄕𐄖𐄗𐄘𐄙𐄚𐄛𐄜𐄝𐄞𐄟𐄠𐄡𐄢𐄣𐄤𐄥𐄦𐄧𐄨𐄩𐄪𐄫𐄬𐄭𐄮𐄯𐄰𐄱𐄲𐄳𐄴𐄵𐄶𐄷𐄸𐄹𐄺𐄻𐄼𐄽𐄾𐄿𐅀𐅁𐅂𐅃𐅄𐅅𐅆𐅇𐅈𐅉𐅊𐅋𐅌𐅍𐅎𐅏𐅐𐅑𐅒𐅓𐅔𐅕𐅖𐅗𐅘𐅙𐅚𐅛𐅜𐅝𐅞𐅟𐅠𐅡𐅢𐅣𐅤𐅥𐅦𐅧𐅨𐅩𐅪𐅫𐅬𐅭𐅮𐅯𐅰𐅱𐅲𐅳𐅴𐅵𐅶𐅷𐅸𐅹𐅺𐅻𐅼𐅽𐅾𐅿𐆀𐆁𐆂𐆃𐆄𐆅𐆆𐆇𐆈𐆉𐆊𐆋𐆌𐆍𐆎𐆏𐆐𐆑𐆒𐆓𐆔𐆕𐆖𐆗𐆘𐆙𐆚𐆛𐆜𐆝𐆞𐆟𐆠𐆡𐆢𐆣𐆤𐆥𐆦𐆧𐆨𐆩𐆪𐆫𐆬𐆭𐆮𐆯𐆰𐆱𐆲𐆳𐆴𐆵𐆶𐆷𐆸𐆹𐆺𐆻𐆼𐆽𐆾𐆿𐇀𐇁𐇂𐇃𐇄𐇅𐇆𐇇𐇈𐇉𐇊𐇋𐇌𐇍𐇎𐇏𐇐𐇑𐇒𐇓𐇔𐇕𐇖𐇗𐇘𐇙𐇚𐇛𐇜𐇝𐇞𐇟𐇠𐇡𐇢𐇣𐇤𐇥𐇦𐇧𐇨𐇩𐇪𐇫𐇬𐇭𐇮𐇯𐇰𐇱𐇲𐇳𐇴𐇵𐇶𐇷𐇸𐇹𐇺𐇻𐇼𐇽𐇾𐇿𐈀𐈁𐈂𐈃𐈄𐈅𐈆𐈇𐈈𐈉𐈊𐈋𐈌𐈍𐈎𐈏𐈐𐈑𐈒𐈓𐈔𐈕𐈖𐈗𐈘𐈙𐈚𐈛𐈜𐈝𐈞𐈟𐈠𐈡𐈢𐈣𐈤𐈥𐈦𐈧𐈨𐈩𐈪𐈫𐈬𐈭𐈮𐈯𐈰𐈱𐈲𐈳𐈴𐈵𐈶𐈷𐈸𐈹𐈺𐈻𐈼𐈽𐈾𐈿𐉀𐉁𐉂𐉃𐉄𐉅𐉆𐉇𐉈𐉉𐉊𐉋𐉌𐉍𐉎𐉏𐉐𐉑𐉒𐉓𐉔𐉕𐉖𐉗𐉘𐉙𐉚𐉛𐉜𐉝𐉞𐉟𐉠𐉡𐉢𐉣𐉤𐉥𐉦𐉧𐉨𐉩𐉪𐉫𐉬𐉭𐉮𐉯𐉰𐉱𐉲𐉳𐉴𐉵𐉶𐉷𐉸𐉹𐉺𐉻𐉼𐉽𐉾𐉿𐊀𐊁𐊂𐊃𐊄𐊅𐊆𐊇𐊈𐊉𐊊𐊋𐊌𐊍𐊎𐊏𐊐𐊑𐊒𐊓𐊔𐊕𐊖𐊗𐊘𐊙𐊚𐊛𐊜𐊝𐊞𐊟𐊠𐊡𐊢𐊣𐊤𐊥𐊦𐊧𐊨𐊩𐊪𐊫𐊬𐊭𐊮𐊯𐊰𐊱𐊲𐊳𐊴𐊵𐊶𐊷𐊸𐊹𐊺𐊻𐊼𐊽𐊾𐊿𐋀𐋁𐋂𐋃𐋄𐋅𐋆𐋇𐋈𐋉𐋊𐋋𐋌𐋍𐋎𐋏𐋐𐋑𐋒𐋓𐋔𐋕𐋖𐋗𐋘𐋙𐋚𐋛𐋜𐋝𐋞𐋟𐋠𐋡𐋢𐋣𐋤𐋥𐋦𐋧𐋨𐋩𐋪𐋫𐋬𐋭𐋮𐋯𐋰𐋱𐋲𐋳𐋴𐋵𐋶𐋷𐋸𐋹𐋺𐋻𐋼𐋽𐋾𐋿𐌀𐌁𐌂𐌃𐌄𐌅𐌆𐌇𐌈𐌉𐌊𐌋𐌌𐌍𐌎𐌏𐌐𐌑𐌒𐌓𐌔𐌕𐌖𐌗𐌘𐌙𐌚𐌛𐌜𐌝𐌞𐌟𐌠𐌡𐌢𐌣𐌤𐌥𐌦𐌧𐌨𐌩𐌪𐌫𐌬𐌭𐌮𐌯𐌰𐌱𐌲𐌳𐌴𐌵𐌶𐌷𐌸𐌹𐌺𐌻𐌼𐌽𐌾𐌿𐍀𐍁𐍂𐍃𐍄𐍅𐍆𐍇𐍈𐍉𐍊𐍋𐍌𐍍𐍎𐍏𐍐𐍑𐍒𐍓𐍔𐍕𐍖𐍗𐍘𐍙𐍚𐍛𐍜𐍝𐍞𐍟𐍠𐍡𐍢𐍣𐍤𐍥𐍦𐍧𐍨𐍩𐍪𐍫𐍬𐍭𐍮𐍯𐍰𐍱𐍲𐍳𐍴𐍵𐍶𐍷𐍸𐍹𐍺𐍻𐍼𐍽𐍾𐍿𐎀𐎁𐎂𐎃𐎄𐎅𐎆𐎇𐎈𐎉𐎊𐎋𐎌𐎍𐎎𐎏𐎐𐎑𐎒𐎓𐎔𐎕𐎖𐎗𐎘𐎙𐎚𐎛𐎜𐎝𐎞𐎟𐎠𐎡𐎢𐎣𐎤𐎥𐎦𐎧𐎨𐎩𐎪𐎫𐎬𐎭𐎮𐎯𐎰𐎱𐎲𐎳𐎴𐎵𐎶𐎷𐎸𐎹𐎺𐎻𐎼𐎽𐎾𐎿𐏀𐏁𐏂𐏃𐏄𐏅𐏆𐏇𐏈𐏉𐏊𐏋𐏌𐏍𐏎𐏏𐏐𐏑𐏒𐏓𐏔𐏕𐏖𐏗𐏘𐏙𐏚𐏛𐏜𐏝𐏞𐏟𐏠𐏡𐏢𐏣𐏤𐏥𐏦𐏧𐏨𐏩𐏪𐏫𐏬𐏭𐏮𐏯𐏰𐏱𐏲𐏳𐏴𐏵𐏶𐏷𐏸𐏹𐏺𐏻𐏼𐏽𐏾𐏿𐐀𐐁𐐂𐐃𐐄𐐅𐐆𐐇𐐈𐐉𐐊𐐋𐐌𐐍𐐎𐐏𐐐𐐑𐐒𐐓𐐔𐐕𐐖𐐗𐐘𐐙𐐚𐐛𐐜𐐝𐐞𐐟𐐠𐐡𐐢𐐣𐐤𐐥𐐦𐐧𐐨𐐩𐐪𐐫𐐬𐐭𐐮𐐯𐐰𐐱𐐲𐐳𐐴𐐵𐐶𐐷𐐸𐐹𐐺𐐻𐐼𐐽𐐾𐐿𐑀𐑁𐑂𐑃𐑄𐑅𐑆𐑇𐑈𐑉𐑊𐑋𐑌𐑍𐑎𐑏𐑐𐑑𐑒𐑓𐑔𐑕𐑖𐑗𐑘𐑙𐑚𐑛𐑜𐑝𐑞𐑟𐑠𐑡𐑢𐑣𐑤𐑥𐑦𐑧𐑨𐑩𐑪𐑫𐑬𐑭𐑮𐑯𐑰𐑱𐑲𐑳𐑴𐑵𐑶𐑷𐑸𐑹𐑺𐑻𐑼𐑽𐑾𐑿𐒀𐒁𐒂𐒃𐒄𐒅𐒆𐒇𐒈𐒉𐒊𐒋𐒌𐒍𐒎𐒏𐒐𐒑𐒒𐒓𐒔𐒕𐒖𐒗𐒘𐒙𐒚𐒛𐒜𐒝𐒞𐒟𐒠𐒡𐒢𐒣𐒤𐒥𐒦𐒧𐒨𐒩𐒪𐒫𐒬𐒭𐒮𐒯𐒰𐒱𐒲𐒳𐒴𐒵𐒶𐒷𐒸𐒹𐒺𐒻𐒼𐒽𐒾𐒿𐓀𐓁𐓂𐓃𐓄𐓅𐓆𐓇𐓈𐓉𐓊𐓋𐓌𐓍𐓎𐓏𐓐𐓑𐓒𐓓𐓔𐓕𐓖𐓗𐓘𐓙𐓚𐓛𐓜𐓝𐓞𐓟𐓠𐓡𐓢𐓣𐓤𐓥𐓦𐓧𐓨𐓩𐓪𐓫𐓬𐓭𐓮𐓯𐓰𐓱𐓲𐓳𐓴𐓵𐓶𐓷𐓸𐓹𐓺𐓻𐓼𐓽𐓾𐓿𐔀𐔁𐔂𐔃𐔄𐔅𐔆𐔇𐔈𐔉𐔊𐔋𐔌𐔍𐔎𐔏𐔐𐔑𐔒𐔓𐔔𐔕𐔖𐔗𐔘𐔙𐔚𐔛𐔜𐔝𐔞𐔟𐔠𐔡𐔢𐔣𐔤𐔥𐔦𐔧𐔨𐔩𐔪𐔫𐔬𐔭𐔮𐔯𐔰𐔱𐔲𐔳𐔴𐔵𐔶𐔷𐔸𐔹𐔺𐔻𐔼𐔽𐔾𐔿𐕀𐕁𐕂𐕃𐕄𐕅𐕆𐕇𐕈𐕉𐕊𐕋𐕌𐕍𐕎𐕏𐕐𐕑𐕒𐕓𐕔𐕕𐕖𐕗𐕘𐕙𐕚𐕛𐕜𐕝𐕞𐕟𐕠𐕡𐕢𐕣𐕤𐕥𐕦𐕧𐕨𐕩𐕪𐕫𐕬𐕭𐕮𐕯𐕰𐕱𐕲𐕳𐕴𐕵𐕶𐕷𐕸𐕹𐕺𐕻𐕼𐕽𐕾𐕿𐖀𐖁𐖂𐖃𐖄𐖅𐖆𐖇𐖈𐖉𐖊𐖋𐖌𐖍𐖎𐖏𐖐𐖑𐖒𐖓𐖔𐖕𐖖𐖗𐖘𐖙𐖚𐖛𐖜𐖝𐖞𐖟𐖠𐖡𐖢𐖣𐖤𐖥𐖦𐖧𐖨𐖩𐖪𐖫𐖬𐖭𐖮𐖯𐖰𐖱𐖲𐖳𐖴𐖵𐖶𐖷𐖸𐖹𐖺𐖻𐖼𐖽𐖾𐖿𐗀𐗁𐗂𐗃𐗄𐗅𐗆𐗇𐗈𐗉𐗊𐗋𐗌𐗍𐗎𐗏𐗐𐗑𐗒𐗓𐗔𐗕𐗖𐗗𐗘𐗙𐗚𐗛𐗜𐗝𐗞𐗟𐗠𐗡𐗢𐗣𐗤𐗥𐗦𐗧𐗨𐗩𐗪𐗫𐗬𐗭𐗮𐗯𐗰𐗱𐗲𐗳𐗴𐗵𐗶𐗷𐗸𐗹𐗺𐗻𐗼𐗽𐗾𐗿𐘀𐘁𐘂𐘃𐘄𐘅𐘆𐘇𐘈𐘉𐘊𐘋𐘌𐘍𐘎𐘏𐘐𐘑𐘒𐘓𐘔𐘕𐘖𐘗𐘘𐘙𐘚𐘛𐘜𐘝𐘞𐘟𐘠𐘡𐘢𐘣𐘤𐘥𐘦𐘧𐘨𐘩𐘪𐘫𐘬𐘭𐘮𐘯𐘰𐘱𐘲𐘳𐘴𐘵𐘶𐘷𐘸𐘹𐘺𐘻𐘼𐘽𐘾𐘿𐙀𐙁𐙂𐙃𐙄𐙅𐙆𐙇𐙈𐙉𐙊𐙋𐙌𐙍𐙎𐙏𐙐𐙑𐙒𐙓𐙔𐙕𐙖𐙗𐙘𐙙𐙚𐙛𐙜𐙝𐙞𐙟𐙠𐙡𐙢𐙣𐙤𐙥𐙦𐙧𐙨𐙩𐙪𐙫𐙬𐙭𐙮𐙯𐙰𐙱𐙲𐙳𐙴𐙵𐙶𐙷𐙸𐙹𐙺𐙻𐙼𐙽𐙾𐙿𐚀𐚁𐚂𐚃𐚄𐚅𐚆𐚇𐚈𐚉𐚊𐚋𐚌𐚍𐚎𐚏𐚐𐚑𐚒𐚓𐚔𐚕𐚖𐚗𐚘𐚙𐚚𐚛𐚜𐚝𐚞𐚟𐚠𐚡𐚢𐚣𐚤𐚥𐚦𐚧𐚨𐚩𐚪𐚫𐚬𐚭𐚮𐚯𐚰𐚱𐚲𐚳𐚴𐚵𐚶𐚷𐚸𐚹𐚺𐚻𐚼𐚽𐚾𐚿𐛀𐛁𐛂𐛃𐛄𐛅𐛆𐛇𐛈𐛉𐛊𐛋𐛌𐛍𐛎𐛏𐛐𐛑𐛒𐛓𐛔𐛕𐛖𐛗𐛘𐛙𐛚𐛛𐛜𐛝𐛞𐛟𐛠𐛡𐛢𐛣𐛤𐛥𐛦𐛧𐛨𐛩𐛪𐛫𐛬𐛭𐛮𐛯𐛰𐛱𐛲𐛳𐛴𐛵𐛶𐛷𐛸𐛹𐛺𐛻𐛼𐛽𐛾𐛿𐜀𐜁𐜂𐜃𐜄𐜅𐜆𐜇𐜈𐜉𐜊𐜋𐜌𐜍𐜎𐜏𐜐𐜑𐜒𐜓𐜔𐜕𐜖𐜗𐜘𐜙𐜚𐜛𐜜𐜝𐜞𐜟𐜠𐜡𐜢𐜣𐜤𐜥𐜦𐜧𐜨𐜩𐜪𐜫𐜬𐜭𐜮𐜯𐜰𐜱𐜲𐜳𐜴𐜵𐜶𐜷𐜸𐜹𐜺𐜻𐜼𐜽𐜾𐜿𐝀𐝁𐝂𐝃𐝄𐝅𐝆𐝇𐝈𐝉𐝊𐝋𐝌𐝍𐝎𐝏𐝐𐝑𐝒𐝓𐝔𐝕𐝖𐝗𐝘𐝙𐝚𐝛𐝜𐝝𐝞𐝟𐝠𐝡𐝢𐝣𐝤𐝥𐝦𐝧𐝨𐝩𐝪𐝫𐝬𐝭𐝮𐝯𐝰𐝱𐝲𐝳𐝴𐝵𐝶𐝷𐝸𐝹𐝺𐝻𐝼𐝽𐝾𐝿𐞀𐞁𐞂𐞃𐞄𐞅𐞆𐞇𐞈𐞉𐞊𐞋𐞌𐞍𐞎𐞏𐞐𐞑𐞒𐞓𐞔𐞕𐞖𐞗𐞘𐞙𐞚𐞛𐞜𐞝𐞞𐞟𐞠𐞡𐞢𐞣𐞤𐞥𐞦𐞧𐞨𐞩𐞪𐞫𐞬𐞭𐞮𐞯𐞰𐞱𐞲𐞳𐞴𐞵𐞶𐞷𐞸𐞹𐞺𐞻𐞼𐞽𐞾𐞿𐟀𐟁𐟂𐟃𐟄𐟅𐟆𐟇𐟈𐟉𐟊𐟋𐟌𐟍𐟎𐟏𐟐𐟑𐟒𐟓𐟔𐟕𐟖𐟗𐟘𐟙𐟚𐟛𐟜𐟝𐟞𐟟𐟠𐟡𐟢𐟣𐟤𐟥𐟦𐟧𐟨𐟩𐟪𐟫𐟬𐟭𐟮𐟯𐟰𐟱𐟲𐟳𐟴𐟵𐟶𐟷𐟸𐟹𐟺𐟻𐟼𐟽𐟾𐟿𐠀𐠁𐠂𐠃𐠄𐠅𐠆𐠇𐠈𐠉𐠊𐠋𐠌𐠍𐠎𐠏𐠐𐠑𐠒𐠓𐠔𐠕𐠖𐠗𐠘𐠙𐠚𐠛𐠜𐠝𐠞𐠟𐠠𐠡𐠢𐠣𐠤𐠥𐠦𐠧𐠨𐠩𐠪𐠫𐠬𐠭𐠮𐠯𐠰𐠱𐠲𐠳𐠴𐠵𐠶𐠷𐠸𐠹𐠺𐠻𐠼𐠽𐠾𐠿𐡀𐡁𐡂𐡃𐡄𐡅𐡆𐡇𐡈𐡉𐡊𐡋𐡌𐡍𐡎𐡏𐡐𐡑𐡒𐡓𐡔𐡕𐡖𐡗𐡘𐡙𐡚𐡛𐡜𐡝𐡞𐡟𐡠𐡡𐡢𐡣𐡤𐡥𐡦𐡧𐡨𐡩𐡪𐡫𐡬𐡭𐡮𐡯𐡰𐡱𐡲𐡳𐡴𐡵𐡶𐡷𐡸𐡹𐡺𐡻𐡼𐡽𐡾𐡿𐢀𐢁𐢂𐢃𐢄𐢅𐢆𐢇𐢈𐢉𐢊𐢋𐢌𐢍𐢎𐢏𐢐𐢑𐢒𐢓𐢔𐢕𐢖𐢗𐢘𐢙𐢚𐢛𐢜𐢝𐢞𐢟𐢠𐢡𐢢𐢣𐢤𐢥𐢦𐢧𐢨𐢩𐢪𐢫𐢬𐢭𐢮𐢯𐢰𐢱𐢲𐢳𐢴𐢵𐢶𐢷𐢸𐢹𐢺𐢻𐢼𐢽𐢾𐢿𐣀𐣁𐣂𐣃𐣄𐣅𐣆𐣇𐣈𐣉𐣊𐣋𐣌𐣍𐣎𐣏𐣐𐣑𐣒𐣓𐣔𐣕𐣖𐣗𐣘𐣙𐣚𐣛𐣜𐣝𐣞𐣟𐣠𐣡𐣢𐣣𐣤𐣥𐣦𐣧𐣨𐣩𐣪𐣫𐣬𐣭𐣮𐣯𐣰𐣱𐣲𐣳𐣴𐣵𐣶𐣷𐣸𐣹𐣺𐣻𐣼𐣽𐣾𐣿𐤀𐤁𐤂𐤃𐤄𐤅𐤆𐤇𐤈𐤉𐤊𐤋𐤌𐤍𐤎𐤏𐤐𐤑𐤒𐤓𐤔𐤕𐤖𐤗𐤘𐤙𐤚𐤛𐤜𐤝𐤞𐤟𐤠𐤡𐤢𐤣𐤤𐤥𐤦𐤧𐤨𐤩𐤪𐤫𐤬𐤭𐤮𐤯𐤰𐤱𐤲𐤳𐤴𐤵𐤶𐤷𐤸𐤹𐤺𐤻𐤼𐤽𐤾𐤿𐥀𐥁𐥂𐥃𐥄𐥅𐥆𐥇𐥈𐥉𐥊𐥋𐥌𐥍𐥎𐥏𐥐𐥑𐥒𐥓𐥔𐥕𐥖𐥗𐥘𐥙𐥚𐥛𐥜𐥝𐥞𐥟𐥠𐥡𐥢𐥣𐥤𐥥𐥦𐥧𐥨𐥩𐥪𐥫𐥬𐥭𐥮𐥯𐥰𐥱𐥲𐥳𐥴𐥵𐥶𐥷𐥸𐥹𐥺𐥻𐥼𐥽𐥾𐥿𐦀𐦁𐦂𐦃𐦄𐦅𐦆𐦇𐦈𐦉𐦊𐦋𐦌𐦍𐦎𐦏𐦐𐦑𐦒𐦓𐦔𐦕𐦖𐦗𐦘𐦙𐦚𐦛𐦜𐦝𐦞𐦟𐦠𐦡𐦢𐦣𐦤𐦥𐦦𐦧𐦨𐦩𐦪𐦫𐦬𐦭𐦮𐦯𐦰𐦱𐦲𐦳𐦴𐦵𐦶𐦷𐦸𐦹𐦺𐦻𐦼𐦽𐦾𐦿𐧀𐧁𐧂𐧃𐧄𐧅𐧆𐧇𐧈𐧉𐧊𐧋𐧌𐧍𐧎𐧏𐧐𐧑𐧒𐧓𐧔𐧕𐧖𐧗𐧘𐧙𐧚𐧛𐧜𐧝𐧞𐧟𐧠𐧡𐧢𐧣𐧤𐧥𐧦𐧧𐧨𐧩𐧪𐧫𐧬𐧭𐧮𐧯𐧰𐧱𐧲𐧳𐧴𐧵𐧶𐧷𐧸𐧹𐧺𐧻𐧼𐧽𐧾𐧿𐨀𐨁𐨂𐨃𐨄𐨅𐨆𐨇𐨈𐨉𐨊𐨋𐨌𐨍𐨎𐨏𐨐𐨑𐨒𐨓𐨔𐨕𐨖𐨗𐨘𐨙𐨚𐨛𐨜𐨝𐨞𐨟𐨠𐨡𐨢𐨣𐨤𐨥𐨦𐨧𐨨𐨩𐨪𐨫𐨬𐨭𐨮𐨯𐨰𐨱𐨲𐨳𐨴𐨵𐨶𐨷𐨹𐨺𐨸𐨻𐨼𐨽𐨾𐨿𐩀𐩁𐩂𐩃𐩄𐩅𐩆𐩇𐩈𐩉𐩊𐩋𐩌𐩍𐩎𐩏𐩐𐩑𐩒𐩓𐩔𐩕𐩖𐩗𐩘𐩙𐩚𐩛𐩜𐩝𐩞𐩟𐩠𐩡𐩢𐩣𐩤𐩥𐩦𐩧𐩨𐩩𐩪𐩫𐩬𐩭𐩮𐩯𐩰𐩱𐩲𐩳𐩴𐩵𐩶𐩷𐩸𐩹𐩺𐩻𐩼𐩽𐩾𐩿𐪀𐪁𐪂𐪃𐪄𐪅𐪆𐪇𐪈𐪉𐪊𐪋𐪌𐪍𐪎𐪏𐪐𐪑𐪒𐪓𐪔𐪕𐪖𐪗𐪘𐪙𐪚𐪛𐪜𐪝𐪞𐪟𐪠𐪡𐪢𐪣𐪤𐪥𐪦𐪧𐪨𐪩𐪪𐪫𐪬𐪭𐪮𐪯𐪰𐪱𐪲𐪳𐪴𐪵𐪶𐪷𐪸𐪹𐪺𐪻𐪼𐪽𐪾𐪿𐫀𐫁𐫂𐫃𐫄𐫅𐫆𐫇𐫈𐫉𐫊𐫋𐫌𐫍𐫎𐫏𐫐𐫑𐫒𐫓𐫔𐫕𐫖𐫗𐫘𐫙𐫚𐫛𐫜𐫝𐫞𐫟𐫠𐫡𐫢𐫣𐫤𐫦𐫥𐫧𐫨𐫩𐫪𐫫𐫬𐫭𐫮𐫯𐫰𐫱𐫲𐫳𐫴𐫵𐫶𐫷𐫸𐫹𐫺𐫻𐫼𐫽𐫾𐫿𐬀𐬁𐬂𐬃𐬄𐬅𐬆𐬇𐬈𐬉𐬊𐬋𐬌𐬍𐬎𐬏𐬐𐬑𐬒𐬓𐬔𐬕𐬖𐬗𐬘𐬙𐬚𐬛𐬜𐬝𐬞𐬟𐬠𐬡𐬢𐬣𐬤𐬥𐬦𐬧𐬨𐬩𐬪𐬫𐬬𐬭𐬮𐬯𐬰𐬱𐬲𐬳𐬴𐬵𐬶𐬷𐬸𐬹𐬺𐬻𐬼𐬽𐬾𐬿𐭀𐭁𐭂𐭃𐭄𐭅𐭆𐭇𐭈𐭉𐭊𐭋𐭌𐭍𐭎𐭏𐭐𐭑𐭒𐭓𐭔𐭕𐭖𐭗𐭘𐭙𐭚𐭛𐭜𐭝𐭞𐭟𐭠𐭡𐭢𐭣𐭤𐭥𐭦𐭧𐭨𐭩𐭪𐭫𐭬𐭭𐭮𐭯𐭰𐭱𐭲𐭳𐭴𐭵𐭶𐭷𐭸𐭹𐭺𐭻𐭼𐭽𐭾𐭿𐮀𐮁𐮂𐮃𐮄𐮅𐮆𐮇𐮈𐮉𐮊𐮋𐮌𐮍𐮎𐮏𐮐𐮑𐮒𐮓𐮔𐮕𐮖𐮗𐮘𐮙𐮚𐮛𐮜𐮝𐮞𐮟𐮠𐮡𐮢𐮣𐮤𐮥𐮦𐮧𐮨𐮩𐮪𐮫𐮬𐮭𐮮𐮯𐮰𐮱𐮲𐮳

PostScript® Fonts

Encodings: 90pv-RKSJ-H,

Ryumin-Light

abcde12345あいうえおアイウエオ亜啞娃阿哀愛挨

Encodings: 78-EUC-H, 78-EUC-V, 78-H, 78-RKSJ-H, 78-RKSJ-V, 78-V, 78ms-RKSJ-H, 78ms-RKSJ-V, 83pv-RKSJ-H, 90ms-RKSJ-H, 90ms-RKSJ-V, 90msp-RKSJ-H, 90msp-RKSJ-V, 90pv-RKSJ-H, 90pv-RKSJ-V, Add-H, Add-RKSJ-H, Add-RKSJ-V, Add-V, Adobe-Japan1-0, Adobe-Japan1-1, Adobe-Japan1-2, Adobe-Japan1-3, Adobe-Japan1-4, Adobe-Japan1-5, Adobe-Japan1-6, EUC-H, EUC-V, Ext-H, Ext-RKSJ-H, Ext-RKSJ-V, Ext-V, H, Hankaku, Hiragana, Katakana, NWP-H, NWP-V, RKSJ-H, RKSJ-V, Roman, UniJIS-UCS2-H, UniJIS-UCS2-HW-H, UniJIS-UCS2-HW-V, UniJIS-UCS2-V, UniJIS-UTF16-H, UniJIS-UTF16-V, UniJIS-UTF32-H, UniJIS-UTF32-V, UniJIS-UTF8-H, UniJIS-UTF8-V, UniJISPro-UCS2-HW-V, UniJISPro-UCS2-V, UniJISPro-UTF8-V, UniJISX0213-UTF32-H, UniJISX0213-UTF32-V, V, WP-Symbol,

Ryumin-Light-KL

abcde12345あいうえおアイウエオ亜啞娃阿哀愛挨

Encodings: 90pv-RKSJ-H,

Ryumin-Light-KL-Mono

abcde12345あいうえおアイウエオ亜啞娃阿哀愛挨

Encodings: 90pv-RKSJ-H,

Adobe, PostScript, the Adobe logo and the PostScript logo are trademarks of Adobe Systems Incorporated which may be registered in certain jurisdictions.

Fonts contained in this product may be copyrighted, trademarked or licensed by:
Adobe Systems Incorporated, AlphaOmega Typography, Apple Computer, Inc., H. Berthold AG, Ludlow Type Foundry
International Typeface Corporation, Kingsley/ATF Type Corporation, Letraset Typeface
Linotype-Hell AG and/or its subsidiaries, Marcel Olive, Microsoft Corporation, The Monotype Corporation, Nebiolo,

15

索引

15 索引

15.1 項目別索引

Numerics

1 枚送り 6-8

A

ADF 3-10, 4-15, 6-31

Z

Z 折り 8-23

Z 折れ原稿 6-7

あ行

安全にお使いいただくために 1-4

インターシート 7-5

インデックス紙 5-21

インデックス紙サイズ 6-14

インデックス紙をセット 5-21

ウィークリータイマー 2-32

ウォーターマーク 7-66

ウォームアップ中にコピー 4-19

オートシャットオフ 2-32

オートトレイスイッチ (ATS) 機能 3-8

オートリセット 2-29

オートローパワー 2-31

オーバーレイ 7-79

か行

確認コピー 10-2

重ね中折り 8-14

重ね三つ折り 8-16

片面／両面 6-31

紙づまり 11-4

キー応答 2-43

グループ 8-10, 8-12

警告 1-4

原稿外消去 7-33

原稿画質 6-21

原稿ガラス 3-11, 4-17, 6-33

原稿セット方向 6-2

コピー画面 4-8

コピープロテクト 7-69

コピー予約 6-55

混載原稿 6-6

さ行

サービスコール 11-2

差込みページ 7-23

サンプル排紙 10-7

下地調整 6-20

シャープネス 6-23

集約 7-16

小冊子 7-20

章分け 7-13

仕分けグループ 8-10

仕分けソート 8-10

自動画像回転 6-53

自動倍率 6-30

自動用紙 6-52

ジョブリスト画面 9-2

ジョブを停止 4-21

スケジュール 9-15

スタート番号 7-72

スタンプ 7-58

ステープル 8-12

ステープル針を補給 5-25

清掃 12-2

設定内容 10-4

設定部数 4-18

センタリング 7-46

全面画像 7-48

ソート 8-10, 8-12

外側オフセット 7-54

た行

単位切替 9-18

タンデム出力 8-26

大容量給紙ユニット LU-409/LU-410 5-12

注意 1-4

定型スタンプ 7-60

定形リピート 7-39

電源を入れる 2-22

電源を切る 2-24

等倍でコピー 6-26

登録オーバーレイ 7-81

とじしろ (シフト) 7-50

とじしろ (縮小シフト) 7-55

トナーを補給 5-6

トラブルの処置 11-20

な行

中とじ 8-14

ナンバリング 7-61, 7-68

任意スタンプ 7-75

ネガポジ反転 7-35

濃度設定 6-19

は行

廃棄トナーボックスを交換 5-29

倍率設定 6-26

倍率を変更してコピー 6-26

パワーセーブ 2-31

パンチ	8-17, 8-18, 8-24, 8-25
パンチくず	5-33
日付／時刻	7-64
ファイル名	9-4
ファンクションキー	10-15
フィニッシャー FS-532	8-9, 8-19
不定形サイズ	6-11
ブック連写	7-26
部門認証	2-34
プログラム	10-11
プログラムジョブ	7-30
ヘルプメッセージ	2-41, 5-4
ページ	7-63
ページ間隔	7-53
ペーパーフィーダーユニット PF-706	5-16
本体外部	2-2
本体内部	2-4

ま行

文字／写真判別	6-24
文字の変更	7-73

や行

ユーザー認証	2-34
ユーザー名	9-31
用紙サイズ	3-6
用紙の質量	3-2
用紙の保管	3-9
用紙を補給	5-8

ら行

リセット	2-30
両面原稿から片面コピー	6-35
両面コピーのとじ方向	8-6
両面とじ方向	6-3
連続読込みモード	6-16

わ行

枠／折り目消し	7-43
割込み	10-9

15.2 キー索引

あ行

一時番号設定	7-77
一括解除	9-5
一括削除	9-5
印刷	7-6
インターシート	7-8
インデックス紙サイズ	6-15
インデックス数設定	6-46
上側に矯正	6-51
ウラ	6-50
ウラ表紙	7-8
オモテ	6-50
オモテ表紙	7-8

か行

カール調整	6-51
片寄り検知設定	6-50
環境設定	7-3
該当用紙なし	9-23
画質設定	4-8
機械状態	4-2, 4-8
機械状態タブ	11-10
原稿画質の濃度シフト	6-21
原稿設定	4-8
コピー設定	6-26
コピー操作	2-36

さ行

サイズ読出し	6-13, 6-44
差込みページ	7-24
しおり	7-4
色紙	6-49
写真寄り	6-25
自動濃度	4-8, 6-19
自動用紙	4-10, 6-52
ジョブ	9-4
ジョブリスト	4-2, 4-8
スキャン操作	2-36
スタンプ/オーバーレイ	7-60
設定クリア	7-12
設定変更	6-48
設定呼出し	6-47
挿入紙	7-10
挿入枚数	7-11
速度変更あり	6-50

た行

単位切替	9-17
チケット編集	9-5
坪量	6-48
定形サイズ	6-42
展開状況	9-35
転写電流オフセット調整	6-50
登録倍率	6-28

は行

廃棄トナーボックス	5-30
白紙	7-7
パワーセーブ	2-32, 2-33
パンチ	6-49
パンチ穴あり	6-49
パンチ穴なし	6-49
表紙あり	7-9
表紙あり（印刷）	7-9
表紙あり（白紙）	7-9
表裏調整	4-4, 4-5, 6-50
ファイル名	9-29, 9-31, 9-33, 9-35
不定形サイズ	6-11, 6-43
プリンター印字	2-36
プロセス速度設定	6-50
プロセス調整	6-50
保留解除	9-5

ま行

枚数設定	7-9
未出力要因	9-33
未出力履歴	9-33
メモリーオーバーフロー	11-17
文字／写真判別	6-25
文字寄り	6-25

や行

ユーザー／部門認証連動	2-35
ユーザー名	9-4, 9-29, 9-33, 9-35
優先出力	9-4
読出し	2-34
読出し操作	2-36

ら行

リピート	7-37
------------	------

わ行

ワイド紙	6-44
------------	------

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
 お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング